

令和5年度
(2023年度)

農作物病害虫発生予察事業年報

Annual Report of Plant Protection

Kumamoto Prefecture

熊 本 県

目 次

第1 事業運営状況

1 関係機関の設置状況	1
2 病虫害発生予察員の設置状況	1
3 病虫害防除員の設置及び活動状況	2
4 病虫害発生予察事業の体系図	4
5 主な対象病虫害	5
6 発生予察調査地点	7

第2 事業等内容

1 病虫害の発生及び防除状況	
（1）発生経過、発生原因及び防除の概要	9
（2）農作物有害動植物の発生面積及び防除面積	19
（3）普通作病虫害発生予察事業（大豆・イグサを含む）	
ア 病虫害防除所における調査	
（ア）巡回調査	22
（イ）予察灯における水稻害虫調査	24
（ウ）ネットトラップにおける水稻害虫調査	25
（エ）フェロモントラップによるコブノメイガ調査	26
（オ）無防除田におけるウンカ類の調査	27
（カ）イグサシンムシガ予察灯誘殺数	28
（キ）イグサシンムシガ越冬調査結果	29
イ 県予察ほ場における調査	
（ア）水稻害虫	30
（4）果樹等病虫害発生予察事業（茶を含む）	
ア 病虫害防除所における調査	
（ア）巡回調査	31
（イ）果樹カメムシ類の発生状況（フェロモントラップ、予察灯）	33
（ウ）茶害虫のトラップ調査による誘殺状況	41
イ 県予察ほ場における調査	
（ア）果樹病虫害	45
（イ）茶害虫	55
（5）野菜・花き病虫害発生予察事業	
ア 病虫害防除所における調査	
（ア）巡回調査	58
（イ）野菜害虫のフェロモントラップによる誘殺状況	66
（ウ）野外におけるコナジラミ類の捕獲状況	79
（エ）トマト黄化葉巻ウイルス保毒状況調査	80
2 発生予察情報の提供	
（1）警報、注意報、特殊報、技術情報	82
（2）発生予報	134
（3）ホームページ掲載内容	179
3 侵入調査事業	
（3 4 種類）	180

第3 その他

1 病虫害診断	192
2 気象概要	195
3 試験成績書	196

第 1 事業運営状況

1 関係機関の設置状況

2 病害虫発生予察員の設置状況

3 病害虫防除員の設置及び活動状況

4 病害虫発生予察事業の体系図

5 主な対象病害虫

6 発生予察調査地点

1 関係機関の設置状況

機 関 名	所 在 地	県予察 ほ 場	地区予察 ほ場
病虫害防除所 (農業研究センター生産環境研究所 予察指導室)	合志市栄 3801		○
農業研究センター生産環境研究所	合志市栄 3801	○	
農業研究センター果樹研究所	宇城市松橋町豊福 2566	○	
農業研究センター茶業研究所	上益城郡御船町滝尾 5450	○	
農業研究センターアグリシステム 総合研究所	八代市鏡町鏡村 363		○
農業研究センター高原農業研究所	阿蘇市一の宮町宮地 5896-2		○
農業研究センター球磨農業研究所	球磨郡あさぎり町上 2248-16		○
農業研究センター天草農業研究所	天草市本渡町本戸馬場 2315		○

2 病虫害発生予察員の設置状況

(1) 病虫害防除所勤務職員

(熊本県農業研究センター 生産環境研究所 予察指導室)

職 名	氏 名	勤務年月日	担 当
所 長	身次 幸二郎	R 3. 4. 1 ~	総括
副 所 長	江口 武志	R 4. 4. 1 ~	総括補佐
主任技師	福岡 美里	R 4. 4. 1 ~	野菜病虫害、花き病虫害
主任技師	清永 徹	R 4. 4. 1 ~	果樹病虫害、茶病虫害
技 師	守田 大樹	R 5. 4. 1 ~	普通作病虫害
技 師	岡島 大貴	R 3. 4. 1 ~	野菜病虫害

(2) 農業研究センター 生産環境研究所 病虫害研究室

職 名	氏 名	勤務年月日	担 当
室 長	杉浦 直幸	R 5. 4. 1 ~	総括 (普通作・野菜虫害)
研究主任	舩本 将明	R 2. 4. 1 ~	普通作・野菜病害
研 究 員	春山 靖成	R 4. 4. 1 ~	普通作・野菜虫害
研 究 員	吉永 英樹	R 2. 4. 1 ~	普通作・野菜虫害
研 究 員	久保 一真	R 5. 4. 1 ~	普通作・野菜病害

(3) 農業研究センター 果樹研究所 病虫化学研究室勤務職員

職 名	氏 名	勤務年月日	担 当
研究主任	中村 桂介	R 4 . 4 . 1 ~	果 樹 病 害
研 究 員	後藤 聖士郎	R 4 . 4 . 1 ~	果 樹 虫 害

(4) 農業研究センター茶業研究所勤務職員

職 名	氏 名	勤務年月日	担 当
研 究 員	永田 開人	R 3 . 4 . 1 ~	茶 病 害 虫

3 病害虫防除員の設置及び活動状況

(1) 設置状況

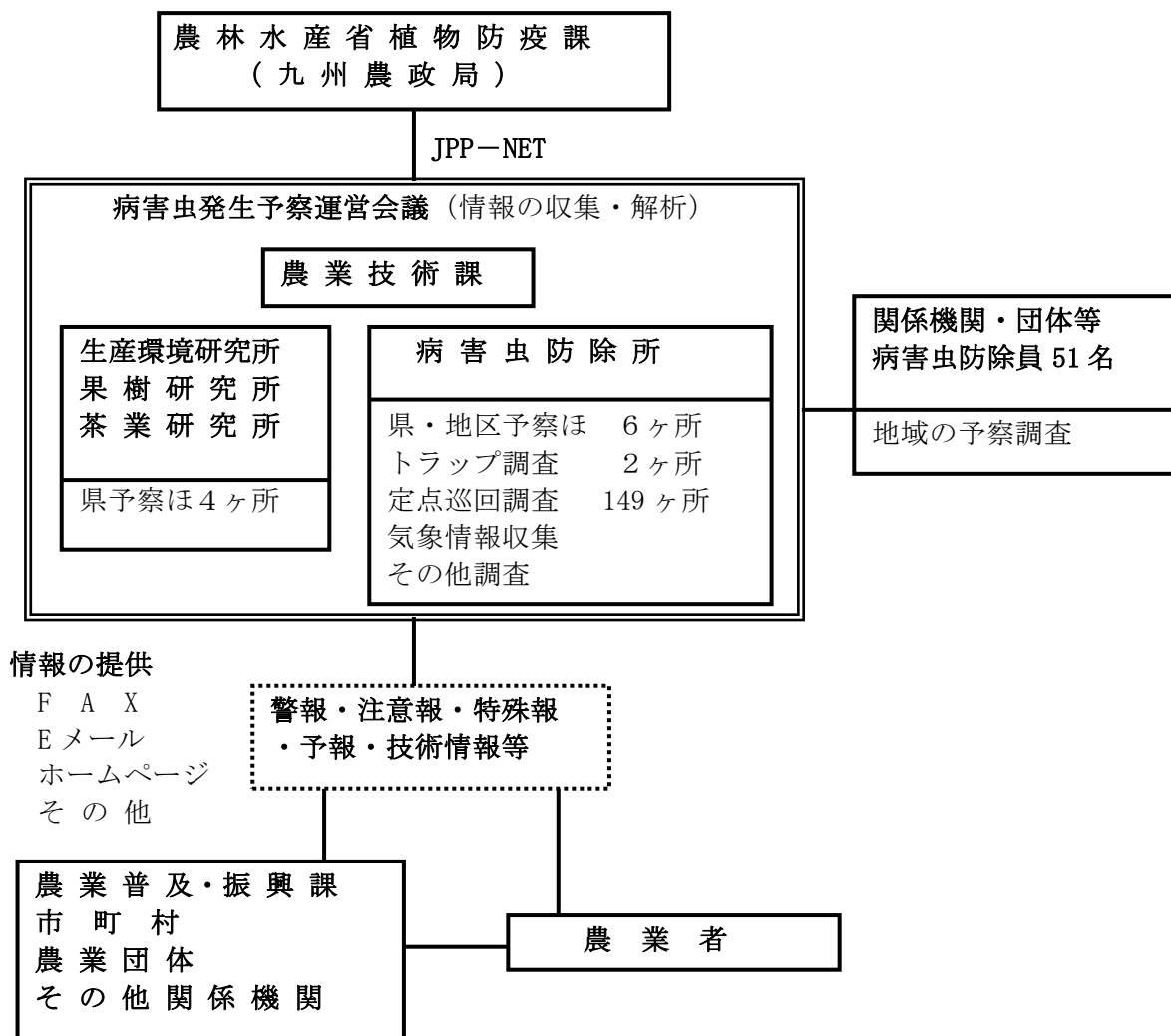
地 区 名	防除員数	作 物 別 内 訳 ※				
		普 通 作	果 樹	野 菜	花 き	特 産
熊 本	6	2	1	4	0	0
宇 城	2	1	0	1	0	1
玉 名	5	1	2	2	0	0
鹿 本	4	1	0	1	1	1
菊 池	4	1	1	2	0	0
阿 蘇	6	2	0	4	0	0
上 益 城	4	2	0	2	0	1
八 代	7	2	1	4	0	3
芦 北	3	1	2	0	0	0
球 磨	4	1	1	1	0	1
天 草	6	2	2	2	0	0
計	5 1	1 6	1 0	2 3	1	7

※兼任者がいるため、内訳の合計は防除員数の合計とは一致しない

(2) 活動状況

	No.	病害虫発生状況調査		防除指導		農業安全使用指導		講習会・協議会		関係機関との打ち合わせ		その他		計	
		回	時間	回	時間	回	時間	回	時間	回	時間	回	時間	回	時間
熊本	1	8	22	1	1	1	1	1	1	5	13	0	0	16	36
	2	11	15	10	17	1	1	0	0	2	3	0	0	24	36
	3	10	11	9	9	0	0	3	4	10	12	0	0	32	36
	4	8	10	21	24	0	0	1	2	0	0	0	0	30	36
	5	27	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	36
	6	6	7	12	18	10	12	0	0	0	0	0	0	28	36
宇城	7	12	14	12	12	9	9	0	0	1	1	0	0	34	36
	8	10	13	13	13	9	9	1	1	0	0	0	0	33	36
玉名	9	7	15	7	7	0	0	8	9	5	5	0	0	27	36
	10	8	9	9	10	3	4	3	5	4	7	1	2	28	36
	11	12	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	36
	12	8	13	5	8	1	1	7	13	1	1	0	0	22	36
	13	11	13	11	12	0	0	5	5	6	6	0	0	33	36
鹿本	14	14	17	11	11	0	0	2	2	4	6	0	0	31	36
	15	7	11	20	23	1	1	1	1	1	1	2	1	32	36
	16	8	8	8	8	0	0	0	0	18	20	0	0	34	36
	17	10	25	3	3	0	0	5	5	3	3	0	0	21	36
菊池	18	7	16	1	3	0	0	9	10	6	8	0	0	23	36
	19	11	24	5	4	0	0	0	0	5	6	0	0	21	33
	20	8	21	3	3	0	0	1	3	1	3	2	6	15	36
	21	4	10	18	23	2	2	0	0	1	1	0	0	25	36
阿蘇	22	7	7	4	4	2	3	2	2	15	20	1	1	31	36
	23	10	17	7	8	6	6	0	0	1	3	0	0	24	33
	24	8	24	0	0	1	3	0	0	0	0	2	6	11	33
	25	8	24	0	0	0	0	1	3	2	6	0	0	11	33
	26	12	36	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	13	36
	27	8	13	7	7	5	5	0	0	6	10	1	1	27	36
上益城	28	9	12	8	11	1	1	1	1	4	11	0	0	23	36
	29	12	28	5	3	1	1	0	0	1	1	2	2	21	35
	30	8	10	8	11	5	5	3	7	2	3	0	0	26	36
	31	10	15	11	13	3	4	0	0	1	1	0	0	25	33
八代	32	12	15	9	8	4	3	3	3	7	7	0	0	35	36
	33	7	8	8	9	2	2	0	0	14	16	1	1	32	36
	34	5	8	11	16	0	0	0	0	8	12	0	0	24	36
	35	6	18	1	3	0	0	0	0	5	15	0	0	12	36
	36	5	10	5	7	2	4	1	1	5	13	1	1	19	36
	37	10	18	7	9	4	4	2	2	3	3	0	0	26	36
	38	7	14	6	6	0	0	9	9	4	4	1	3	27	36
	39	7	8	3	3	3	3	7	9	10	12	1	1	31	35
芦北	40	10	15	8	9	0	0	5	7	3	3	2	2	28	36
	41	6	10	9	9	0	0	2	3	5	5	9	9	31	36
球磨	42	4	5	5	5	1	1	12	12	9	10	1	3	32	36
	43	8	18	1	1	0	0	1	1	9	15	1	2	20	36
	44	6	18	6	18	0	0	0	0	0	0	0	0	12	36
	45	9	25	0	0	0	0	7	7	4	4	0	0	20	36
天草	46	0	0	5	9	2	2	3	3	17	22	0	0	27	36
	47	10	14	8	8	0	0	5	6	6	8	0	0	29	36
	48	8	11	6	6	2	2	0	0	9	15	2	2	27	36
	49	10	21	1	1	0	0	10	12	2	2	0	0	23	36
	50	6	8	7	13	2	4	3	4	2	5	1	3	21	36
	51	2	4	13	16	3	5	3	8	3	3	0	0	24	36
	合計	437	778	348	420	86	95	127	159	231	323	31	45	1,260	1,819
	平均/人	8.4	15.0	6.7	8.1	1.7	1.8	2.4	3.1	4.4	6.2	0.6	0.9	24.2	35.0

4 病虫害発生予察事業の体系図



5 主な対象病害虫

作物名	国指定/ 指定外	有害動植物名
水 稲	国指定	イネドロオイムシ、イネミズゾウムシ、コブノメイガ、セジロウンカ、ツマグロヨコバイ、トビイロウンカ、斑点米カメムシ類、ヒメトビウンカ、いもち病、縞葉枯病、白葉枯病、ばか苗病、紋枯病
麦	国指定	赤かび病、うどんこ病、さび病類
大豆	国指定	吸実性カメムシ類、ハスモンヨトウ、フタスジヒメハムシ、マメシンクイガ、紫斑病
ばれいしょ	国指定	アブラムシ類、疫病
いぐさ	指定外	イグサシンムシガ
かんきつ	国指定	アザミウマ類、アブラムシ類、ハダニ類、果樹カメムシ類、かいよう病、黒点病、そうか病
	指定外	カイガラムシ類、灰色かび病
なし	国指定	アブラムシ類、カイガラムシ類、シンクイムシ類、ハダニ類、ハマキムシ類、果樹カメムシ類、赤星病、黒星病、黒斑病
かき	国指定	アザミウマ類、カイガラムシ類、カキノヘタムシガ、果樹カメムシ類、炭疽病
茶	国指定	アザミウマ類、カイガラムシ類、チャノホソガ、チャノミドリヒメヨコバイ、ハダニ類、ハマキムシ類、炭疽病
	指定外	ツマグロアオカスミカメ
トマト	国指定	アザミウマ類、アブラムシ類、コナジラミ類、ハスモンヨトウ、オオタバコガ、うどんこ病、疫病、黄化葉巻病、すすかび病、灰色かび病、葉かび病
なす	国指定	アザミウマ類、アブラムシ類、ハダニ類、ハスモンヨトウ、オオタバコガ、うどんこ病、すすかび病、灰色かび病
	指定外	コナジラミ類
ピーマン	国指定	アブラムシ類、うどんこ病
きゅうり	国指定	アザミウマ類、アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ類、うどんこ病、褐斑病、炭疽病、灰色かび病、斑点細菌病、べと病
	指定外	黄化えそ病、退緑黄化病
すいか	国指定	アブラムシ類
	指定外	アザミウマ類、コナジラミ類、つる枯病、菌核病、退緑えそ病
メロン	指定外	コナジラミ類、退緑黄化病
キャベツ	国指定	アブラムシ類、モンシロチョウ、コナガ、オオタバコガ、菌核病、黒腐病

作物名	国指定/ 指定外	有害動植物名
レタス	国指定	アブラムシ類、ハスモンヨトウ、オオタバコガ、菌核病、灰色かび病
いちご	国指定	アザミウマ類、アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ類、ハスモンヨトウ、うどんこ病、炭疽病、灰色かび病
アスパラガス	国指定	アザミウマ類、ハスモンヨトウ
ほうれんそう	国指定	アブラムシ類
だいこん	国指定	アブラムシ類、コナガ
はくさい	国指定	アブラムシ類、コナガ
かんしょ	国指定	ナガシロシタバ
さといも	国指定	アブラムシ類、ハスモンヨトウ
きく	国指定	アザミウマ類、アブラムシ類、ハダニ類、ハスモンヨトウ、オオタバコガ
作物共通	指 定	シロイチモジヨトウ、ヨトウガ

6 発生予察調査地点

(1) 県予察ほ場、地区予察ほ場、トラップ調査

ほ場名	箇所数	普通作物	果樹	茶	野菜・花
県予察ほ場	4	1 生産環境研	1 果樹研	1 茶研	1 生産環境研
地区予察ほ場	6	〈イグサ〉 1 アグリ総研	2 天草農研 球磨農研	1 防除所	2 アグリ総研 高原農研
トラップ調査	2	〈イグサ〉 1 八代市千丁町			1 山都町鶴ヶ田

(2) 巡回調査地点

地域名	普通作物			果樹・茶			野菜						計
	水稻	麦	大豆	かん きつ	なし	茶	トマ ト	なす	きゅ うり	レタ ス	いち ご	アス パラ ガス	
熊 本	6	2	4	4				5	3				24
宇 城				8					3				11
玉 名	2	2	2	4	2		3				3		18
鹿 本	2	2											4
菊 池	4	6	2			4							16
阿 蘇	4		2				3					3	12
上益城	4	2	2				3						11
八 代	2	2			2		4			3	3		16
芦 北	2			6									8
球 磨	4	2	2		2	4							14
天 草	6									3			9
計	36	18	14	22	6	8	13	5	6	6	6	3	143

第2 事業等内容

1 病害虫の発生及び防除状況

(1) 発生経過、発生原因及び防除の概要

(2) 農作物有害動植物の発生面積及び防除面積

(3) 普通作病害虫発生予察事業（大豆・イグサを含む）

(4) 果樹等病害虫発生予察事業（茶を含む）

(5) 野菜・花き病害虫発生予察事業

2 発生予察情報の提供

(1) 警報、注意報、特殊報、技術情報

(2) 発生予報

4月 5月 6月 7月 8月 9月

10月 11月 12月 1月 2月 3月

(3) ホームページ掲載内容

3 侵入調査事業

1 病害虫の発生及び防除の実施状況

(1) 発生経過、発生原因及び防除の概要

農作物名	有害動植物名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
早期 水稻	葉いもち	平年：並 前年：並	平年：並 前年：少	早期では平年比やや少の発生であった。早植えでは山間地の一部ほ場で8月中旬頃から発生が多かったが、全体的には平年並の発生であった。	早期では昨年度に葉いもちが多発したことから、箱施用剤等の対策を行う生産者が多かったと推測される。早植えでは7～9月は気温が高く推移したことで、感染好適条件日が平年より少なく、いもち病の感染には比較的不適な気候であったが、気温の低い山間部のほ場では好適条件を満たしていた可能性がある。	箱施用剤 本田防除
	穂いもち	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	早期では平年比やや多の発生であったが、多くが靱いもちであり、発病程度は低かった。早植えでは山間部の一部ほ場で発生が多かったが、全体的には平年並の発生であった。	出穂期または穂揃い期の防除が徹底された。	本田防除
	紋枯病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	早期は7月、早植えは8月頃から発生を確認し、平年比やや少の発生であった。	本田防除の徹底により抑えられた。	箱施用剤 本田防除
	白葉枯病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	作付期間を通じて、目立った発生は認められなかった。		箱施用剤 本田防除
	セジロウンカ	平年：並 前年：やや遅	平年：やや少 前年：並	6月から発生ほ場が確認された。作付期間を通じて、平年比やや少の発生であった。	予察灯調査では、6月から7月末までの累計誘殺数は637頭（平年401頭）と平年比多であった。早植え水稻では、気温が高く推移したことで増殖に好適な条件が続いたが、箱施用剤の残効期間内である7月第1～2半旬に集中しており、箱施用剤を適切に使用したほ場での発生は少なかったと考えられる。	箱施用剤 本田防除（7月上旬～8月下旬の間に1回～2回）
	トビイロウンカ	平年：やや遅 前年：並	平年：やや少 前年：並	7月から発生ほ場が確認された。作付期間を通じて、平年比やや少の発生であった。	予察灯調査では7月2日に初飛来を確認した。6月から7月末までの累計誘殺数は37頭（平年109頭）と平年比少であった。	箱施用剤 本田防除（7月上旬～8月下旬の間に1回～2回、9月に1回）
	ヒメトビウンカ	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	5月から発生ほ場が確認された。作付期間を通じて、平年比やや少の発生であった。	麦や雑草地で越冬し、水田に移動するが箱施用剤による防除が徹底している。	箱施用剤 セジロウンカ、トビイロウンカとの同時防除。
	ツマグロヨコバイ	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	作付期間を通じて、平年比やや少の発生であった。	雑草地で越冬し、水田に移動するが、箱施用剤による防除が徹底している。	セジロウンカ、トビイロウンカとの同時防除。
	斑点米カメムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	作付期間を通じて、平年並の発生であった。		早期水稻では出穂期と穂揃い期、他の作期では穂揃い期に防除が行われた。

農作物名	有害動植物名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
早期 水稻	コブノメイガ	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	早期・早植えの巡回調査では平年比やや少の発生であったが、調査ほ場を増やした特別調査（早植えのみ）では平年比多の発生であった。発生にバラつきが見られたが、全体的には平年比やや多の発生であった。	飛来量は平年より少なかったが、気温が高く増殖に好適な環境であった。また、箱施用剤（コロントラニプロール）の効果が低下している可能性がある。	箱施薬剤および本田防除。
	イネミズゾウムシ	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：並	早植えの一部地域で多発し、平年比やや多の発生であった。	山林や畦畔などでの越冬虫が多かった。	箱施用剤
普通 期水 稻	葉いもち	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：多	8月から全体の半数程度のほ場で発生を確認。一部のほ場で多発したことで、平年比やや多の発生であった。		箱施用剤 本田防除
	穂いもち	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	作付期間を通じて、平年比やや多の発生であった。	7～9月は気温が高く推移したことで、感染好適条件日が平年より少なく、いもち病の感染には比較的不適な気候であった。出穂期前後にも好適条件の発生は認められなかったが、準好適条件は発生しており、気温の低い山間部等のほ場では好適条件を満たしていた可能性がある。	出穂期または穂揃い期に混合剤で他の病害虫（ウンカ、カメムシ等）と同時に防除されている。
	紋枯病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：並	8月から発生を確認。一部のほ場で多発したことで、平年比やや多の発生であった。	気温が高く推移したことで、感染が拡大した。	7月下旬～9月上旬に混合剤による防除が行われた。また、箱施用剤に紋枯病剤を含んだ混合剤の使用。
	白葉枯病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	作付期間を通じて、目立った発生は認められなかった。		箱施用剤
	ばか苗病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	作付期間を通じて、目立った発生は認められなかった。		種子消毒の実施
	縞葉枯病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	作付期間を通じて、目立った発生は認められなかった。		ヒメトビウンカに対して効果のある箱施用剤の使用。
	セジロウンカ	平年：並 前年：並	平年：少 前年：やや少	7月から発生ほ場が確認された。7月には一部のほ場で多く発生したが、作付期間を通じて、平年比少の発生であった。	予察灯調査では、6月から7月末までの累計誘殺数は637頭（平年401頭）と平年比多であった。気温が高く推移したことで増殖に好適な条件が続いたが、飛来は普通期の移植直後である7月第1～2半旬に集中しており、箱施用剤の残効期間内であったことから、箱施用剤を適切に使用したほ場での発生は少なかったと考えられる。	箱施用剤 本田防除（7月下旬～8月中旬の間に1～3回）

農作物名	有害動植物名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
普通 期水 稲	トビイロウンカ	平年：並 前年：並	平年：少 前年：やや少	7月から発生ほ場が確認された。9月下旬頃から箱施用剤が未処理もしくは分量が規定より少なかったほ場を中心に、一部で坪枯れが発生したが、全体的には平年比少の発生であった	予察灯調査では7月2日に初飛来を確認した。6月から7月末までの累計誘殺数は37頭（平年109頭）と平年比少であった。気温が高く推移したことで増殖に好適な条件が続いたが、飛来は普通期の移植直後である7月第1半旬に集中しており、箱施用剤の残効期間内であったことから、箱施用剤を適切に使用したほ場での発生は少なかったと考えられる。各地域の坪枯れ被害についても、一帯が面的に枯れている地域は一部であり、ほ場ごとの管理によるものが大きいと推測される。	箱施用剤 本田防除（7月下旬～9月下旬の間に1回～3回）
	ヒメトビウンカ	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	作付期間を通じて、平年比やや少の発生であった。	トビイロウンカを対象とした本田防除が行われたため、本種の増殖が抑えられたと考えられる。	箱施用剤
	ツマグロヨコバイ	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	作付期間を通じて、平年比やや少の発生であった。	トビイロウンカを対象とした本田防除が行われたため、本種の増殖が抑えられたと考えられる。	セジロウンカ、トビイロウンカとの同時防除
	斑点米カメムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	作付期間を通じて、平年並の発生であった。		穂揃い期の防除。
	コブノメイガ	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：並	作付期間を通じて、平年比やや多の発生であった。	飛来量は平年より少なかったが、気温が高く増殖に好適な環境であった。また、箱施用剤（クロラントニリフ・ロール）の効果が低下している可能性がある。	箱施薬剤および本田防除。
	イネミズゾウムシ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	作付期間を通じて、目立った発生は認められなかった。		箱施用剤
麦	さび病類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	作付期間を通じて、目立った発生は認められなかった。		
	うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	作付期間を通じて、目立った発生は認められなかった。		
	赤かび病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	5月から発生が見られ、発生ほ場率は平年よりやや高かったが、発病穂率や発病度は平年並であった。	感染時期（開花～乳熟期）にあたる4月上旬から5月上旬にかけて、赤かび病の感染好適日が少なかった。	小麦は、開花最盛期とその7～10日後、大麦は、穂揃い期10日後とその7日後の防除を実施。
大豆	ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	8月から被害が認められたが、作付期間を通じた発生量は平年並であった。		8月中旬から若齢幼虫を中心に2～3回程度の防除を実施。
	吸実性カメムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	8月から発生が認められたが、作付期間を通じた発生量は平年並であった。		子実肥大期を中心に防除を実施。

農作物名	有害動植物名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
カンキツ	そうか病	(春葉) 平年:早 前年:早 (果実) 平年:早 前年:やや早	平年:並 前年:並	巡回調査では春葉、果実ともに平年並の発生であった。 宇城市(果樹研究所)における無防除区「興津早生」の春葉の初発日は、4月7日(平年4月17日)と平年より早く、果実は5月8日(平年5月15日)と平年よりやや早かった。	連続的な降雨が少なく、乾燥した状況になることも多かったため、発生量は平年並となったと考えられる。	伝染源となる発病した葉や枝のせん除と幼芽期のジチアノン剤による防除。開花期は、灰色かび病との同時防除。落弁期は、黒点病と灰色かび病との同時防除。
	黒点病	平年:やや遅 前年:やや遅	平年:並 前年:並	巡回調査では、調査期間を通して平年並の発生であった。 また、宇城市の無防除区「興津早生」では、果実の初発確認日が6月12日(平年6月4日)で発生時期は平年より遅かった。	梅雨入りは平年より12日早い5月29日だったが、6月の降水量が平年比60%程度と少なかったため、発生時期が遅くなり、発生量も平年並にとどまったと考えられる。	伝染源となる枯れ枝剪除および摘果による発病果の除去。 薬剤による防除は、落弁期以降、降雨日数や累積降水量に基づき、マンゼブ水和剤、Qol剤等が散布されている。
	かいよう病	(春葉) 平年:並 前年:並 (果実) 平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	巡回調査では一部の常発園での発生が多く、5月～9月にかけて平年比やや多の発生であった。 宇城市(果樹研究所)無防除区「川野なつだいたい」では、春葉の初発は5月8日(平年5月7日)で、果実は6月12日(平年6月12日)と平年並であった。	調査の中で発生が多かった園は、昨年から多発傾向にある園であり、感染源が多いことから発生量も多くなったと考えられる。	伝染源となる発病葉、枝のせん除と、発芽直前、花弁落下直後、梅雨時期、および台風襲来直前の無機銅剤による防除。
	ミカンハダニ	平年:やや早 前年:やや早	平年:やや多 前年:やや多	巡回調査では、春から夏にかけて発生のピークが1ヶ月早い5月に見られた、その後8月までは平年より少なく推移したが、9月以降は寄生率率が平年より高く推移した。	冬季は降水量が少なく推移したため、越冬したダニが多かったと考えられる。 4月～5月は降雨が多く、発生が抑制されたが、7月中旬頃から少雨傾向が続く、発生が増加したと考えられる。	①冬期～春先のマシン油乳剤散布による初期密度の抑制。 ②5～6月のマシン油乳剤散布による夏ダニの発生予防。 ③8月下旬～9月上旬の密度が低い時期のダニ剤散布による初期防除。
	チャノキイロアザミウマ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して概ね平年並の発生であった。		有効積算温度による各世代の羽化最盛期予測に基づいた薬剤防除(5月上旬～10月上旬)。
	アブラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		新梢伸長期にネオニコチノイド系薬剤やカーバメート系薬剤で防除が行われた。
ナシ	黒星病	平年:早 前年:やや早	平年:やや多 前年:やや多	5月から発生の報告があり、期間を通して平年比やや多の発生であった。 宇城市(果樹研究所)における幸水での初発日は4月7日(平年4月24日)と平年より早かった。	昨年の秋季の発生量は平年並であり、越冬した感染源があまり多くなかったと考えられるが、4月と5月には短期的に集中した降雨が多かったため、感染が広がったと考えられる。	罹病芽鱗片の除去と落葉の処分。 発病した葉・果実の園外処分。 開花初期のイプフルフェノキシ散布および梅雨期のDMI剤等の散布。
	赤星病	平年:早 前年:早	平年:並 前年:並	調査期間を通して概ね平年並であった。 宇城市(果樹研究所)における幸水での初発日は4月3日(平年4月18日)と平年より早かった。		黒星病との同時防除。

農作物名	有害動植物名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
ナシ	ナシヒメシンクイ	平年：やや早 前年：やや早	平年：並 前年：並	フェロモントラップ調査で3月中旬に一時的に急激な増加がみられ、7月～8月の誘殺数も平年より多かった。 園地では、一部の地域で6月～8月にかけて発生が見られたが、全体的には平年並の発生であった。		フェロモン剤（交信攪乱剤）の使用。他害虫との同時防除。
	ハマキムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	調査期間を通して平年並の発生であった。		他害虫との同時防除。
	ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	調査期間を通して平年並の発生であった。		発生初期の薬剤防除。
	カイガラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	調査期間を通して平年並の発生であった。		①各種カイガラムシ幼虫の防除適期における薬剤散布 ②冬期の粗皮削りやマシン油散布
	アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや少	巡回調査では6月に多発した園が見られ、平年比やや多の発生であった。	6月の降雨が少なく、乾燥している状況があったため、発生を助長したと考えられる。	新梢発生期から展葉期（4月下旬～5月中旬）にかけて重点的に防除。
カキ	炭疽病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	一部の園地で発生が確認され、平年並の発生であった。		冬期の発病枝のせん除と園外処分。 発病した果実、徒長枝のせん除と園外処分。 開花期から果実肥大期の予防防除。特に5月中旬～梅雨時期、8月中旬～9月の秋雨時期を重点防除。
	カキノヘタムシガ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	調査期間を通して平年並の発生であった。		冬期の粗皮削りや第1世代幼虫（5月下旬～6月上旬）および第2世代幼虫期（7月下旬～8月中旬）の防除。
	カイガラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	調査期間を通して平年並の発生であった。		第1世代（6月中下旬）および第2世代（8月中下旬）の防除。 バンド誘殺や粗皮削り。
	チャノキイロアザミウマ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	調査期間を通して平年並の発生であった。		加害期の予防散布。 摘果時の被害果のせん除。
果樹共通	カメムシ類	（越冬世代） 平年：やや早 前年：並 （当年世代） 平年：並 前年：並	（越冬世代） 平年：やや少 前年：やや少 （当年世代） 平年：多 前年：やや多	チャバネアオカメムシの越冬量は平年並で、予察灯・フェロモントラップの7月までの誘殺数は平年比やや少であった。8月以降の当年世代の予察灯・フェロモントラップ誘殺数については、平年比多～やや多であった。ヒノキ球果に寄生する成幼虫数は平年比多であった。 果樹園への飛来については各地域で確認され、被害も発生した。	越冬量は平年並であったが、ヒノキ球果の着果量が多かったため、当年世代の発生量が多くなったと考えられる。また、口針鞘数の増加は平年より遅く推移したが、地域間差が大きく、ヒノキ樹上から離脱し、果樹園への飛来が確認された地域が多かった。	飛来が認められた園や地域での薬剤防除。

農作物名	有害動植物名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
チャ	炭疽病	平年：早 前年：早	平年：やや少 前年：やや少	巡回調査では、5月にやや多の発生であったが、6月以降は概ね平年並～少発生であった。	4月～5月の降雨が平年より多く、発生を助長したが、6月の降雨が平年より少なかったため、発生量が抑制されたと考えられる。	二番茶、三番茶の生育初期の防除。 秋芽生育期の防除。 適宜せん枝の実施による感染源の除去。
	チャノコカクモンハマキ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	巡回調査では調査期間を通して概ね平年並の発生であった。フェロモントラップ調査では、初発は早かったが、その後は平年並に推移した。	3月～4月の気温が平年より高く推移したことから、初発が早まったが、5月以降は平年並となった。	一、二番茶摘採後及び秋芽生育期に防除を実施。 発蛾最盛日から7～10日後に防除実施。
	チャハマキ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	巡回調査では調査期間を通して概ね平年並の発生であった。フェロモントラップ調査では、初発は早かったが、その後は平年並に推移した。	3月～4月の気温が平年より高く推移したことから、初発が早まったが、5月以降は平年並となった。	チャノコカクモンハマキとの同時防除。
	チャノホソガ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	巡回調査では調査期間を通して概ね平年並の発生であった。フェロモントラップ調査では、平年より少なくな推移した。	3月～4月の気温が平年より高く推移したことから、初発が早まったが、5月以降は平年並となった。	二、三番茶期、秋芽生育期にチャノミドリメコバイ、チャノキアザミウマとの同時防除。
	チャノミドリメコバイ	平年：やや早 前年：並	平年：多 前年：並	巡回調査では5月～6月に複数の園で寄生頭数・被害葉数ともに平年比多の発生であった。各地域からの報告においても8月に発生量が多かった。	3月～4月の気温が平年より高く推移したことから発生が早く、6月の少雨が発生を助長したと考えられる。	チャノキアザミウマ、チャノホソガと同時防除。
	カンザワハダニ	平年：早 前年：並	平年：やや多 前年：並	巡回調査では4月～5月に平年より多い発生が見られ、6月以降は平年並に推移した。各地からの報告においても4月は平年比やや多であった。	越冬した個体数が多く、3月～4月の気温が平年より高く、乾燥した状況も多かったため、発生が助長されたと考えられる。	越冬ダニの産卵開始時期と一番茶摘採後、秋芽生育期に防除。
	チャノキアザミウマ	平年：やや早 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	調査期間を通して平年比やや少の発生であった。		チャノミドリメコバイ、チャノホソガと同時防除。
	ツマクワアオカスミカメ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	巡回調査では調査期間を通して平年並の発生であった。		萌芽期～1葉期の防除を実施。
	クワシカイガラムシ	平年：早 前年：やや早	平年：やや多 前年：並	巡回調査では、平年より早い時期から寄生株が確認され、ほ場によって発生量のばらつきはあるが平年比やや多の発生であった。	越冬量が多く、冬季の降水量が少なく推移したため、発生が助長されたと考えられる。	有効積算温度による防除適期の予測。各世代の幼虫ふ化最盛期における薬剤防除及び中切り、深刈り等耕種的防除を実施。

農作物名	有害動植物名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
冬春 トマト R4. 10 ～ R5. 4	アザミウマ類	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	栽培期間を通して発生は確認されなかった(当年からの新規調査であるため平年比、前年比なし)。		防虫ネット被覆、薬剤散布。
	アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		防虫ネット被覆、薬剤散布。
	コナジラミ類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	野外での発生は少なかった。ほ場における発生は、10月は平年よりやや少なかったが、11月以降は平年並かやや多く推移した。	栽培初期である10月には、防除の徹底等により発生が抑えられたと考えられる。11月以降は、気温が平年より高くハウス内が温暖になったためと考えられる。	防虫ネット被覆、薬剤散布。
	ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		防虫ネット被覆、薬剤散布。
	オオタバコガ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		防虫ネット被覆、薬剤散布。
	ハモグリバエ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。
	うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	12月は平年より発生が多かったが、その他は期間を通じて平年並の発生であった。	12月は降水量が平年より少なく、一部ほ場で多発した。その後は防除対策により平年並で推移したと考えられる。	薬剤散布。
	疫病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		発生初期の薬剤防除、被害株の抜き取り、ほ場の排水対策。
	黄化葉巻病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	10月は平年より少なく、その後は栽培期間を通して平年並の発生であった。	10月にはコナジラミの発生が少なく、栽培初期の感染リスクが低かったと考えられる。その後、コナジラミの発生は増加したものの、抵抗性品種の普及や感染株の抜き取り等の対策により、黄化葉巻病の発生は平年並となったと考えられる。	コナジラミ類の防除。
	すすかび病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。
	灰色かび病	平年：やや遅 前年：やや遅	平年：やや少 前年：やや少	3月までは平年比やや少で推移し、4月のみ平年比やや多の発生となった。	冬期の降水量が平年より少なく推移し、多湿条件が少なかったことで発生も少なくなったと考えられる。4月には降水量が平年より多くなりやや多の発生となった。	薬剤散布、通風換気、排水対策。
	葉かび病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	巡回調査では栽培期間を通して発生は確認されず平年比やや少の発生であった。	12～2月にかけて降水量が平年より少なかったため、発生も少なくなったと考えられる。 また、殺菌剤による初期防除が定着している。	発生初期の薬剤散布。

農作物名	有害動植物名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
夏秋 トマト R5. 6 ～. 9	アザミウマ類	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	栽培期間を通して発生は確認されなかった(当年からの新規調査であるため平年比、前年比なし)。		薬剤散布。
	アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。
	コナジラミ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	7月は平年より多い発生であったが、その他は期間を通して平年並の発生であった。	6月の降水量は平年より少なく気温が高かったため、増殖を助長したと考えられる。その後、防除対策により去年並で推移したと考えられる。	薬剤散布。
	うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	6月から8月は平年並の発生で推移したが、9月の発生は平年よりやや多かった。	8月以降の降水量が平年より少なく、乾燥により胞子拡散を助長したと考えられる。	薬剤散布。
	疫病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		発生初期の薬剤防除、被害株の抜き取り、ほ場の排水対策。
	すすかび病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。
	灰色かび病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：少	栽培期間を通して、平年比少の発生であった。	7月上旬に豪雨があったものの、その他は期間を通して降水量が少なく推移したため、発生が抑えられたと考えられる。	薬剤散布、通風換気、排水対策。
	葉かび病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	8月の発生は平年よりやや多かったものの、その他は栽培期間を通して平年並の発生であった。	期間を通して夜温が25℃前後と高く、好適条件になる機会が多かったこと、ことにより発生を助長したと考えられる。	発生初期の薬剤散布。
冬春 ナス R4. 10 ～ R5. 4	アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	10月に平年比やや多の発生となったが、その後は平年より少なく推移した。	9月から10月にかけて降水量が平年より少なく、発生を助長したと考えられる。その後は防除対策により発生が抑えられたと考えられる。	薬剤散布、天敵利用。
	アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。
	ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。
	ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。
	オオタバコガ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。
	うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。

農作物名	有害動植物名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
冬春ナス	すすかび病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	栽培期間を通して平年よりやや少なく推移した。	発生初期の対策により、ほ場内での拡大を平年より抑えられたと考えられる。	発生初期の薬剤散布。
	灰色かび病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	1月以降は平年より多く推移した。	厳寒期に、降雨や寒暖差によりハウス内が結露し、発生を助長したと考えられる。	薬剤散布、通風換気、排水対策。
冬春キュウリ R4.11～ R5.5	アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	栽培期間を通して平年よりやや少なく推移した。	12月以降の気温が平年より低く推移し、増殖が抑制されたと考えられる。	薬剤散布。
	アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	2月までは平年並で推移したが、3月以降は平年よりやや多く推移した。	12月以降の気温が平年より低く推移し増殖が抑制されたが、3月以降は気温の上昇により増殖したと考えられる。	薬剤散布。
	コナジラミ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	11月の発生量は平年並であったが、12月以降は平年よりやや少なく推移した。	12月以降の気温が平年より低く推移し、増殖が抑制されたと考えられる。	薬剤散布。
	ハダニ類	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	栽培期間を通して発生は確認されなかった(当年からの新規調査であるため平年比、前年比なし)。		薬剤散布。
	うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	栽培期間を通して平年よりやや少なく推移した。	冬期の降水量が平年より少なく推移し、多湿条件が少なかったことで、胞子形成が抑制されたと考えられる。	薬剤散布。
	褐斑病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して発生が確認されず、平年並であった。		抵抗性品種の利用、薬剤散布。
	炭疽病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	栽培期間を通して発生は確認されなかった(当年からの新規調査であるため平年比、前年比なし)。		薬剤散布。
	灰色かび病	平年：やや早 前年：やや早	平年：やや多 前年：やや多	栽培期間を通して平年よりやや多く推移した。	厳寒期に、降雨や寒暖差によりハウス内が結露し、発生を助長したと考えられる。	施設内換気。薬剤散布。
	斑点細菌病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して発生が確認されず、平年並であった。		薬剤散布。
	べと病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	12月、1月は平年よりやや多かったものの、その他は平年並で推移した。	12月、1月は一部ほ場で多発が見られた。降雨や寒暖差によりハウス内が結露したためと考えられる。	薬剤散布。
	黄化えそ病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して発生が確認されず、平年並であった。		アザミウマ類の防除。
	退緑黄化病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	1月は平年よりやや多かったが、その他は平年並かやや少なく推移した。	一部ほ場で11月にコナジラミの発生が多く、栽培初期にウイルスに感染しており発病したと考えられる。一方で、全体的にはコナジラミの発生は期間を通して少なかったため、発病株が少なかったと考えられる。	コナジラミ類の防除。

農作物名	有害動植物名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
冬レタス R5. 11 ～ R6. 1	灰色かび病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。
	菌核病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	11～12月は平年並であったが、1月は平年より多い発生となった。	12月以降、平均気温が平年より高く推移し、発生を助長したと考えられる。	薬剤散布。
	アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。
	ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	11月は平年より多い発生であったが、12～1月は平年並で推移した。	秋期の気温が平年より高く、成虫の発生期間が長期化したため、11月の発生が多くなったと考えられる。冬期は気温の低下とともに発生は平年並となった。	薬剤散布。
	オオタバコガ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して発生は確認されず、平年並であった。		薬剤散布。
冬春イチゴ R4. 10 ～ R5. 4	うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して発生は確認されず、平年並であった。		老化、被害葉の除去、 薬剤散布。
	灰色かび病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して発生は確認されず、平年並であった。		薬剤散布、通風換気、 排水対策。
	炭疽病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して発生は確認されず、平年並であった。	健全苗の選抜や発病株の早期持ち出しが徹底されたことで、発生が抑制されたと考えられる。	健全親株、無病苗確保。 高設雨よけ育苗、 薬剤散布。
	ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	栽培期間を通して平年並の発生であった。	12月以降の気温が平年より低く推移したことと、防除対策により、増殖が抑制されたと考えられる。	下葉の除去、薬剤散布、 天敵利用。
	アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	栽培期間を通して平年並からやや多く推移した。特に4月は平年比多の発生となった。	秋期の高温により栽培初期の11月の発生が多かったため、栽培終期までほ場内の発生が多いまま推移したと考えられる。また、ハダニ類に対する天敵を利用しているほ場では、アザミウマ類防除に使用できる薬剤が限定された可能性もある。	薬剤散布。
	アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	栽培期間を通して平年並からやや多く推移した。	秋期の高温により栽培初期の11月の発生が多かったため、栽培終期までほ場内の発生が多く推移したと考えられる。	薬剤散布。
	ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	10月は平年比やや多の発生、11月以降は概ね平年並の発生となった。	9月下旬から10月中旬にかけて、平均気温が高く日照時間が長くなったことから、発生が助長されたと考えられる。また、11月以降は気温の低下と防除対策により発生が落ち着いたと考えられる。	薬剤散布。

(2) 農作物有害動植物の発生面積及び防除面積

(※は同時防除)

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積 (ha)					防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	合計	実防除	延防除
水稻 (早期・早植え)	6,498	葉いもち			50	300	350	6,400	6,400
		穂いもち			30	260	290	6,400	6,400
		紋枯病				600	600	3,500	3,500
		白葉枯病				50	50	2,500	2,500
		セジロウンカ				1,300	1,300	※6,400	※18,000
		トビイロウンカ			100	1,900	2,000	6,400	18,000
		ヒメトビウンカ				2,500	2,500	※6,400	※18,000
		ツマグロヨコバイ				1,000	1,000	※6,400	※18,000
		斑点米カメムシ類				300	300	※6,400	※18,000
		コブノメイガ			800	1,000	1,800	1,000	1,000
		イネミズゾウムシ			200	1,800	2,000	2,000	2,000
水稻 (普通期)	24,344	葉いもち			50	3,000	3,050	24,000	24,000
		穂いもち			50	3,000	3,050	24,000	24,000
		紋枯病			500	9,000	9,500	24,000	24,000
		白葉枯病				200	200	1,000	1,000
		ばか苗病				100	100	※24,000	※24,000
		縞葉枯病				100	100		
		セジロウンカ				3,000	3,000	※24,000	※70,000
		トビイロウンカ			50	1,500	1,550	24,000	70,000
		ヒメトビウンカ				3,000	3,000	※24,000	※70,000
		ツマグロヨコバイ				3,000	3,000	※24,000	※70,000
		斑点米カメムシ類			400	2,000	2,400	※24,000	※70,000
		コブノメイガ			3,000	12,000	15,000	15,000	18,000
		イネミズゾウムシ				1,000	1,000	1,000	1,000
麦	7,930	さび病類				400	400		
		うどんこ病				400	400		
		赤かび病				800	800	7,900	9,000
大豆	2,660	紫斑病					-		
		ハスモンヨトウ				1,800	1,800	2,600	2,600
		マメシンクイガ					-		
		吸実性カメムシ類				800	800	800	800
		フタスジヒメハムシ					-		
かんきつ	5,161	そうか病				300	300	3,000	9,000
		黒点病			200	1,000	1,200	5,000	15,000
		かいよう病			150	600	750	2,000	6,000
		ミカンハダニ	5	20	100	1,200	1,325	5,000	15,000
		チャノキイロアザミウマ			100	800	900	5,000	20,000
		アブラムシ類				300	300	1,000	1,000

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積 (ha)					防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	合計	実防除	延防除
なし	357	黒斑病					-		
		黒星病			50	100	150	350	2,100
		赤星病				50	50	※350	※1,050
		ナシヒメシンクイ				300	300	350	1,050
		ハマキムシ類				50	50	※350	※1,050
		ハダニ類			10	100	110	350	1,050
		カイガラムシ類				50	50	50	100
		アブラムシ類			10	100	110	350	700
かき	350	炭そ病			10	50	60	350	700
		カキノヘタムシガ			20	50	70	350	700
		カイガラムシ類			20	80	100	200	400
		チャノキイロアザミウマ			20	50	70	350	700
果樹共通	5,868	カメムシ類	10	50	300	2,000	2,360	5,000	12,500
茶	1,130	炭そ病				300	300	800	2,400
		チャノコカクモンハマキ		10	40	250	300	1,000	3,000
		チャハマキ			30	200	230	※1,000	※3,000
		チャノホソガ		10	50	150	210	1,000	1,000
		チャノミドリヒメヨコバイ	10	80	150	500	740	※1,000	※3,000
		カンザワハダニ		20	80	400	500	1,000	3,000
		チャノキイロアザミウマ			50	200	250	※1,000	※3,000
		ツマグロアオカスミカメ		10	40	300	350	500	500
		クワシロカイガラムシ		20	100	600	720	1,000	2,000
夏秋 トマト R5.6～9	411	疫病				20	20	411	2,055
		灰色かび病		1	10	200	211	411	2,055
		葉かび病		5	20	250	275	411	2,055
		うどんこ病		1	5	150	156	411	2,055
		すすかび病	1	5	100	240	346	411	2,055
		アザミウマ類				20	20	411	2,055
		オオタバコガ				20	20	411	2,055
		コナジラミ類		2	80	280	362	411	2,055
		アブラムシ類				20	20	411	2,055
		ハスモンヨトウ				40	40	411	2,055
冬春 トマト R4.10～ R5.4	860	疫病				40	40	860	5,160
		灰色かび病				250	250	850	5,160
		葉かび病				40	40	860	6,880
		うどんこ病				100	100	860	6,880
		すすかび病				40	40	860	6,880
		黄化葉巻病				400	400	860	17,200
		アザミウマ類				40	40	860	7,740

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積 (ha)					防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	合計	実防除	延防除
冬春 トマト R4.10～ R5.4	860	オオタバコガ				40	40	860	3,440
		コナジラミ類				350	350	860	17,200
		ハモグリバエ類				40	40	860	3,440
		アブラムシ類				40	40	860	7,740
		ハスモンヨトウ				40	40	860	3,440
冬春なす R4.10～ R5.4	170	うどんこ病				35	35	170	1,360
		灰色かび病		5	15	60	80	170	1,360
		すすかび病			20	55	75	170	1,360
		アザミウマ類		1	5	30	36	170	1,360
		コナジラミ類		5	10	130	145	170	1,360
		オオタバコガ				10	10	170	1,360
		アブラムシ類				15	15	170	1,360
		ハダニ類				15	15	170	1,360
		ハスモンヨトウ				10	10	170	1,360
冬春 きゅうり R4.11～ R5.5	79	べと病	1	5	9	25	40	79	948
		炭そ病				1	1	79	948
		うどんこ病			3	20	23	79	948
		斑点細菌病				1	1	79	948
		灰色かび病	2	8	10	20	40	79	948
		褐斑病				2	2	79	948
		黄化えそ病				8	8		
		退緑黄化病		3	8	35	46		
		アザミウマ類			1	6	7	79	948
		ハダニ類				1	1	79	948
		アブラムシ類				3	3	79	948
		コナジラミ類				15	15	79	948
冬レタス	511	灰色かび病				70	70	511	1,533
		菌核病			100	200	300	511	1,533
		アブラムシ類				230	230	511	1,533
		ハスモンヨトウ			51	100	151	511	1,533
		オオタバコガ				51	51	511	1,533
いちご R4.10～ R5.4	298	灰色かび病				15	15	298	2,086
		うどんこ病				15	15	298	2,086
		炭そ病				15	15	298	2,086
		アブラムシ類		15	60	90	165	298	2,086
		アザミウマ類	5	45	75	120	245	298	2,086
		コナジラミ類				15	15	298	2,086
		ハダニ類	5	45	60	90	200	298	2,086
		ハスモンヨトウ			5	30	35	298	2,086

(3) 普通作病虫害発生予察事業（大豆・イグサを含む）

ア 病虫害防除所における調査

(ア) 巡回調査

作物名「水稻 早期・早植」

調査月	対象病虫害	葉いもち		穂いもち		紋枯病		縞葉枯病	白葉枯病	ばか苗病
	調査項目	発病株率	発病度	発病穂率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病株率	発病株率
4	本年値	0.00	0.00	—	—	—	—	—	—	—
	平年値	0.15	0.04	—	—	—	—	—	—	—
5	本年値	0.00	0.00	—	—	—	—	0.00	—	0.00
	平年値	0.60	0.15	—	—	—	—	0.00	—	0.00
6	本年値	0.00	0.00	—	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
	平年値	2.65	0.74	—	—	0.05	—	0.04	0.00	0.00
7	本年値	4.00	1.00	0.23	0.06	0.25	0.06	0.00	0.00	0.00
	平年値	13.48	3.66	0.05	0.01	0.52	0.14	0.03	0.00	0.00
8	本年値	18.80	4.70	0.20	0.05	1.40	0.50	0.00	0.00	—
	平年値	18.56	4.71	0.24	0.10	2.25	0.67	0.04	0.00	—

調査月	対象病虫害	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	コブノメイガ	斑点米カメムシ類	イネミズゾウムシ	
	調査項目	頭／株	頭／株	頭／株	頭／株	葉巻数／株	頭／25株	被害度	頭／25株
4	本年値	—	—	—	—	—	—	0.00	0.00
	平年値	—	—	—	—	—	—	0.11	0.16
5	本年値	0.01	0.02	0.00	0.00	0.00	—	24.17	2.67
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—	8.77	1.14
6	本年値	0.32	0.38	0.08	0.00	0.00	—	7.88	1.38
	平年値	0.09	0.23	0.13	0.00	0.00	—	5.63	0.42
7	本年値	0.43	0.25	0.14	0.03	0.01	0.06	—	—
	平年値	0.63	0.61	0.98	0.14	0.23	0.11	—	—
8	本年値	0.22	0.41	0.16	0.26	0.04	0.90	—	—
	平年値	0.73	0.43	0.42	9.28	0.13	0.15	—	—

調査月	対象病虫害	イネドロオイムシ (早植えのみ)		
	調査項目	被害度	卵塊数／25株	頭／25株
4	本年値	—	—	—
	平年値	—	—	—
5	本年値	—	—	—
	平年値	—	—	—
6	本年値	0.50	0.00	0.00
	平年値	—	—	—
7	本年値	—	—	—
	平年値	—	—	—
8	本年値	—	—	—
	平年値	—	—	—

作物名「水稻 普通期」

調査月	対象 病害虫	葉いもち		穂いもち		紋枯病		縞葉 枯病	白葉枯 病	ばか苗 病
	調査項目	発病株率	発病度	発病穂率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病株率	発病株率
6	本年値	0.00	0.00	—	—	—	—	—	—	—
	平年値	0.05	0.01	—	—	—	—	—	—	—
7	本年値	0.20	0.05	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.26	0.07	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
8	本年値	3.00	0.75	—	—	1.00	0.25	0.00	0.00	0.00
	平年値	4.27	1.09	—	—	0.86	0.22	0.06	0.00	0.00
9	本年値	5.20	1.30	0.37	0.14	4.80	1.73	0.20	0.00	—
	平年値	4.10	1.03	0.22	0.10	3.07	1.02	0.08	0.00	—

調査月	対象 病害虫	ツマグロ ヨコバイ	ヒメトビ ウンカ	セジロ ウンカ	トビイロ ウンカ	コブノ メイガ	斑点米カ メムシ類	イネミズゾウムシ	
	調査項目	頭／株	頭／株	頭／株	頭／株	葉巻数 ／株	頭／25株	被害度	頭／25株
6	本年値	—	—	—	—	—	—	0.00	0.00
	平年値	—	—	—	—	—	—	0.08	0.00
7	本年値	0.06	0.05	0.14	0.01	0.07	—	—	—
	平年値	0.05	0.09	0.18	0.01	0.01	—	—	—
8	本年値	0.14	0.17	0.04	0.00	0.13	0.00	—	—
	平年値	0.44	1.06	0.54	0.21	0.13	0.02	—	—
9	本年値	0.37	0.36	0.01	0.11	0.31	0.10	—	—
	平年値	0.54	1.02	0.16	3.59	0.22	0.07	—	—

作物名「麦類」

調査月	対象 病害虫	赤かび病		うどんこ病		さび病類	
	調査項目	発病穂率	発病度	発病莖率	発病度	発病莖率	発病度
5	本年値	1.17	0.21	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.84	0.17	0.05	0.01	0.27	0.04

作物名「大豆」

調査月	対象 病害虫	紫斑病		フタスジ ヒメハム シ	マメシン クイガ	吸実性カ メムシ類	ヨトウムシ類			ハスモン ヨトウ
	調査項目	発病株 率	発病度	頭／10株	食害莖率	頭／10株	食害株 率	食害度	頭／10 株	白変葉株 率
8	本年値	0.00	0.00	0.06	—	0.06	25.43	7.14	2.80	1.86
	平年値	—	—	—	—	0.15	22.06	6.45	1.66	2.30
9	本年値	0.00	0.00	1.74	0.14	0.31	69.43	18.50	6.40	—
	平年値	—	—	—	—	0.48	35.05	10.00	4.99	—
10	本年値	0.00	0.00	1.74	0.31	1.77	39.43	12.29	0.29	—
	平年値	—	—	—	—	1.47	32.73	9.94	0.72	—

(イ) 予察灯による水稻害虫調査 (合志市)

①セジロウンカ

月	半旬	平年	R5年
4	1	0.0	-
	2	0.0	-
	3	0.0	-
	4	0.0	-
	5	0.1	-
	6	0.1	-
5	1	0.0	-
	2	0.0	-
	3	0.1	0
	4	0.2	0
	5	0.0	0
	6	0.2	0
6	1	0.1	0
	2	0.5	2
	3	0.9	2
	4	1.5	0
	5	18.3	7
	6	28.6	1
7	1	72.3	249
	2	75.8	301
	3	86.7	39
	4	50.1	12
	5	16.5	5
	6	24.3	3
8	1	15.1	2
	2	10.2	14
	3	39.9	-
	4	48.4	-
	5	35.1	-
	6	35.5	-
9	1	15.1	-
	2	48.1	-
	3	43.0	-
	4	19.5	-
	5	86.4	9
	6	12.1	4
10	1	6.8	2
	2	4.1	0
	3	0.5	1
	4	3.1	0
	5	1.3	0
	6	0.6	0
合計		801.1	653

②トビイロウンカ

月	半旬	平年	R5年
4	1	0.0	-
	2	0.0	-
	3	0.0	-
	4	0.0	-
	5	0.0	-
	6	0.0	-
5	1	0.1	-
	2	0.1	-
	3	0.0	0
	4	0.0	0
	5	0.1	0
	6	0.0	0
6	1	0.0	0
	2	0.7	0
	3	0.1	0
	4	0.0	0
	5	0.9	0
	6	2.2	0
7	1	26.3	32
	2	42.2	1
	3	22.5	3
	4	9.5	0
	5	1.8	1
	6	2.6	0
8	1	8.0	1
	2	9.6	0
	3	5.3	-
	4	4.7	-
	5	4.7	-
	6	22.1	-
9	1	8.0	-
	2	107.0	-
	3	103.9	-
	4	17.6	-
	5	20.9	49
	6	344.4	61
10	1	182.1	13
	2	123.5	4
	3	26.9	3
	4	84.5	1
	5	36.2	0
	6	7.8	0
合計		1226.3	169

③ヒメトビウンカ

月	半旬	平年	R5年
4	1	0.0	-
	2	0.0	-
	3	0.0	-
	4	0.0	-
	5	0.0	-
	6	0.0	-
5	1	0.0	-
	2	0.0	-
	3	0.0	0
	4	0.1	0
	5	0.1	0
	6	0.8	1
6	1	0.6	0
	2	0.3	0
	3	0.3	0
	4	0.4	1
	5	0.4	1
	6	3.6	12
7	1	18.5	22
	2	17.7	38
	3	15.0	34
	4	15.6	38
	5	7.4	21
	6	11.6	8
8	1	13.2	23
	2	10.3	3
	3	5.9	-
	4	3.4	-
	5	4.1	-
	6	2.6	-
9	1	11.1	-
	2	12.8	-
	3	10.4	-
	4	3.6	-
	5	0.9	1
	6	0.8	3
10	1	1.5	0
	2	1.9	0
	3	1.3	0
	4	0.3	0
	5	0.0	0
	6	0.2	0
合計		176.7	206

④ツマグロヨコバイ

月	半旬	平年	R5年
4	1	0.0	-
	2	0.0	-
	3	0.0	-
	4	0.0	-
	5	0.0	-
	6	0.0	-
5	1	0.0	-
	2	0.1	-
	3	0.2	0
	4	0.2	1
	5	0.7	4
	6	1.5	13
6	1	1.9	20
	2	8.6	0
	3	3.5	8
	4	3.9	4
	5	1.3	5
	6	2.7	3
7	1	4.8	32
	2	5.8	20
	3	9.3	62
	4	21.6	61
	5	10.9	34
	6	20.0	19
8	1	22.2	21
	2	15.2	94
	3	14.2	-
	4	21.5	-
	5	10.9	-
	6	7.2	-
9	1	22.2	-
	2	58.6	-
	3	28.0	-
	4	23.8	-
	5	14.3	18
	6	10.9	8
10	1	7.7	4
	2	9.6	0
	3	1.5	0
	4	0.3	0
	5	0.0	0
	6	0.1	0
合計		365.2	431

※R5年は予察灯の故障により、4月～5月第2半旬、8月第3半旬～9月第4半旬はデータ欠測

(ウ) ネットトラップによる水稻害虫調査 (合志市)

①セジロウンカ

月	半旬	平年	R5年
4	1	0.1	0
	2	0.0	0
	3	0.0	0
	4	0.0	0
	5	0.0	0
	6	0.0	0
5	1	0.0	0
	2	0.2	0
	3	0.2	1
	4	0.4	0
	5	0.3	0
	6	0.4	0
6	1	4.2	1
	2	1.1	2
	3	1.5	0
	4	1.5	0
	5	3.0	0
	6	8.5	0
7	1	4.3	0
	2	3.5	5
	3	3.4	1
	4	2.2	0
	5	2.2	1
	6	3.4	2
8	1	4.2	1
	2	1.1	2
	3	1.5	0
	4	1.5	0
	5	3.0	0
	6	8.5	0
9	1	4.2	0
	2	3.5	5
	3	3.4	1
	4	2.2	0
	5	2.2	1
	6	3.4	2
10	1	4.8	0
	2	1.0	0
	3	2.7	1
	4	1.4	0
	5	0.5	0
	6	0.9	2
合計		90.4	28

②トビイロウンカ

月	半旬	平年	R5年
4	1	0.0	0
	2	0.0	0
	3	0.0	0
	4	0.0	0
	5	0.0	0
	6	0.0	0
5	1	0.0	0
	2	0.0	0
	3	0.0	0
	4	0.0	0
	5	0.0	0
	6	0.0	0
6	1	0.0	0
	2	0.1	0
	3	0.1	0
	4	0.0	0
	5	1.4	0
	6	5.1	0
7	1	0.4	0
	2	1.4	0
	3	2.0	0
	4	2.7	2
	5	3.6	8
	6	3.7	1
8	1	0.0	0
	2	0.1	0
	3	0.1	0
	4	0.0	0
	5	1.4	0
	6	5.1	0
9	1	0.0	0
	2	1.4	0
	3	2.0	0
	4	2.7	2
	5	3.6	8
	6	3.7	1
10	1	58.0	6
	2	24.9	1
	3	55.3	1
	4	27.7	0
	5	20.2	0
	6	27.7	0
合計		254.4	30

③ヒメトビウンカ

月	半旬	平年	R5年
4	1	0.9	0
	2	0.3	2
	3	2.0	1
	4	0.6	1
	5	0.5	0
	6	0.1	0
5	1	1.3	7
	2	1.1	11
	3	0.2	0
	4	0.6	0
	5	1.5	0
	6	3.0	0
6	1	5.6	1
	2	2.1	1
	3	4.7	0
	4	3.1	2
	5	3.4	11
	6	6.5	5
7	1	33.6	11
	2	8.6	5
	3	12.8	13
	4	6.2	0
	5	4.5	1
	6	2.1	6
8	1	1.3	7
	2	1.1	11
	3	0.2	0
	4	0.6	0
	5	1.5	0
	6	3.0	0
9	1	5.6	1
	2	2.1	1
	3	4.7	0
	4	3.1	2
	5	3.4	11
	6	6.5	5
10	1	33.6	11
	2	8.6	5
	3	12.8	13
	4	6.2	0
	5	4.5	1
	6	2.1	6
合計		206.2	152

④ツマグロヨコバイ

月	半旬	平年	R5年
4	1	0.0	0
	2	0.0	0
	3	0.0	0
	4	0.0	0
	5	0.1	0
	6	0.0	0
5	1	0.1	2
	2	0.0	0
	3	0.4	4
	4	0.5	0
	5	0.3	0
	6	0.1	0
6	1	0.2	0
	2	0.1	1
	3	5.5	0
	4	2.3	0
	5	0.2	1
	6	0.3	0
7	1	1.0	0
	2	0.1	0
	3	0.3	0
	4	0.2	0
	5	0.1	0
	6	0.0	0
8	1	0.1	2
	2	0.0	0
	3	0.4	4
	4	0.5	0
	5	0.3	0
	6	0.1	0
9	1	0.2	0
	2	0.1	1
	3	5.5	0
	4	2.3	0
	5	0.2	1
	6	0.3	0
10	1	1.0	0
	2	0.1	0
	3	0.3	0
	4	0.2	0
	5	0.1	0
	6	0.0	0
合計		23.5	16

(エ) フェロモントラップによるコブノメイガ調査

コブノメイガのフェロモントラップへの誘殺数（コーントラップ2か所の合計）

月	半旬	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	平年値 (H25～R4)	R5
6	1				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2				0	0	0	0	6	1	0	0	1	0
	3	0			0	0	0	0	16	6	0	0	3	0
	4	0			0	0	0	0	7	51	0	0	7	0
	5	0	0		4	0	0	0	2	383	0	0	43	0
	6	1	0	0	26	20	5	1	0	47	1	3	10	0
7	1	0	0	0	23	3	8	3	5	36	2	4	8	5
	2	0	0	0	37	8	9	0	7	44	0	1	11	2
	3	4	0	0	9	6	3	2	5	63	8	0	10	0
	4	0	0	0	15	0	4	1	19	108	1	0	15	0
	5	0	0	0	35	4	3	2	1	70	0	0	12	0
	6	0	0	0	14	13	6	0	7	60	0	1	10	0
8	1	0	10	0	13	35	11	0	5	23	0	1	10	0
	2	0	20	0	3	5	3	0	1	0	3	0	4	0
	3	0	24	0	2	15	4	0	10	18	0	3	8	1
	4	0	6	0		19	0	0	19	75	0	1	13	0
	5	0	2	0		19	3	0	23	55	0	6	12	0
	6	0	32	0		24	2	1	44	4	0	1	12	9
計		5	94	0	181	171	61	10	177	1,044	15	21	188	17

(オ) 無防除田におけるウンカ類の調査

- 1 調査場所 合志市生産環境研究所ほ場 ほ場面積 4 a
- 2 耕種概要 1) 品種 くまさんの輝き
2) 移植 5月12日
- 3 調査方法 払い落とし法でウンカ類・ツマグロヨコバイの成幼虫数を調査した。
調査は 25×18cm の粘着板を使用し、60 株調査（1 株 2 回叩き）を 6/12, 22, 29、
7/11, 20、8/1, 8, 21, 31、9/13, 20 で行った。

4 調査結果

区名			6月12日	6月22日	6月29日	7月11日	7月20日	8月1日	8月8日	8月21日	8月31日	9月13日	9月20日
セジロウンカ	成虫	長翅	0.7	0.2									
		短翅											
	幼虫	老齢			0.2	0.3	0.2						
		中齢			0.2	0.3		0.2		1.0	0.2		
		若齢		0.7	0.7	0.8	1.8	0.8	0.7	0.5	1.5	1.8	1.7
	合計		0.7	0.8	1.0	1.5	2.0	1.0	0.7	1.5	1.7	1.8	1.7
ヒメトビウンカ	成虫	長翅	0.7	0.3			0.3	0.3	0.2			0.2	0.2
		短翅					0.2	0.3	0.7	0.3	0.2		
	幼虫	老齢				0.2	0.5	0.2	0.5	0.7	0.3	1.2	1.5
		中齢				0.3	0.8	0.8	1.3	1.0	0.3	3.7	0.5
		若齢		0.5	0.3	1.2	1.7	2.0	6.8	1.0	1.3	9.8	1.2
	合計		0.7	0.8	0.3	1.7	3.5	3.7	9.5	3.0	2.2	14.8	3.3
トビイロウンカ	成虫	長翅♂						0.2		0.3	0.7	1.0	8.2
		長翅♀											7.2
		短翅♂									0.5	0.2	3.0
		短翅♀							0.2	0.3	1.7	1.0	6.2
	幼虫	老齢								3.0	3.0	7.8	47.3
		中齢						0.2	0.2	7.2	4.2	26.8	38.7
		若齢						0.2	4.0	9.2	14.3	129.5	46.2
	合計							0.5	4.3	2.0	24.3	166.3	156.7
ツマグロヨコバイ	成虫		0.8	2.3	7.3	3.3	1.7		0.2			0.3	0.2
	幼虫	老齢		3.7	13.3	5.5	1.3	0.2	0.3				
		中齢	2.7	2.2	12.0	4.8	1.3	0.3	0.2		0.2	0.5	0.5
		若齢	5.7	6.5	22.8	3.5	0.8	1.0	1.3	1.5			0.2
	合計		9.2	14.7	55.5	17.2	5.2	1.5	2.0	1.5	0.2	0.8	0.8

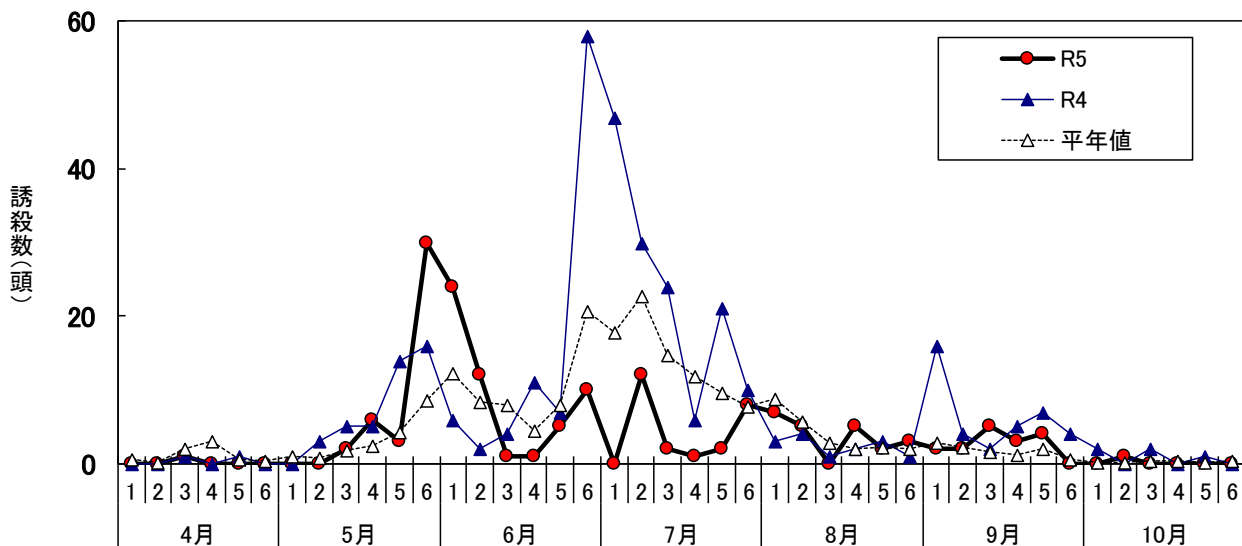
注：10 株あたり頭数

(カ) イグサシンムシガ予察灯誘殺数 (60W白熱灯)

アグリシステム総合研究所

月	半旬	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	平年値
4	1	0	0	1	0	0	0	0	1	3	0	0	0.5
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.1
	3	1	1	0	0	2	3	0	2	13	0	0	2.1
	4	0	0	0	0	1	0	0	0	25	0	4	3.0
	5	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	3	0.6
	6	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0.4
5	1	0	0	0	0	0	1	3	3	0	2	0	0.9
	2	0	3	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0.7
	3	2	5	4	1	5	0	1	0	0	1	2	1.9
	4	6	5	3	1	5	2	1	0	4	1	3	2.5
	5	3	14	3	0	1	12	0	5	2	2	4	4.3
	6	30	16	5	7	1	8	0	5	19	1	23	8.5
6	1	24	6	5	8	10	5	0	10	7	0	71	12.2
	2	12	2	1	6	9	10	3	15	10	0	28	8.4
	3	1	4	3	0	3	4	7	2	10	3	43	7.9
	4	1	11	2	1	4	5	0	0	6	5	11	4.5
	5	5	7	9	5	16	19	5	2	5	4	8	8.0
	6	10	58	17	12	9	16	3	0	9	19	64	20.7
7	1	0	47	12	10	35	18	3	17	13	2	21	17.8
	2	12	30	5	4	42	32	5	4	29	1	76	22.8
	3	2	24	8	3	25	15	7	3	30	17	16	14.8
	4	1	6	4	8	12	28	6	13	22	19	0	11.8
	5	2	21	4	7	7	22	5	27	4	0	0	9.7
	6	8	10	2	9	16	14	0	18	9	0	0	7.8
8	1	7	3	3	7	5	9	19	3	29	0	10	8.8
	2	5	4	3	5	5	8	16	0	6	0	11	5.8
	3	0	1	3	5	4	1	7	0	0	0	7	2.8
	4	5	2	0	2	10	1	0	0	1	1	3	2.0
	5	2	3	0	2	1	0	0	3	0	9	4	2.2
	6	3	1	1	0	2	0	3	6	0	7	1	2.1
9	1	2	16	0	0	5	0	1	6	0	1	0	2.9
	2	2	4	3	1	5	0	0	6	0	0	4	2.3
	3	5	2	3	1	3	0	0	1	0	0	6	1.6
	4	3	5	1	2	0	0	0	0	0	0	3	1.1
	5	4	7	2	8	0	0	0	0	0	0	4	2.1
	6	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0.6
10	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2
	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0.2
	3	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0.4
	4	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0.4
	5	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0.2
	6	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0.3
年計		159	328	109	115	244	233	99	164	260	96	431	207.9

イグサシンムシガの予察灯への誘殺状況(アグリシステム総合研究所)



(キ) イグサシンムシガ越冬調査結果

(調査日：令和6年3月18日)

No.	市町村名	地点名	調査株数	被害茎数	幼虫数	蛹数	合計	頭数／10 m ² (幼虫＋蛹)	茎数／株
1	氷川町	中島	100	1	1	0	1	2.8	54.2
2		鹿野	100	0	0	0	0	0.0	83.2
3		網道	100	5	1	0	1	2.8	56.2
4	八代市	両出	100	1	0	0	0	0.0	75.8
5		鏡村	100	0	0	0	0	0.0	70.8
6		北新地	100	1	0	0	0	0.0	75.9
7		古閑出	100	0	0	0	0	0.0	87.6
8		太牟田	100	0	0	0	0	0.0	72.4
9		吉王丸	100	2	0	0	0	0.0	63.8
10		松高	100	1	0	0	0	0.0	75.6
11		金剛	100	3	0	0	0	0.0	63.8
12		日奈久	100	6	2	0	2	5.6	60.2
計			1,200	20	4	0	4	0.9	70.0
平年			1,710	50	13	7	21	3.2	

越冬世代の蛹化率および発蛾最盛日

年次	調査日	蛹化率(%)	発蛾最盛日予測(実測日)
R6年	3月18日	25.0	4月7日(6日)
R5年	3月24日	83.3	3月26日(27日)
平年	3月26日	38.2	4月12日(13日)

注) 蛹化率：調査区と調査区外の幼虫、蛹数も含めて算出

予測式：調査日の蛹化率と過去10年間の「調査日の蛹化率係数(傾き)」と「調査日から発蛾最盛日までの日数係数(切片)」を用いた予測式

発蛾最盛日＝調査日の蛹化率(%)×(-0.3028)＋(27.31)＋調査日

実測日：乾式予察灯(地点：八代市千丁、鏡)で3月～4月に誘殺のピークが見られた日

(ア) 水稻害虫

1. 目的

水稻主要害虫の発生動態を調査し、適期防除の推進と情報システム化の資料とする。

2. 方法

1) 調査場所 合志市 生産環境研究所ほ場

2) 耕種概要 中苗機械移植 植栽密度 30cm×18cm 調査圃場面積 195 m²

作 期	品 種	移 植	出穂期
普通期	ヒノヒカリ	6月15日	8月25日

3) 調査方法

払い落とし調査；25×18cmの粘着板に1区20株、2回叩き3反復で行った。

[具体的データ]

第1表 ウンカ類、ヨコバイ類の発生状況

種類	調査日 移植後日数	7/4 19	7/18 33	7/31 46	8/15 61	8/29 75	9/12 89	9/26 103
トビイロウンカ	♂成虫	0	0	2	0	71	30	1015
	♀成虫	0	0	0	7	112	55	2802
	老齢幼虫	0	0	4	1	211	33	17681
	若中齢幼虫	0	2	3	245	382	4167	5898
	合計	0	2	9	253	776	4285	27396
セジロウンカ	♂成虫	0	0	2	0	0	0	0
	♀成虫	4	3	10	0	2	0	0
	老齢幼虫	0	0	10	4	0	1	0
	若中齢幼虫	0	105	0	21	3	1	0
	合計	4	108	22	25	5	2	0
ヒメトビウンカ	♂成虫	4	1	9	6	1	0	0
	♀成虫	5	9	35	11	21	7	3
	老齢幼虫	0	0	35	9	12	11	13
	若中齢幼虫	0	362	44	99	16	14	20
	合計	9	372	123	125	50	32	36
ツマグロヨコバイ	♂成虫	1	5	6	5	1	2	1
	♀成虫	0	11	17	13	2	10	3
	老齢幼虫	0	7	40	10	3	15	15
	若中齢幼虫	16	119	81	12	41	37	29
	合計	17	142	144	40	47	64	48

注：粘着板払い落とし虫数の20株調査3反復合計値

3. 結果の概要・要約

- トビイロウンカの水田での発生は、7月18日（移植33日後）に幼虫が初確認された。その後密度が増加し、9月26日（移植103日後）に成虫63.6頭/株、幼虫392.3頭/株のピークが認められ、坪枯れも確認された。
- セジロウンカの水田での発生は、7月4日（移植19日後）に成虫が初確認された。7月中旬まで密度が増加し、その後は減少した。7月31日（移植46日後）に成虫0.2頭/株、7月18日（移植33日後）に幼虫1.8頭/株のピークが認められた。
- ヒメトビウンカの水田での発生は、7月4日（移植19日後）に成虫が初確認された。7月中旬まで密度が増加し、その後は減少した。成虫は7月31日（移植46日後）に0.7頭/株、幼虫は7月18日（移植33日後）に6.0頭/株のピークが認められた。
- ツマグロヨコバイの水田での発生は、7月4日（移植19日後）から発生が認められ、7月31日（移植46日後）に成幼虫数が2.4頭/株と最大となった。

(4) 果樹等病害虫発生予察事業（茶を含む）

ア 病害虫防除所における調査

(ア) 巡回調査

作物名「かんきつ」

調査月	調査対象	そうか病		かいよう病		黒点病		ハダニ類		チャノキロアザミウマ	アブラムシ類
	調査項目	発病葉率	発病果率	発病葉率	発病果率	発病果率	発病度	寄生葉率	頭／10葉	被害果率	寄生新梢率
4	本年値	0.00	－	－	－	－	－	23.67	12.38	－	0.33
	平年値	0.08	－	－	－	－	－	4.87	0.51	－	0.13
5	本年値	0.50	－	1.20	－	－	－	9.82	18.22	－	1.55
	平年値	0.27	－	0.18	－	－	－	4.81	1.03	－	0.72
6	本年値	0.00	0.00	1.40	0.60	0.09	0.01	2.00	0.40	0.00	3.64
	平年値	0.12	0.08	1.04	0.06	0.03	0.01	14.21	7.37	0.04	0.16
7	本年値	0.17	0.67	2.20	2.00	0.36	0.07	3.00	0.56	0.45	0.09
	平年値	0.05	0.37	1.20	0.63	0.75	0.13	6.55	2.31	0.28	0.38
8	本年値	－	－	1.40	2.80	1.64	0.58	1.00	0.18	0.82	－
	平年値	－	－	1.17	1.29	2.17	0.37	2.69	0.78	0.66	－
9	本年値	－	－	1.60	2.80	1.18	0.21	8.18	4.49	1.36	－
	平年値	－	－	0.82	1.91	2.78	0.50	3.54	0.87	0.64	－
10	本年値	－	－	－	－	－	－	3.64	1.42	－	－
	平年値	－	－	－	－	－	－	2.76	0.70	－	－
2	本年値	0.00	－	1.80	－	－	－	8.00	4.70	－	－
	平年値	0.03	－	0.73	－	－	－	4.43	1.18	－	－
3	本年値	0.50	－	1.40	－	－	－	6.27	4.22	－	－
	平年値	0.15	－	0.79	－	－	－	4.48	1.50	－	－

作物名「なし」

調査月	調査対象	黒星病	赤星病	黒斑病	ハダニ類	アブラムシ類	シクイムシ類	ハマキムシ
	調査項目	発病葉率	発病葉率	発病葉率	寄生葉率	寄生梢率	寄生梢率	寄生葉率
4	本年値	0.00	0.00	－	－	0.67	－	－
	平年値	0.00	0.00	－	－	0.36	－	－
5	本年値	0.33	0.33	－	0.00	1.00	0.00	0.00
	平年値	0.93	0.57	－	0.00	1.67	－	－
6	本年値	0.67	1.33	5.00	0.67	2.67	0.00	0.00
	平年値	1.33	1.40	－	0.20	0.67	－	－
7	本年値	0.00	－	1.00	2.67	－	0.00	0.00
	平年値	2.23	－	－	3.20	－	－	－
8	本年値	0.00	－	3.00	8.67	－	0.00	0.00
	平年値	1.33	－	－	8.00	－	－	－

作物名 「茶」

調査月	調査対象	炭疽病	チャノキイロアザミマ		チャノミドリヒメヨコバイ		
	調査項目	病葉／m ²	寄生葉率	たたき落とし頭数／10ヶ所	寄生葉率	被害芽数／m ²	たたき落とし頭数／10ヶ所
4	本年値	—	0.00	0.13	1.50	2.75	0.75
	平年値	—	0.48	—	0.26	0.58	—
5	本年値	4.63	0.00	2.63	0.75	9.63	15.75
	平年値	2.05	0.83	—	0.55	2.17	—
6	本年値	4.75	1.00	7.00	7.00	10.75	20.50
	平年値	3.56	3.35	—	2.78	1.87	—
7	本年値	1.13	0.00	10.88	1.00	4.13	10.75
	平年値	9.54	0.73	—	2.05	3.23	—
8	本年値	1.25	0.00	17.88	1.00	0.13	8.00
	平年値	4.43	0.90	—	1.08	1.80	—
9	本年値	0.75	2.25	5.88	7.25	4.63	4.38
	平年値	5.20	0.95	—	1.34	2.49	—

調査月	調査対象	ハダニ類		ツマグロアオカスミカメ	チャノホリカ	チャノコカクモンハマキ	チャハマキ	クリシロカイカラムシ
	調査項目	寄生葉率	寄生頭数／10葉	被害芽数／m ²	三角巻数／m ²	葉巻数／m ²	葉巻数／m ²	寄生株率
4	本年値	7.50	—	1.00	0.13	0.00	0.00	26.88
	平年値	5.65	—	0.80	0.29	0.61	0.38	8.05
5	本年値	17.25	—	2.25	0.25	0.13	0.00	12.50
	平年値	5.74	—	5.61	0.25	0.59	0.39	6.36
6	本年値	0.25	—	0.88	0.75	0.00	0.00	27.50
	平年値	2.23	—	2.74	0.31	0.74	0.25	18.45
7	本年値	1.00	—	2.13	0.50	0.00	0.00	2.50
	平年値	0.63	—	1.03	1.06	1.30	1.29	7.63
8	本年値	3.50	—	3.00	0.50	1.50	0.00	1.88
	平年値	2.46	—	1.14	0.94	0.91	0.59	7.63
9	本年値	2.00	—	—	1.63	0.00	0.63	3.75
	平年値	3.38	—	—	2.91	0.50	0.75	2.53
10	本年値	1.00	—	—	—	—	—	—
	平年値	1.80	—	—	—	—	—	—
2	本年値	2.00	0.33	—	—	—	—	—
	平年値	2.05	0.46	—	—	—	—	—
3	本年値	1.00	0.35	—	—	—	—	1.88
	平年値	3.58	0.81	—	—	—	—	9.38

(イ) 果樹カメムシ類の誘殺状況

チャバネアオカメムシ (合志市・フェロモントラップ)

月	半旬	R5	トラップの誘殺数										過去10年	
			R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	平年値	
4	1	1	0	1	0	0	1	0	0	3	0	0	0	
	2	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	
	3	1	1	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	
	4	4	0	0	0	0	1	0	0	3	0	4	1	
	5	1	1	4	0	4	8	0	0	1	0	0	2	
	6	0	4	1	4	1	0	2	1	3	2	0	2	
5	1	1	3	0	76	0	25	1	1	2	0	0	11	
	2	1	5	4	39	5	1	5	4	16	7	3	9	
	3	1	2	8	73	3	30	1	3	12	16	12	16	
	4	1	3	2	117	0	159	0	6	10	8	6	31	
	5	0	2	1	36	0	11	1	3	1	2	11	7	
	6	3	4	3	84	2	22	0	3	13	14	5	15	
6	1	5	9	5	180	5	74	3	2	21	87	14	40	
	2	4	11	7	287	6	3	0	8	3	47	25	40	
	3	12	17	5	82	2	95	4	13	16	10	48	29	
	4	5	24	3	168	4	73	6	10	4	15	68	37	
	5	7	15	6	199	4	97	1	6	33	27	21	41	
	6	5	30	2	294	3	111	9	2	10	12	7	48	
7	1	1	31	1	94	1	204	75	7	3	32	39	49	
	2	0	39	1	438	1	108	12	2	17	17	10	64	
	3	2	22	1	217	0	149	4	0	30	3	9	43	
	4	2	5	0	424	0	297	2	0	6	4	14	75	
	5	0	7	1	836	0	87	2	1	18	7	9	97	
	6	0	11	0	1,526	0	111	1	0	19	3	3	167	
8	1	1	15	2	1,441	0	43	3	1	25	5	8	154	
	2	0	7	0	138	0	66	1	1	16	2	9	24	
	3	1	0	0	458	1	30	2	1	7	9	3	51	
	4	2	0	0	188	2	10	1	1	6	10	4	22	
	5	4	3	3	22	1	0	2	0	13	2	2	5	
	6	3	2	4	23	3	3	2	0	7	3	2	5	
9	1	15	0	2	18	8	3	10	1	6	9	7	6	
	2	9	1	1	3	16	0	4	3	4	4	9	4	
	3	9	1	2	2	22	0	15	0	2	4	14	6	
	4	13	0	1	1	18	3	5	0	2	4	10	4	
	5	6	0	0	1	2	1	6	0	6	4	22	4	
	6	15	1	1	1	34	1	18	1	1	2	6	7	
10	1	18	6	8	5	26	2	54	12	0	2	4	12	
	2	2	0	4	0	14	1	23	1	0	2	4	5	
	3	1	0	6	2	16	1	18	2	1	0	2	5	
	4	1	0	1	0	5	0	0	1	1	1	0	1	
	5	0	0	0	1	24	0	3	0	2	4	1	3	
	6	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	
合計		155	283	91	7,469	226	1,831	295	99	345	381	415	1,143	

チャバネアオカメムシ (天草市・フェロモントラップ)

月	半旬	R5	トラップの誘殺数										過去10年
			R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	平年値
4	1	3	—	3	0	—	11						5
	2	0	—	0	1	—	5						2
	3	0	—	0	1	—	64						22
	4	6	—	0	1	—	4	0				6	2
	5	3	—	26	1	45	417	0		2		1	70
	6	4	—	1	10	0	182	0	51	330	31	4	68
5	1	0	0	0	788	0	13	24	15	245	5	0	109
	2	1	90	23	243	0	136	0	2	28	3	9	53
	3	3	31	6	346	0	1,961	1	5	148	0	18	252
	4	0	11	3	711	0	1,336	0	4	586	6	13	267
	5	0	34	0	630	0	1,376	5	6	135	6	14	221
	6	0	9	0	337	14	837	6	3	248	5	1	146
6	1	2	10	0	431	17	394	6	2	75	12	28	98
	2	0	24	3	2,091	7	608	2	0	57	12	29	283
	3	0	36	0	250	2	91	13	1	340	5	140	88
	4	1	66	1	430	5	313	8	4	32	4	98	96
	5	0	44	0	1,537	7	1,208	24	8	96	8	30	296
	6	0	292	0	1,764	2	2,974	51	5	466	1	74	563
7	1	0	146	2	405	0	2,553	21	15	256	0	223	362
	2	0	343	0	872	2	1,363	5	5	2,331	0	1,151	607
	3	0	93	0	358	0	2,982	2	1	1,361	2	2,164	696
	4	0	76	0	11,839	0	3,361	0	0	809	0	1,336	1,742
	5	0	57	0	2,612	0	2,806	0	0	1,425	0	1,207	811
	6	0	44	0	9,723	0	1,833	9	0	9,231	1	562	2,140
8	1	0	109	0	8,401	0	509	0	0	2,122	0	362	1,150
	2	1	370	1	4,456	0	316	0	4	831	1	494	647
	3	1	306	0	2,144	0	230	0	1	416	2	273	337
	4	0	63	0	1,245	1	22	3	8	303	6	114	177
	5	7	358	0	535	1	15	21	9	232	1	28	120
	6	99	120	1	114	0	15	25	0	149	5	12	44
9	1	320	24	4	18	0	1	10	16	83	6	4	17
	2	115	51	8	12	0	1	51	12	23	10	0	17
	3	75	91	1	14	0	3	15	9	8	5	0	15
	4	322	0	0	2	0	5	5	7	8	1	0	3
	5	224	28	4	10	0	0	19	11	11	9	1	9
	6	343	24	12	3	0	1	79	15	7	13	0	15
10	1	721	26	12	5	1	0	6	20	0	16	0	9
	2	20	1	8	1	0	4	130	14	0	14	0	17
	3	36	2	2	2	0	1	55	1	0	1	0	6
	4	6	0	0	0	0	0	0	7	1	4	0	1
	5	1	7	0	1	17	0	2	0	0	2	0	3
	6	1	0	0	2	2	0	7	1	0	3	0	2
合計		2,315	2,986	121	52,346	123	27,951	605	262	22,395	200	8,396	11,587

チャバネアオカメムシ（合志市・予察灯）

月	半旬	R5	トラップの誘殺数										過去10年	
			R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	平年値	
4	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	4	4	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0
	5	2	2	0	0	5	19	0	0	0	0	0	0	3
	6	0	25	0	0	0	1	2	0	5	0	4	4	4
5	1	2	0	2	35	2	1	4	3	41	4	1	9	9
	2	0	9	1	27	5	0	10	8	7	2	13	8	8
	3	0	7	5	99	12	12	5	9	17	17	17	20	20
	4	4	0	2	134	5	204	3	2	21	14	2	39	39
	5	0	1	0	71	0	20	3	2	3	21	20	14	14
	6	3	0	0	46	2	34	6	3	10	31	11	14	14
6	1	8	7	2	35	5	26	2	0	12	15	11	12	12
	2	4	6	5	59	0	65	0	6	2	31	9	18	18
	3	3	10	3	27	0	9	6	9	8	13	40	13	13
	4	6	29	2	70	1	18	9	6	4	36	36	21	21
	5	2	23	2	96	5	62	12	12	21	29	9	27	27
	6	5	52	0	55	3	47	22	2	8	14	5	21	21
7	1	2	22	3	30	1	56	33	9	9	10	13	19	19
	2	5	24	1	66	3	46	5	6	5	15	12	18	18
	3	8	26	5	34	2	96	10	3		6	12	22	22
	4	6	14	3	83	2	55	3	7	11	10	9	20	20
	5	2	13	4	99	1	42	5	1	4	21	8	20	20
	6	8	48	17	220	4	50	2	2	19	56	51	47	47
8	1	34	18	6	169	19	178	21	1	13	195	31	65	65
	2	36	20	11	59	17	39	24	7	21	161	125	48	48
	3	34	16	11	61	47	55	54	33	15	108	90	49	49
	4	131	24	11	33	48	68	64	25	70	105	234	68	68
	5	122	16	60	8	131	44	171	40	50	94	115	73	73
	6	256	11	27	4	140	28	289	33	43	42	144	76	76
9	1	566	7	9	16	272	18	90	40	36	43	15	55	55
	2	201	8	6	11	298	9	74	46	20	72	133	68	68
	3	106	7	11	10	308	12	105	9	14	30	188	69	69
	4	103	2	12	1	110	22	159	17	5	13	141	48	48
	5	49	2	6	4	67	6	113	53	34	38	138	46	46
	6	98	1	2	3	430	0	435	29	6	12	38	96	96
10	1	21	2	1	31	216	4	125	52	1	3	28	46	46
	2	1	0	0	2	94	21	181	15	0	10	46	37	37
	3	1	1	2	4	25	2	64	2	0	3	5	11	11
	4	0	0	0	0	25	0	3	8	0	1	2	4	4
	5	0	0	0	0	23	1	0	0	0	1	0	3	3
	6	1	0	0	0	2	0	9	0	0	0	0	1	1
合計		1,834	455	232	1,702	2,330	1,372	2,124	501	537	1,276	1,756	1,231	1,231

チャバネアオカメムシ（天草市・予察灯）

月	半旬	R5	トラップの誘殺数										過去10年
			R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	平年値
4	1	1	－	7	0	－	0	－	－	－	－	－	2
	2	0	－	0	0	－	5	－	－	－	－	－	2
	3	15	－	0	0	－	58	－	－	－	－	－	19
	4	43	－	0	0	－	4	0	－	－	－	6	2
	5	1	－	3	0	33	650	0	－	0	－	0	98
	6	7	773	0	16	3	46	0	60	221	6	33	116
5	1	2	16	1	782	0	100	74	7	650	3	0	163
	2	6	135	37	2,110	2	112	2	4	99	11	66	258
	3	12	87	24	344	9	3,542	23	17	1,026	0	183	526
	4	20	6	9	2,447	18	2,037	1	1	1,443	9	140	611
	5	1	61	4	1,713	6	1,731	11	4	176	4	148	386
	6	20	11	5	687	12	987	3	0	186	10	137	204
6	1	4	25	4	2,714	31	278	7	0	81	16	76	323
	2	4	35	15	865	5	1,032	1	1	81	15	22	207
	3	14	29	5	972	4	88	2	3	253	4	178	154
	4	4	87	1	643	5	755	6	3	36	4	196	174
	5	2	89	2	1,860	6	1,394	45	10	121	10	31	357
	6	25	331	3	4,464	11	2,974	43	1	496	2	72	840
7	1	7	380	5	6,930	3	3,654	69	11	155	2	362	1,157
	2	13	459	2	7,493	2	1,857	21	0	2,259	1	770	1,286
	3	12	186	9	7,373	5	1,880	10	2	1,027	1	1,043	1,154
	4	22	202	6	30,043	6	2,532	3	1	815	6	1,125	3,474
	5	24	235	31	21,456	11	3,506	5	1	1,811	9	1,546	2,861
	6	55	315	66	11,015	9	2,423	9	0	3,073	11	1,236	1,816
8	1	404	2,852	62	5,897	20	1,080	16	4	1,596	16	565	1,211
	2	406	3,700	154	2,383	33	579	66	17	943	45	817	874
	3	3,828	3,375	167	1,128	47	360	62	45	355	101	709	635
	4	2,543	5,949	1,129	608	361	349	287	78	261	210	390	962
	5	3,812	2,986	1,924	539	697	226	1,310	167	280	635	200	896
	6	4,981	1,554	1,363	271	1,070	285	2,127	118	109	931	126	795
9	1	4,811	285	532	125	1,889	87	589	322	62	628	78	460
	2	1,306	564	296	82	2,967	61	1,251	168	45	466	341	624
	3	1,180	816	137	64	1,561	96	496	79	6	120	126	350
	4	5,795	411	153	23	121	50	1,224	22	13	50	13	208
	5	1,815	211	192	12	147	21	1,279	38	10	129	37	208
	6	3,018	154	253	4	468	3	1,398	30	18	55	7	239
10	1	237	138	61	7	1,326	1	994	136	3	56	4	273
	2	102	4	89	4	951	5	1,131	21	0	27	21	225
	3	42	8	46	12	199	0	368	0	0	3	2	64
	4	22	2	0	0	35	0	6	9	0	0	0	5
	5	2	1	0	0	24	0	2	4	0	7	0	4
	6	0	0	0	5	2	0	9	2	0	3	0	2
合計		34,618	26,472	6,797	115,091	12,099	34,848	12,950	1,386	17,710	3,606	10,806	24,223

ツヤアオカメムシ（合志市・フェロモントラップ）

月	半旬	R5	トラップの誘殺数										過去10年	
			R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	平年値	
4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
5	1	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0
	3	1	1	0	3	1	1	0	0	0	0	0	1	1
	4	0	0	0	8	0	3	0	0	2	2	0	1	1
	5	0	0	0	2	0	2	1	0	1	0	1	1	1
	6	0	0	0	2	0	3	0	0	1	2	1	1	1
6	1	0	0	0	4	0	0	1	0	2	3	0	1	1
	2	0	1	0	8	0	0	0	0	0	3	1	1	1
	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1
7	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8	1	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	2	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	7	1	0	0	0	0	0	0	1	1
	4	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	3	1	1	0	0	0	1	0	0	2	1	1	1	1
	4	0	0	0	1	0	1	1	0	2	1	1	1	1
	5	2	0	0	4	2	1	1	0	5	2	2	2	2
	6	9	7	0	9	5	2	8	1	4	1	2	4	4
10	1	26	33	2	10	4	4	37	2	1	4	7	10	10
	2	4	1	0	4	4	2	28	1	1	4	4	5	5
	3	3	1	0	4	6	1	10	4	0	2	4	3	3
	4	1	1	0	0	1	0	0	14	0	0	1	2	2
	5	0	1	0	0	25	0	5	1	0	3	5	4	4
	6	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0
合計		47	50	2	109	49	25	92	24	25	30	30	43	43

ツヤアオカメムシ (天草市・フェロモントラップ)

月	半旬	R5	トラップの誘殺数										過去10年	
			R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	平年値	
4	1	1	-	4	0	-	6	-	-	-	-	-	3	
	2	0	-	0	0	-	9	-	-	-	-	-	3	
	3	5	-	0	0	-	20	-	-	-	-	-	7	
	4	52	-	0	22	-	1	0	-	-	-	72	19	
	5	1	-	1	3	109	204	0	-	0	-	0	45	
	6	3	203	1	2	41	14	0	19	250	47	42	62	
5	1	16	11	0	849	1	234	144	2	139	33	0	141	
	2	26	101	9	671	1	286	8	6	173	21	185	146	
	3	6	154	2	620	32	728	49	5	1,074	14	236	291	
	4	16	20	3	2,668	122	972	10	1	628	145	281	485	
	5	3	127	3	778	12	1,043	55	6	102	29	194	235	
	6	54	41	0	590	32	926	84	0	296	23	295	229	
6	1	15	79	6	1,279	51	355	207	1	109	43	167	230	
	2	10	104	5	1,230	11	1,221	21	1	124	41	93	285	
	3	28	107	10	873	6	166	47	14	154	15	774	217	
	4	6	305	1	200	4	314	8	2	57	12	690	159	
	5	7	149	0	312	11	326	41	5	107	11	111	107	
	6	13	368	1	544	6	725	73	1	73	8	131	193	
7	1	11	241	0	443	3	892	160	4	19	6	162	193	
	2	8	243	4	469	2	1,132	61	1	254	4	251	242	
	3	14	93	4	537	1	814	8	2	147	4	220	183	
	4	40	109	1	348	4	321	10	0	343	3	179	132	
	5	88	127	5	73	9	357	9	2	312	12	103	101	
	6	157	157	30	83	21	127	14	7	232	42	104	82	
8	1	257	1,198	29	36	14	100	25	9	39	267	39	176	
	2	446	841	36	46	11	66	104	12	27	152	36	133	
	3	749	774	39	30	15	95	75	12	19	272	49	138	
	4	813	1,146	106	13	55	185	107	14	11	238	29	190	
	5	1,054	459	146	10	97	48	191	27	12	174	152	132	
	6	1,046	163	184	16	94	104	182	27	19	240	190	122	
9	1	1,355	118	127	8	126	33	154	42	34	104	95	84	
	2	701	157	97	9	315	14	712	61	35	150	140	169	
	3	1,254	303	117	19	312	59	936	62	25	165	105	210	
	4	3,302	44	46	6	70	53	2,253	24	69	162	10	274	
	5	849	222	58	16	571	30	2,167	119	43	465	39	373	
	6	1,495	233	96	3	1,576	5	2,372	51	5	251	39	463	
10	1	107	175	23	3	947	9	2,311	72	3	436	52	403	
	2	162	18	37	10	712	24	2,178	51	2	221	69	332	
	3	38	27	39	4	199	2	1,008	10	0	22	1	131	
	4	24	27	2	3	233	2	48	25	0	15	1	36	
	5	1	18	2	0	111	0	9	4	0	120	4	27	
	6	1	6	3	1	41	0	86	2	1	56	0	20	
合計		14,234	8,668	1,277	12,827	5,978	12,022	15,927	703	4,937	4,023	5,340	7,202	

ツヤアオカメムシ（合志市・予察灯）

月	半旬	R5	トラップの誘殺数										過去10年	
			R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	平年値	
4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	5	0	2	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1
	6	0	25	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	3
5	1	4	0	1	15	3	0	5	1	8	1	0	3	3
	2	7	15	3	33	0	4	0	8	3	9	0	8	8
	3	1	21	6	27	22	12	4	7	35	30	2	17	17
	4	3	5	1	92	54	117	2	3	23	39	5	34	34
	5	2	11	1	46	5	16	2	1	3	59	8	15	15
	6	6	3	0	20	4	80	6	3	14	27	7	16	16
6	1	3	16	2	54	36	25	12	4	26	22	14	21	21
	2	1	18	5	93	32	71	0	16	22	42	6	31	31
	3	8	15	1	28	2	21	10	7	23	10	27	14	14
	4	1	22	0	9	3	33	11	0	10	15	5	11	11
	5	2	10	0	17	3	10	7	1	8	7	0	6	6
	6	2	55	4	35	2	6	16	1	8	6	2	14	14
7	1	1	33	0	17	0	30	20	2	1	8	1	11	11
	2	0	12	0	16	0	25	4	2	24	26	1	11	11
	3	1	3	2	18	1	33	1	1		7	2	8	8
	4	1	1	3	27	1	30	4	2	29	4	0	10	10
	5	2	4	13	36	1	27	1	0	12	9	1	10	10
	6	5	17	36	35	24	17	13	2	36	84	21	29	29
8	1	27	28	9	21	47	116	102	3	14	191	18	55	55
	2	36	7	11	25	102	39	35	3	60	28	34	34	34
	3	15	6	5	28	163	32	41	10	15	41	12	35	35
	4	8	4	3	7	23	32	30	3	30	42	23	20	20
	5	4	7	8	6	8	17	16	10	14	39	55	18	18
	6	9	7	12	8	13	14	15	7	13	21	19	13	13
9	1	30	7	12	7	35	31	16	8	60	42	5	22	22
	2	77	7	7	3	107	3	34	7	61	15	17	26	26
	3	74	30	11	1	53	69	57	3	71	40	37	37	37
	4	84	4	12	2	21	41	176	1	72	14	32	38	38
	5	56	11	7	46	21	12	134	62	105	78	191	67	67
	6	49	38	18	8	358	10	197	123	35	41	52	88	88
10	1	32	33	10	14	251	13	95	68	3	23	66	58	58
	2	20	2	6	10	137	68	124	80	6	43	131	61	61
	3	15	13	9	7	49	3	32	33	1	4	28	18	18
	4	4	6	0	1	66	9	10	36	3	11	9	15	15
	5	0	8	0	4	63	1	6	10	2	5	5	10	10
	6	1	3	0	0	9	0	1	12	0	0	0	3	3
合計		595	509	218	817	1,723	1,067	1,240	540	853	1,083	836	889	889

ツヤアオカメムシ（天草市・予察灯）

月	半旬	R5	トラップの誘殺数										過去10年	
			R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	平年値	
4	1	1	－	4	0	－	6	－	－	－	－	－	3	
	2	0	－	0	0	－	9	－	－	－	－	－	3	
	3	5	－	0	0	－	20	－	－	－	－	－	7	
	4	52	－	0	22	－	1	0	－	－	－	72	19	
	5	1	－	1	3	109	204	0	－	0	－	0	45	
	6	3	203	1	2	41	14	0	19	250	47	42	62	
5	1	16	11	0	849	1	234	144	2	139	33	0	141	
	2	26	101	9	671	1	286	8	6	173	21	185	146	
	3	6	154	2	620	32	728	49	5	1,074	14	236	291	
	4	16	20	3	2,668	122	972	10	1	628	145	281	485	
	5	3	127	3	778	12	1,043	55	6	102	29	194	235	
	6	54	41	0	590	32	926	84	0	296	23	295	229	
6	1	15	79	6	1,279	51	355	207	1	109	43	167	230	
	2	10	104	5	1,230	11	1,221	21	1	124	41	93	285	
	3	28	107	10	873	6	166	47	14	154	15	774	217	
	4	6	305	1	200	4	314	8	2	57	12	690	159	
	5	7	149	0	312	11	326	41	5	107	11	111	107	
	6	13	368	1	544	6	725	73	1	73	8	131	193	
7	1	11	241	0	443	3	892	160	4	19	6	162	193	
	2	8	243	4	469	2	1,132	61	1	254	4	251	242	
	3	14	93	4	537	1	814	8	2	147	4	220	183	
	4	40	109	1	348	4	321	10	0	343	3	179	132	
	5	88	127	5	73	9	357	9	2	312	12	103	101	
	6	157	157	30	83	21	127	14	7	232	42	104	82	
8	1	257	1,198	29	36	14	100	25	9	39	267	39	176	
	2	446	841	36	46	11	66	104	12	27	152	36	133	
	3	749	774	39	30	15	95	75	12	19	272	49	138	
	4	813	1,146	106	13	55	185	107	14	11	238	29	190	
	5	1,054	459	146	10	97	48	191	27	12	174	152	132	
	6	1,046	163	184	16	94	104	182	27	19	240	190	122	
9	1	1,355	118	127	8	126	33	154	42	34	104	95	84	
	2	701	157	97	9	315	14	712	61	35	150	140	169	
	3	1,254	303	117	19	312	59	936	62	25	165	105	210	
	4	3,302	44	46	6	70	53	2,253	24	69	162	10	274	
	5	849	222	58	16	571	30	2,167	119	43	465	39	373	
	6	1,495	233	96	3	1,576	5	2,372	51	5	251	39	463	
10	1	107	175	23	3	947	9	2,311	72	3	436	52	403	
	2	162	18	37	10	712	24	2,178	51	2	221	69	332	
	3	38	27	39	4	199	2	1,008	10	0	22	1	131	
	4	24	27	2	3	233	2	48	25	0	15	1	36	
	5	1	18	2	0	111	0	9	4	0	120	4	27	
	6	1	6	3	1	41	0	86	2	1	56	0	20	
合計		14,234	8,668	1,277	12,827	5,978	12,022	15,927	703	4,937	4,023	5,340	7,202	

(ウ) 茶害虫のトラップ調査による誘殺状況

チャノホソガフェロモントラップ（農大ほ場）

月	半旬	トラップ誘殺数											過去10年
		R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	平年値
4	1	8	0	0	28	0	1	1	114	35	2	1	18.2
	2	1	0	0	3	1	0	9	22	23	0	0	5.8
	3	0	0	0	1	0	0	0	4	4	1	0	1.0
	4	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	1	0.5
	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0.2
	6	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0.2
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	2	0	1	22	0	0	0	0	0	0	0	0	2.3
	3	3	8	156	0	0	0	0	87	50	0	0	30.1
	4	25	20	381	8	0	7	2	358	421	0	0	119.7
	5	73	64	123	81	5	6	19	984	270	2	40	159.4
	6	70	26	26	299	34	7	135	705	462	107	11	181.2
6	1	17	17	5	306	16	10	40	80	77	24	16	59.1
	2	12	23	4	49	14	3	19	21	10	12	18	17.3
	3	10	20	39	10	15	41	11	42	12	5	8	20.3
	4	10	11	111	3	15	34	9	196	20	2	5	40.6
	5	224	43	123	22	12	43	17	398	49	14	15	73.6
	6	229	83	53	32	35	20	48	327	417	38	37	109.0
7	1	57	28	22	42	126	25	197	152	249	159	31	103.1
	2	23	111	9	65	54	10	233	79	363	133	23	108.0
	3	4	86	14	69	23	7	153	150	44	111	15	67.2
	4	3	52	107	34	110	37	37	349	86	36	16	86.4
	5	0	55	51	64	35	22	22	284	173	52	13	77.1
	6	5	28	68	188	11	17	41	141	334	76	2	90.6
8	1	2	11	20	106	3	4	38	15	211	123	1	53.2
	2	0	29	4	66	0	5	13	40	55	74	3	28.9
	3	0	26	13	64	1	0	3	27	49	66	1	24.9
	4	2	10	13	32	3	3	1	53	63	56	3	23.7
	5	1	43	7	32	12	0	3	21	26	342	1	48.7
	6	5	8	9	74	6	1	4	3	315	899	0	131.9
9	1	4	34	18	30	3	0	8	4	348	582	0	102.7
	2	4	89	27	14	4	0	6	4	124	521	5	79.4
	3	1	85	37	32	8	11	22	10	61	68	2	33.6
	4	0	0	37	7	18	10	2	12	97	99	1	28.3
	5	9	26	51	13	3	4	5	5	53	53	4	21.7
	6	11	36	40	16	34	4	7	11	181	88	10	42.7
10	1	20	91	91	40	17	3	10	6	554	59	25	89.6
	2	10	125	115	16	54	8	25	35	506	302	15	120.1
	3	13	87	109	55	9	11	28	52	289	213	12	86.5
	4	7	129	28	51	5	5	44	91	529	583	17	148.2
	5	11	89	7	42	59	7	16	90	352	450	8	112.0
	6	16	41	7	34	64	11	15	119	445	343	3	108.2
合計		890	1,635	1,948	2,030	809	378	1,243	5,092	7,357	5,698	363	2,655.3

チャハマキフェロモントラップ（農大ほ場）

月	半旬	トラップ誘殺数										H24～R3	
		R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	平年値
4	1	11	1	4	9	0	1	3	5	7	5	7	4.2
	2	11	13	6	8	0	0	20	13	18	0	5	8.3
	3	16	29	3	2	0	0	4	14	7	6	1	6.6
	4	11	8	3	11	0	0	5	11	16	9	9	7.2
	5	7	9	0	0	0	0	7	17	9	4	4	5.0
	6	1	3	0	8	0	0	10	6	7	5	6	4.5
5	1	5	11	6	16	0	0	15	0	7	7	2	6.4
	2	18	7	4	9	0	0	7	25	2	6	4	6.4
	3	6	1	1	4	0	0	2	8	6	6	3	3.1
	4	1	1	1	2	0	0	2	6	1	1	7	2.1
	5	2	0	0	1	0	0	0	2	1	1	1	0.6
	6	1	1	0	5	0	0	0	0	0	0	1	0.7
6	1	0	0	1	1	0	0	4	1	0	0	1	0.8
	2	3	2	3	8	1	0	5	4	7	0	0	3.0
	3	5	3	1	12	0	0	4	9	9	0	1	3.9
	4	17	1	2	5	0	0	8	9	15	0	0	4.0
	5	10	0	0	0	0	0	4	5	18	0	2	2.9
	6	11	0	1	2	0	0	5	0	9	0	0	1.7
7	1	4	1	6	7	0	0	26	6	0	1	1	4.8
	2	4	1	1	1	4	1	12	6	7	0	2	3.5
	3	2	0	1	0	0	0	5	0	4	0	0	1.0
	4	1	0	0	0	0	0	1	2	0	3	0	0.6
	5	0	0	0	0	3	0	1	1	1	1	0	0.7
	6	0	2	0	1	0	0	3	2	0	1	0	0.9
8	1	7	0	2	2	0	0	13	3	0	2	0	2.2
	2	2	0	0	4	0	0	10	1	1	1	3	2.1
	3	0	0	0	1	1	0	6	1	0	2	0	1.1
	4	0	0	0	0	0	0	5	0	0	1	0	0.6
	5	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0.5
	6	2	0	2	0	0	0	0	1	2	2	0	0.7
9	1	2	2	2	3	0	0	3	3	9	1	0	2.3
	2	3	3	3	14	0	0	2	6	4	3	2	3.7
	3	4	5	3	3	0	0	19	11	8	0	1	5.0
	4	5	0	6	4	0	0	2	19	4	2	18	5.5
	5	4	3	11	2	0	0	16	2	1	1	2	3.8
	6	6	2	3	1	0	0	31	22	0	1	3	6.3
10	1	44	9	30	5	1	1	63	22	13	8	13	16.5
	2	44	12	44	8	3	0	27	17	13	15	14	15.3
	3	33	5	40	7	0	0	22	12	14	11	23	13.4
	4	31	6	18	18	0	8	86	16	12	0	20	18.4
	5	2	0	13	10	2	3	29	12	12	5	15	10.1
	6	13	0	2	4	0	4	30	28	17	0	1	8.6
合計		349	141	223	197	15	18	521	328	261	112	172	198.8

チャノコカクモンハマキフェロモントラップ（農大ほ場）

月	半旬	トラップ誘殺数										過去10年	
		R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	平年値
4	1	21	6	484	7	0	0	3	19	51	0	0	57.0
	2	30	55	38	2	0	0	13	34	40	6	0	18.8
	3	53	104	56	9	0	8	3	41	65	23	0	30.9
	4	34	128	46	24	0	3	19	49	172	21	5	46.7
	5	17	434	52	18	2	1	30	39	25	10	8	61.9
	6	6	100	15	48	0	1	14	29	29	26	3	26.5
5	1	11	41	0	44	0	2	19	8	20	21	3	15.8
	2	7	51	5	13	1	0	7	22	11	11	6	12.7
	3	4	9	8	4	1	0	4	1	7	2	2	3.8
	4	1	7	8	1	0	0	4	4	6	4	1	3.5
	5	12	2	18	0	0	0	6	9	14	0	0	4.9
	6	7	7	50	6	0	1	4	12	12	0	0	9.2
6	1	8	38	36	8	0	1	8	16	105	0	2	21.4
	2	37	249	10	63	1	1	4	16	181	9	3	53.7
	3	75	271	3	65	1	0	3	37	99	15	10	50.4
	4	17	235	4	29	2	0	3	33	116	9	8	43.9
	5	23	53	3	24	1	0	3	7	210	20	7	32.8
	6	10	22	4	3	1	0	3	6	83	6	4	13.2
7	1	4	0	6	4	0	0	15	15	18	11	6	7.5
	2	16	0	2	2	0	0	7	17	33	1	3	6.5
	3	32	14	5	11	0	1	10	32	67	3	0	14.3
	4	49	216	4	271	0	0	24	172	199	11	1	89.8
	5	28	339	0	189	0	0	24	351	72	19	3	99.7
	6	11	65	12	81	1	0	43	51	90	15	7	36.5
8	1	13	5	2	35	0	0	20	4	45	34	7	15.2
	2	3	3	5	19	1	0	0	4	38	9	4	8.3
	3	6	1	6	9	0	0	2	9	14	10	4	5.5
	4	10	11	10	16	0	0	7	23	32	19	3	12.1
	5	22	109	33	57	0	0	9	13	32	23	1	27.7
	6	24	43	137	69	0	0	28	12	510	23	10	83.2
9	1	16	216	48	56	0	0	12	0	299	57	7	69.5
	2	20	76	57	1,328	0	0	28	5	254	55	28	183.1
	3	20	35	62	236	0	1	67	10	427	35	27	90.0
	4	10	0	41	41	1	3	4	8	360	135	23	61.6
	5	11	11	157	16	0	4	41	2	78	27	10	34.6
	6	20	16	290	7	1	0	54	16	85	14	13	49.6
10	1	60	111	292	108	0	3	72	37	27	14	19	68.3
	2	14	349	85	148	3	3	39	80	18	21	12	75.8
	3	22	125	111	182	3	1	31	72	49	20	12	60.6
	4	22	190	90	486	9	5	33	106	26	11	13	96.9
	5	5	321	310	252	13	6	5	25	55	30	20	103.7
	6	10	110	193	946	3	1	94	6	114	5	7	147.9
合計		821	4,178	2,798	4,936	44	46	819	1,452	4,188	785	302	1954.8

チャノキイロアザミウマ黄色粘板（農大ほ場）

月	半旬	トラップ誘殺数										過去10年	
		R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	平年値
4	1	2	0	0	0	3	1	1	34	1	2	1	4.3
	2	0	0	0	0	2	0	27	17	1	0	0	4.7
	3	1	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0.5
	4	2	0	0	0	1	0	10	0	0	0	0	1.1
	5	0	0	5	0	1	0	2	1	0	0	0	0.9
	6	0	0	15	0	0	1	1	1	3	0	1	2.2
5	1	4	0	3	2	0	18	0	0	11	0	2	3.6
	2	2	2	5	2	4	11	1	157	7	12	3	20.4
	3	2	0	18	1	2	1	8	16	6	45	21	11.7
	4	2	0	12	1	15	0	15	12	1	30	38	12.4
	5	4	0	8	1	9	1	18	40	4	26	67	17.4
	6	24	1	0	0	12	0	36	90	36	7	29	21.1
6	1	34	2	11	0	5	1	21	38	86	3	27	19.4
	2	14	19	39	2	6	3	60	52	93	60	68	40.2
	3	4	5	4	15	0	5	62	25	123	56	142	43.7
	4	3	3	1	1	2	3	60	24	127	27	90	33.8
	5	9	3	3	1	18	3	102	6	159	44	46	38.5
	6	23	14	1	16	25	4	179	29	370	47	63	74.8
7	1	31	36	2	15	144	7	140	33	49	71	28	52.5
	2	4	3	5	10	41	3	63	26	86	53	4	29.4
	3	1	17	3	1	11	0	83	34	41	2	4	19.6
	4	0	33	0	2	59	4	57	16	16	7	3	19.7
	5	0	4	0	0	17	5	19	6	4	6	0	6.1
	6	1	13	3	0	10	15	7	8	5	8	1	7.0
8	1	0	7	2	0	10	8	0	1	4	10	0	4.2
	2	0	3	2	0	2	26	0	2	6	4	0	4.5
	3	0	8	12	1	1	11	0	4	2	4	0	4.3
	4	1	52	4	2	8	21	7	6	17	12	0	12.9
	5	1	8	0	0	17	0	7	4	16	8	1	6.1
	6	0	31	8	0	57	38	11	6	74	12	0	23.7
9	1	1	12	12	1	48	54	5	4	11	9	1	15.7
	2	3	10	9	2	5	12	7	2	12	4	0	6.3
	3	9	17	14	5	21	43	9	5	4	1	0	11.9
	4	0	1	21	4	53	60	26	4	6	4	0	17.9
	5	2	12	11	7	10	31	13	6	5	2	0	9.7
	6	3	14	1	0	10	9	12	4	5	2	0	5.7
10	1	7	58	0	4	1	5	5	10	7	1	10	10.1
	2	8	5	4	1	11	10	1	5	11	6	16	7.0
	3	4	1	1	3	5	2	0	8	8	5	6	3.9
	4	5	1	2	0	5	0	2	3	20	4	5	4.2
	5	2	1	1	1	5	1	0	1	25	3	5	4.3
	6	5	0	0	0	1	2	1	1	10	2	0	1.7
合計		218	396	241	100	657	419	1,078	746	1,472	599	682	639.0

イ 県予察ほ場における調査

果樹研究所

(ア) 果樹病害虫

1 目 的

果樹病害虫の発生予察は、昭和35年から実験事業が開始され、昭和40年から植物防疫法の適用を受けて実施している。果樹病害虫の発生予察情報の作成、予察方法の改善、並びに、新しい予察法作成に必要な資料を得るため調査を行う。

2 方 法

所内発生予察ほ場において病害虫の発生推移を調査し、初発日、発病最盛期、発生終期を明らかにし、予察灯およびフェロモントラップにより誘殺消長を把握した。

対象病害虫：カンキツそうか病、カンキツ黒点病、カンキツかいよう病、ミカンハダニ、カメムシ類、ナシヒメシンクイ。

そうか病および黒点病は所内無防除「温州ミカン」、かいよう病は所内無防除「甘夏」、ミカンハダニは「温州ミカン」及び「甘夏」で調査した。

3 調査結果

(1) カンキツ病害の初発日

	そうか病		黒点病	かいよう病	
	春葉	果実	果実	春葉	果実
R5	4月7日	5月8日	6月12日	5月8日	6月12日
平年※	4月17日	5月15日	6月4日	5月7日	6月12日

※H25～R4年(10か年)の平均

(2) そうか病

春葉における発生状況の推移

月 半旬	4						5					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
発病 数	無	-	-	95	93	127	118	110	107	107	99	95
	少	-	-	42	56	48	57	68	75	77	82	86
	多	-	-	3	9	9	9	15	19	19	23	23
調査数	-	-	-	140	158	184	184	193	201	203	204	204
発病率(%)	-	-	-	32.1	41.1	31.0	35.9	43.0	46.8	47.3	51.5	53.4
発病度	-	-	-	8.1	12.8	10.1	11.1	14.8	16.9	16.9	19.3	19.7

月 半旬	6						7					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
発病 数	無	95	95	94	94	94	94	94	94	94	94	94
	少	86	86	87	87	87	87	87	87	87	87	87
	多	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
調査数	204	204	204	204	204	204	204	204	204	204	204	204
発病率(%)	53.4	53.4	53.9	53.9	53.9	53.9	53.9	53.9	53.9	53.9	53.9	53.9
発病度	19.7	19.7	19.8	19.8	19.8	19.8	19.8	19.8	19.8	19.8	19.8	19.8

果実における発生状況の推移

	月 半旬	5						6					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
発病 数	無	-	-	29	22	12	10	9	7	3	1	0	0
	少	-	-	15	18	25	19	13	10	8	8	8	5
	多	-	-	6	10	13	21	28	33	39	41	42	45
調査数		-	-	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
発病率(%)		-	-	42.0	56.0	76.0	80.0	82.0	86.0	94.0	98.0	100.0	100.0
発病度		-	-	18.0	27.2	36.0	49.6	61.2	70.0	81.2	85.2	87.2	92.0

	月 半旬	7						8					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
発病 数	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	少	4	4	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	多	46	46	47	48	48	48	48	48	48	48	48	48
調査数		50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
発病率(%)		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
発病度		93.6	93.6	95.2	96.8	96.8	96.8	96.8	96.8	96.8	96.8	96.8	96.8

(3) 黒点病

果実における発生状況の推移

	月 半旬	6						7					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
発病 数	無	-	-	-	41	36	31	22	22	10	5	3	0
	少	-	-	-	8	13	18	27	27	37	40	41	41
	中	-	-	-	1	1	1	1	1	3	4	4	7
	多	-	-	-	0	0	0	0	0	0	1	2	2
	甚	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調査数		-	-	-	50	50	50	50	50	50	50	50	50
発病率(%)		-	-	-	18.0	28.0	38.0	56.0	56.0	80.0	90.0	94.0	100.0
発病度		-	-	-	3.1	4.6	6.0	8.6	8.6	13.1	16.3	18.0	20.6

	月 半旬	8						9					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
発病 数	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	少	37	35	34	30	28	27	26	26	25	25	25	25
	中	10	12	13	17	19	20	20	20	21	21	21	21
	多	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	甚	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1
調査数		50	50	50	50	50	50	50.0	50.0	50.0	50	50	50
発病率(%)		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
発病度		23.4	24.6	25.1	27.4	28.6	29.1	30.9	30.9	31.4	31.4	31.4	31.4

(4) かいよう病

春葉における発生状況の推移

5							6						
月	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
半旬													
無	-	-	185	185	184	184	184	184	184	183	183	183	
少	-	-	8	8	9	9	9	9	9	10	10	10	
発病数	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
多	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
甚	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
調査数	-	-	193	193	193	193	193	193	193	193	193	193	
発病率(%)	-	-	4.1	4.1	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	5.2	5.2	5.2	
発病度	-	-	0.6	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	

7							8						
月	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
半旬													
無	183	183	183	183	183	183	183	183	183	183	183	183	
少	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
発病数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
多	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
甚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
調査数	193	193	193	193	193	193	193	193	193	193	193	193	
発病率(%)	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	
発病度	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	

9													
月	1	2	3	4	5	6							
半旬													
無	183	183	183	183	183	183							
少	10	10	10	10	10	10							
発病数	0	0	0	0	0	0							
中	0	0	0	0	0	0							
多	0	0	0	0	0	0							
甚	0	0	0	0	0	0							
調査数	193	193	193	193	193	193							
発病率(%)	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2							
発病度	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7							

果実における発生状況の推移

6							7						
月	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
半旬													
無	-	-	-	48	47	47	45	45	45	44	44	44	
少	-	-	-	1	2	2	4	4	4	3	2	2	
発病数	-	-	-	1	1	1	1	1	1	3	4	4	
中	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
多	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
甚	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
調査数	-	-	-	50	50	50	50	50	50	50	50	50	
発病率(%)	-	-	-	4.0	6.0	6.0	10.0	10.0	10.0	12.0	12.0	12.0	
発病度	-	-	-	1.1	1.4	1.4	2.0	2.0	2.0	3.4	4.0	4.0	

8							9						
月	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
半旬													
無	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	
少	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
発病数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
多	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
甚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
調査数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	
発病率(%)	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	
発病度	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	

(5) ミカンハダニ

発生予察ほ場におけるミカンハダニ発生状況

100葉当たり虫数

H24-R4

月	半旬	R5 (甘夏)	R5	R4	平年 (過去10年)
4	1	6	263	21	
	2	15	445	31	
	3	38	571	117	
	4	40	511	109	
	5	86	906	143	35.4
	6	53	597	97	31.6
5	1	50	549	62	29.7
	2	125	399	29	25.9
	3	195	207	30	18.4
	4	221	86	0	11.6
	5	83	49	2	7.7
	6	86	32	5	7.0
6	1	97	92	0	10.7
	2	92	99	9	11.6
	3	88	223	3	17.1
	4	21	90	9	16.9
	5	6	148	3	21.7
	6	3	185	1	16.0
7	1	0	125	0	14.6
	2	1	84	0	8.4
	3	0	26	1	6.4
	4	0	10	2	15.9
	5	0	1	1	14.0
	6	0	1	3	18.8
8	1	2	3	1	47.6
	2	0	0	2	38.7
	3	3	2	13	39.7
	4	0	5	10	41.7
	5	3	2	6	24.2
	6	1	0	14	29.3
9	1	0	0	13	33.1
	2	3	14	8	27.2
	3	4	10	6	33.8
	4	7	26	0	16.7
	5	19	38	1	15.9
	6	4	37	2	18.3
10	1	9	54	2	14.6
	2	7	50	0	12.5
	3	40	1	0	11.7
	4	1	25	2	7.2
	5	0	39	3	4.1
	6	1	17	0	2.9

寄生葉率

H24-R4

月	半旬	R5 (甘夏)	R5	R4	平年 (過去10年)
4	1	4	58	16	
	2	9	76	20	
	3	17	86	49	
	4	19	87	55	
	5	30	90	49	17.9
	6	17	75	40	19.1
5	1	20	80	32	17.3
	2	33	68	23	15.3
	3	42	66	18	13.1
	4	47	42	0	8.5
	5	25	21	2	5.8
	6	34	20	2	4.9
6	1	64	49	0	8.3
	2	47	46	7	9.0
	3	21	63	3	10.8
	4	9	43	7	11.8
	5	4	56	2	12.3
	6	3	61	1	8.5
7	1	0	57	0	8.4
	2	1	31	0	5.5
	3	0	21	1	5.2
	4	0	7	2	5.8
	5	0	1	1	5.0
	6	0	1	2	6.3
8	1	2	2	1	8.4
	2	0	0	2	9.4
	3	3	2	13	9.3
	4	0	5	9	10.2
	5	3	1	6	8.8
	6	1	0	11	9.9
9	1	0	0	13	10.9
	2	3	8	6	10.3
	3	4	7	5	12.6
	4	6	17	0	9.5
	5	15	19	1	10.2
	6	4	18	2	11.3
10	1	9	29	1	10.1
	2	6	27	0	8.0
	3	18	1	0	7.8
	4	1	12	2	5.5
	5	0	23	1	3.1
	6	1	13	0	2.4

(6) カメムシ類

予察灯およびフェロモントラップにおけるカメムシ類の誘殺消長

チャバネアオカメムシ (宇城・フェロモントラップ)

月	半旬	トラップの誘殺数												過去 10年 平年値
		R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	
4	1	8	1	3	0		7						0	3
	2	0	0	6	0		9					0	0	3
	3	0	16	0	0	0	0	0			0	0	0	2
	4	3	1	0	1	2	2	48	4		0	0	17	6
	5	3	2	10	1	11	94	0	3	0	7	1	9	13
	6	0	84	0	0	12	22	10	15	12	1	0	9	16
5	1	1	49	0	143	0	8	0	8	9	3	9	2	23
	2	15	6	7	107	10	6	36	9	59	17	18	2	28
	3	12	60	6	317	53	49	2	4	93	77	84	2	75
	4	4	48	25	657	43	360	155	15	196		279	23	198
	5	2	58	1	634	15	212	34	9	34	36	48	34	108
	6	7	73	0	262	6	452	28	7	92	71	93	85	108
6	1	4	1	8	452	21	296	11	0	84	51	39	41	96
	2	10	1	11	412	29	148	11	3	9	53	34	40	71
	3	3	1	21	556	41	410	18	10	47	32	30	27	117
	4	5	0	1	1,316	32	62	18	8	0	19	199	29	166
	5	2	0	5	417	58	884	55	19	42	25	56	7	156
	6	0	0	1	1,806	39	407	45	8	111	28	61	9	251
7	1	1	759	1	392	21	1,094	143	12	24	22	74	14	254
	2	3	187	0	814	6	856	15	10	68	22	8	16	199
	3	0	329	2	3,271	0	708	39	4	359		38	6	528
	4	0	79	1	883	2	935	12	0	167	7	51	3	214
	5	1	21	1	9,308	0	464	2	0	242	8	35	2	1,008
	6	0	409	0	8,671	2	394	10	3	178	6	15	7	969
8	1	0	110	0	14,055	3	40	14	1	228	8	2	5	1,446
	2	0	219	2	1,529	0	197	3	1	326	9	11	7	230
	3	7	85	0	1,313	5	160	35	2	249	6	12	13	187
	4	1	27	0	1,131	3	53	14	1	161	6	3	5	140
	5	1	11	3	322	1	14	58	2	147	5	21	4	58
	6	2		2	25	14	4	135	1	32	20	18	4	28
9	1	4	1	1	28	16	4	3	1	15	15	32	10	12
	2	9	0	4	7	19	1	23	1	48	35	15	57	15
	3	5	0	1	14	85	3	70	2	5	0	10	59	19
	4	3	0	0	6	17	6	16	12	1	6	12	9	8
	5	6	0	14	2	5	23	20	2	0	6	2	3	7
	6	20	1	1	1	8	21	34	6	1	3	4	0	8
10	1	24	5	1	0	137	2	157	38	5	0	28	9	37
	2	9	1	22	2	76	12	6	13	4	2	2	34	14
	3	5	1	3	1	228	2	274	10	0	0	0	2	52
	4	4	0	0	0	15	0	42	6	0	4	1	1	7
	5	1	0	1	0	13	1	0	2	0	0	0	2	2
	6	0	0	0	0	1	1	0	15	0		0	2	2
合計		185	2,646	165	48,856	1,049	8,423	1,596	267	3,048	610	1,345	610	6,880

ツヤアオカメムシ(宇城・フェロモントラップ)

月	半旬	トラップの誘殺数												過去 10年 平年値
		R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	
4	1	0	0	0	0		3						0	1
	2	0	0	0	0		35					0	0	7
	3	0	0	0	1	0	0	0			0	0	0	0
	4	1	0	0	0	0	6	7	1		0	0	0	2
	5	0	0	2	3	0	65	0	2	0	1	1	0	7
	6	0	28	0	1	2	14	2	2	2	0	1	0	5
5	1	0	94	0	101	0	9	0	0	7	0	6	1	22
	2	2	11	2	132	10	12	25	9	71	22	5	2	30
	3	8	49	16	121	44	236	1	12	80	76	45	2	68
	4	3	49	2	517	37	468	272	15	516		186	11	229
	5	4	99	0	379	4	142	51	3	134	306	128	22	125
	6	0	42	0	121	11	352	50	0	205	383	125	33	129
6	1	0	1	1	209	3	75	48	0	129	197	80	32	74
	2	0	1	1	139	1	57	11	0	4	96	106	23	42
	3	1	1	0	17	5	25	2	0	5	26	11	2	9
	4	1	0	0	11	2	5	6	0	0	14	7	0	5
	5	0	0	0	1	0	4	0	0	1	1	7	0	1
	6	0	0	0	12	0	1	0	0	0	4	1	0	2
7	1	0	3	0	1	0	1	2	0	0	2	0	0	1
	2	0	0	0	10	0	2	0	0	2	6	0	0	2
	3	0	0	0	15	0	0	1	0	7		1	0	3
	4	0	0	0	10	0	7	2	0	2	0	2	0	2
	5	0	0	0	23	0	2	0	0	0	0	0	0	3
	6	0	0	0	13	0	3	0	0	0	0	1	0	2
8	1	0	0	0	30	0	0	0	0	4	0	0	1	3
	2	0	0	0	15	0	0	0	0	11	0	0	0	3
	3	0	0	0	14	0	0	0	0	5	0	0	0	2
	4	0	0	0	10	0	0	0	0	5	0	0	0	2
	5	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	1
	6	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	1	0	0	0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	1
	2	0	0	0	1	0	1	3	0	32	2	0	1	4
	3	0	0	0	6	4	0	9	0	8	0	0	3	3
	4	0	0	0	1	4	0	18	3	6	1	1	0	3
	5	0	0	5	2	8	2	17	11	26	17	6	3	9
	6	3	10	1	0	19	9	22	4	11	1	26	16	10
10	1	14	18	4	10	105	9	148	26	25	10	0	53	36
	2	0	4	2	31	167	5	9	21	0	1	0	213	24
	3	11	3	9	1	296	1	476	23	5	0	0	95	81
	4	1	6	0	1	169	1	51	554	3	0	10	48	80
	5	2	0	0	0	79	1	0	123	0	13	2	12	22
	6	0	0	0	0	38	2	0	72	1		12	45	14
合計		51	419	45	1,963	1,008	1,555	1,233	881	1,315	1,179	770	618	1,065

チャバネアオカメムシ(宇城・予察灯)

月	半旬	トラップの誘殺数												過去 10年 平年値
		R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	
4	1	0	0	0	0		0						0	0
	2	0	0	0	0		0					0	0	0
	3	0	2	0	0	0	0	0	1		0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	2	0	1		0	0	0	0
	5	0	91	5	0	1	2	0	1	0	0	0	0	10
	6	1	78	0	1	0	0	0	2	1		0	0	9
5	1	7	13	1	75	2	0	28	7	4			18	16
	2	6	26	4	124	6	0	3	2	12			4	22
	3	0	118	19	58	6	欠測	4	17	66			4	41
	4	3	10	2	527	44	301	4	3	38		1	3	103
	5	0	*1) 19	4	344	7	52	11	24	10		10	10	58
	6	6	*1) 17	1	109	2	121	3	5	73	3	7	4	36
6	1	8	11	1	142	12	33	4	4	26	0	43	8	28
	2	2	15	25	114	10	370	3	2	3	7	10	6	56
	3	6	15	6	146	0	11	9	8	23	1	20	6	24
	4	5	74	4	92	15	53	7	2	17	1	25	15	29
	5	4	49	1	191	12	98	33	9	46	0	124	6	56
	6	6	149	2	162	7	220	75	8	62	2	34	19	72
7	1	1	88	8	229	14	253	36	9	16	0	16	22	67
	2	8	139	3	431	5	134	15	2	337	4	22	1	109
	3	4	51	3	*2) 47	4	106	13	2	237	0	20	8	48
	4	4	73	2	1,260	13	47	9	3	221	5	16	15	165
	5	4	125	14	1,214	18	107	8	3	159	6	14	9	167
	6	5	216	27	2,085	14	197	29	3	429	3	44	17	305
8	1	42	129	37	964	26	359	36	8	271	31	40	59	190
	2	86	130	105	781	85	122	181	11	218	21		178	184
	3	205	117	114	476	207	198	525	21	122	156		325	215
	4	610	76	662	170	1,940	216	845	85	277	350		947	513
	5	1,159	59	824	105	1,530	288	2,689	204	130	547		1,474	708
	6	1,977	107	415	148	4,433	197	4,602	156	182	241		929	1,165
9	1	2,238	51	306	138	3,864	118	565	848	93	199	22	646	620
	2	460	29	84	68	2,330	41	1,272	309	69	111	99	857	441
	3	503	28	98	194	2,263	406	922	203	15	238	55	500	442
	4	1,185	3	348	35	628	300	853	47	79	116	17	280	243
	5	580	81	148	104	1,757	104	1,799	245	160	629	81	355	511
	6	863	45	152	25	4,468	30	1,822	152	14	425	19	144	715
10	1	202	17	41	32	2,330	66	533	272	9	166	24	5	349
	2	31	1	20	10	804	79	2,852	35	9	56	11	5	388
	3	17	0	25	16	131	1	707	13	8	1	1	1	90
	4	6	0	0	2	70	0	10	48	5	7	0	1	14
	5	0	2	0	2	43	0	2	2	0	4	0	0	6
	6	0	0	0	0	1	0	7	6	0		0	0	2
合計		10,244	2,218	3,511	10,574	27,102	4,632	20,516	2,783	3,441	3,330	775	6,881	8,218

*1) 各1日欠測

*2) 雷で停電し、2日間欠測

ツヤアオカメムシ(宇城・予察灯)

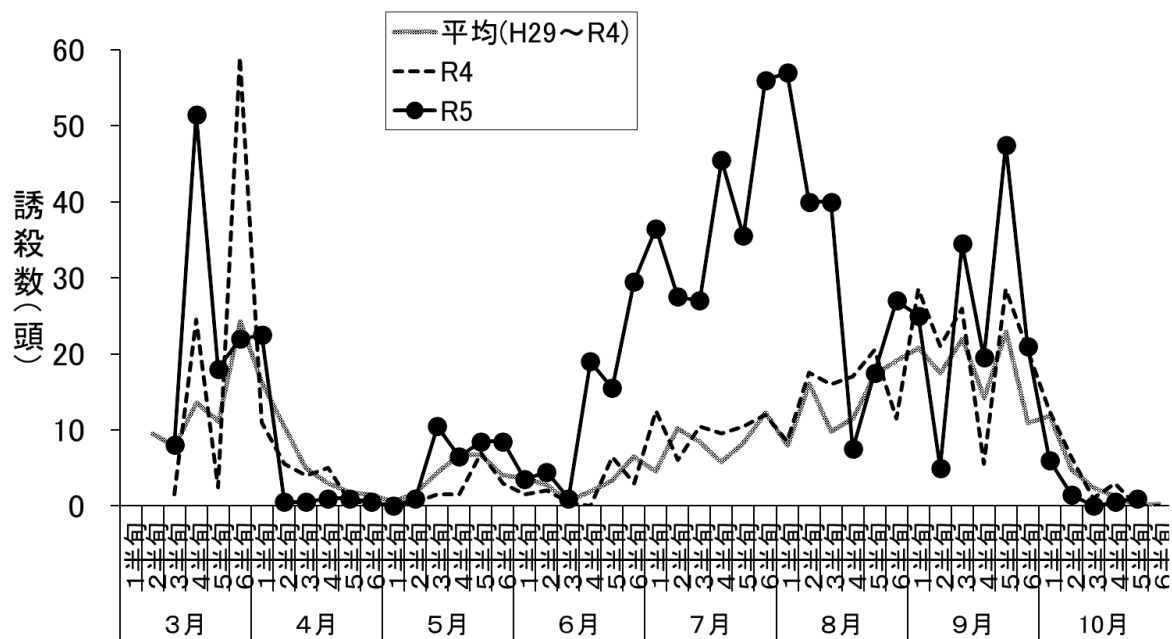
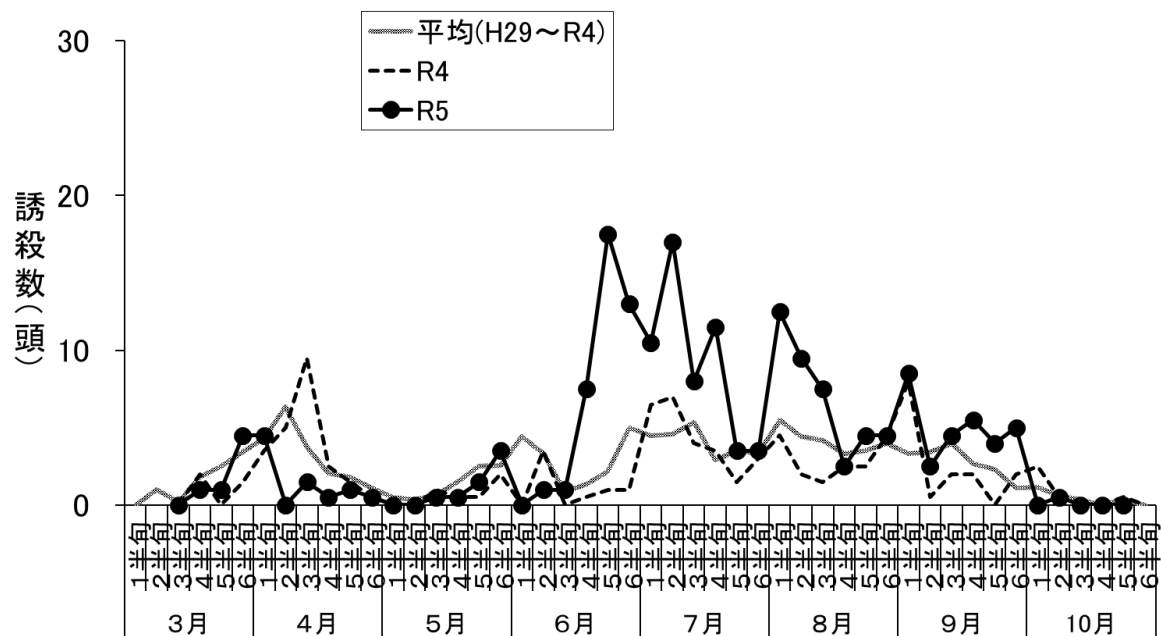
月	半旬	トラップの誘殺数												過去 10年
		R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	平年値
4	1	0	0	0	0		0						0	0
	2	0	0	0	0		0					0	0	0
	3	1	1	0	0	0	0	0	1		0	0	0	0
	4	7	0	0	0	2	0	5	1		0	0	0	1
	5	0	109	5	1	25	0	5	1	0	1	0	0	15
	6	0	211	1	0	3	0	1	6	1		0	2	25
5	1	5	40	0	385	28	0	92	7	5			9	70
	2	7	81	16	357	33	0	43	51	9			26	74
	3	6	349	22	278	257	-	66	29	192			22	170
	4	25	61	10	1,851	514	867	15	2	216			19	442
	5	4	*1) 144	0	500	57	185	147	9	104		82	18	136
	6	21	*1) 103	8	219	71	185	44	8	317	47	246	69	127
6	1	23	131	20	298	283	179	178	3	215	134	297	53	174
	2	6	217	28	407	61	894	56	22	131	93	123	105	203
	3	10	58	15	122	40	71	142	31	111	10	345	61	95
	4	2	206	6	96	39	134	91	2	106	25	153	67	86
	5	6	48	4	178	5	64	117	4	153	14	299	29	89
	6	3	134	6	394	48	123	91	6	95	8	62	18	97
7	1	2	97	3	143	30	169	69	5	46	6	40	33	61
	2	13	110	4	179	12	56	42	2	444	9	59	8	92
	3	3	18	4	*2) 15	7	42	12	3	477	3	49	13	68
	4	3	24	2	242	12	58	12	1	475	0	25	9	85
	5	11	23	11	164	9	59	11	2	141	6	10	9	44
	6	8	25	42	205	29	68	70	5	345	11	53	36	85
8	1	25	42	39	42	47	102	58	6	215	48	71	52	67
	2	33	73	57	133	207	53	200	24	278	25		266	117
	3	59	33	22	93	169	29	337	19	99	37		322	93
	4	51	16	24	42	400	31	233	17	175	144		117	120
	5	48	9	49	22	170	37	319	23	55	145		94	92
	6	52	11	190	41	263	31	378	10	171	33		110	125
9	1	66	11	172	15	653	33	126	15	185	34	4	228	125
	2	30	11	55	9	1,073	18	626	11	191	34	29	844	206
	3	131	20	80	27	547	342	637	30	136	332	34	444	219
	4	332	7	75	21	174	166	937	30	263	181	5	128	186
	5	213	119	46	69	600	53	1,325	248	403	699	46	199	361
	6	138	125	141	58	2,222	88	2,424	311	88	245	43	247	575
10	1	65	73	79	56	2,256	114	682	735	57	493	116	69	466
	2	91	9	88	11	1,074	69	1,728	163	0	150	166	85	346
	3	85	27	59	21	301	9	600	58	16	2	13	14	111
	4	19	7	0	1	256	6	291	306	0	34	7	20	91
	5	4	15	2	1	418	10	54	73	0	34	10	31	62
	6	5	1	3	1	47	1	79	14	0		2	16	16
合計		1,613	2,552	1,388	6,682	12,442	4,346	12,343	2,294	5,915	3,037	2,389	3,892	5,613

*1) 各1日欠測

*2) 雷で停電し、2日間欠測

フェロモントラップによるナシヒメシンクイの発生状況

ナシヒメシンクイフェロモントラップ[®]誘殺消長(果研:梨)

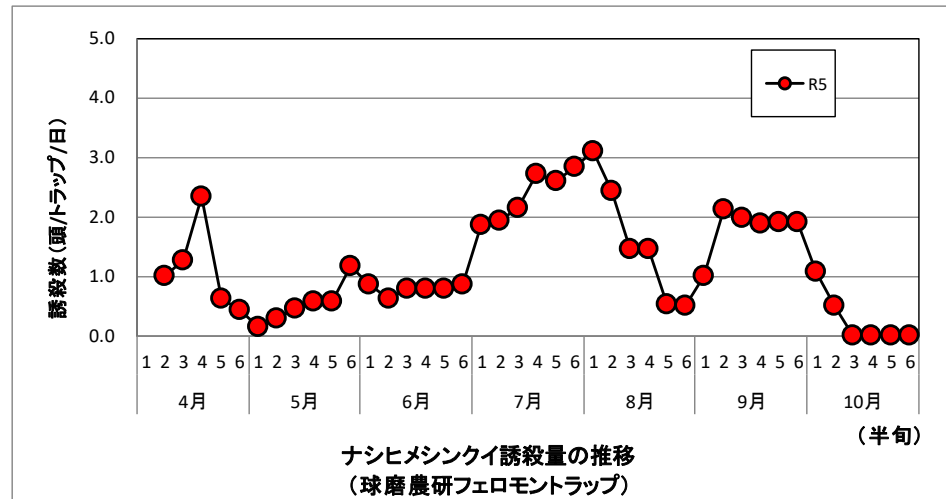
ナシヒメシンクイフェロモントラップ^o誘殺消長(果研:桜)

ウ 地区予察ほ場における調査

1) 球磨農研におけるナシヒメシンクイの季節的消長

(調査1年目のため昨年度及び平年値なし)

月, 半旬		R5	平年値
4 月	1	—	—
	2	1.00	—
	3	1.27	—
	4	2.33	—
	5	0.63	—
	6	0.43	—
5 月	1	0.14	—
	2	0.29	—
	3	0.46	—
	4	0.57	—
	5	0.57	—
	6	1.17	—
6 月	1	0.86	—
	2	0.62	—
	3	0.80	—
	4	0.79	—
	5	0.79	—
	6	0.86	—
7 月	1	1.86	—
	2	1.94	—
	3	2.14	—
	4	2.71	—
	5	2.60	—
	6	2.83	—
8 月	1	3.09	—
	2	2.44	—
	3	1.46	—
	4	1.46	—
	5	0.52	—
	6	0.50	—
9 月	1	1.00	—
	2	2.13	—
	3	1.98	—
	4	1.88	—
	5	1.92	—
	6	1.92	—
10 月	1	1.07	—
	2	0.50	—
	3	0.00	—
	4	0.00	—
	5	0.00	—
	6	0.00	—



(イ) 茶害虫

茶業研究所

1 目 的

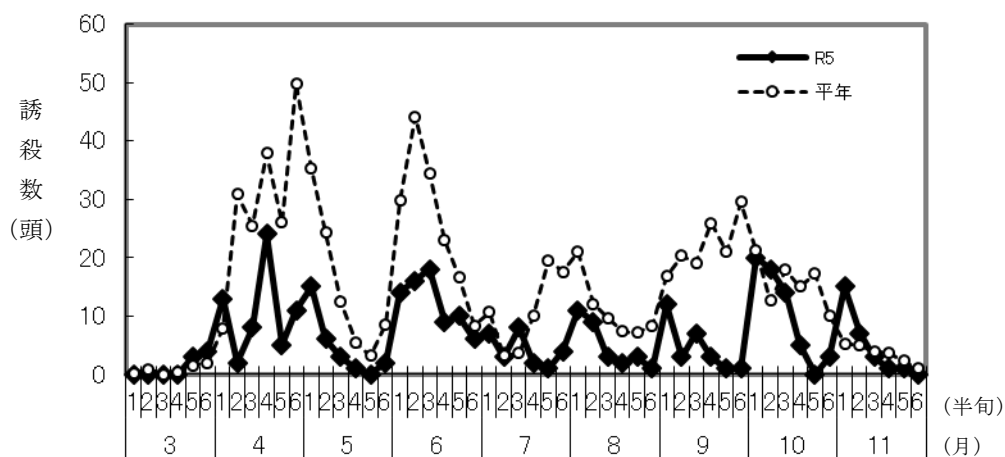
植物防疫法の規定に基づき茶病虫害の発生予察情報調査を行い、適切な情報の提供によって適期防除を推進する。

2 試験方法

- ア 調 査 場 所 茶業研究所内ほ場 ‘やぶきた’
イ 調 査 期 間 3月～11月
ウ 調 査 方 法 性フェロモントラップ、100葉調査、たたき落とし（2回たたき×10ヶ所）
エ 調査対象害虫 チャノコカクモンハマキ、チャハマキ、チャノホソガ、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ、カンザワハダニ

3 試験成績

ア チャノコカクモンハマキ



ウ チャノホソガ

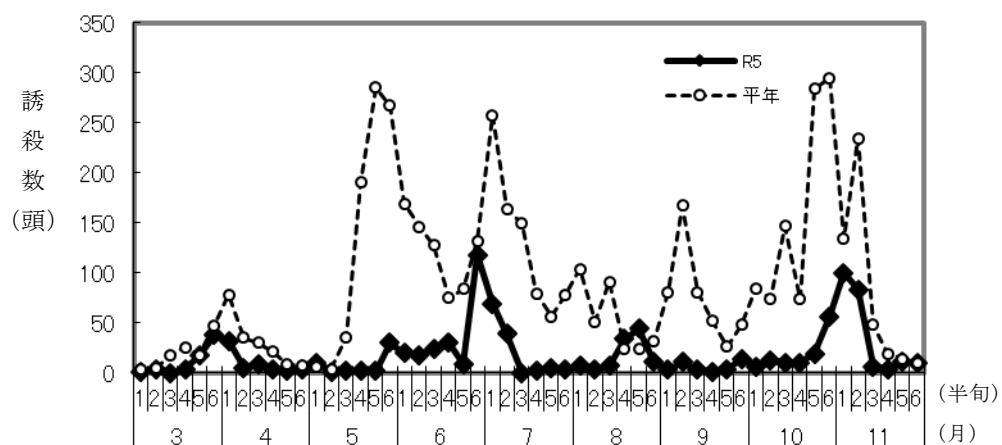


図3 チャノホソガ誘殺数 (フェロモントラップ)

エ チャノミドリヒメヨコバイ

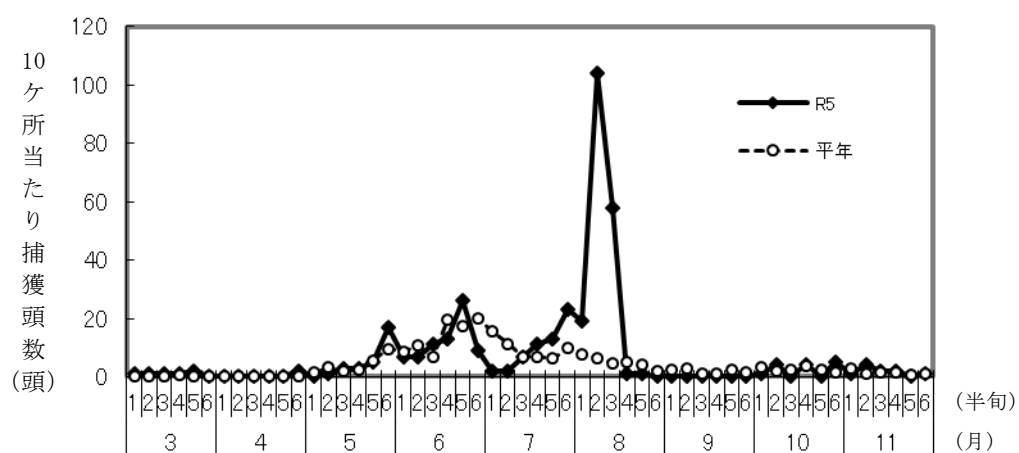


図4 チャノミドリヒメヨコバイ捕獲数 (たたき落とし)

オ チャノキイロアザミウマ

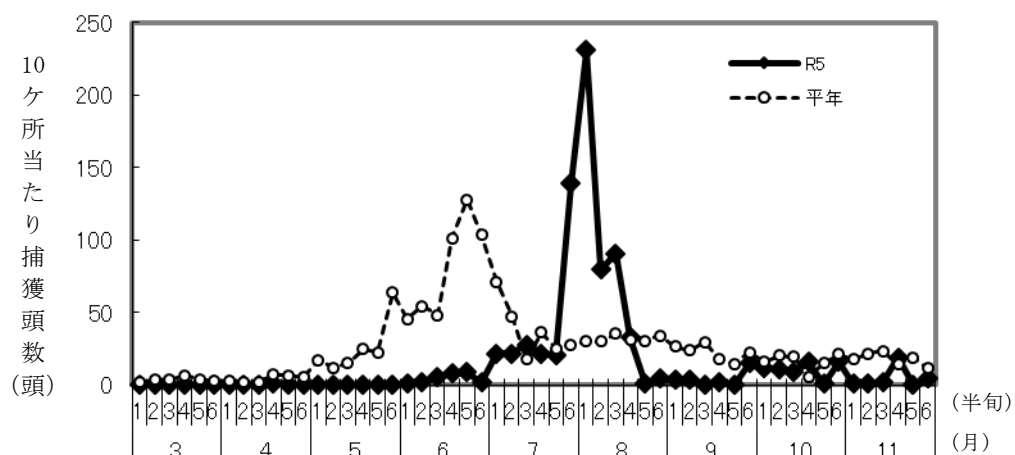
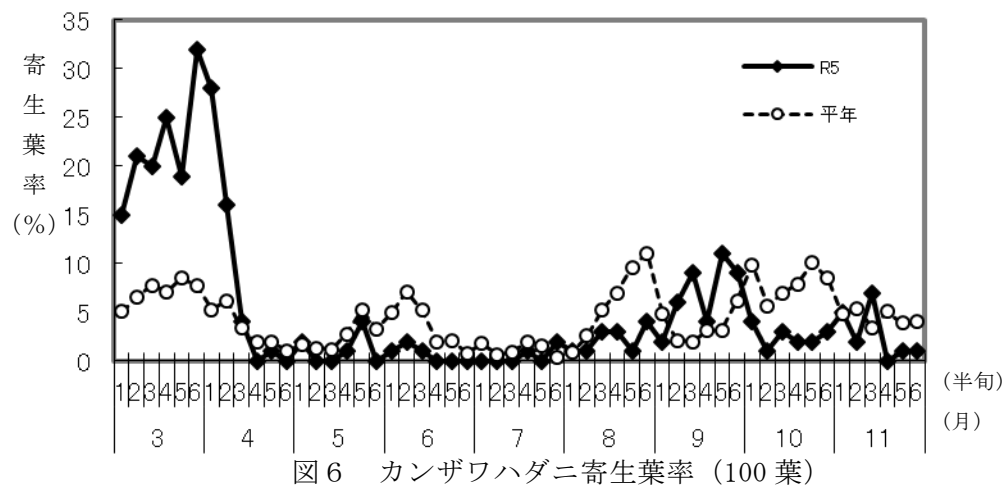


図5 チャノキイロアザミウマ捕獲数 (たたき落とし)

カ カンザワハダニ



(5) 野菜・花き病害虫発生予察事業

ア 病害虫防除所における調査

(ア) 巡回調査

作物名「冬春トマト」

調査月	調査対象	疫病		灰色かび病 (茎葉)		灰色かび病 (果実)		葉かび病		すすかび病	
	調査項目	発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度
4	本年値	0.00	0.00	16.86	4.21	0.57	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	12.74	3.29	1.60	0.40	2.17	0.54	0.06	0.01
9	本年値	0.00	0.00	2.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
10	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.29	0.07
	平年値	0.06	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.74	0.18
11	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.17	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	3.15	0.79
12	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.29	0.07
	平年値	0.11	0.03	2.17	0.54	0.00	0.00	0.97	0.24	2.63	0.65
1	本年値	0.00	0.00	1.14	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	2.74	0.69	0.11	0.03	2.17	0.54	1.43	0.36
2	本年値	0.00	0.00	5.43	1.36	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.72	0.18	6.06	1.51	0.14	0.03	3.76	0.94	1.25	0.31
3	本年値	0.00	0.00	10.00	2.50	2.29	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	11.37	2.84	1.66	0.41	4.34	1.29	0.17	0.04

調査月	調査対象	うどんこ病		黄化葉巻病	アブラムシ類		コナジラミ類		オオタバコガ	
	調査項目	発病株率	発病度	発病株率	寄生葉率	頭/10葉	寄生葉率	頭/10葉	寄生株率	頭/10葉
4	本年値	0.86	0.21	0.86	0.00	0.00	1.71	0.21	0.00	0.00
	平年値	1.14	0.29	0.87	0.00	0.00	1.49	0.11	0.00	0.00
9	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.03	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00	1.92	0.20	0.00	0.00
10	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.71	0.34	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	1.14	0.00	0.00	2.14	0.25	0.01	0.00
11	本年値	0.00	0.00	0.71	0.00	0.00	2.14	0.21	0.00	0.00
	平年値	0.06	0.01	1.55	0.00	0.00	1.81	0.21	0.00	0.00
12	本年値	2.29	0.57	1.36	0.00	0.00	5.00	0.60	0.00	0.00
	平年値	0.91	0.23	1.98	0.00	0.00	1.26	0.15	0.00	0.00
1	本年値	0.00	0.00	1.43	0.00	0.00	0.29	0.03	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	2.37	0.00	0.00	0.54	0.06	0.00	0.00
2	本年値	0.00	0.00	1.79	0.00	0.00	0.57	0.06	0.00	0.00
	平年値	0.06	0.01	1.51	0.00	0.00	0.26	0.03	0.00	0.00
3	本年値	0.29	0.07	1.57	0.00	0.00	0.86	0.13	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	1.46	0.06	0.01	0.49	0.05	0.00	0.00

(冬春トマト 続き)

調査月	調査対象	ハスモンヨトウ (寄生+食害)			アザミウマ類	
	調査項目	寄生株率	頭/10 葉	被害株率	寄生株率	頭/10 葉
4	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	-	-
9	本年値	0.00	0.00	1.50	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.10	-	-
10	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.24	0.04	0.38	-	-
11	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	-	-
12	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	-	-
1	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	-	-
2	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	-	-
3	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	-	-

作物名「夏秋トマト」

調査月	調査対象	疫病		灰色かび病 (茎葉)		灰色かび病 (果実)		葉かび病		すすかび病	
	調査項目	発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度
6	本年値	0.0	0.0	0.3	0.1	0.3	0.1	1.0	0.3	0.0	0.0
	平年値	0.0	0.0	0.7	0.2	0.1	0.0	2.0	0.5	0.9	0.2
7	本年値	0.0	0.0	5.7	1.4	0.0	0.0	5.0	1.3	6.7	1.7
	平年値	0.0	0.0	8.9	2.2	0.8	0.2	6.5	1.7	4.5	1.1
8	本年値	0.0	0.0	3.0	0.8	0.3	0.1	33.0	10.3	46.0	19.7
	平年値	0.0	0.0	18.5	4.7	0.8	0.2	19.3	5.8	46.7	18.1
9	本年値	0.0	0.0	12.0	3.0	0.0	0.0	22.3	6.2	71.3	40.8
	平年値	0.0	0.0	27.0	7.2	0.4	0.1	35.5	14.4	66.7	32.1

調査月	調査対象	うどんこ病		アブラムシ類		コナジラミ類		アザミウマ類	
	調査項目	発病株率	発病度	寄生葉率	頭/10 葉	寄生葉率	頭/10 葉	寄生株率	頭/10 葉
6	本年値	2.3	0.6	0.0	0.0	1.5	0.2	0.0	0.0
	平年値	2.6	0.6	0.0	0.0	1.4	0.2	-	-
7	本年値	10.3	2.6	0.0	0.0	18.2	4.0	0.0	0.0
	平年値	5.3	1.3	0.0	0.0	7.6	1.0	-	-
8	本年値	3.0	0.8	0.0	0.0	7.7	1.1	0.0	0.0
	平年値	9.9	3.1	0.0	0.0	9.6	2.0	-	-
9	本年値	16.3	5.8	0.0	0.0	16.2	3.7	0.0	0.0
	平年値	4.3	1.3	0.0	0.0	13.6	7.3	-	-

(夏秋トマト 続き)

調査月	調査対象	ハスモンヨトウ (寄生+食害)			オオタバコガ	
	調査項目	寄生株率	頭/10 葉	被害株率	寄生株率	頭/10 葉
6	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0
8	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
9	本年値	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
	平年値	0.3	0.1	0.8	0.1	0.0

作物名「冬春ナス」

調査月	調査対象	うどんこ病		灰色かび病		すすかび病		すす斑病	
	調査項目	発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度
4	本年値	1.2	0.3	10.0	2.5	30.8	7.7	36.8	9.2
	平年値	1.9	0.5	0.9	0.2	47.4	12.4	-	-
10	本年値	0.0	0.0	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
11	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.2	2.8
	平年値	1.4	0.3	0.0	0.0	0.2	0.0	-	-
12	本年値	0.4	0.1	0.0	0.0	1.6	0.4	18.8	4.7
	平年値	2.7	0.8	0.2	0.0	4.2	1.1	-	-
1	本年値	0.4	0.1	1.2	0.3	20.4	5.3	39.6	10.1
	平年値	1.2	0.3	1.1	0.3	17.7	4.5	-	-
2	本年値	0.0	0.0	4.4	1.1	38.8	13.4	56.0	14.0
	平年値	0.3	0.1	1.7	0.4	27.7	8.0	-	-
3	本年値	0.0	0.0	7.2	1.8	48.0	17.0	52.4	13.1
	平年値	1.8	0.5	0.7	0.2	36.2	9.4	-	-

調査月	調査対象	ハダニ類		アザミウマ類		コナジラミ類		アブラムシ類	
	調査項目	寄生葉率	頭/10 葉	寄生葉率	頭/10 葉	寄生葉率	頭/10 葉	寄生葉率	頭/10 葉
4	本年値	0.0	0.0	1.2	0.1	9.2	1.2	0.0	0.0
	平年値	0.1	0.0	2.6	0.4	7.0	0.9	0.1	0.0
10	本年値	0.0	0.0	18.4	13.2	38.0	10.5	0.8	0.1
	平年値	0.1	0.0	8.1	2.0	49.0	13.2	0.4	0.0
11	本年値	0.0	0.0	13.6	6.0	20.4	3.5	0.0	0.0
	平年値	0.0	0.0	7.0	2.1	26.0	6.2	0.3	0.0
12	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	1.3	0.0	0.0
	平年値	0.0	0.0	1.8	0.4	15.3	3.2	0.0	0.0
1	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.1	0.0	0.0
	平年値	0.2	0.0	0.2	0.0	12.6	2.0	0.0	0.0
2	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.9	0.0	0.0
	平年値	0.0	0.0	0.1	0.0	5.7	0.8	0.0	0.0
3	本年値	0.0	0.0	0.4	0.0	7.6	0.8	0.0	0.0
	平年値	0.0	0.0	0.2	0.0	6.2	0.8	0.4	0.1

(冬春ナス 続き)

調査月	調査対象	ハスモンヨトウ		オオタバコガ		ハモグリバエ類	
	調査項目	寄生株率	頭/10 葉	寄生株率	頭/10 葉	寄生株率	寄生程度
4	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.2
10	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	8.8	2.2
	平年値	1.0	0.1	0.0	0.0	1.1	0.3
11	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	28.8	7.5
	平年値	0.2	0.0	0.0	0.0	3.4	0.8
12	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	5.0
	平年値	0.1	0.0	0.0	0.0	1.5	0.4
1	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	14.8	3.7
	平年値	0.1	0.0	0.0	0.0	0.6	0.1
2	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	8.4	2.1
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1
3	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.4
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1

作物名「冬春キュウリ」

調査月	調査対象	うどんこ病		灰色かび病		べと病		斑点細菌病	
	調査項目	発病葉率	発病度	発病株率	発病度	発病葉率	発病度	発病葉率	発病度
4	本年値	2.80	0.70	8.40	2.10	22.80	5.70	0.00	0.00
	平年値	23.57	6.30	0.91	0.23	24.85	6.78	0.00	0.00
5	本年値	6.40	1.60	3.20	0.80	28.40	7.10	0.00	0.00
	平年値	24.72	6.73	1.96	0.49	20.26	5.21	0.00	0.00
6	本年値	1.50	0.38	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	2.46	0.62	0.00	0.00	2.11	0.53	0.00	0.00
11	本年値	6.40	1.60	0.00	0.00	0.80	0.20	0.00	0.00
	平年値	6.69	1.67	2.16	0.54	8.43	2.55	0.00	0.00
12	本年値	9.67	2.42	0.33	0.08	2.00	0.50	0.00	0.00
	平年値	12.13	3.53	0.87	0.22	6.60	1.65	0.00	0.00
1	本年値	8.33	2.08	0.00	0.00	10.67	2.67	0.00	0.00
	平年値	10.00	2.64	1.20	0.30	5.87	1.52	0.00	0.00
2	本年値	10.00	2.50	1.00	0.25	25.33	6.58	0.00	0.00
	平年値	8.17	2.14	1.32	0.33	10.20	2.60	0.00	0.00
3	本年値	3.33	0.83	4.33	1.08	16.67	4.33	0.00	0.00
	平年値	11.19	2.90	0.45	0.11	7.83	1.97	0.00	0.00

(冬春キュウリ 続き)

調査月	調査対象	菌核病		炭疽病		褐斑病		アブラムシ類	
	調査項目	発病株率	発病度	発病葉率	発病度	発病葉率	発病度	寄生葉率	頭/10 葉
4	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.40	0.04
	平年値	0.08	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.28	0.11
5	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13	0.08
6	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
11	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.80	0.20	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.02	0.07	0.13
12	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	1.67	0.42	0.33	0.03
	平年値	1.20	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
11	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	2.67	0.67	0.00	0.00
	平年値	1.60	0.40	0.07	0.02	0.00	0.00	0.07	0.01
2	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.25	0.00	0.00
	平年値	1.60	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.01
3	本年値	3.33	0.83	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.03
	平年値	0.93	0.23	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

調査月	調査対象	コナジラミ類		アザミウマ類		ハダニ類		黄化えそ病	退緑黄化病
	調査項目	寄生葉率	頭/10 葉	寄生葉率	頭/10 葉	寄生葉率	頭/10 葉	発病株率	発病株率
4	本年値	0.40	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	17.00
	平年値	1.41	0.18	2.52	0.79	-	-	0.25	10.47
5	本年値	2.40	0.36	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	15.20
	平年値	6.78	1.60	3.63	0.63	-	-	0.72	17.04
6	本年値	0.50	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	3.31	0.34	0.08	0.01	-	-	0.15	11.00
11	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6.00
	平年値	1.37	0.16	0.00	0.00	-	-	0.18	11.16
12	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	9.17
	平年値	2.47	0.37	0.00	0.00	-	-	2.90	13.03
1	本年値	0.33	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	8.67
	平年値	4.27	0.89	1.20	0.23	-	-	3.52	17.49
2	本年値	1.00	0.10	0.33	0.03	0.00	0.00	0.00	7.83
	平年値	0.53	0.05	1.77	0.30	-	-	0.12	9.37
3	本年値	0.00	0.00	2.00	0.23	0.00	0.00	0.00	8.17
	平年値	0.69	0.07	1.37	0.26	-	-	0.12	8.38

作物名「冬春イチゴ」

調査月	調査対象	炭疽病	灰色かび病 (葉)	灰色かび病 (果実)	うどんこ病 (葉)	うどんこ病 (果実)
	調査項目	発病葉率	発病葉率	発病葉率	発病葉率	発病株率
4	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.07	2.27	0.00
10	本年値	0.00	0.00	－	0.00	－
	平年値	0.00	0.00	－	0.00	－
11	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00
12	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00
1	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.13	0.00	0.00	0.00
2	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00
3	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.13	0.00	0.13	0.00

調査月	調査対象	ハダニ類		アブラムシ類		アザミウマ類		ハスモンヨトウ	
	調査項目	寄生葉率	頭/10 葉	寄生葉率	頭/10 葉	寄生葉率	頭/10 葉	寄生葉率	頭/10 葉
4	本年値	24.80	37.00	4.00	0.68	53.60	21.24	0.00	0.00
	平年値	21.00	42.13	0.47	0.11	23.33	7.73	0.00	0.00
10	本年値	15.00	25.07	1.67	0.23	6.00	1.20	5.33	0.70
	平年値	5.47	1.97	1.47	0.21	1.33	0.23	6.80	0.81
11	本年値	13.00	8.07	3.67	1.90	10.67	1.47	2.00	0.47
	平年値	4.27	2.69	1.27	0.34	6.60	1.25	1.40	0.17
12	本年値	16.33	25.60	3.00	2.43	6.67	0.90	0.00	0.00
	平年値	4.27	1.99	1.33	0.17	12.60	2.43	0.33	0.04
1	本年値	29.67	58.30	1.33	0.27	8.67	1.03	0.00	0.00
	平年値	8.47	10.88	2.33	0.69	11.47	2.00	0.20	0.02
2	本年値	31.00	86.90	1.33	0.13	8.67	1.10	0.00	0.00
	平年値	12.53	14.87	1.40	0.19	12.20	2.31	0.00	0.00
3	本年値	34.33	111.40	3.33	0.40	11.33	2.33	2.33	0.00
	平年値	18.87	36.49	1.33	0.23	21.80	6.97	0.00	0.00

(冬春イチゴ 続き)

調査月	調査対象	コナジラミ類	
	調査項目	寄生葉率	頭/10 葉
4	本年値	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00
10	本年値	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00
11	本年値	0.00	0.00
	平年値	0.08	0.01
12	本年値	0.00	0.00
	平年値	0.04	0.00
1	本年値	0.00	0.00
	平年値	0.04	0.00
2	本年値	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00
3	本年値	0.00	1.00
	平年値	0.00	0.00

作物名「冬春イチゴ（親株・育苗床）」

調査月	調査対象	炭疽病	うどんこ病	ハダニ類		アブラムシ類		ハスモンヨトウ	
	調査項目	発病葉率	発病株率	寄生葉率	頭/10 葉	寄生葉率	頭/10 葉	寄生葉率	頭/10 葉
5	本年値	0.33	0.00	25.00	22.70	1.00	0.17	0.00	0.00
	平年値	0.00	1.53	14.33	7.57	5.33	1.99	0.00	0.00
6	本年値	0.00	0.00	19.00	11.77	9.00	2.40	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.93	14.07	3.40	1.20	0.23	0.00	0.00
7	本年値	0.00	0.00	38.33	18.07	6.00	2.00	1.00	0.10
	平年値	0.00	0.20	18.67	6.51	3.07	0.59	0.00	0.00
8	本年値	0.00	0.00	32.00	16.83	6.33	1.47	1.67	0.20
	平年値	0.00	0.00	9.93	4.05	5.27	5.65	0.73	0.07
9	本年値	0.00	0.00	10.67	2.80	2.00	0.40	1.67	0.33
	平年値	0.00	0.00	5.87	4.63	2.67	0.43	0.33	0.56

調査月	調査対象	コナジラミ類	
	調査項目	寄生葉率	頭/10 葉
5	本年値	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00
6	本年値	0.00	0.00
	平年値	0.12	0.12
7	本年値	0.00	0.00
	平年値	0.17	0.02
8	本年値	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00
9	本年値	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00

作物名「冬レタス」

調査月	調査対象	菌核病	灰色かび病	アブラムシ類		ヨトウムシ類	
	調査項目	発病株率	発病株率	寄生株率	頭/10 株	寄生株率	頭/10 株
11	本年値	0.00	0.00	0.33	0.03	1.33	0.17
	平年値	0.00	0.00	1.27	0.14	0.53	0.09
12	本年値	0.00	0.00	0.67	0.07	0.00	0.00
	平年値	0.27	0.13	0.20	0.02	0.13	0.01
1	本年値	3.70	1.00	0.00	0.00	0.33	0.03
	平年値	0.40	0.53	0.13	0.01	0.00	0.00

調査月	調査対象	オオタバコガ	
	調査項目	寄生株率	頭/10 株
11	本年値	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00
12	本年値	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00
1	本年値	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00

作物名「アスパラガス」

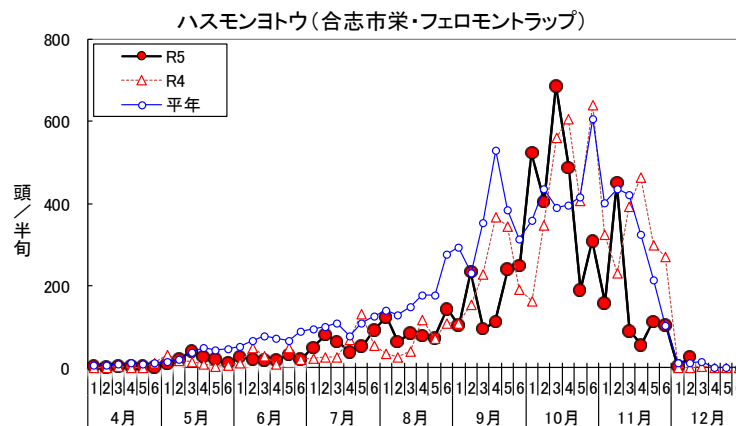
調査月	調査対象	アザミウマ類		ハスモンヨトウ	
	調査項目	寄生葉率	頭/10 葉	寄生葉率	頭/10 葉
4	本年値	1.7	0.2	0.0	0.0
	平年値	-	-	-	-
5	本年値	16.7	2.7	0.0	0.0
	平年値	-	-	-	-
6	本年値	13.3	1.8	1.7	0.3
	平年値	-	-	-	-
7	本年値	43.3	11.8	0.0	0.0
	平年値	-	-	-	-
8	本年値	15.0	6.2	0.0	0.0
	平年値	-	-	-	-
9	本年値	10.0	1.8	0.0	0.0
	平年値	-	-	-	-
3	本年値	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	-	-	-	-

(イ) 野菜害虫のフェロモントラップによる誘殺状況

ハスモンヨウの誘殺消長(フェロモントラップ) 合志市栄

月	半旬	R5	平年	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25
4月	1	5.0	8.0	1.0	4.0	0.0	0.0	0.0	3.0	6.0	50.0	7.0	9.0
	2	2.0	7.3	2.0	5.0	1.3	3.0	0.0	8.0	11.0	38.0	2.0	3.0
	3	3.7	8.1	4.5	4.0	1.6	1.0	1.0	8.0	18.0	29.0	9.0	5.0
	4	4.3	12.4	1.5	2.0	5.9	6.0	0.0	9.0	5.0	31.0	49.0	15.0
	5	5.0	9.5	2.0	12.0	6.6	13.0	1.0	8.0	30.0	4.0	13.0	5.0
	6	1.3	11.8	12.7	5.8	3.3	14.0	0.0	11.0	13.0	15.0	32.0	11.0
5月	1	8.7	16.0	33.3	9.2	11.5	14.0	0.0	11.0	31.0	16.0	16.0	18.0
	2	20.0	21.6	18.0	15.0	20.3	6.0	18.0	10.0	57.0	20.0	30.0	22.0
	3	42.0	39.1	14.0	25.7	37.3	36.0	74.0	29.0	85.0	8.0	56.0	26.0
	4	27.0	49.0	10.7	81.3	23.6	61.0	81.0	22.0	72.0	37.0	80.0	21.0
	5	21.0	44.4	4.3	139.0	17.1	16.0	85.0	32.0	48.0	46.0	29.0	28.0
	6	12.0	45.9	6.0	166.0	15.0	38.6	48.0	40.0	32.0	38.0	29.0	46.0
6月	1	26.0	52.5	11.5	27.0	8.7	30.3	53.0	38.0	64.0	117.0	92.0	83.0
	2	21.0	65.1	50.2	35.0	37.4	138.0	43.0	31.0	71.0	135.0	51.0	59.0
	3	17.0	78.2	29.8	22.0	149.1	145.0	45.0	51.0	61.0	184.0	62.0	33.0
	4	18.0	73.3	10.5	49.0	93.0	75.0	35.0	49.0	129.0	103.0	60.0	129.0
	5	31.7	67.1	49.0	44.7	116.0	63.0	44.0	45.0	103.0	40.0	65.0	101.0
	6	20.3	87.7	20.0	46.3	228.1	92.0	35.0	20.0	90.0	154.0	108.0	84.0
7月	1	49.5	95.0	23.0	17.0	279.1	72.6	169.0	58.0	38.0	79.0	71.0	143.0
	2	79.5	100.6	26.0	95.3	220.0	26.3	100.0	76.0	140.0	62.0	66.0	194.0
	3	64.8	110.2	25.3	81.0	149.0	31.0	26.0	86.0	302.0	110.0	176.0	116.0
	4	38.3	77.4	68.8	68.9	15.5	10.0	43.0	102.0	89.0	142.0	94.0	141.0
	5	52.0	109.3	131.0	45.8	95.3	51.3	197.0	130.0	93.0	136.0	77.0	137.0
	6	91.0	126.2	54.0	193.7	49.2	42.0	278.0	156.0	75.0	86.0	165.0	163.0
8月	1	123.7	139.5	34.3	316.3	56.0	82.5	157.0	118.0	185.0	145.0	175.0	126.0
	2	63.3	129.3	27.2	90.0	83.2	174.5	80.0	98.0	188.0	215.0	200.0	137.0
	3	84.0	149.3	40.5	79.0	82.4	138.3	122.0	221.0	175.0	271.0	138.0	226.0
	4	78.7	176.4	116.7	25.3	162.7	182.0	389.0	158.0	197.0	126.0	103.0	304.0
	5	73.3	176.1	72.8	5.7	233.1	116.0	54.7	175.0	372.0		239.0	317.0
	6	144.0	275.6	107.5	81.0	264.9	179.7	180.3	414.0	596.0		221.0	436.0
9月	1	102.0	292.8	109.0	385.0	0.0	188.3	366.0	217.0		568.0	186.0	616.0
	2	233.3	231.5	154.3	193.0	328.0	87.5	291.0	83.0	289.0	457.0	226.0	206.0
	3	93.7	351.8	227.7	184.0	458.9	308.8	106.0	187.0	335.0	497.0	203.0	1011.0
	4	113.0	528.3	367.0	134.0	742.0	505.3	393.0	420.0	683.0	347.0	238.0	1454.0
	5	240.0	384.4	345.0	65.3	786.0	395.0	630.0	161.0	453.0	271.0	277.0	461.0
	6	247.0	313.9	190.7	113.7	644.0	199.0	320.0	459.0	319.0	160.0	249.0	485.0
10月	1	523.0	357.5	162.3	419.0	303.0	208.1	545.0	767.0	213.0	430.0	311.0	217.0
	2	405.0	434.7	348.0	331.0	850.0	221.5	161.0	166.0	1231.0	332.0	380.0	326.0
	3	686.7	390.5	561.3	256.5	335.0	337.0	483.0	247.0	629.0	355.0	304.0	397.0
	4	487.3	395.7	604.7	394.5	349.0	209.0	307.0	483.0	463.0	352.0	442.0	353.0
	5	189.0	416.4	406.0	254.0	198.0	412.3	399.0	354.0	744.0	373.0	542.0	482.0
	6	308.5	604.8	640.0	456.0	373.6	1051.7	313.0	266.0	1161.0	520.0	542.0	725.0
11月	1	157.8	400.7	324.7	254.7	119.3	695.0	178.0	254.0	340.0	650.0	262.0	929.0
	2	448.8	435.9	230.3	171.3	178.0	712.0	255.0	163.0	499.0	512.0	454.0	1184.0
	3	89.0	421.6	393.0	50.0	154.0	555.7	345.0	299.0	641.0	1258.0	197.0	323.0
	4	55.0	324.0	464.0	96.0	264.0	219.3	98.0	13.0	711.0	1220.0	33.0	122.0
	5	112.0	213.8	300.0	16.0	66.0	200.0	45.0	0.0	431.0	862.0	149.0	69.0
	6	104.0	102.9	271.0	17.0	0.0	287.0		10.0	85.0	17.0	227.0	12.0
12月	1	4.0	11.3	1.0	0.0	0.0					66.0	0.0	1.0
	2	26.3	12.0	2.0	1.0	0.0					68.0	0.0	1.0
	3		14.2	3.0	0.0	0.0					81.0	1.0	0.0
	4		0.2	0.0	1.0	0.0						0.0	0.0
	5		0.0	0.0		0.0						0.0	0.0
	6		0.0	0.0		0.0						0.0	0.0

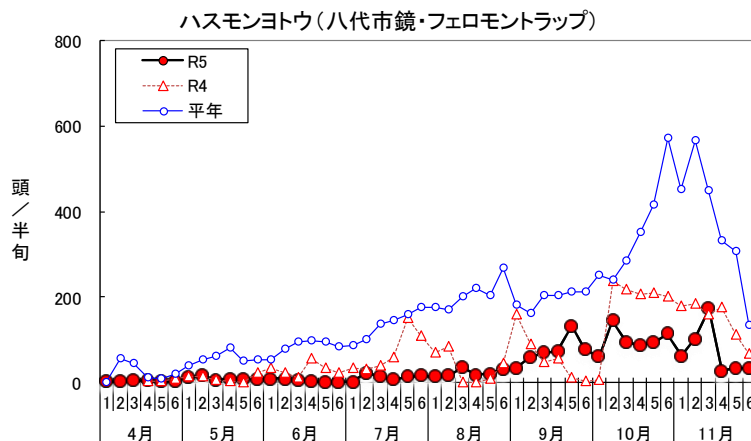
※平年値は過去10か年平均とする。



ハスモンヨトウの誘殺消長(フェロモントラップ) 八代市鏡

月	半旬	R5	平年	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25
4月	1	1.8											
	2	2.3	56.7								56.7		
	3	3.9	45.0								45.0		
	4	4.4	9.9	3.2							29.3	6.0	1.0
	5	2.1	8.0	3.2		4.6			12.1		17.7	7.4	3.1
	6	3.8	18.9	8.8	30.8	20.0	32.8	27.0	23.1		10.0	7.1	10.6
5月	1	11.0	39.2	12.5	43.8	41.4	41.0	150.3	21.6	45.6	15.0	13.6	6.8
	2	15.6	52.3	12.5	45.3	41.4	52.4	210.4	18.8	80.3	17.5	32.0	12.5
	3	5.7	60.5	4.8	69.4	51.7	61.0	170.0	37.1	96.1	29.5	60.7	25.0
	4	7.9	80.2	2.0	105.0	54.1	65.0	162.4	52.4	122.7	63.0	160.6	15.0
	5	9.0	50.3	0.7	98.6	36.4	63.4	55.0	32.9	62.1	68.1	67.0	18.7
	6	9.4	51.7	22.3	158.9	21.6	72.3	32.0	15.4	38.6	62.1	62.1	31.4
6月	1	9.3	51.6	34.4	102.2	34.4	57.5	38.5	31.4	49.9	81.6	53.7	32.9
	2	8.4	78.3	22.1	34.9	67.6	261.5	34.0	59.3	58.3	138.6	62.9	44.3
	3	6.6	93.3	11.3	47.9	146.4	201.9	47.5	82.7	64.3	209.3	54.3	67.0
	4	1.4	97.9	56.4	22.7	195.0	155.4	69.5	102.1	105.7	130.9	75.6	65.7
	5	0.9	94.2	34.1	23.3	157.1	108.0	53.0	65.0	150.7	130.9	110.7	109.2
	6	0.7	83.3	21.9	33.6	82.1	140.0	50.3	48.6	165.4	110.7	58.6	121.8
7月	1	0.7	86.9	32.1	65.6	175.7	98.0	38.8	37.9	104.3	82.7	80.9	153.5
	2	22.9	99.1	29.3	103.0	133.3	69.1	81.5	77.1	155.1	69.4	76.6	196.3
	3	12.6	137.2	40.0	156.0	108.3	65.5	76.7	128.1	177.0	60.0	313.6	247.1
	4	7.3	143.9	57.1	143.6	121.4	109.5	67.3	181.4	190.7	124.3	166.4	277.4
	5	13.6	158.3	149.3	96.1	175.7	122.1	55.0	258.6	125.7	190.7	129.0	280.5
	6	16.3	176.6	108.9	156.4	159.0	124.5	144.5	183.1	149.3	214.0	220.0	306.0
8月	1	12.3	176.0	70.3	173.4	85.9	104.5	112.5	153.6	160.1	130.0	425.7	344.3
	2	16.3	171.3	83.6	161.4	126.4	177.3	130.3	181.7	152.9	264.3	145.8	289.2
	3	35.7	201.3	0.0	139.3	193.8	221.9	169.0	322.9	240.0	300.3	173.5	252.5
	4	17.0	220.2	0.0	112.7	215.7	156.9	243.0	174.3	264.9	331.4	260.8	442.5
	5	19.6	203.5	7.3	28.3	235.8	256.5	43.0	130.3	314.0		392.1	424.5
	6	31.0	267.8	43.7	101.1	268.3	244.2	163.2	151.0	533.1	401.3	290.6	481.4
9月	1	33.6	182.4	158.6	84.3	44.7	147.4	193.0	155.0		295.0	200.0	363.6
	2	58.7	161.8	89.6	78.3	160.3	103.0	181.5	112.7	213.9	250.3	249.3	179.2
	3	68.4	204.4	46.0	69.3	320.7	174.5	103.5	85.3	209.0	162.9	222.1	650.5
	4	73.6	202.2	55.7	40.0	410.0	186.0	41.2	48.0	205.1	116.6	150.9	768.3
	5	132.1	213.1	11.7	50.3	386.3	253.1	279.5	82.1	130.7	125.0	216.0	595.8
	6	76.9	212.0	2.1	111.0	338.4	103.5	203.5	192.7	145.0	65.0	460.0	498.5
10月	1	60.9	250.5	4.3	326.4	288.6	106.3	281.4	238.9	213.6	217.1	543.4	285.2
	2	144.3	240.5	236.4	241.9	266.3	129.0	30.0	128.6	500.7	237.4	437.1	198.0
	3	94.0	283.8	217.1	296.1	247.0	162.0	409.5	260.0	394.9	252.2	246.4	352.9
	4	86.6	351.0	205.1	409.3	226.4	289.0	358.5	319.4	356.0	254.3	461.4	630.0
	5	94.3	415.1	208.6	310.0	322.1	479.0	338.7	359.3	482.9	233.8	460.1	956.1
	6	114.0	571.8	200.3	367.6	336.9	996.0	474.6	470.6	548.7	329.7	467.4	1526.1
11月	1	61.3	451.5	177.4	304.4	208.0	963.0			448.3	337.3	250.0	923.6
	2	100.6	566.5	184.0	349.0		990.5			361.6	423.6	424.3	1232.7
	3	172.1	448.1	160.0	192.1		719.6			25.0	615.6	273.9	1150.6
	4	25.7	331.3	176.0	175.0		488.5			302.0	525.9	138.9	512.9
	5	34.3	306.0	112.5			286.6			409.8	638.6	249.3	139.3
	6	32.0	135.0	67.5						69.2	156.7	321.9	60.0
12月	1		100.0							120.0	79.9		
	2		87.9							84.9	91.0		
	3		94.4							52.3	136.4		
	4		25.4							15.7	35.0		
	5												
	6												

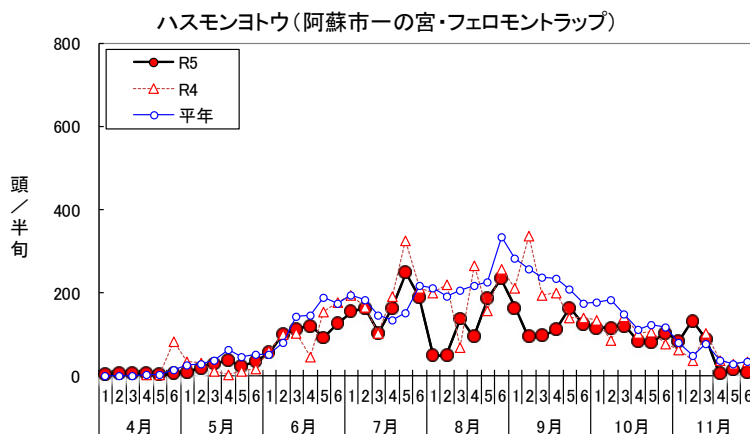
※平年値は過去10か年平均とする。



ハスモンヨトウの誘殺消長(フェロモントラップ) 阿蘇市一の宮

月	半旬	R5	平年	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25
4月	1	2.4	0.0		0.0								
	2	3.0	0.0		0.0	0.0						0.0	
	3	3.0	0.0		0.0	0.0						0.0	
	4	3.0	2.3	0.8	0.0	0.0			0.0	3.6	12.1	0.0	2.0
	5	0.6	1.8	2.0	1.0	0.0			0.0	9.3	2.4	0.0	0.0
	6	3.0	11.8	81.5	4.0	0.0	2.8		1.4	15.2	1.3	0.0	0.0
5月	1	7.5	24.0	34.2	0.0	2.8	3.5	160.0	1.4	34.8	3.3	0.0	0.0
	2	15.9	28.2	29.3	2.0	4.2	1.4	188.4	3.9	46.9	4.3	1.0	1.0
	3	28.6	36.6	8.7	24.3	34.5	1.7	147.6	13.6	69.3	50.9	12.7	3.0
	4	35.0	62.4	2.3	229.7	49.5	8.5	170.0	14.7	46.1	73.3	29.3	1.0
	5	21.7	45.0	10.0	179.0	6.1	8.9	126.7	14.8	31.4	40.7	25.0	7.0
	6	32.6	49.8	15.0	203.0	17.0	27.2	67.1	20.5	41.1	49.8	24.7	33.0
6月	1	55.7	50.1	58.0	116.3	17.0	50.4	44.5	23.1	85.7	64.3	17.1	25.0
	2	97.9	79.1	100.0	69.7	67.9	134.0	58.1	74.9	100.3	152.4	16.3	17.0
	3	111.1	140.4	101.0	61.0	301.1	171.5	53.9	81.6	113.3	482.1	11.7	26.7
	4	120.0	145.8	43.0	70.7	592.3	116.3	61.3	72.1	126.4	255.1	69.3	51.1
	5	90.7	187.5	153.5	100.3	671.6	93.6	116.5	117.1	258.3	188.5	84.0	91.8
	6	123.8	172.7	176.5	68.0	485.2	150.0	140.2	103.4	281.2	181.9	85.0	55.8
7月	1	152.3	192.0	194.0	42.0	747.0	120.0	198.2	106.9	240.8	164.3	55.3	51.7
	2	161.9	180.9	164.7	223.5	407.0	102.6	261.5	157.1	257.1	91.9	51.6	92.0
	3	102.7	144.3	102.3	277.8	318.0	106.5	133.5	100.6	194.1	48.1	57.1	105.0
	4	160.4	131.9	190.0	176.7	127.2	156.1	97.2	133.3	141.0	66.4	155.0	76.3
	5	246.6	150.0	325.0	88.6	177.6	206.3	78.4	203.6	96.4	112.1	153.3	58.7
	6	187.7	214.8	210.3	191.9	235.4	261.3	120.0	240.0	176.4	217.3	161.2	334.0
8月	1	46.4	209.8	198.7	291.5	214.1	149.0	115.0	169.3	226.4	244.1	101.4	388.0
	2	48.2	190.9	218.0	304.0	121.0	80.5	134.8	155.1	272.5	266.4	95.0	262.0
	3	136.8	204.1	68.0	279.5	305.2	85.4	160.7	173.7	245.6	293.9	76.6	352.0
	4	92.1	216.5	264.0	127.5	378.8	135.9	211.5	265.6	219.4	188.4	89.4	284.5
	5	185.3	223.5	156.0	128.0	235.0	259.5	178.7	343.7	271.8	133.9	190.0	338.5
	6	232.7	332.3	257.0	214.0	311.0	240.6	268.8	401.2	491.3	258.0	186.3	695.0
9月	1	161.9	283.1	209.0	253.0	250.6	136.2	310.5	200.2	416.7	307.0	120.2	627.5
	2	92.1	257.3	336.0	209.0	339.4	132.8	360.0	154.3	416.5	272.0	109.5	243.5
	3	94.9	236.1	192.0	120.5	486.0	212.0	184.0	242.9	381.9	185.0	95.0	262.0
	4	109.1	232.3	198.0	175.5	375.6	189.8	251.2	172.8	330.0	148.9	63.0	418.0
	5	162.9	208.3	140.0	141.6	232.8	167.0	520.0	109.2	398.0	162.3	111.3	100.7
	6	122.6	173.6	139.0	113.4	100.5	135.0	139.5	163.8	409.3	204.1	148.8	182.3
10月	1	113.3	175.3	132.0	83.0	155.1	144.5	223.8	158.0	424.7	156.3	111.4	164.7
	2	113.8	180.5	83.5	231.3	90.0	116.5	280.0	149.4	520.0	104.0	64.8	165.3
	3	120.0	147.7	142.5	210.7	118.0	74.5	150.0	197.2	309.0	58.6	33.8	183.0
	4	82.9	109.7	103.0	99.0	153.0	109.0	111.6	192.5	195.6	42.9	55.8	34.3
	5	78.7	120.4	105.0	20.0	112.9	145.0	87.8	158.3	236.4	63.6	168.3	106.7
	6	102.9	116.2	77.0	33.3	189.7	184.6	67.6	78.9	297.0	38.8	157.3	38.0
11月	1	82.1	78.6	61.3		52.7	63.5			202.0	52.8		39.0
	2	130.7	45.9	34.7						26.3	76.9		
	3	87.1	76.4	101.3						51.4			
	4	3.6	36.4	36.4									
	5	13.6	26.3	26.3									
	6	5.9	32.0	32.0									
12月	1	0.7											
	2	0.7											
	3												
	4												
	5												
	6												

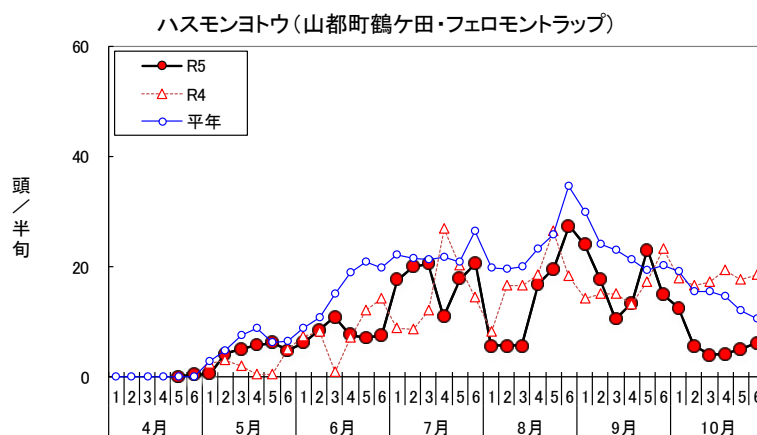
※平年値は過去10か年平均とする。



ハスモンヨトウの誘殺消長(フェロモントラップ) 山都町鶴ヶ田

月	半旬	R5	平年	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25
4月	1												
	2												
	3		0.0									0.0	
	4		0.0			0.0					0.0	0.0	
	5	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0			0.0	0.0	
	6	0.3	0.0		0.0	0.0		0.0			0.0	0.0	0.0
5月	1	0.6	2.8	2.3	0.0	1.3		13.2	5.3		0.0	0.0	0.0
	2	4.1	4.6	2.9	2.6	2.1	0.0	19.6	6.7	8.0	2.0	1.7	0.5
	3	5.0	7.4	1.9	8.3	3.7	4.5	27.4	5.6	8.0	4.9	8.6	1.2
	4	5.7	8.7	0.4	24.3	5.0	4.5	9.0	5.4	7.6	7.1	22.3	1.2
	5	6.1	6.1	0.4	11.3	2.0	2.1	9.0	5.0	7.3	4.4	18.3	1.4
	6	4.8	6.5	4.8	9.7	3.0	4.6	10.8	6.0	9.7	7.1	7.6	1.8
6月	1	6.1	8.8	7.2	14.3	5.0	5.4	9.0	13.0	11.9	12.2	2.1	8.3
	2	8.4	10.7	8.1	23.6	6.4	7.0	9.0	12.0	14.1	19.3	4.4	3.5
	3	10.7	14.9	0.7	16.3	8.6	11.8	10.2	7.5	15.6	70.0	6.4	2.3
	4	7.6	18.9	7.1	20.6	29.4	15.0	11.0	12.0	7.5	64.3	8.6	13.5
	5	7.0	20.8	12.0	27.1	26.6	17.5	11.0	13.3	18.2	50.3	10.5	21.0
	6	7.5	19.6	14.2	29.2	15.0	17.0	13.0	14.2	34.3	28.3	10.5	20.8
7月	1	17.5	22.0	8.8	29.2	53.7	14.5	13.0	14.2	34.3	10.5	21.3	20.6
	2	19.9	21.4	8.6	25.3	54.4	4.5	13.9	14.8	46.3	10.5	15.1	21.0
	3	20.6	21.3	12.0	19.4	48.5	4.5	17.5	20.6	54.4	12.0	7.6	16.5
	4	10.8	21.6	26.9	16.8	29.6	9.3	19.5	29.0	21.3	33.1	14.4	16.5
	5	17.7	20.9	20.3	16.2	18.8	12.5	22.5	24.5	24.8	32.4	11.7	25.4
	6	20.6	26.4	14.4	20.4	22.7	16.3	41.4	21.3	36.0	36.0	9.0	46.5
8月	1	5.6	19.8	8.1	18.8	13.3	11.5	27.0	14.1	28.5	24.8	7.5	44.3
	2	5.6	19.4	16.4	15.4	11.7	11.5	20.1	13.2	28.2	31.9	5.0	41.0
	3	5.6	20.0	16.4	14.6	12.7	18.3	12.5	13.2	32.7	32.5	8.1	38.8
	4	16.8	23.2	18.4	12.3	17.0	20.0	12.5	21.7	35.8	32.9	23.1	38.8
	5	19.5	25.8	26.4	8.9	24.3	15.5	12.5	34.3	35.8	29.6	16.5	54.7
	6	27.3	34.5	18.1	15.6	27.7	18.0	24.9	41.1	69.8	19.6	15.7	94.4
9月	1	24.0	29.8	14.1	19.3	16.7	27.5	51.7	31.6	39.1	16.3	15.0	66.5
	2	17.7	24.0	15.0	25.7	12.8	33.0	10.5	30.9	39.1	16.7	7.7	48.3
	3	10.5	22.9	15.0	12.9	9.4	36.9	10.7	21.9	39.1	17.1	7.7	58.3
	4	13.4	21.2	13.1	11.6	7.7	39.5	11.5	15.9	43.6	15.0	13.9	40.6
	5	23.0	19.3	17.1	11.2	6.4	32.5	9.1	15.9	43.6	16.5	15.5	25.6
	6	15.0	20.1	23.1	13.3	10.0	12.5	10.3	21.1	49.2	17.5	13.5	30.7
10月	1	12.5	19.0	17.9	11.9	9.5	7.5	13.0	40.1	45.3	11.4	13.0	20.6
	2	5.6	15.4	16.5	12.6	8.5	7.5	13.0	32.5	23.8	11.4	7.0	20.9
	3	3.8	15.3	17.1	13.6	7.5	17.0	15.4	10.0	23.8	12.9	5.5	30.6
	4	4.1	14.6	19.3	13.6	10.6	11.8	15.4	6.9	18.8	18.6	6.2	25.0
	5	5.0	12.1	17.6	11.0	9.7	4.0	9.0	2.3	15.5	17.7	6.9	27.0
	6	6.0	10.5	18.4	8.8	9.1	4.8	1.8	2.8	7.1	21.0	9.0	22.0
11月	1		6.9	12.6	3.5	10.0	7.5			1.1			
	2		7.4	8.6			6.3						
	3		9.1	13.7			4.5						
	4		6.1	12.3			0.0						
	5		5.1	8.1			2.0						
	6		5.0	5.0									
12月	1												
	2												
	3												
	4												
	5												
	6												

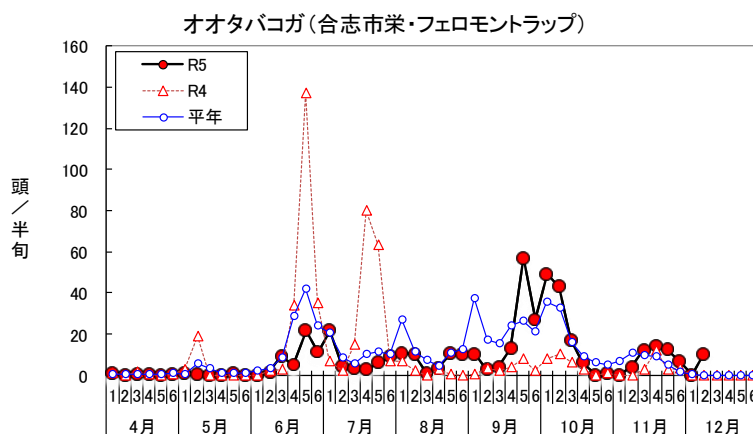
※平年値は過去10か年平均とする。



オオタバコガの誘殺消長(フェロモントラップ) 合志市栄

月	半旬	R5	平年	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25
4月	1	1.0	0.3	1.0	0.0	0.5	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2	0.0	0.5	0.0	0.6	0.2	1.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3	0.3	0.5	1.5	1.0	0.8	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	4	0.7	0.3	0.5	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5	0.0	0.5	0.0	1.6	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0
	6	0.7	0.8	0.5	0.5	2.4	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	1.0	0.0
5月	1	0.8	0.6	2.5	0.0	1.8	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0
	2	0.5	5.4	19.0	9.5	2.4	11.0	0.0	0.0	6.0	2.0	3.0	1.0
	3	0.0	3.3	0.0	4.9	1.8	7.0	1.0	2.0	3.0	6.0	5.0	2.0
	4	0.0	1.3	0.0	1.2	2.6	2.0	1.0	0.0	0.0	3.0	3.0	0.0
	5	1.0	1.0	0.0	2.0	1.0	3.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0
	6	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	0.0	1.0	2.0	0.0	1.0
6月	1	0.0	2.0	0.0	8.4	0.9	4.0	0.0	0.0	0.0	2.0	4.0	1.0
	2	1.7	3.2	2.3	5.7	1.2	4.0	11.0	1.0	2.0	3.0	0.0	2.0
	3	9.3	8.6	2.7	18.9	11.5	16.2	16.0	0.0	7.0	9.0	3.0	2.0
	4	5.0	28.4	34.0	33.9	12.8	43.6	42.0	0.0	67.0	18.0	15.0	18.0
	5	21.7	42.0	137.0	14.2	5.8	29.0	46.0	34.0	33.0	33.0	38.0	50.0
	6	11.3	24.3	35.0	6.4	11.6	48.0	3.0	33.0	11.0	57.0	15.0	23.0
7月	1	21.5	20.6	7.0	5.6	7.0	61.3	6.0	23.0	4.0	27.0	34.0	31.0
	2	4.5	8.6	2.0	5.3	4.0	8.7	2.0	13.0	7.0	9.0	34.0	1.0
	3	3.5	5.6	15.0	1.6	2.0	7.0	2.0	4.0	6.0	9.0	8.0	1.0
	4	2.5	10.1	80.0	1.1	0.0	5.0	3.0	0.0	6.0	2.0	2.0	2.0
	5	6.0	11.3	63.0	5.5	2.4	8.8	6.0	3.0	11.0	8.0	1.0	4.0
	6	9.0	10.5	7.0	2.1	2.8	17.0	4.0	11.0	15.0	18.0	7.0	21.0
8月	1	11.0	26.9	6.7	28.3	5.8	12.5	9.0	7.0	13.0	39.0	115.0	33.0
	2	10.0	11.6	2.3	8.6	8.1	2.0	5.0	14.0	3.0	18.0	42.0	13.0
	3	1.0	7.3	0.0	2.5	1.0	2.5	5.0	6.0	4.0	25.0	10.0	17.0
	4	3.3	4.6	2.7	1.0	2.5	0.0	7.0	0.0	2.0	7.0	6.0	18.0
	5	10.7	10.8	0.3	4.0	2.5	6.0	12.7	7.0	4.0		5.0	56.0
	6	10.0	12.4	0.0	11.0	7.0	7.7	16.3	10.0	20.0		21.0	19.0
9月	1	10.3	37.3	0.3	28.9	0.0	2.5	48.0	14.0		70.0	91.0	81.0
	2	2.7	17.3	3.3	12.5	12.0	2.5	18.0	18.0	20.0	20.0	58.0	9.0
	3	4.0	15.4	2.3	19.5	3.1	4.0	42.0	11.0	19.0	28.0	16.0	9.0
	4	13.0	23.9	4.0	3.7	8.0	6.3	83.0	27.0	52.0	17.0	10.0	28.0
	5	57.0	26.4	8.0	3.4	28.2	0.0	122.0	22.0	40.0	6.0	2.0	32.0
	6	27.0	21.4	2.0	11.2	47.8	6.0	22.0	25.0	25.0	5.0	2.0	68.0
10月	1	49.0	35.7	8.0	105.1	26.5	24.7	32.0	31.0	36.0	14.0	3.0	77.0
	2	43.0	32.9	10.0	68.1	45.7	4.3	25.0	25.0	35.0	6.0	4.0	106.0
	3	17.0	16.0	6.3	38.8	27.4	0.0	15.0	21.0	6.0	2.0	0.0	44.0
	4	6.0	9.1	2.7	17.8	7.5	12.0	3.0	9.0	1.0	3.0	6.0	29.0
	5	0.0	6.1	0.0	13.1	0.6	5.0	9.0	1.0	3.0	5.0	11.0	13.0
	6	1.0	5.0	1.0	7.4	3.5	6.0	0.0	2.0	3.0	5.0	8.0	14.0
11月	1	0.0	6.6	0.0	8.7	2.0	4.0	2.0	1.0	7.0	5.0	7.0	29.0
	2	4.0	10.9	0.0	16.4	2.4	7.0	10.0	0.0	5.0	23.0	9.0	36.0
	3	12.0	9.4	3.0	3.4	0.6	2.0	16.0	2.0	4.0	32.0	1.0	30.0
	4	14.0	9.3	12.0	1.5	7.3	1.0	9.0	0.0	25.0	34.0	0.0	3.0
	5	12.3	5.0	2.7	1.6	3.9	3.0	2.0	0.0	8.0	16.0	5.0	8.0
	6	6.7	1.8	3.3	1.6	0.0	1.0		1.0	0.0	0.0	9.0	0.0
12月	1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0					0.0	0.0	1.0
	2	10.3	0.1	0.0	0.5	0.0					0.0	0.0	0.0
	3		0.0	0.0	0.0	0.0					0.0	0.0	0.0
	4		0.1	0.0	0.6	0.0						0.0	0.0
	5		0.0	0.0		0.0						0.0	0.0
	6		0.0	0.0		0.0						0.0	0.0

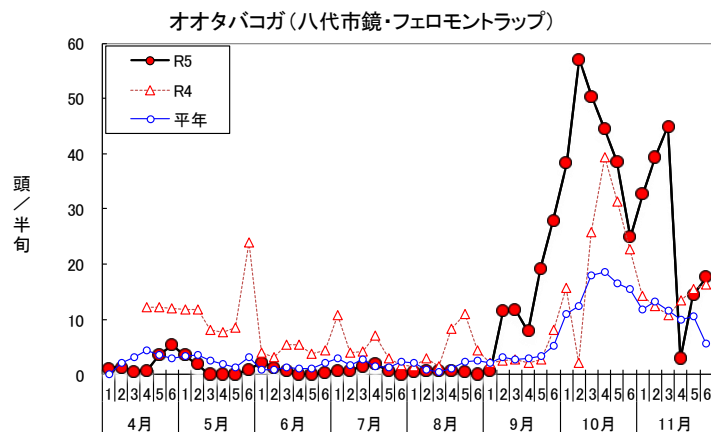
※平年値は過去10か年平均とする。



オオタバコガの誘殺消長(フェロモントラップ) 八代市鏡

月	半旬	R5	平年	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25
4月	1	1.1											
	2	1.4	2.2								2.2		
	3	0.5	3.1								3.1		
	4	0.7	4.3	12.1							1.4	2.3	1.5
	5	3.6	3.6	12.1		4.0			0.7		0.6	2.3	1.6
	6	5.4	2.9	11.9	5.3	3.1	1.6	1.8	0.1		0.0	1.4	0.6
5月	1	3.5	3.4	11.8	10.0	0.4	2.0	5.4	0.0	0.0	3.6	0.7	0.3
	2	1.9	3.5	11.8	11.7	0.4	1.7	5.9	0.0	0.8	1.4	1.1	0.0
	3	0.0	2.4	8.1	9.3	1.9	1.5	1.5	0.0	0.2	0.0	1.9	0.0
	4	0.0	2.0	7.7	5.0	2.4	0.3	0.3	0.4	0.0	0.0	3.6	0.0
	5	0.1	1.2	8.6	0.0	0.7	0.0	0.6	0.6	0.0	0.0	0.7	0.9
	6	0.9	3.2	24.0	4.0	0.1	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.4	1.7
6月	1	2.1	0.9	4.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	1.4
	2	1.3	0.8	3.2	1.0	0.0	0.0	1.1	0.0	1.1	0.0	0.7	0.7
	3	0.6	1.3	5.3	1.4	0.0	0.4	1.1	0.0	2.9	0.7	0.1	1.1
	4	0.0	1.1	5.3	0.3	0.6	0.3	0.5	0.0	1.4	0.3	1.4	1.1
	5	0.0	1.1	3.8	0.0	0.4	0.0	0.0	0.6	1.0	0.0	3.6	1.7
	6	0.3	2.1	4.4	0.0	0.0	6.5	4.8	0.7	1.0	0.0	2.1	1.5
7月	1	0.7	3.0	10.7	0.0	2.1	2.9	6.4	0.7	2.1	1.1	2.1	1.4
	2	0.7	1.7	3.9	4.0	1.3	0.4	1.5	1.4	1.0	0.9	1.7	1.4
	3	1.6	2.8	4.1	8.0	1.1	0.0	0.7	0.6	0.4	0.0	12.9	0.0
	4	1.9	1.5	7.1	0.0	2.9	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	5.1	0.0
	5	0.7	1.2	2.9	0.6	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.6	5.0
	6	0.1	2.4	1.7	0.9	1.7	0.0	2.0	0.0	0.0	1.1	1.4	15.0
8月	1	0.4	2.0	1.6	0.7	0.6	0.5	0.4	0.0	0.0	0.0	14.3	2.1
	2	0.7	0.9	2.9	0.7	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	1.4	3.5	0.9
	3	0.7	0.4	1.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.6	1.3	0.0
	4	0.7	1.0	8.3	0.0	0.3	0.0	1.2	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
	5	0.4	2.4	11.0	0.0	1.7	5.5	0.6	0.0	0.3		1.4	1.0
	6	0.1	2.5	4.3	0.0	0.9	3.8	2.6	0.0	1.7	3.6	6.3	1.6
9月	1	0.7	2.0	2.1	0.0	0.1	1.8	3.5	0.0		3.1	6.0	1.4
	2	11.6	3.1	2.6	0.0	0.3	1.5	1.5	0.0	10.0	3.3	4.3	7.5
	3	11.7	2.6	2.7	0.0	0.7	0.0	0.6	0.0	9.7	5.0	0.0	7.7
	4	7.9	2.9	2.1	0.0	5.0	0.3	0.1	0.0	5.7	2.0	5.6	7.8
	5	19.3	3.4	2.7	0.0	5.3	1.0	0.5	5.7	4.0	1.0	8.0	5.8
	6	27.9	5.2	8.0	0.1	5.2	3.0	9.7	10.0	7.6	0.0	2.9	5.8
10月	1	38.3	11.0	15.7	0.7	2.9	5.0	21.8	11.7	13.6	5.0	9.1	24.2
	2	57.1	12.3	2.1	0.1	14.9	4.7	3.7	7.1	27.9	8.0	9.9	44.6
	3	50.3	18.0	25.7	0.0	15.0	3.5	17.0	7.1	16.7	8.9	8.6	77.1
	4	44.6	18.6	39.4	0.0	10.7	4.5	8.9	6.9	8.3	7.1	18.6	81.1
	5	38.6	16.5	31.4	0.0	20.7	6.3	5.7	6.4	4.3	3.8	13.4	72.7
	6	24.9	15.4	22.7	0.0	12.3	9.8	17.4	3.4	3.0	4.8	13.4	67.3
11月	1	32.7	11.8	14.3	0.0	4.0	6.5			4.7	7.6	13.6	43.6
	2	39.4	13.1	12.4	0.0		2.0			6.6	20.7	13.6	36.7
	3	45.0	11.6	10.7	0.0		2.9			7.1	27.0	8.4	25.3
	4	2.9	9.9	13.5	0.0					11.2	20.1	4.0	10.7
	5	14.4	10.5	15.4						14.0	15.0	6.4	1.4
	6	17.7	5.6	16.3						5.0	0.8	5.3	0.6
12月	1		4.5							7.1	1.9		
	2		3.4							3.7	3.0		
	3		2.7							1.1	4.3		
	4		0.0							0.0	0.0		
	5												
	6												

※平年値は過去10か年平均とする。

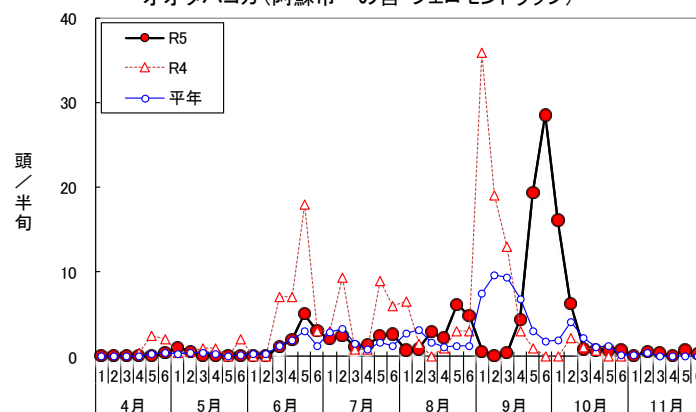


オオタバコガの誘殺消長(フェロモントラップ)阿蘇市一の宮

月	半旬	R5	平年	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25
4月	1	0.0	0.0		0.0								
	2	0.0	0.0		0.0	0.0						0.0	
	3	0.0	0.0		0.0	0.0						0.0	
	4	0.0	0.1	0.5	0.0	0.0			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5	0.0	0.3	2.5	0.0	0.0			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6	0.4	0.4	2.0	1.0	0.0	0.5		0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
5月	1	1.0	0.3	0.4	0.0	0.0	0.5	0.4	0.0	0.8	0.6	0.0	0.0
	2	0.6	0.5	0.6	2.0	0.0	0.2	0.4	0.1	1.3	0.2	0.0	0.0
	3	0.0	0.5	1.0	1.3	0.5	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.3	1.0
	4	0.0	0.3	1.0	0.7	0.5	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.7	0.0
	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6	0.0	0.2	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6月	1	0.0	0.3	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0
	2	0.0	0.3	0.0	0.7	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0
	3	1.1	1.3	7.0	2.0	0.0	0.0	2.7	0.0	0.1	0.0	0.8	0.0
	4	1.9	1.9	7.0	4.0	2.7	0.0	4.0	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0
	5	5.0	3.0	18.0	0.0	1.4	0.3	4.0	3.6	2.1	0.0	0.5	0.0
	6	3.0	1.2	3.0	0.0	0.0	1.5	3.1	2.7	2.0	0.0	0.0	0.0
7月	1	2.0	2.8	3.0	3.0	2.0	4.5	2.9	1.7	0.0	0.0	10.9	0.0
	2	2.5	3.3	9.3	1.5	1.0	3.9	3.5	0.0	1.4	0.0	10.7	1.5
	3	1.1	1.5	0.9	0.5	3.0	0.0	0.5	0.0	0.6	0.3	6.4	3.0
	4	1.4	0.8	0.8	1.0	0.0	1.6	1.4	0.9	0.0	1.4	0.6	0.5
	5	2.4	1.6	9.0	0.8	0.0	1.1	1.6	2.1	0.0	0.9	0.4	0.0
	6	2.6	1.2	6.0	0.2	1.0	0.8	0.0	1.7	0.0	1.3	1.4	0.0
8月	1	0.7	2.8	6.5	11.0	0.0	1.5	1.5	1.6	0.8	1.4	3.6	0.0
	2	0.9	3.2	1.5	6.0	1.0	0.5	0.9	2.0	1.3	1.4	17.1	0.0
	3	2.8	1.6	0.0	2.0	0.0	1.0	1.3	1.7	0.0	2.6	7.7	0.0
	4	2.1	1.1	1.0	1.0	0.0	2.4	4.5	0.0	0.0	1.1	1.3	0.0
	5	6.1	1.2	3.0	2.0	0.9	0.0	3.3	1.7	0.5	0.0	0.7	0.0
	6	4.7	1.3	3.0	1.0	0.3	0.0	3.9	2.3	1.5	0.0	1.0	0.0
9月	1	0.6	7.4	36.0	6.0	12.0	0.3	10.9	0.4	3.3	4.6	0.7	0.0
	2	0.0	9.6	19.0	6.0	16.0	0.5	22.0	2.1	23.0	6.0	1.8	0.0
	3	0.5	9.4	13.0	9.0	30.0	0.5	8.0	1.4	19.2	6.4	6.4	0.0
	4	4.4	6.8	3.0	9.8	26.0	0.2	8.4	8.0	6.3	2.8	4.0	0.0
	5	19.3	2.9	1.0	0.3	4.2	0.2	10.0	5.0	3.0	2.6	3.2	0.0
	6	28.5	1.9	0.0	1.0	3.0	1.0	5.5	1.9	1.3	1.7	3.1	0.0
10月	1	16.1	1.9	0.0	1.0	0.0	0.0	9.4	1.9	2.6	0.6	3.6	0.0
	2	6.3	4.1	2.3	6.0	0.0	1.2	12.0	1.9	13.1	0.8	4.1	0.0
	3	0.8	2.2	1.1	4.0	1.0	3.0	1.0	1.7	5.3	0.5	4.4	0.0
	4	0.7	1.2	0.7	3.0	0.0	0.5	0.2	6.2	0.3	0.0	0.8	0.0
	5	0.7	1.2	0.0	3.0	0.0	0.7	0.0	7.4	0.7	0.0	0.2	0.0
	6	0.7	0.2	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.6	0.7	0.0	0.0
11月	1	0.0	0.2			0.0	0.0			0.6	0.3		0.0
	2	0.6	0.4							0.8	0.0		
	3	0.4	0.0							0.0			
	4	0.0											
	5	0.7											
	6	0.3											
12月	1	0.0											
	2	0.0											
	3												
	4												
	5												
	6												

※平年値は過去10か年平均とする。

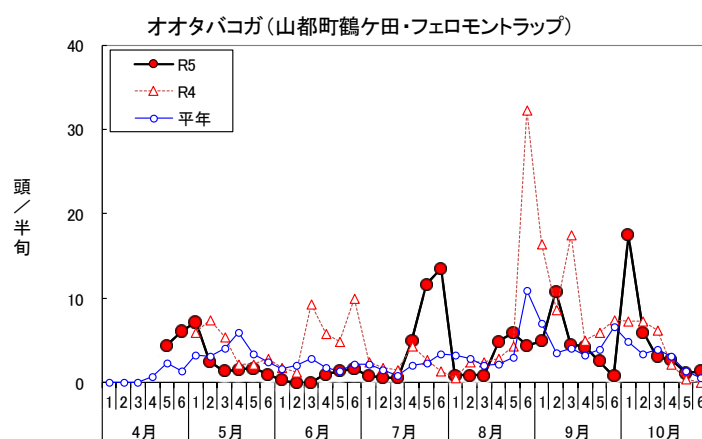
オオタバコガ(阿蘇市一の宮・フェロモントラップ)



オオタバコガの誘殺消長(フェロモントラップ) 山都町鶴ヶ田

月	半旬	R5	平年	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25
4月	1												
	2												
	3		0.0									0.0	
	4		0.7			0.0					0.0	2.0	
	5	4.4	2.3		1.4	0.0		1.0			4.0	5.0	
	6	6.1	1.4		0.6	0.0		2.5			5.2	0.0	0.0
5月	1	7.2	3.2	6.0	0.0	7.5		1.7	0.9		5.6	4.3	0.0
	2	2.5	3.2	7.5	0.0	5.5	0.0	1.4	1.1	1.7	5.7	6.0	2.9
	3	1.4	4.0	5.4	0.0	4.9	12.5	1.6	0.6	1.7	5.2	1.4	7.3
	4	1.5	5.9	2.1	0.0	14.3	12.5	4.0	0.6	2.1	4.3	12.3	7.3
	5	1.7	3.5	2.1	0.0	4.4	3.7	4.0	0.8	2.3	4.4	11.0	2.1
	6	1.0	2.4	2.9	0.0	1.7	1.0	4.5	0.9	2.4	4.6	5.3	0.9
6月	1	0.3	1.6	1.8	0.3	0.5	0.7	2.5	1.9	0.6	4.0	1.4	2.5
	2	0.0	2.1	1.3	0.7	1.7	1.5	2.5	2.0	0.6	5.0	5.4	0.5
	3	0.0	2.8	9.3	1.9	3.6	1.8	1.6	1.9	0.6	3.1	4.4	0.0
	4	1.0	1.9	5.9	1.4	1.1	2.0	1.0	1.4	1.3	2.5	1.4	0.6
	5	1.3	1.4	4.9	0.7	0.9	1.0	1.0	1.3	1.0	1.3	0.5	1.0
	6	1.7	2.1	10.0	1.2	0.0	1.4	4.5	1.7	0.7	0.0	0.5	1.5
7月	1	0.8	2.2	2.5	1.2	0.7	5.7	4.5	1.7	0.7	1.5	1.3	1.9
	2	0.6	1.5	1.8	0.7	0.3	0.5	3.9	3.8	1.4	1.5	0.8	0.0
	3	0.6	0.8	1.5	0.0	0.0	0.5	1.5	2.8	1.9	0.0	0.2	0.0
	4	5.0	2.0	4.4	5.2	0.0	0.8	6.5	0.5	1.3	0.6	1.1	0.0
	5	11.7	2.3	2.8	6.5	0.0	1.0	6.9	0.7	3.0	0.9	0.7	0.8
	6	13.5	3.4	1.4	9.0	0.1	1.2	10.2	1.3	6.7	2.0	0.0	2.3
8月	1	0.9	3.2	0.6	9.4	0.7	5.0	10.6	1.4	2.2	2.5	0.0	0.0
	2	0.9	2.8	2.5	4.5	1.6	5.0	10.5	1.5	1.4	0.6	0.5	0.0
	3	0.9	2.0	2.5	3.3	2.2	2.2	4.5	1.5	2.2	0.8	0.6	0.6
	4	4.9	2.2	2.9	2.2	3.3	1.5	4.5	2.9	2.7	0.8	0.6	0.9
	5	5.9	3.0	4.3	0.6	3.6	1.8	4.5	5.0	2.7	1.1	0.3	6.2
	6	4.4	10.9	32.3	0.2	3.4	3.3	9.3	6.0	34.5	2.8	0.3	16.9
9月	1	5.0	7.0	16.4	0.0	1.7	6.5	19.8	3.2	7.5	2.3	0.7	11.6
	2	10.8	3.5	8.6	0.0	1.1	1.5	3.0	2.7	7.5	2.0	0.9	7.8
	3	4.5	4.0	17.5	0.7	1.9	0.9	2.8	2.3	7.5	1.4	0.9	4.3
	4	4.2	3.2	5.0	0.7	1.6	0.5	2.0	2.1	8.2	1.4	8.6	2.1
	5	2.6	3.9	6.0	1.4	0.7	0.0	0.8	2.1	8.2	3.9	10.5	5.6
	6	0.8	6.6	7.5	4.2	2.1	0.4	1.5	2.8	18.6	5.6	3.7	19.3
10月	1	17.5	4.9	7.3	0.0	0.9	0.5	3.0	6.0	17.8	1.4	2.0	10.4
	2	6.0	3.4	7.3	0.1	0.0	0.5	3.0	5.8	4.2	1.4	1.2	10.7
	3	3.1	3.9	6.3	0.4	0.0	2.5	2.1	0.6	4.2	1.1	1.0	20.9
	4	2.7	3.2	2.1	0.4	1.7	1.5	1.4	0.4	3.5	0.0	0.2	20.7
	5	1.2	1.4	0.4	0.1	1.6	0.0	1.0	0.0	3.0	1.0	0.0	7.1
	6	1.4	0.6	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	1.2	1.5	0.0	3.0
11月	1		0.1		0.0	0.0	0.5			0.0			
	2		0.3				0.3						
	3		0.0				0.0						
	4		0.0				0.0						
	5		0.0				0.0						
	6												
12月	1												
	2												
	3												
	4												
	5												
	6												

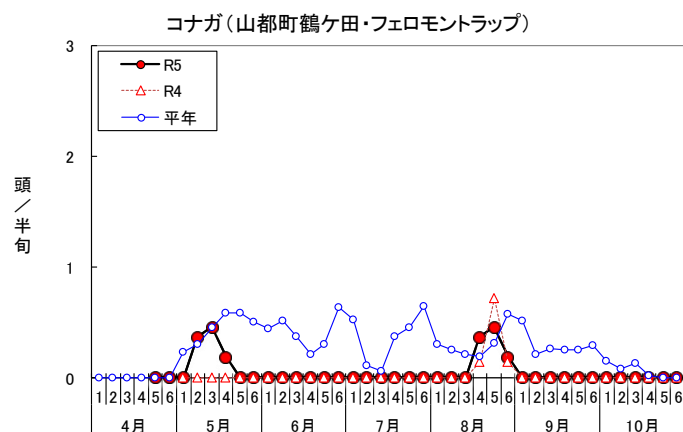
※平年値は過去10か年平均とする。



コナガの誘殺消長(フェロモントラップ) 山都町鶴ケ田

月	半旬	R5	平年	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25
4月	1												
	2												
	3		0.0									0.0	
	4		0.0			0.0					0.0	0.0	
	5	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0			0.0		
	6	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0			0.0	0.0	0.0
5月	1	0.0	0.2	0.0	0.0	1.9		0.0	0.0		0.0	0.0	0.0
	2	0.4	0.3	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.6
	3	0.5	0.4	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	1.5
	4	0.2	0.6	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	1.5
	5	0.0	0.6	0.0	0.0	0.4	2.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	2.2
	6	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	2.8
6月	1	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	3.3
	2	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	1.4	0.6	2.8
	3	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.4	2.7
	4	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	2.0
	5	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.5	1.5
	6	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	4.1	0.0	0.0	0.5	1.4
7月	1	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	3.0	0.0	0.0	0.6	1.3
	2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.4	0.0
	3	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.4
	4	0.0	0.4	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	1.9	0.6	0.4
	5	0.0	0.5	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	1.4	0.3	1.7
	6	0.0	0.6	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	0.0	4.5
8月	1	0.0	0.3	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	2.1
	2	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.5	1.2
	3	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.3	0.5	0.6
	4	0.4	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.6
	5	0.5	0.3	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.1	0.0	1.1
	6	0.2	0.6	0.1	0.0	0.0	0.2	0.4	0.0	2.1	0.8	0.0	2.2
9月	1	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	1.0	1.6	0.0	0.3	0.7	0.0	1.5
	2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.7	0.0	1.1
	3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.7	0.0	1.6
	4	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.4	1.2
	5	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.9	0.0	0.5	0.9
	6	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.7	0.0	0.5	1.4
10月	1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.6	0.0	0.5	0.3
	2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.4	0.0	0.1	0.2
	3	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.4	0.0	0.0	0.8
	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.2	0.0	0.0	0.0
	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0
	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0
11月	1		0.0		0.0	0.0	0.0			0.0			
	2		0.0				0.0						
	3		0.0				0.0						
	4		0.0				0.0						
	5		0.0				0.0						
	6												
12月	1												
	2												
	3												
	4												
	5												
	6												

※平年値は過去10年平均とする。

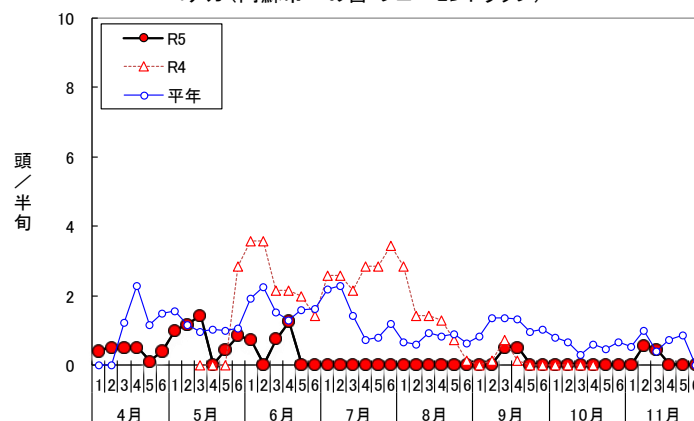


コナガの誘殺消長(フェロモントラップ)阿蘇市一の宮(※R4までは波野)

月	半旬	R5	平年	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25
4月	1	0.4											
	2	0.5											
	3	0.5	1.2								1.1	2.5	0.0
	4	0.5	2.3								5.7	1.2	0.0
	5	0.1	1.1								2.3	1.2	0.0
	6	0.4	1.5								3.1	1.4	0.0
5月	1	1.0	1.5		0.4	0.0					5.7	1.7	0.0
	2	1.2	1.2		0.5	0.0					2.1	3.2	0.0
	3	1.4	1.0	0.0	1.5	0.0			0.0		2.1	3.1	0.0
	4	0.0	1.0	0.0	2.0	0.0			1.7		2.0	1.4	0.0
	5	0.4	1.0	0.0	1.4	0.0		0.1	1.3		1.4	3.6	0.0
	6	0.9	1.0	2.9	1.7	0.0	1.5	0.5	0.0	0.0	1.4	2.4	0.0
6月	1	0.7	1.9	3.6	1.9	4.7	1.5	1.5	1.9	0.0	1.9	2.1	0.0
	2	0.0	2.2	3.6	1.9	3.6	3.0	3.6	1.7	0.9	2.1	2.1	0.0
	3	0.8	1.5	2.1	0.7	1.3	2.1	4.4	1.4	1.1	2.1	0.0	0.0
	4	1.3	1.3	2.1	0.1	1.6	1.8	2.0	2.1	0.0	1.0	2.1	0.0
	5	0.0	1.6	2.0	0.0	2.9	3.0	2.0	2.1	0.0	0.7	3.3	0.0
	6	0.0	1.6	1.4	0.0	2.1	2.2	3.2	2.1	0.0	0.7	2.1	2.1
7月	1	0.0	2.2	2.6	2.1	1.7	2.6	5.0	2.1	0.0	0.7	1.0	3.9
	2	0.0	2.3	2.6	1.3	1.4	3.5	3.5	4.9	0.0	1.1	0.4	4.1
	3	0.0	1.4	2.1	0.7	1.4	2.0	1.4	4.7	0.0	1.1	0.0	0.7
	4	0.0	0.7	2.9	0.7	0.9	1.7	0.1	0.8	0.0	0.0	0.0	0.1
	5	0.0	0.8	2.9	0.1	0.7	1.6	0.5	1.4	0.0	0.0	0.0	0.6
	6	0.0	1.2	3.4	0.0	0.7	2.4	3.1	0.6	0.0	0.0	0.3	1.4
8月	1	0.0	0.7	2.9	0.1	0.0	0.5	2.4	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0
	2	0.0	0.6	1.4	0.7	0.6	0.5	2.0	0.0	0.1	0.0	0.7	0.0
	3	0.0	0.9	1.4	0.1	0.7	0.5	2.0	0.7	0.7	1.7	0.7	0.6
	4	0.0	0.8	1.3	1.1	0.7	0.5	0.4	0.3	0.7	1.3	0.6	1.4
	5	0.0	0.9	0.7	2.9	2.1	0.5	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	2.1
	6	0.0	0.6	0.1	0.0	3.7	1.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
9月	1	0.0	0.8	0.0	1.1	3.6	2.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.6
	2	0.0	1.4	0.1	0.9	3.6	2.0	1.7	0.0	2.9	0.3	0.8	1.4
	3	0.5	1.4	0.7	0.0	1.4	4.0	1.8	0.0	4.4	0.7	0.6	0.0
	4	0.5	1.3	0.1	0.0	1.9	3.5	1.5	0.0	5.7	0.0	0.1	0.4
	5	0.0	0.9	0.0	0.0	1.9	2.0	2.0	0.0	2.1	0.0	0.3	1.1
	6	0.0	1.0	0.0	0.0	0.7	1.7	1.7	0.0	2.6	0.0	0.7	2.9
10月	1	0.0	0.8	0.0	0.0	0.7	1.8	1.3	0.0	2.7	0.0	0.1	1.2
	2	0.0	0.7	0.0	0.0	0.4	1.6	0.5	0.0	2.1	1.1	0.4	0.3
	3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	1.3	0.9	0.6	0.0
	4	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	1.1	0.0	1.4	2.1
	5	0.0	0.5		0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.7	0.0	0.9	1.7
	6	0.0	0.7		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.4	2.0
11月	1	0.0	0.5		0.0	0.0	0.0			1.0	0.6	0.0	2.1
	2	0.6	1.0		0.0		0.0			1.0	2.9	0.0	2.1
	3	0.4	0.4		0.0		0.0			1.4	0.0	0.0	0.9
	4	0.0	0.7				0.0			2.1			0.0
	5	0.0	0.9							0.9			
	6	0.0											
12月	1	0.0											
	2	0.0											
	3												
	4												
	5												
	6												

※平年値は過去10年平均とする。

コナガ(阿蘇市一の宮・フェロモントラップ)

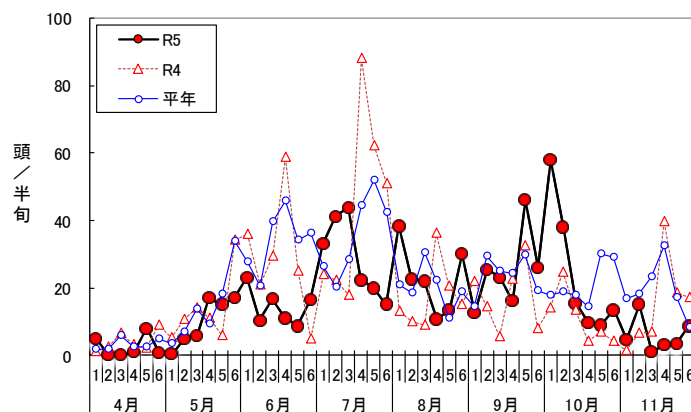


シロイチモジヨトウの誘殺消長 合志市栄

月	半旬	R5	平年	R4	R3	R2
4月	1	5.0	1.8	1.0	3.0	1.4
	2	0.0	1.9	2.5	1.7	1.4
	3	0.0	5.7	6.5	6.3	4.4
	4	1.0	2.3	3.0	4.0	0.0
	5	8.0	2.6	2.0	5.7	0.0
	6	0.7	4.8	9.0	5.3	0.0
5月	1	0.3	3.4	5.3	0.0	4.8
	2	5.0	6.9	10.8	2.0	7.8
	3	6.0	13.6	14.0	4.0	22.7
	4	17.0	9.3	11.0	11.0	6.0
	5	15.0	18.0	6.0	45.0	3.0
	6	17.0	33.7	34.0	55.0	12.0
6月	1	23.0	27.7	36.0	34.0	13.0
	2	10.3	20.7	21.0	17.0	24.0
	3	16.7	39.7	29.3	12.0	77.9
	4	11.0	45.6	58.7	17.4	60.7
	5	8.7	34.0	25.0	40.6	36.4
	6	16.3	36.3	5.0	61.0	43.0
7月	1	33.0	26.2	24.0	19.0	35.6
	2	41.0	20.3	22.3	14.0	24.6
	3	43.8	28.2	17.7	42.0	24.9
	4	22.3	44.4	88.0	32.0	13.1
	5	20.0	52.0	62.0	79.6	14.4
	6	15.0	42.4	51.0	58.4	17.8
8月	1	38.3	20.7	13.0	46.0	3.1
	2	22.7	18.3	10.0	25.0	20.0
	3	22.0	30.3	9.0	61.7	20.3
	4	10.7	22.1	36.3	15.3	14.6
	5	13.3	10.9	20.7	7.0	4.9
	6	30.0	18.7	15.0	13.0	28.0
9月	1	12.7	14.4	22.0	14.3	7.0
	2	25.3	29.3	14.3	9.7	64.0
	3	23.0	24.9	5.7	11.0	57.9
	4	16.0	24.3	22.5	11.5	38.8
	5	46.0	29.8	32.5	10.8	46.2
	6	26.0	19.2	8.0	22.7	26.9
10月	1	58.0	17.7	14.0	24.0	15.0
	2	38.0	18.7	24.8	12.0	19.3
	3	15.5	18.0	13.3	32.0	8.6
	4	9.5	14.3	4.0	38.0	1.0
	5	9.0	30.2	7.0	71.0	12.6
	6	13.5	29.1	4.0	71.7	11.7
11月	1	4.5	16.7	1.3	27.3	21.4
	2	15.0	18.3	6.7	30.0	18.1
	3	1.0	23.3	7.0	1.0	61.9
	4	3.0	32.4	39.5	9.3	48.3
	5	3.3	17.1	18.5	10.7	22.0
	6	8.7	8.3	17.0	5.0	3.0
12月	1	1.0	0.0	0.0		
	2	0.7				
	3					
	4					
	5					
	6					

※平年値はR2～R4の平均

シロイチモジヨトウ(合志市・フェロモントラップ)

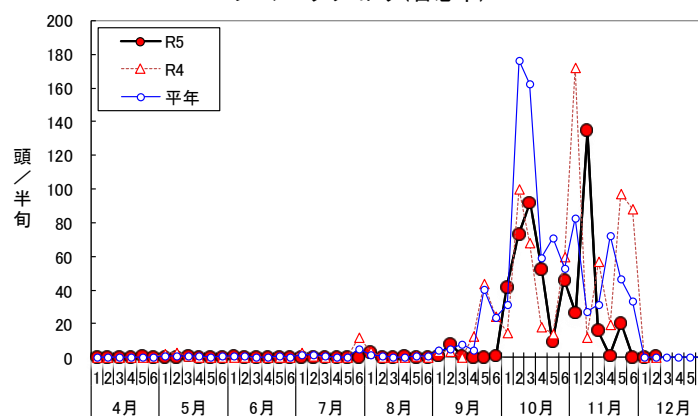


ツマジロクサヨトウの誘殺消長

月	半旬	R5	平年	R4	R3	R2
4月	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4	0.0	0.3	0.0	0.0	1.0
	5	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5月	1	0.5	0.8	2.3	0.0	0.0
	2	0.5	1.3	2.8	1.0	0.0
	3	1.0	0.9	0.7	2.0	0.0
	4	0.5	0.8	0.3	2.0	0.0
	5	0.5	0.3	0.0	0.0	1.0
	6	0.0	1.0	0.0	3.0	0.0
6月	1	1.0	0.9	0.0	2.7	0.0
	2	0.0	1.1	0.0	1.3	2.0
	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5	0.0	0.7	0.0	0.0	2.0
	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7月	1	0.0	1.3	3.0	1.0	0.0
	2	0.0	1.9	0.7	0.0	5.0
	3	0.0	0.8	0.3	0.0	2.0
	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6	0.0	5.0	12.0	0.0	3.0
8月	1	3.0	1.7	4.0	0.0	1.0
	2	0.0	0.7	0.0	2.0	0.0
	3	0.0	0.2	0.0	0.7	0.0
	4	0.7	0.1	0.0	0.3	0.0
	5	0.3	0.7	1.0	1.0	0.0
	6	0.0	0.7	0.0	2.0	0.0
9月	1	1.0	4.7	4.0	6.0	4.0
	2	8.0	5.3	4.0	3.0	9.0
	3	1.0	8.0	0.0	7.0	17.0
	4	0.0	4.2	12.5	0.0	0.0
	5	0.0	40.6	44.1	2.7	75.0
	6	1.0	23.7	24.7	19.3	27.0
10月	1	42.0	31.3	14.8	21.0	58.0
	2	73.0	176.7	100.0	110.0	320.0
	3	92.0	162.7	68.0	55.2	365.0
	4	52.0	58.9	18.0	10.8	148.0
	5	9.0	71.0	14.0	9.0	190.0
	6	46.0	52.8	60.0	49.3	49.0
11月	1	26.5	82.6	172.0	41.7	34.0
	2	134.5	27.3	12.0	25.0	45.0
	3	16.0	31.7	57.0	0.0	38.0
	4	1.0	72.1	19.5	5.7	191.0
	5	20.0	46.6	97.5	1.3	41.0
	6	0.0	33.3	88.0	0.0	12.0
12月	1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	2	0.7	0.0	0.0	0.0	
	3		0.0		0.0	
	4		0.0		0.0	
	5					
	6					

※平年値はR2～R4の平均

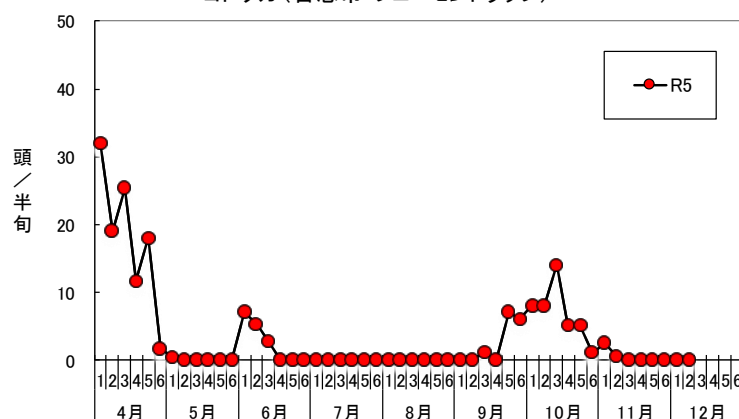
ツマジロクサヨトウ(合志市)



ヨトウガの誘殺消長 合志市栄

月	半旬	R5
4月	1	32.0
	2	19.0
	3	25.3
	4	11.7
	5	18.0
	6	1.7
5月	1	0.3
	2	0.0
	3	0.0
	4	0.0
	5	0.0
	6	0.0
6月	1	7.0
	2	5.3
	3	2.7
	4	0.0
	5	0.0
	6	0.0
7月	1	0.0
	2	0.0
	3	0.0
	4	0.0
	5	0.0
	6	0.0
8月	1	0.0
	2	0.0
	3	0.0
	4	0.0
	5	0.0
	6	0.0
9月	1	0.0
	2	0.0
	3	1.0
	4	0.0
	5	7.0
	6	6.0
10月	1	8.0
	2	8.0
	3	14.0
	4	5.0
	5	5.0
	6	1.0
11月	1	2.5
	2	0.5
	3	0.0
	4	0.0
	5	0.0
	6	0.0
12月	1	0.0
	2	0.0
	3	
	4	
	5	
	6	

ヨトウガ(合志市・フェロモントラップ)



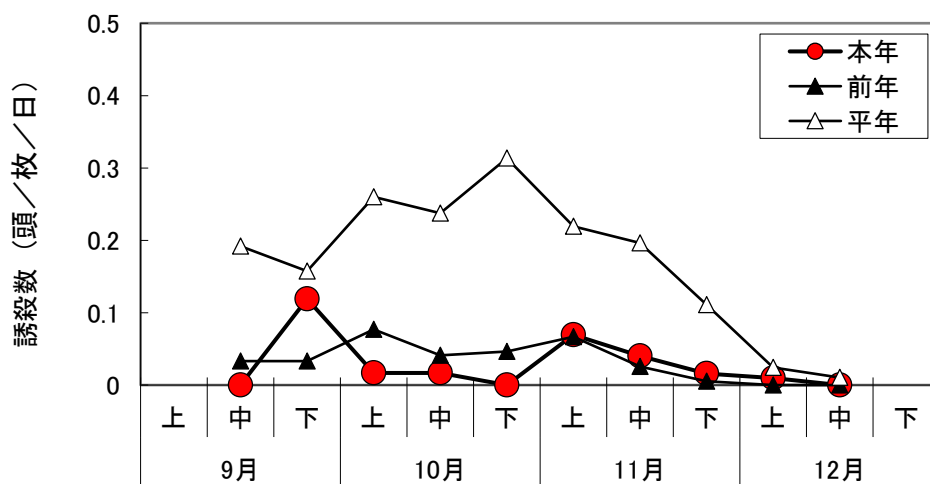
(ウ) 野外におけるコナジラミ類の捕獲状況

八代市における野外コナジラミ黄色粘着板捕獲頭数 (頭/日/トラップ)

	9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
本年		0.00	0.12	0.02	0.02	0.00	0.07	0.04	0.02	0.01	0.00	
前年		0.03	0.03	0.08	0.04	0.05	0.07	0.03	0.01	0.00	0.00	
平年		0.19	0.16	0.26	0.24	0.31	0.22	0.20	0.11	0.02	0.01	

※黄色粘着板(10×10cm)は、1地点当たり約5m間隔で3枚設置し、約2週間間隔で調査

※平年値は、H30～R04の5カ年の平均



八代市における野外コナジラミ類の
黄色粘着板誘殺数の推移

(エ) トマト黄化葉巻ウイルス保毒状況調査

表 1 屋外コナジラミ類の捕獲頭数

地域	設置場所	誘殺数 (頭/10日/10枚)						
		R5	R4	R3	R2	R1	H30	平年値
熊本市	学料公民館	3.7	23.3	8.3	20.0	30.0	296.0	75.5
玉名市	J A たまな横島倉庫	2.6	246.7	41.7	326.7	162.0	243.0	204.0
八代市	J A やつしろ中央営農センター	3.7	10.0	0.0	73.3	43.0	27.0	30.7
平均値		3.4	93.3	16.7	140.0	78.3	188.7	103.4

※ 1 黄色粘着板(10cm×10cm)による誘殺数調査。設置期間は9月1～10日。過去5か年も同様に設置期間は9月上旬。

※ 2 黄色粘着板を1地点あたり3枚設置。

※ 3 平年値は、H30年からR4年の5か年平均とした。

※ 4 玉名市の設置場所はR4年からJ A たまな横島倉庫に変更。
(設置場所：H26～H30年 旧しあわせ農協、R1年～R3年 J A たまな横島イチゴ集荷所)

表 2 野外で採集したタバココナジラミのトマト黄化葉巻ウイルス保毒状況

地域	設置場所	保毒虫率（％）												
		R5		R4		R3		R2		R1		H30		平年値
熊本市	学料公民館	1.7	(60)	1.7	(60)	1.7	(60)	3.3	(60)	6.7	(60)	5.0	(60)	3.7
玉名市	J A たまな横島倉庫	0.0	(60)	6.7	(60)	6.7	(60)	0.0	(60)	1.7	(60)	6.7	(60)	4.3
八代市	J A やつしろ中央営農センター	12.0	(25)	7.7	(26)	8.3	(60)	5.0	(60)	6.7	(45)	3.3	(60)	6.2
平均値		4.6		5.3		5.6		2.8		5.0		5.0		4.7

※ 1 採集期間は熊本市9月1～26日、玉名市9月1～19日、八代市9月1～19日。過去5か年の採集期間は、R4年は9月上～下旬、その他は9月上～中旬（本年は9月前半の誘殺数が非常に少なかったため、調査期間を平年よりも延長した。）

※ 2 () 内の数値は検定数。

※ 3 平年値は、H30年からR4年の5か年平均とした。

※ 4 玉名市の設置場所はR4年からJ A たまな横島倉庫に変更。
(設置場所：H26～H30年 旧しあわせ農協、R1年～R3年 J A たまな横島イチゴ集荷所)

表 3 野外保毒虫数の試算

地域	設置場所	保毒虫数 (頭/10日/10枚)						
		R5	R4	R3	R2	R1	H30	平年値
熊本市	学料公民館	0.1	0.4	0.1	0.7	2.0	14.8	3.6
玉名市	J A たまな横島倉庫	0.0	16.4	2.8	0.0	2.8	16.3	7.7
八代市	J A やつしろ中央営農センター	0.4	0.8	0.0	3.7	2.9	0.9	1.6
平均値		0.2	5.9	1.0	1.4	2.5	10.7	4.3

※ 1 保毒虫数＝誘殺数×保毒虫率（誘殺数：表1のとおり、保毒虫率：表2のとおり）

※ 2 平年値はH30年からR4年の5か年平均とした。

2 発生予察情報の提供

(1) 警報、注意報、特殊報、技術情報

ア 警報

発表なし

イ 注意報

第1号 令和5年9月8日 [果樹カメムシ類（果樹全般）](#)

第2号 令和6年1月30日 [ハダニ類（イチゴ）](#)

ウ 特殊報

第1号 令和5年4月26日 [サツマイモ乾腐病（カンショ（ヒルガオ科））](#)

第2号 令和5年5月15日 [ショウガ紅色根茎腐敗病（ショウガ（ショウガ科））](#)

第3号 令和5年8月25日 [ナシハモグリダニ（仮称）（ニホンナシ（バラ科））](#)

第4号 令和5年12月22日 [リュウキュウミカンサビダニ（ポンカン（ミカン科））](#)

第5号 令和5年1月30日 [クロテンコナカイガラムシ（ピーマン（パプリカ）、スイカ）](#)

第6号 令和5年1月30日 [フシダニ科の一種（ニラ（ヒガンバナ科））](#)

エ 技術情報

第1号 令和5年5月17日 [麦類赤かび病の発生状況](#)

第2号 令和5年6月30日 [茶におけるチャノミドリヒメヨコバイの発生状況及び防除対策](#)

第3号 令和5年7月4日 [水稻海外飛来性害虫の飛来状況](#)

第4号 令和5年8月4日 [果樹カメムシ類の果樹園への飛来開始時期](#)

第5号 令和5年8月10日 [トビイロウンカの主飛来及び発生状況](#)

第6号 令和5年9月12日 [タバココナジラミのウリ類退緑黄化ウイルス保毒状況と
防除対策](#)

第7号 令和5年10月6日 [ミカンハダニの発生状況及び防除対策](#)

第8号 令和5年10月6日 [チョウ目害虫の発生状況と防除対策](#)

第9号 令和5年10月24日 [タバココナジラミのトマト黄化葉巻ウイルス保毒状況と
防除対策](#)

第10号 令和6年1月30日 [イチゴにおけるヒラズハナアザミウマ幼虫の薬剤感受性
検定の結果](#)

第11号 令和6年2月22日 [チャバネアオカメムシの越冬量及び本年7月頃までの発生量](#)

第12号 令和6年3月21日 [イグサシンムシガの越冬調査結果](#)

第13号 令和6年3月22日 [トビイロウンカの薬剤感受性検定結果](#)

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報について（送付）

このことについて、令和5年度（2023年度）病害虫発生予察注意報第1号を発表しましたので、送付します。

注 意 報

令和5年度（2023年度）病害虫発生予察注意報第1号

農作物名 果樹全般（カンキツ、ナシ、カキ等）

病害虫名 果樹カメムシ類（主にチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）

1 発生地域 県内全域

2 発生時期 9月中旬以降

3 発生程度 多

4 注意報発表の根拠

- （1）8月中旬以降、合志市、宇城市及び天草市に設置している予察灯における果樹カメムシ類の誘殺数が急増している（図1）。
- （2）9月上旬に実施したヒノキ球果上の寄生虫数調査（5枝のたたき落とし）では、1地点当たり平均9.0頭（平年3.1頭）と、平年より多かった。今年は、山林のヒノキから離脱し果樹園へ飛来を開始する時期が8月下旬から9月上旬と予想されていたため、今後さらに飛来数が増加する恐れがある（令和5年8月4日付け発生予察技術情報第4号）。
- （3）現在までに宇城市、天草市及び芦北町の果樹園で発生が認められており、カンキツ園の一部で被害が出始めている。
- （4）福岡管区气象台が9月7日に発表した九州北部地方1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年より高いと予想されており、今後も果樹カメムシ類の活動が活発な状態が続くと予想される。

5 防除対策

- （1）果樹カメムシ類は、局地的に飛来して被害をもたらすことがあるので、定期的に園を見回り、早期発見と薬剤による初期防除を徹底する。特に、山間部や林地沿い園地は被害を受けやすいので注意する。
- （2）チャバネアオカメムシとツヤアオカメムシの予察灯誘殺データを病害虫防除所のホーム

ページ (<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>) に掲載しているので、最新の誘殺状況を確認し、防除要否や適期防除の参考にする。

- (3) 果樹カメムシ類は日没直後に果樹園に飛来し、翌朝飛び去るため、夕方や早朝の防除が有効である。
- (4) ピレスロイド系殺虫剤は天敵への影響が大きく、多用するとハダニ類の発生を助長するので、最小限の使用にとどめる。
- (5) 薬剤の使用に当たっては、定められた使用回数・濃度・使用量・使用時期を遵守するとともに、周辺作物への飛散（ドリフト）に注意する。

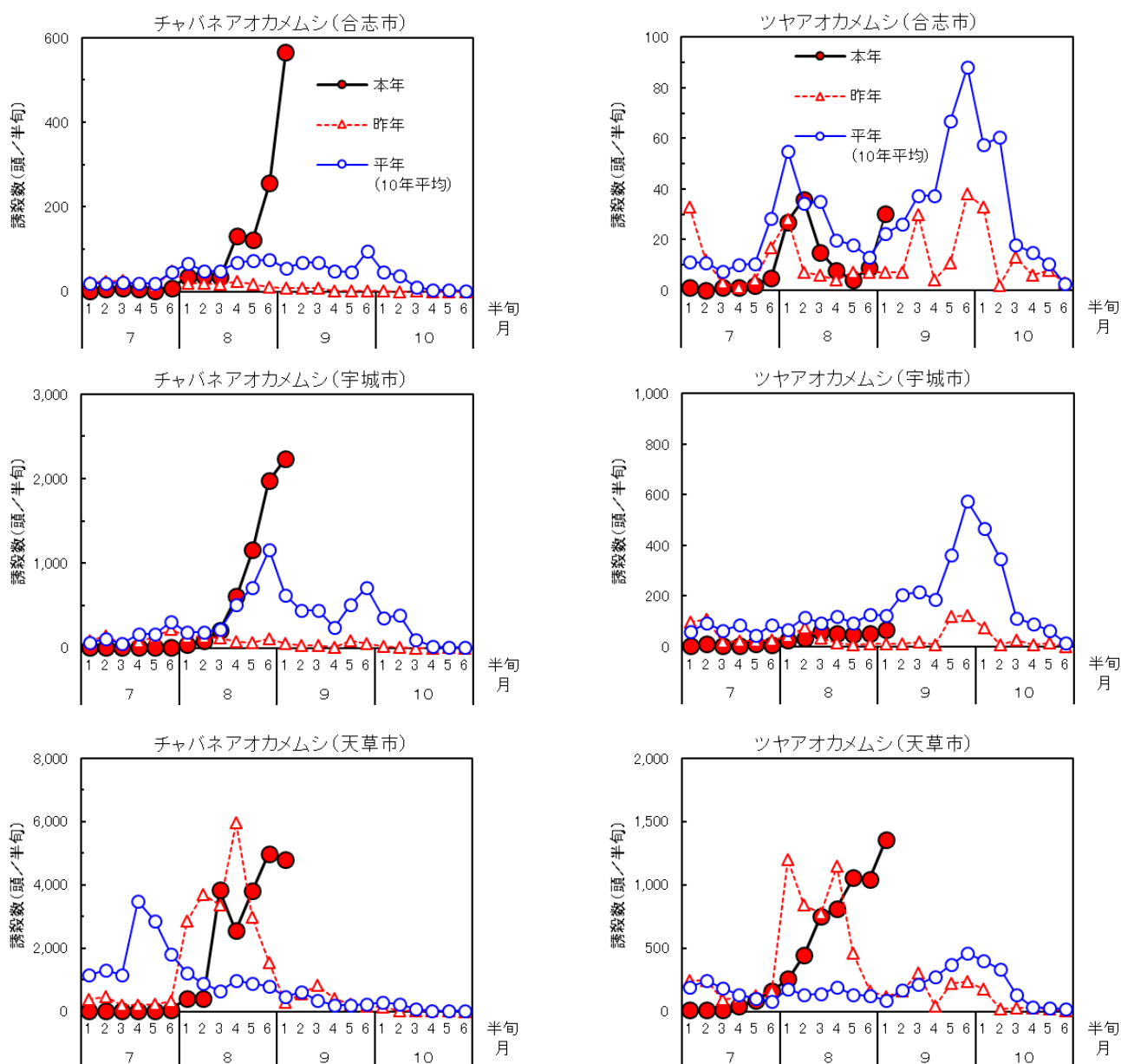


図1 予察灯における果樹カメムシ類誘殺数の推移

熊本県病害虫防除所
(農業研究センター生産環境研究所内)
担当：清永、岡島 TEL 096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察注意報について（送付）

このことについて、令和5年度（2023年度）病虫害発生予察注意報第2号を公表しましたので、送付します。

注 意 報

令和5年度（2023年度）病虫害発生予察注意報第2号

農作物名 イチゴ

病虫害名 ハダニ類（ナミハダニ、カンザワハダニ）

1 発生地域 県内全域

2 発生時期 収穫期（2月以降）

3 発生程度 多

4 注意報発表の根拠

- （1）巡回調査における1月の本ほの寄生葉率は、29.7%（平年8.5%）で平年比多の発生であった（図1）。1月の寄生葉率としては、過去20年間のうち、警報を発出した平成28年に次いで2番目に高い（図2）。
- （2）病虫害防除員の報告によると、1月の発生は平年比やや多〜並であった。
- （3）福岡管区気象台が1月25日に発表した九州北部地方1か月予報によると、気温は平年より高い予想であり、ハダニ類の発生に適した条件が続くと考えられる。

5 防除対策

- （1）多発後は防除が困難になるので、早期発見と早期防除の徹底に努める。
- （2）未発生ほ場への持ち込みを防ぐため、ハダニ類が発生しているほ場の管理作業は最後に行う。
- （3）薬剤防除の際は、効果を高めるために事前に下葉かぎを行う。除去した葉はポリ袋に詰めるなどしてほ場外へ持ち出し、適切に処分する。
- （4）薬剤防除は、十分な液量で薬液が葉裏にかかるように丁寧に散布し、散布むらをなくす。
- （5）薬剤抵抗性の発達を防ぐため、気門封鎖剤を積極的に活用する。気門封鎖剤は、ハダニ類に直接付着しないと効果がないため、特に丁寧に散布する。また、卵への効果や残効性が低いため、7日程度の間隔で複数回散布する。
- （6）カブリダニ類を放飼したほ場では、天敵に影響の少ない薬剤を使用しハダニ類の密度を

抑える。ただし、ハダニ類の発生が多く天敵で抑えきれない場合は、殺ダニ剤を中心とした薬剤防除に切り替える。

- (7) 薬剤の中にはミツバチの活動に影響を及ぼすものもあるので、影響の小さい薬剤を選択し、危害が出ないように使用する。
- (8) 農薬は、ラベルなどで使用方法を確認し、収穫前使用日数や使用回数、希釈倍数等を守って安全使用に努める。

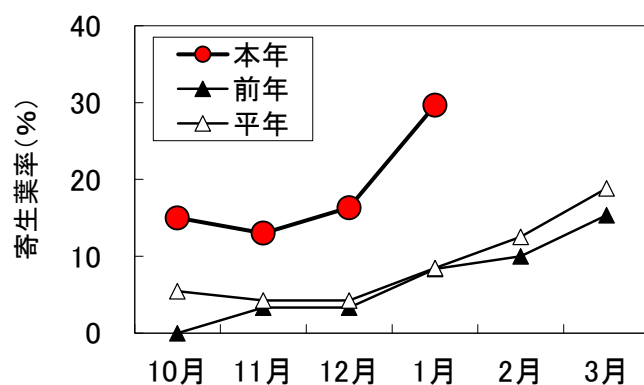


図1 巡回調査におけるハダニ類の寄生率の推移

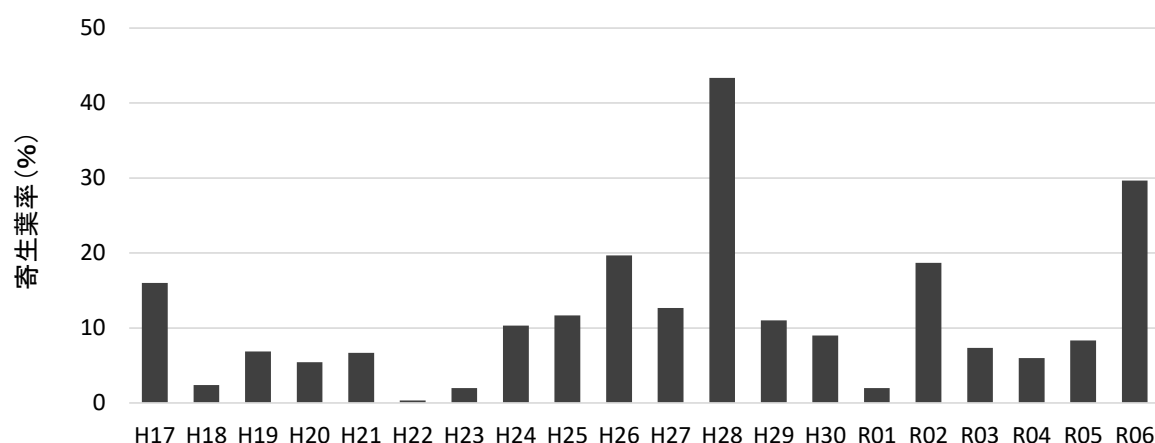


図2 1月の巡回調査におけるハダニ類の寄生率の年次比較（過去20年）

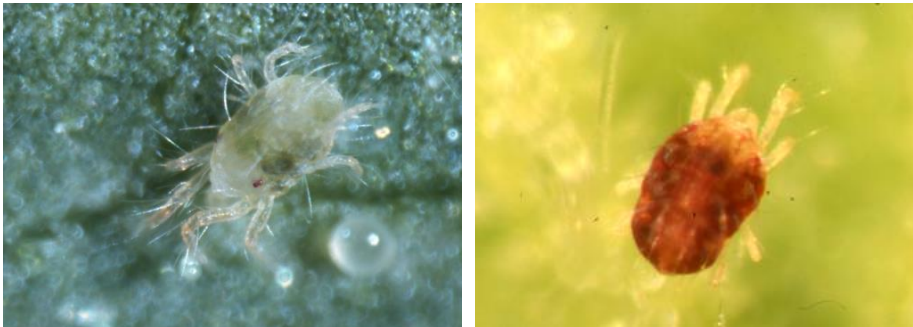


図3 イチゴに寄生するハダニ類（左：ナミハダニ、右：カンザワハダニ）



図4 ハダニ類によるイチゴの被害
（左：ハダニの吐く糸で覆われた葉、右：わい化した株）

熊本県病害虫防除所 （農業研究センター生産環境研究所内） 担当：福岡、岡島 TEL 096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察特殊報について（送付）
このことについて、発生予察特殊報第1号を発表しましたので送付します。

特 殊 報

令和5年度（2023年度）発生予察特殊報第1号

令和5年（2023年）4月26日
熊本県病虫害防除所長

- 1 病虫害名 サツマイモ乾腐病
- 2 学 名 *Diaporthe batatas* Harter
(*ana.Phomopsis batatas* (Ellis & Halst) Harter & E.C.Field)
- 3 発生作物 カンショ（ヒルガオ科）
- 4 発生確認の経過
令和4年（2022年）10月、県内のカンショ栽培ほ場で、立枯症状が確認された。茎は黒色に変色し、変色部表層に微小な黒点粒状の分生子殻の形成が認められた。分生子殻から漏出した分生子を分離し、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構九州沖縄農業研究センターに同定依頼した結果、本病であることが判明した（図1～4）。なお、同じ試料から基腐病菌は検出されなかった。
- 5 国内の発生状況
本病害は、国内で広く知られており、通常は貯蔵中の塊根で発生する。栽培ほ場での発生は、鹿児島県と宮崎県で確認されている。
- 6 病徴
サツマイモ基腐病と近縁の糸状菌であり、病徴も類似している。病徴による両者の識別は困難である。宿主植物はヒルガオ科のみであり、茎葉の症状は茎が黒色～暗褐色に変色し腐敗する。その後、茎の被害部が拡大し、やがて地上部の茎葉が萎凋、枯死する。
- 7 防除対策
 - （1）発病した株（つるや塊根）は速やかに抜取り、り病残さをほ場内や周辺に残さないよう処分する。
 - （2）収穫後は、ほ場からカンショの残さを速やかに除去し、耕耘などを行ってほ場内に残った残さの分解を促進する。
 - （3）本病が発生したほ場で使った資材や機材を別ほ場で使う際は消毒や洗浄を十分に行う。

- (4) 本病が発生したほ場からは種芋や苗を取らない。
- (5) 種芋や苗には腐敗や病害、傷のない健全なものを使用する。
- (6) 苗床の土壌消毒を行う。
- (7) 植付前には、ほ場の排水対策や土壌消毒を十分に行う。



図1 ほ場での発生の様子



図2 被害茎に形成された分生子殻



図3 *D. batatas* の分生子



図4 PDA培地上に形成された菌叢

問い合わせ先

熊本県病虫害防除所

(農業研究センター 生産環境研究所内)

担当：福岡、岡島 TEL：096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察特殊報について（送付）
このことについて、発生予察特殊報第2号を発表しましたので送付します。

特 殊 報

令和5年度（2023年度）発生予察特殊報第2号

令和5年（2023年）5月15日
熊本県病虫害防除所長

- 1 病虫害名 ショウガ紅色根茎腐敗病
- 2 学 名 *Setophoma terrestris*
- 3 発生作物 ショウガ（ショウガ科）

4 発生確認の経過

令和4年（2022年）10月、県内のショウガ栽培ほ場で、根茎の表面が赤色に変色する症状が確認された（図1）。

被害根茎から分離した糸状菌を、農林水産省門司植物防疫所に同定依頼したところ、ショウガ紅色根茎腐敗病を引き起こす*Setophoma terrestris*と同定された。

5 国内の発生状況

国内では、平成12年（2000年）に高知県で初めて確認され、*Pyrenochaeta terrestris* によるショウガ紅色根茎腐敗病と命名された（Gruyter らによる再分類により、同菌の学名は現在 *Setophoma terrestris* と定義されている）。

6 病徴

根茎に発生し、地上部には症状がみられない。軽症の場合は、根茎の表面が淡赤色～褐色に変色する。重症の場合は、根茎の表面が割れ、その部分が黒褐色に変色する。変色が表面にとどまる場合と、根茎内部に褐色水浸状の腐敗が進行する場合がある（図1、図2）。

7 防除対策

- （1）り病植物体中の菌が第一次伝染源となるため、収穫後は残さを除去し、適切に処分する。
- （2）土壌伝染を防止するため、種ショウガ植え付け前の土壌消毒を行う。
- （3）種ショウガによる伝染を避けるため、病徴が認められる根茎は種ショウガとして使用しない。なお、根茎の一部に症状が認められる場合、外観上健全な部分も保菌している場合があるので注意する。

(4) 連作すると多発する。なお、本菌は、ネギ、トマト、メロンなどの植物に感染し、「紅色根腐病」の病名が報告されているため、輪作する場合は本菌の寄主植物を選択しないよう注意する。

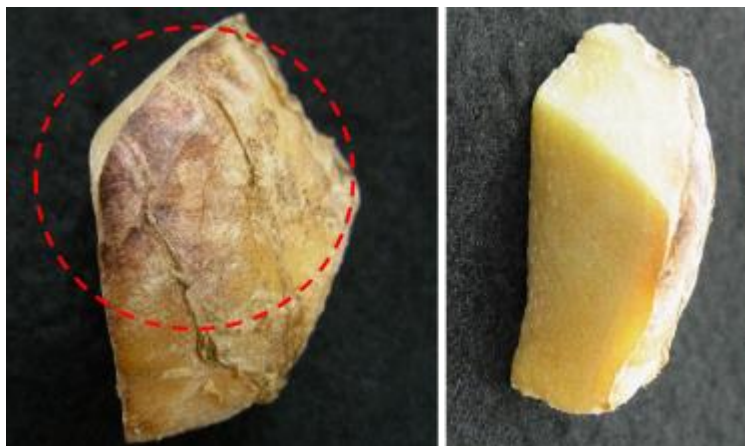


図1 被害根茎（左：表面が赤色に変色する、右：変色は表面にとどまる）



図2 接種試験（有傷接種）による病徴（内部に褐色水浸状の腐敗が進行する）
※画像は門司植物防疫所から提供。無断転載禁止。

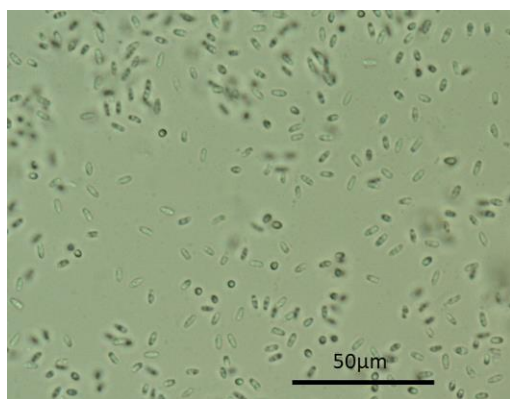


図3 *Setophoma terrestris* の分生子

熊本県病害虫防除所
（熊本県農業研究センター 生産環境研究所内）
担当：福岡、岡島
TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察特殊報について（送付）
このことについて、発生予察特殊報第3号を発表しましたので送付します。

特 殊 報

令和5年度（2023年度）発生予察特殊報第3号

令和5年（2023年）8月25日
熊本県病虫害防除所長

- 1 病虫害名 ナシハモグリダニ（仮称）
- 2 学 名 *Eriophyes* sp.
- 3 発生作物 ニホンナシ（バラ科）

4 発生確認の経過

令和5年（2023年）4月、県内のナシ栽培園において、葉の両面がこぶ状に膨らむ「火ぶくれ症状」が発生している樹が発見された（図1）。症状を呈している部位の内部には、フシダニ科の寄生が認められた（図2）。

法政大学植物医科学センターに同定を依頼した結果、ナシハモグリダニ（仮称：*Eriophyes* sp.）と同定された。

本種の発生は当該ほ場の一部に限られ、現時点で他の園地に同様の症状は認められていない。

5 国内の発生状況

ナシの葉に火ぶくれ症を発生させるフシダニ科の害虫として、ニホンナシハモグリダニ（仮称）が平成24年以降、神奈川県、長野県、栃木県、秋田県から、セイヨウナシハモグリダニ（仮称）が平成30年以降、秋田県及び山形県から病虫害発生予察特殊報が発表されている。これまで、両者は別種としてそれぞれ発表されてきたが、現在は同一種とみなされている。本種もこれらと同種と同定されたため、国内では7例目（ニホンナシでの発生は5例目）の発表となる。

6 形態及び生態等の特徴

（1）形態

成虫の体長は約0.2mmで白色または黄褐色のうじ虫型、卵は球形半透明である。

（2）生態

生態は明らかにされていないが、ニホンナシで発生した既報（神奈川県の病虫害発生予察特殊報）によると、芽の中で越冬し、発芽とともに芽から脱出し、葉に火ぶくれを引き

起こすと考えられている。本種はこの火ぶくれの内部に生息するが、暖かい時期に葉裏の開口部から外に出て新たな被害を及ぼすと推察されている。

(3) 被害

葉の表裏両面にやや膨らむ火ぶくれ症状を呈し、被害が進むと黄色～暗褐色を呈するようになる。寄生密度が高いと寄生痕が重なりケロイド状になるが、早期落葉は見られない。また、長野県の病害虫発生予察特殊報では幼果の被害が報告されているが、本県の発生では果実の被害は確認されていない。

7 防除対策

(1) 火ぶくれ症状のある葉及び幼果は摘み取っては場外へ持ち出し埋却するなどして適切に処分する。

(2) 発生拡大を防ぐため、発生園地では穂木の採取を行わない。



図1 葉の被害（火ぶくれ症状）

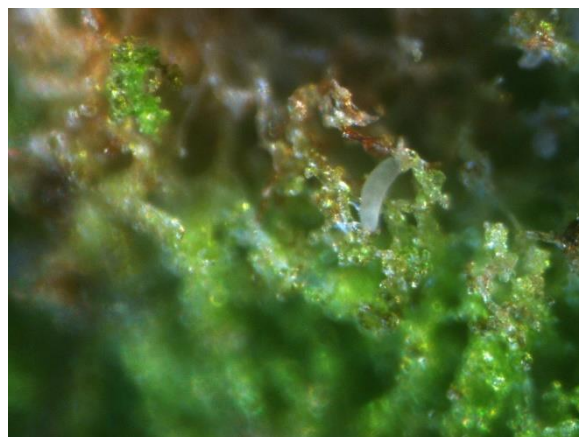


図2 内部に寄生していた成虫

熊本県病害虫防除所
(農業研究センター 生産環境研究所内)
担当：清永、岡島
TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察特殊報について（送付）
このことについて、発生予察特殊報第4号を発表しましたので送付します。

特 殊 報

令和5年度（2023年度）発生予察特殊報第4号

令和5年（2023年）12月22日

熊本県病虫害防除所長

- 1 病虫害名 リュウキュウミカンサビダニ
- 2 学 名 *Phyllocoptruta citri* Soliman et Abou-Awad,1978
- 3 発生作物 ポンカン（ミカン科）
- 4 発生確認の経過
令和5年（2023年）9月、県内のポンカン栽培園でミカンサビダニによる被害と酷似した「さび症状」を呈している果実が発見された（図1）。
被害部の表面にはミカンサビダニと同じフシダニ科の寄生が認められた（図2）。
当該園では前年も秋季以降の被害が観察されており、県内で通常発生するミカンサビダニよりも遅い時期の被害発生であったため、法政大学植物医科学センターに本虫を送付し、同定を依頼した結果、リュウキュウミカンサビダニと同定された。
発生は一部の地域に限られ、付近のほ場でも部分的にさび症状が見られたが、同地域外での発生は確認されていない。
- 5 国内の発生状況
本種は、平成3年（1991年）に沖縄県で発生が確認された。その後、鹿児島県（奄美大島、屋久島、本土）や東京都小笠原諸島で発生が確認されている。また、農研機構果樹研究所口之津拠点（当時）内での発生報告例（上遠野ら、2013年）がある。
- 6 形態、生態及び被害の特徴
 - （1）形態
乳白色～橙黄色の細長いくさび型で、ミカンサビダニとほぼ同じ大きさである（雌の体長は約0.16mm、雄は雌よりやや小さい）。また、200倍以上の生物顕微鏡で観察すると、虫体背面がU字型にへこみ、後方に向かって溝を形成していることが確認できる。ミカンサビダニの虫体背面に溝はない（図2，3）。
 - （2）生態及び被害
本種は中晩柑や在来のカンキツ類に寄生し、果実に著しいさび症状を引き起こす（農林

水産省，1995，植物防疫病虫害情報）。

はじめ果実の上部が淡褐色の小斑点となるが、次第に果実表面が黒褐色～赤褐色になる。果実や葉で越冬した個体が、春先に春葉、その後果実で増殖し、秋季に多発するのが特徴のようであり、果実の被害で初めて発生に気づくことが多い（堀江，2005）。

本県においても葉の被害は目立たず、秋季以降に果実の被害によって発見されやすい。症状では従来から発生しているミカンサビダニとの区別がつかない。

7 防除対策

(1) 本種に適用のある薬剤散布により防除する。

(2) ミカンサビダニと混発する可能性があるため、発生園では従来のミカンサビダニを対象とした防除時期（梅雨明け直後及び8月下旬～9月上旬）に加え、秋季（10月以降）の防除も行う必要がある。



図1 果実の被害（令和5年9月20日撮影）



図2 果実表面に寄生した本種
（実体顕微鏡）



図3 形態の特徴（生物顕微鏡）

熊本県病虫害防除所
（農業研究センター 生産環境研究所内）
担当：清永、岡島
TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察特殊報について（送付）
このことについて、発生予察特殊報第5号を発表しましたので送付します。

特 殊 報

令和5年度（2023年度）発生予察特殊報第5号

令和6年（2024年）1月30日
熊本県病虫害防除所長

- | | |
|--------|---------------------------------------|
| 1 病虫害名 | クロテンコナカイガラムシ |
| 2 学 名 | <i>Phenacoccus solenopsis</i> Tinsley |
| 3 発生作物 | ピーマン（パプリカ）、スイカ |

4 発生確認の経過

令和5年（2023年）8月、県内のパプリカ栽培ほ場において、コナカイガラムシ類が発生した。本虫を採集し、農林水産省門司植物防疫所に同定を依頼した結果、本県では未確認であったクロテンコナカイガラムシであることが確認された。その後、10月にはスイカ栽培ほ場においても本虫の寄生が確認された。

5 国内の発生状況

平成21年（2009年）に沖縄県で発生が初めて確認された後、これまでに20府県で発生が確認されている。九州では、既に全県で発生が確認されている。

6 形態及び生態等の特徴

（1）形態

雌成虫は楕円形で体長は3～5mm程度である。コナカイガラムシ類は背面に白色のロウ質物を分泌するため全体としては白く見えるが、本虫は2対の黒斑が見られる（図1）。この黒斑は2齢幼虫以降に見られ、1齢幼虫には見られない。

（2）生態

雌成虫は綿状のロウ質物の卵のう内に平均350個程度産卵する。ふ化後、1齢幼虫は数日間卵のう内で過ごした後、摂食のために歩いて分散する。雌は羽化せず翅のない成虫になる。雄は蛹を経て1対の翅を持つ成虫となる。また、本虫は交尾後産卵する有性生殖と雌成虫が交尾せずに産卵する単為生殖の両方が知られている。また、本種の単為生殖個体群における1世代の発育期間は平均70日程度である。

(3) 被害

ウリ科、ナス科など66科の植物種に寄生の報告があり、広食性である。国内ではトマト、ナス、ピーマン、キクなどで被害の発生が確認されている。本虫は寄主植物の葉、茎、果実などを吸汁加害することで植物体を衰弱させる。また、分泌した甘露（糖分を多く含む排泄物）によって、表面にすす病が発生し、果実の汚れ（品質低下）や光合成の阻害を引き起こす。

7 防除対策

- (1) パプリカについてはピーマンのコナカイガラムシ類に登録のある薬剤を用いて防除を行う。スイカについては現在、登録農薬はない。
- (2) ほ場内での早期発見に努め、発生が認められた場合は寄生部位を除去するか、圧殺するなどして適切に処分する。
- (3) 雑草は本虫の増殖源となり得るため、ほ場内及び周辺の除草を徹底する。
- (4) 施設栽培の場合は、栽培終了後に他の微小害虫防除も兼ねてハウス密閉処理を行う。



図1 クロテンコナカイガラムシ雌成虫



図2 パプリカの葉に寄生するクロテンコナカイガラムシ

熊本県病虫害防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所内)
担当：岡島、福岡
TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察特殊報について（送付）
このことについて、発生予察特殊報第6号を発表しましたので送付します。

特 殊 報

令和5年度（2023年度）発生予察特殊報第6号

令和6年（2024年）1月30日
熊本県病虫害防除所長

- 1 病虫害名 フシダニ科の一種
- 2 学 名 *Aceria* sp.
- 3 発生作物 ニラ（ヒガンバナ科）

4 発生確認の経過

令和5年（2023年）11月、県内のニラ栽培ほ場において、葉が湾曲する被害が確認された（図1）。被害株を確認したところ、フシダニ科のダニが寄生しており、葉鞘内部では水疱状の隆起が確認された（図2、図3）。被害様相や虫体の形態から同年9月に栃木県の特殊報で報告されたダニと同一種であることが疑われたため、法政大学植物医科学センターに同定を依頼した。その結果、*Aceria*属のダニと同定され、栃木県で発生したものと同一種であることが確認された。

5 国内の発生状況

令和5年（2023年）9月に栃木県で発生が初めて確認された。高知県でもフシダニ科の報告（2023年12月）があるが、当県で確認されたダニと高知県で確認されたものが同一種か否かは不明である。

6 形態及び生態等の特徴

（1）形態

成虫は体長約0.2mmで、白色または淡黄色のうじ虫型である。また、卵は白色半透明の球型である。

（2）生態

本種はフシダニ科*Aceria*属の既知種とは外部形態や塩基配列が異なる別種であり、生態は不明である。

（3）被害

本種は葉鞘部や葉の基部での寄生が多い。寄生部では水疱状の隆起が発生し、症状が進

むと葉が湾曲して奇形化する。これは寄生が多い葉鞘内部での被害が葉の伸長に伴い上部に進展して発生すると考えられる。

7 防除対策

- (1) 令和6年1月30日現在、ニラにおける本種に対する登録農薬はない。
- (2) 本種の発生を肉眼で確認することは困難であるため、ほ場内での被害株の早期発見に努め、発生が認められた場合は株ごと除去し、ほ場外で適切に処分する。
- (3) 手袋や農機具等を介した本種の移動を防ぐため、発生ほ場での作業後の洗浄を徹底する。



図1 葉が湾曲したニラ被害株



図2 葉鞘部に発生した水疱状の隆起

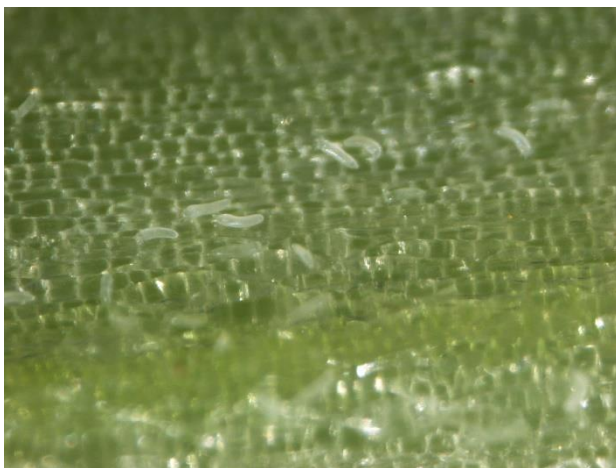


図3 葉鞘内部に寄生するフシダニ科の一種

熊本県病害虫防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所内)
担当：岡島、福岡
TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

麦類赤かび病の発生状況（技術情報第1号）について（送付）
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

麦類赤かび病は平年並の発生であるが、平年より発生ほ場の割合がやや高く、発生一部のほ場では発病程度が高い穂も散見される。また、倒伏したほ場ではかび毒の汚染が助長されるため、収穫以降の対策を徹底する。

記

1 麦類赤かび病の発生状況の調査概要（別紙）

5月8日及び15日に、県内の麦類赤かび病の発生状況調査を、小麦26ほ場、大麦12ほ場で行った。

- （1）小麦では、発病穂率1.8%（平年1.5%）、発生ほ場率53.8%（平年40.9%）、発病度0.32（平年0.28）で、発病穂率と発病度は平年並、発生ほ場率は平年よりやや高かった。
- （2）大麦では、発病穂率1.0%（平年0.9%）、発生ほ場率50.0%（平年23.8%）、発病度0.17（平年0.15）で、小麦と同様、発病穂率と発病度は平年並、発生ほ場率は平年よりやや高かった。

2 今後の留意点

赤かび病の発病程度は軽いが、平年より広い範囲で発生がみられる。多発ほ場や5月上旬の降雨等により倒伏したほ場では、下記の対策を徹底する。

- （1）刈り遅れると、赤かび病菌が産生するかび毒（DON）の含有濃度が高くなる傾向があるため、適期に収穫する。
- （2）収穫時にはほ場を確認し、赤かび病の発生ほ場で倒伏がみられた場合は、かび毒汚染の可能性が高くなるため、可能な限り他の麦とは分けて収穫する。
- （3）共同乾燥施設においては、荷受時に赤かび病被害粒のチェックを行い、被害粒がみられた場合は、必要に応じてその他の麦とは別に乾燥するなどの仕分けを行う。
- （4）赤かび病被害粒は粒厚が薄く、また比重が軽い傾向があるため、粒厚選別や比重選別により被害粒除去に努める。

（参考）

- 1）麦類の病気の一つである赤かび病は、フザリウムというかびが原因であり、かび毒であるデオキシニバレノール（Deoxynivalenol: DON）を作ります。
- 2）平成15年産麦（大麦を含む）からは、農産物検査規格のうち食用麦の赤かび病被害粒の混入率が、これまでの1.0%から0.0%に引き下げられました。また、食品衛生法に基づき、小麦についてデオキシニバレノール（DON）を1.0mg/kgを超えて含有するものであってはならない旨の成分規格が新たに設定され、令和4年4月1日から適用されました。

令和5年(2023年) 麦類赤かび病の調査結果

調査日: 令和5年5月8,15日

小 麦(生育ステージ:乳熟期)

ほ場	地点名	発病穂率 (%)	発病程度別の穂数				発病度
			0(無)	①(軽)	②(中)	③(甚)	
1	熊本市富合町新1	0	100	0	0	0	0.00
2	" " 新2	3	97	3	0	0	0.50
3	熊本市城南町碓1	0	100	0	0	0	0.00
4	" " 碓2	2	98	2	0	0	0.33
5	玉名市北牟田1	2	98	1	1	0	0.67
6	" 北牟田2	0	100	0	0	0	0.00
7	玉名市高道1	5	95	5	0	0	0.83
8	" 高道2	3	97	3	0	0	0.50
9	山鹿市南島1	1	99	1	0	0	0.17
10	" 南島2	2	98	2	0	0	0.33
11	山鹿市鹿本町小嶋1	0	100	0	0	0	0.00
12	" 小嶋2	0	100	0	0	0	0.00
13	菊池市七城町高島1	0	100	0	0	0	0.00
14	" 高島2	0	100	0	0	0	0.00
15	菊池市今1	5	95	5	0	0	0.83
16	" 今2	0	100	0	0	0	0.00
17	大津町新1	0	100	0	0	0	0.00
18	" 新2	0	100	0	0	0	0.00
19	御船町小坂1	16	84	15	1	0	3.00
20	" 小坂2	1	99	1	0	0	0.17
21	甲佐町糸田1	1	99	1	0	0	0.17
22	" 糸田2	0	100	0	0	0	0.00
23	嘉島町上六嘉1	2	98	2	0	0	0.33
24	" 上六嘉2	2	98	2	0	0	0.33
25	氷川町若洲1	0	100	0	0	0	0.00
26	" 若洲2	1	99	1	0	0	0.17
平均値		1.8	発生ほ場率 53.8%				0.32
平年値(過去10年)		1.5	" 40.9%				0.28

大 麦(生育ステージ:完熟期)

ほ場	地点名	発病穂率 (%)	発病程度別の穂数				発病度
			0(無)	①(軽)	②(中)	③(甚)	
1	山鹿市南島1	0	100	0	0	0	0.00
2	" 南島2	0	100	0	0	0	0.00
3	菊池市七城町砂田1	2	98	2	0	0	0.33
4	" 砂田2	0	100	0	0	0	0.00
5	菊池市今1	1	99	1	0	0	0.17
6	" 今2	3	97	3	0	0	0.50
7	大津町新1	2	98	2	0	0	0.33
8	" 新2	0	100	0	0	0	0.00
9	あさぎり町免田1	2	98	2	0	0	0.33
10	" 免田2	0	100	0	0	0	0.00
11	多良木町多良木1	2	98	2	0	0	0.33
12	" 多良木2	0	100	0	0	0	0.00
平均値		1.0	発生ほ場率 50.0%				0.17
平年値(過去10年)		0.9	" 23.8%				0.15

※1 1ほ場において100穂調査

※2 発病程度 0:発病無し ①:穂の1/3以下が発病 ②:穂の1/3～2/3が発病 ③:穂の2/3以上が発病

※3 発病度 $= [6 \times ③ + 3 \times ② + ①] \div (6 \times \text{調査穂数}) \times 100$

参考

過去の麦類赤かび病の調査結果

小 麦

調査年	発病穂率	発病度	発生圃場率(%)	備考
H16年	2.2	0.36	74.1	5/7調査
H17年	1.5	0.25	68.0	5/10・11調査
H18年	2.8	0.41	66.7	5/11調査
H19年	1.6	0.28	58.3	5/7・8調査
H20年	0.6	0.15	28.0	5/7・8調査
H21年	0.0	0.01	3.3	5/7・8調査
H22年	1.0	0.19	26.7	5/6・7調査
H23年	0.4	0.07	23.1	5/10・16調査
H24年	2.6	0.45	61.5	5/16・18調査
H25年	0.1	0.01	7.7	5/8・14調査
H26年	0.2	0.04	19.2	5/14・16調査
H28年	3.0	0.51	65.4	5/11・18調査
H30年	2.8	0.47	61.5	5/10・18調査
R1年	1.1	0.19	50.0	5/8・9調査
R2年	1.0	0.44	30.8	5/7・8・14調査
R3年	0.1	0.01	7.7	5/10・11調査
R4年	3.3	0.60	84.6	5/6・11・12調査
平年値(10年間)	1.5	0.3	40.9	H25～R4 (H27,H29は除外)
R5年	1.8	0.32	53.8	5/8調査

大 麦

調査年	発病穂率	発病度	発生圃場率(%)	備考
H16年	1.1	0.18	28.6	5/7調査
H17年	0.6	0.11	36.4	5/10・11調査
H18年	1.3	0.21	50.0	5/11調査
H19年	0.4	0.07	35.7	5/7・8調査
H20年	0.1	0.01	7.1	5/7・8調査
H21年	0.0	0.00	0.0	5/7・8調査
H22年	0.0	0.00	0.0	5/6・7調査
H23年	0.2	0.04	14.3	5/10・16調査
H24年	0.9	0.14	28.6	5/16・18調査
H25年	0.1	0.01	7.1	5/16・18調査
H26年	0.0	0.00	0.0	5/14・16調査
H28年	1.3	0.21	50.0	5/11・18調査
H30年	2.6	0.43	50.0	5/10・18調査
R1年	1.0	0.17	33.3	5/8・9調査
R2年	0.5	0.08	8.3	5/7・8調査
R3年	0.0	0.00	0.0	5/10・11調査
R4年	2.0	0.33	41.7	5/6・11・12調査
平年値(10年間)	0.9	0.2	23.8	H25～R4 (H27,H29は除外)
R5年	1.0	0.17	50.0	5/8・15調査

熊本県病害虫防除所
(熊本県農業研究センター生産環境研究所内)
担当：守田 TEL 096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

茶におけるチャノミドリヒメヨコバイの発生状況及び防除対策（技術情報第2号）
について（送付）
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので業務の参考としてご活用ください。
記

茶において、チャノミドリヒメヨコバイの発生が平年より多い状況にあります。多発園では、三番茶の被害及び秋芽生育期の発生による翌年の生育への影響が懸念されるため、本害虫に焦点を当てた適期防除に努めましょう。

1 発生状況

- （1）6月中下旬の巡回調査（県内8園地）における平均寄生葉率は7.0%（平年2.8%）、平均被害芽数は10.8本/㎡（平年1.9本/㎡）と平年比多の発生であった（図1、2）。
- （2）茶業研究所（御船町）の予察ほ場における6月第5半旬のたたき落とし調査捕獲頭数は、21頭/10か所（平年10頭/10か所）と平年比やや多の発生であった。

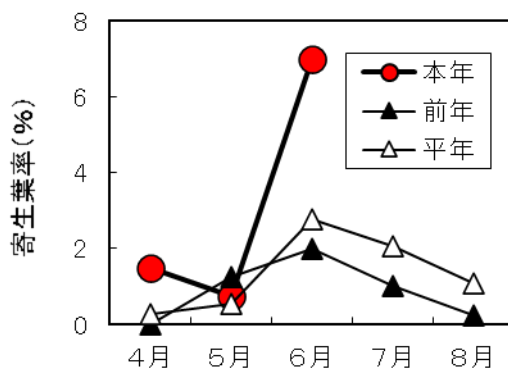


図1 寄生葉率の推移

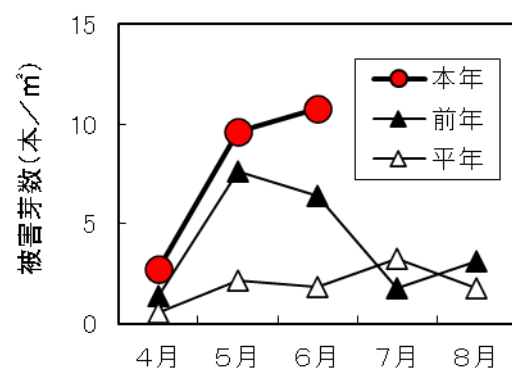


図2 被害芽数の推移

2 今後の発生予想

福岡管区气象台が6月29日に発表した九州北部地方1か月予報によると、向こう1か月の降水量は平年より多い予想であるが、気温は平年より高い予想であり、今後も本害虫の発生密度が平年より高い状態が継続する可能性があります。すでに多発している園では、秋芽の被害も懸念されます。

3 防除対策等

本害虫は成虫で越冬し、年6～8回発生します。卵は約1週間でふ化し、夏期はふ化後約半月で成虫となり（30℃で約15日、15℃で約40日）、成虫は約1か月間生存するため、二番茶以降は成虫と幼虫が混在した状態となっています。また、成虫・幼虫ともに新梢部の柔らかい葉を加害するため、新芽の開葉初期に合わせて薬剤散布することが最も重要で

すが、伸長期間が長い秋芽を保護するためには複数回の散布が必要となります。多発園では以下のポイントに留意し、効果的な対策を行いましょう。

- (1) 各茶芽の萌芽期から1葉開葉期に薬剤散布を行う。成虫は飛翔移動するため集団茶園ではドリフトに注意し、一斉防除を図る。散布の際には、すそ部を含め薬剤がむらなく行き渡るよう十分な量を散布する。
- (2) 可能な限り他の害虫との同時防除を行い、本害虫に対する防除機会を増やす。熊本県病害虫防除所のホームページ (<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/168705.html>) に他の害虫の防除適期に関する情報(トラップ誘殺消長、羽化・ふ化最盛期予測等)を掲載しているので、参考にする。薬剤の選定に当たっては、他の害虫を含む薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同系統剤の連続使用及び多数回使用を避ける(表1)。
- (3) 農薬を使用する際はラベルの表示をよく確認し、使用基準を順守する。対象害虫によって希釈倍数や散布液量が異なるものがあるので注意する。

表1 茶のチャノミドリヒメヨコバイで熊本県防除指針に採用のある農薬(参考)

薬剤名	成分(総使用回数)	IRAC コード	使用方法 (希釈倍数)	同時防除が可能な他の害虫※			
				チャノミドリヒメヨコバイ	チャノホソガ	チャノコクモンハマキ	ツマクアオカスミカ
アクタラ顆粒水溶剤	チアメトキサム(1回)	4A	散布 (2000~3000倍)	● (2000倍)	-	-	○ (3000倍)
アドマイヤー水和剤	イミダクロプリド(1回)	4A	散布 (1000倍)	● (1000~2000倍)	○ (2000倍)	-	-
アブロード水和剤 (幼虫を対象に登録有)	プロロフェジン(2回以内)	16	散布 (1000倍)	-	-	-	-
アルバリン顆粒水溶剤	ジノテフラン(2回以内)	4A	散布 (2000倍)	● (2000倍)	● (2000倍)	-	○ (2000倍)
スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン(2回以内)	4A	散布 (2000倍)	● (2000倍)	● (2000倍)	-	○ (2000倍)
ウララDF	フロニカミド(1回)	29	散布 (1000~2000倍)	● (1000~2000倍)	-	-	● (1000~2000倍)
オルトラン水和剤	アセフェート(1回)	1B	散布 (1000~2000倍)	● (1000~2000倍)	-	○ (1000~1500倍)	-
ジェイエース水溶剤	アセフェート(1回)	1B	散布 (1000~2000倍)	● (1000~2000倍)	-	○ (1000~1500倍)	-
ガンバ水和剤	ジアフェンチウロン(1回)	12A	散布 (1000~1500倍)	● (1000~1500倍)	-	-	● (1000倍)
グレーシア乳剤	フルキサメタミド(1回)	30	散布 (2000倍)	● (2000倍)	○ (2000倍)	● (2000倍)	-
コテツフロアブル	クロルフェナピル(2回以内)	13	散布 (2000倍)	● (2000倍)	-	○ (2000倍)	-
コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン(2回以内)	9B	散布 (2000~3000倍)	● (2000~3000倍)	-	-	● (2000倍)
ダントツ水溶剤	クロチアニジン(1回)	4A	散布 (2000~4000倍)	● (2000~4000倍)	● (2000~4000倍)	-	○ (2000~4000倍)
パダンSG水溶剤	カルタップ(1回)	14	散布 (1500倍)	● (1500倍)	○ (1500倍)	-	-
ハチハチ乳剤	トルフェンピラド(1回)	21A	散布 (1000~1500倍)	● (1000~1500倍)	● (1000~1500倍)	-	○ (1000倍)
ベストガード水溶剤	ニテンピラム(2回以内)	4A	散布 (1000~2000倍)	● (1000~2000倍)	-	-	-
ロディー乳剤	フェンプロバトリン(1回)	3A	散布 (1000~2000倍)	● (1000~2000倍)	○ (1000~2000倍)	○ (1000~2000倍)	● (1000倍)

※ ●: 熊本県病害虫防除指針採用
○: 農薬登録あり

熊本県病害虫防除所
(農業研究センター生産環境研究所内)
担当: 清永、岡島 TEL: 096-248-6490

各関係機関長様

熊本県病虫害防除所長

水稻海外飛来性害虫の飛来状況（技術情報第3号）について（送付）

このことについて、水稻飛来性害虫（ウンカ類、コブノメイガ）の飛来状況を下記のとおりまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

トビイロウンカの初飛来が7月2日、コブノメイガの初飛来が7月1～3日に確認されました。

今年のトビイロウンカの飛来は平年より遅いものの、梅雨明け後には気温が高まるため、本種の増殖が速まる恐れがあります。ほ場での発生状況に注意してください。

1 飛来状況

（1）合志市に設置した予察灯で、7月2日にトビイロウンカが初めて誘殺された。

セジロウンカは5月12日に初めて誘殺を確認し、その後も断続的に誘殺された。

コブノメイガは合志市に設置したフェロモントラップで7月1～3日に初めて誘殺された（表1）。

（2）6月第1半旬から7月4日（コブノメイガは7月3日）の期間において、予察灯累積誘殺数は、トビイロウンカが32頭（平年15.8頭）で平年比多、セジロウンカは211頭（平年87.8頭）で平年比多、コブノメイガのフェロモントラップ累積誘殺数は5頭（平年72.5頭）で平年比少であった。

2 防除対策

（1）トビイロウンカの防除適期を、初飛来を確認した7月2日を起点に算出した（表

2）。トビイロウンカに対しては若齢幼虫期（1～2齢）の防除が最も効果が高いため、生育ステージを確認して防除を行う。初飛来後も連日誘殺されているため、今後の発生状況や防除適期について最新の情報は、防除所のホームページ（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>）を確認し、適期防除に努める。

（2）コブノメイガの防除適期を飛来状況から算出した（表3）。コブノメイガの防除適期は粒剤が発蛾最盛期、粉剤、液剤は若齢幼虫期（発蛾最盛期の1週間後）である。水田における発生状況を確認し、要防除水準（第1世代幼虫による被害株率が20%以上）を超える場合は防除を行う。

熊本県病虫害防除所

（熊本県農業研究センター 生産環境研究所内）

担当：守田 TEL 096-248-6490

表2 予想されるトビイロウンカの防除適期(7/4現在)

★JPPネットによる有効積算温度計算シミュレーションver2を使用

★7月2日飛来の場合(熊本県農業研究センター設置の予察灯初誘殺日から推定)

地点名	熊本	三角	岱明	鹿北	菊池	阿蘇乙姫	甲佐	八代	水俣	人吉	本渡
第1世代 幼虫 (1齢～5齢)	7月20日	7月20日	7月20日	7月21日	7月20日	7月24日	7月20日	7月20日	7月20日	7月21日	7月20日
	～ 7月31日	～ 7月31日	～ 7月31日	～ 8月2日	～ 7月31日	～ 8月6日	～ 7月31日	～ 7月31日	～ 7月31日	～ 8月1日	～ 7月31日
第2世代 幼虫 (1齢～5齢)	8月17日	8月17日	8月17日	8月21日	8月17日	8月28日	8月18日	8月17日	8月18日	8月19日	8月17日
	～ 8月28日	～ 8月28日	～ 8月28日	～ 9月2日	～ 8月28日	～ 9月12日	～ 8月29日	～ 8月28日	～ 8月29日	～ 8月31日	～ 8月28日

注1) 7月3日までは2023年実測の平均気温、7月4日以降は平年の平均気温をもって有効積算温度にて試算した。

注2) 各地点のアメダスデータ平均気温(本年値及び平年値)をもとに、有効積算温度により发育ステージを予測した。

注3) 防除を行う場合は、薬剤の効果が高い若齢幼虫期(1～2齢)を狙って防除する。

ステージ	有効積算温度(日度)	发育0点(℃)	備考
成虫	125	12	産卵までの期間
卵	135	11.4	孵化までの期間
幼虫	250	6.5	1齢～5齢幼虫の期間

(参考) トビイロウンカの発生時期別要防除水準

発生時期	要防除水準(成幼虫)
7月中旬～8月上旬	20頭/100株
8月中旬～8月下旬	100頭/100株

表3 予想されるコブノメイガの発蛾最盛期予測(7/4現在)

★JPPネットによる有効積算温度計算シミュレーションver2を使用

★7月3日飛来の場合(熊本県農業研究センター設置のトラップ初誘殺日から推定)

地点名	熊本	三角	岱明	鹿北	菊池	阿蘇乙姫	甲佐	八代	水俣	人吉	本渡
第1世代 発蛾 最盛期	8月2日	8月4日	8月2日	8月6日	8月5日	8月12日	8月4日	8月4日	8月4日	8月5日	8月4日
	～ 8月5日	～ 8月7日	～ 8月5日	～ 8月9日	～ 8月8日	～ 8月16日	～ 8月7日	～ 8月7日	～ 8月7日	～ 8月8日	～ 8月7日
第2世代 発蛾 最盛期	9月2日	9月4日	9月2日	9月10日	9月7日	10月1日	9月6日	9月4日	9月6日	9月7日	9月6日
	～ 9月5日	～ 9月7日	～ 9月5日	～ 9月14日	～ 9月10日	～ 10月12日	～ 9月9日	～ 9月7日	～ 9月9日	～ 9月10日	～ 9月9日

注1) コブノメイガトラップへの誘殺が7月1～3日の期間中に確認されたため、7月3日を起点とした。

注2) 7月3日までは実数の平均気温、4日以降は平年の平均気温をもって有効積算温度にて試算した。

注3) 各地点のアメダスデータ平均気温(本年値及び平年値)をもとに、有効積算温度により发育ステージを予測した。

ステージ	有効積算温度(日度)	发育0点(℃)
成虫	50	13
卵	50	13
幼虫	250	12.5
さなぎ	90	14.2

本田防除剤の散布適期

粒剤：発蛾最盛期

粉剤・液剤：若齢幼虫期

(発蛾最盛期から1週間後)

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

果樹カメムシ類の果樹園への飛来開始時期（技術情報第4号）について（送付）
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、防除指導に御活用ください。

記

果樹カメムシ類がヒノキ球果から離脱し果樹園に飛来する時期は、8月下旬～9月上旬と予想され、総じて遅いが、熊本市河内町や宇城市三角町では前年より早い予想です。また、ヒノキ林に近い園地や台風襲来後は、突発的に予想より早く飛来することがあるので、今後の発生に注意し、早期発見と初期防除を心がけましょう。

1 飛来開始時期

- （1）果樹カメムシ類は、主に山林のヒノキ・スギ球果を餌として増殖する。本年の越冬量は平年並であったが、ヒノキ球果の着生量は平年よりやや多いため、山林での増殖期間が平年より長く、8月以降の新世代の発生量は平年より多くなると予想される。
- （2）7月20日に天草を除く4地点で行ったヒノキ球果が着生した枝のビーティング調査では、球果に寄生していた果樹カメムシ類の成幼虫数は平年より少なかったが、7月上旬と比べ増加していた（表1）。
- （3）7月18日及び7月20日に採取したヒノキ球果におけるカメムシ類の口針鞘数は、全6地点の平均2.3本/果（平年4.9本/果）と、平年よりやや少ないが、各地点ごとにばらつきがあった（表2）。

※ヒノキ球果の口針鞘数が25本/果に達する時期が、果樹カメムシ類がヒノキから離脱し、果樹園に飛来する時期の目安となる。

- （4）各調査地点ごとのヒノキからの離脱予測日から、果樹園への飛来開始時期は8月下旬から9月上旬と予想され、総じて遅いが、前年より予測日が早い地点（熊本市河内町、宇城市三角町）がある（表3）。

また、ヒノキ林に近い園地や台風襲来後は、突発的に予測日より早く飛来することがあるので、注意する必要がある。

2 防除対策

- （1）果樹カメムシ類は、ヒノキ・スギ球果の状態が悪くなると山林から果樹園に飛来するので、離脱開始予想日（表3）と病害虫防除所のホームページ（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/168705.html>）に掲載している「ヒノキ球果の口針鞘数・寄生頭数調査」、「予察灯・フェロモントラップ誘殺数」を参考に早期発見及び初期防除に努める。
- （2）飛来時期や量は地域や園地による差が大きく、同一園内でも局在するため、園内全体を観察する。また、山間部や山沿いの園では、発生が集中する場合もあるので注意する。
- （3）果樹カメムシ類は日没直後に園外から侵入し、翌朝飛び去るため、夕方や早朝の防除が

有効である。

- (4) 薬剤の使用回数、濃度、使用量、使用時期を遵守するとともに、周辺作物への農薬飛散（ドリフト）に注意する。
- (5) ピレスロイド系剤（IRACコード：3A）は、ミカンハダニやカイガラムシ類のリスクを起すので、カメムシ類防除後にこれらの害虫の発生に注意する。

表1 ヒノキ球果枝におけるビーティング調査結果（頭／地点）

調査年次		7月上旬	7月下旬	8月上旬
2023年	(R5)	1.00	2.75	
2022年	(R4)	3.30	6.50	4.30
2021年	(R3)	1.00	6.50	4.30
2020年	(R2)	0.25	1.50	3.00
2019年	(R1)	1.50	3.00	8.50
2018年	(H30)	15.00	18.00	5.00
2017年	(H29)	0.50	0.50	1.00
2016年	(H28)	0.25	0.25	1.00
2015年	(H27)	0.00	1.00	1.00
2014年	(H26)	1.25	10.50	2.75
2013年	(H25)	1.50	2.50	4.50
平年値（過去10年）		2.46	5.03	3.54

- 1) ヒノキ球果が着生した枝に網をかぶせ、寄生虫をたたき落とした。
- 2) 調査地点は熊本地域1、宇城地域2、菊池地域1の4地点。
- 3) カメムシ類の寄生虫数は、1地点当たり5枝分の合計を4地点で平均した。

表2 ヒノキ球果の口針鞘数調査結果（本／果）

調査地域	調査時期 地点	7月上旬	7月下旬	8月上旬
熊本地域	熊本市(河内)	0.20	4.00	
宇城地域	宇城市(松橋)	0.00	1.03	
	宇城市(三角)	0.00	5.10	
菊池地域	合志市(栄)	0.00	0.33	
天草地域	天草市(上島)	0.90	2.60	
	天草市(下島)	0.07	0.63	
6地点平均値		0.20	2.28	
昨年度(R4年)		2.54	8.11	14.94
平年値(H25～R4年)		1.06	4.94	9.50

表3 果樹カメムシ類のヒノキ球果からの離脱予想日

地点名	離脱予想日						
	本年(R5)	前年比	前年(R4)	R3	R2	R1	H30
熊本市（河内）	8月28日	14日早い	9月11日	9月10日	9月13日	9月16日	7月23日※
宇城市（松橋）	9月8日	16日遅い	8月23日	9月3日	9月7日	9月3日	8月28日
宇城市（三角）	8月24日	2日早い	8月26日	9月7日	8月31日	8月26日	8月26日
合志市（栄）	9月10日	6日遅い	9月4日	9月6日	9月13日	9月9日	8月19日
天草市（上島）	8月31日	36日遅い	7月26日	7月21日※	9月11日	9月9日	7月18日※
天草市（下島）	9月7日	47日遅い	7月22日※	9月12日	9月12日	9月20日	7月18日※
平均	9月2日	15日遅い	8月18日	8月30日	9月9日	9月8日	8月6日

<表2、3の調査方法>

1) 調査日 : 7月18日、20日

2) 調査規模: 各地点30球果（酸性フクシンで口針鞘を染色後、検鏡にて計数した。）

<表3の予測離脱日>

福岡県農業総合試験場が開発した予測式により算出した。

予測式: $Y = 54.17 - 3.776X + 0.01937X^2$

Y: 調査日から離脱日までの日数、X: ヒノキ球果1果当たり口針鞘数

Xは小数点第二位を四捨五入、Yは小数点以下切り捨て

※予測式による計算値がマイナスになった場合は離脱日までの日数を0とした。

熊本県病虫害防除所

（熊本県農業研究センター生産環境研究所内）

担当: 清永、岡島 TEL: 096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

トビイロウンカの主飛来及び発生状況（技術情報第5号）について（送付）

このことについて、早植え・普通期水稻におけるトビイロウンカの飛来・発生状況及び防除対策を下記のとおりまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

今年のトビイロウンカの主飛来は7月4日頃と考えられます。

8月上旬時点での本田での発生は、平年より少ない状況です。

ただし、一部のは場では、増殖能力の高い短翅型雌成虫や、早植え水稻で、主飛来とは一致しない若齢を主体とした幼虫の発生も確認されています。

このため、主飛来から推定される防除適期及びは場での発生状況を確認し、効果的な防除を実施しましょう。

1 飛来状況

- （1）トビイロウンカは、合志市に設置した予察灯で本年度最多数の誘殺（26頭）が認められた7月4日が主飛来と考えられる（表1、表2）。
- （2）梅雨時期（7月第1～5半旬）の累積誘殺数は、37頭（平年102頭）と平年より少なかった（表2）。

2 発生状況

（1）早植え水稻（5～6月上旬移植）

主飛来から推定される第一世代幼虫期（7月31日～8月1日）に実施した払い落とし調査の結果、24は場の平均寄生密度（成幼虫合計）は0.2頭/10株と平年（15.5頭/10株）より少なく、発生は場率も20.8%と平年（49.0%）より低かった。ただし、一部のは場では、8月上旬の要防除水準（2頭/10株）を超過しており、増殖能力の高い短翅型雌成虫も確認された（表3）。

（2）普通期水稻（6月中～下旬移植）

主飛来から推定される第一世代幼虫期（7月31日～8月1日）に実施した払い落とし調査の結果、24は場の平均寄生密度（成幼虫合計）は0.0頭/10株と平年（1.0頭/10株）より少なく、発生は場率も4.2%と平年（24.7%）より低かった。また、防除が必要な水準に達したは場は認められなかった。しかし早植え水稻と同様、一部で短翅型雌成虫が確認された（表4）。

（3）無防除田（早植え水稻：5月12日移植、普通期水稻：6月15日移植）

合志市の無防除早植え水稻では、8月8日に若齢を主体とした4.2頭/10株の寄生を確認した。この発生は、主飛来（7月4日）から推定された幼虫期とは一致していない（図1）。また、無防除の普通期水稻では、7月24日に若齢を主体とした5.0頭/10株の寄生を確認した（図2）。

3 防除対策

- (1) 本田防除に当たっては、表5を参考に主飛来（7月4日頃）の後世代幼虫を対象とした適期防除に努める。最新の防除適期及び発生状況については、病害虫防除所のホームページ（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>）に掲載している調査データを参考にする。
- (2) 早植え水稻については、無防除田での発生が幼虫期の予測（表5）と一致しなかったことから、防除適期が推定と異なる可能性があるため、現地での発生状況を定期的に確認し、薬剤の効果が高い若齢幼虫期を狙って散布する。
- (3) 8月上旬時点での発生状況は平年より少ないが、一部で短翅型雌成虫が確認されている（表3、4）。また、今後の気象条件がトビイロウンカの増殖に好適であると予想されているため、引き続き発生状況に注意し、要防除水準（8月中～下旬：10頭/10株）を超えた場合は直ちに防除を行う。
- (4) 農薬散布に当たっては、必ずラベル等で使用方法を確認し、使用基準を遵守する。また、周辺の作物やミツバチ・魚介類等の環境に影響がないよう飛散防止対策に努める。

表1 トビイロウンカのネットトラップ・予察灯における誘殺数（令和5年度）

※ 数日間まとめて調査した場合は、調査日にデータを記入

調査日	予察灯	ネットトラップ	
7/1	0		
7/2	5	0	
7/3	1	0	初誘殺
7/4	26	0	
7/5	0	0	
7/6	0	0	
7/7	1	0	主飛来
7/8	0		
7/9	0	0	
7/10	0		
7/11	3	0	
7/12	0	0	
7/13	0	0	
7/14	0	0	
7/15	0		
7/16	0	0	
7/17	0		
7/18	0		

調査日	予察灯	ネットトラップ	
7/19	0	0	
7/20	0	0	
7/21	0	0	
7/22	0		
7/23	0	0	
7/24	1		
7/25	0	0	梅雨明け
7/26	0	0	
7/27	0	0	
7/28	0		
7/29	0	0	
7/30	0		
7/31	0		

表2 トビイロウンカのネットトラップ・予察灯における誘殺数（過去 10 年及び平年値）

月	半月	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	平年値 (H25～R4)	R5
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0.7	0
	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0.1	0
	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0
	5	4	0	0	0	1	5	0	0	0	0	1	0
	6	9	1	0	1	0	0	1	4	0	8	2.4	0
7	1	1	10	0	0	0	0	27	227	0	0	26.5	32
	2	5	0	0	0	4	0	2	412	2	7	43.2	1
	3	0	15	0	35	7	0	49	119	0	2	22.7	3
	4	2	2	0	4	0	0	12	2	0	73	9.5	0
	5	0	1	1	3	0	0	4	7	0	2	1.8	1
	6	0	0	1	0	0	1	2	17	0	5	2.6	0

表3 早植え水稻におけるトビイロウンカの寄生密度（頭／10 株）

※ 7 月 31 日～8 月 1 日 30 株の払い落とし調査

地点名		成虫				幼虫			計
		長翅♂	長翅♀	短翅♂	短翅♀	老齡	中齡	若齡	
早 植 え	山鹿市鹿北1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山鹿市鹿北2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山鹿市菊鹿1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山鹿市菊鹿2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	阿蘇市狩尾1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	阿蘇市狩尾2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	阿蘇市の石1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.7	0.3	2.3
	阿蘇市の石2	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.7	0.0	1.0
	南小国町赤馬場1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3
	南小国町赤馬場2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	南阿蘇村久木野1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.7
	南阿蘇村久木野2	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	0.7
	山都町南田1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山都町南田2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	甲佐町寒野1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	甲佐町寒野2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	八代市二見町1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	八代市二見町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	芦北町大野1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	芦北町大野2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あさぎり町上1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あさぎり町上2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	錦町1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	錦町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
24ほ場の合計頭数		0.0	0.0	0.0	0.7	1.7	2.3	0.3	5.0
		0.7				4.3			
24ほ場の平均		0.2 頭(平年 15.5 頭、昨年 1.4 頭)							
発生ほ場率		20.8 %(平年 49.0 %、昨年 25.0 %)							

表4 普通期水稻におけるトビイロウンカの寄生密度（頭／10株）

※ 7月31日～8月1日 30株の払い落とし調査

地点名		成虫				幼虫			計
		長翅♂	長翅♀	短翅♂	短翅♀	老齡	中齡	若齡	
普通期	熊本市画図1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	熊本市画図2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	熊本市中無田1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	熊本市中無田2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	熊本市富合町木原	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	熊本市富合町平原	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玉名市両迫間1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玉名市両迫間2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玉名市横島1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玉名市横島2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山鹿市鹿央町1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山鹿市鹿央町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	菊池市赤星1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	菊池市赤星2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大津町陣内1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大津町陣内2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	益城町福原1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	益城町福原2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	八代市鏡町1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	八代市鏡町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	氷川町網道1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	氷川町網道2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	芦北町花岡1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3
	芦北町花岡2	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3
24ほ場の合計頭数		0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7
		0.7				0.0			
24ほ場の平均		0.0 頭(平年 1.0 頭、昨年 0.0 頭)							
発生ほ場率		8.3 %(平年 24.7 %、昨年 8.3 %)							

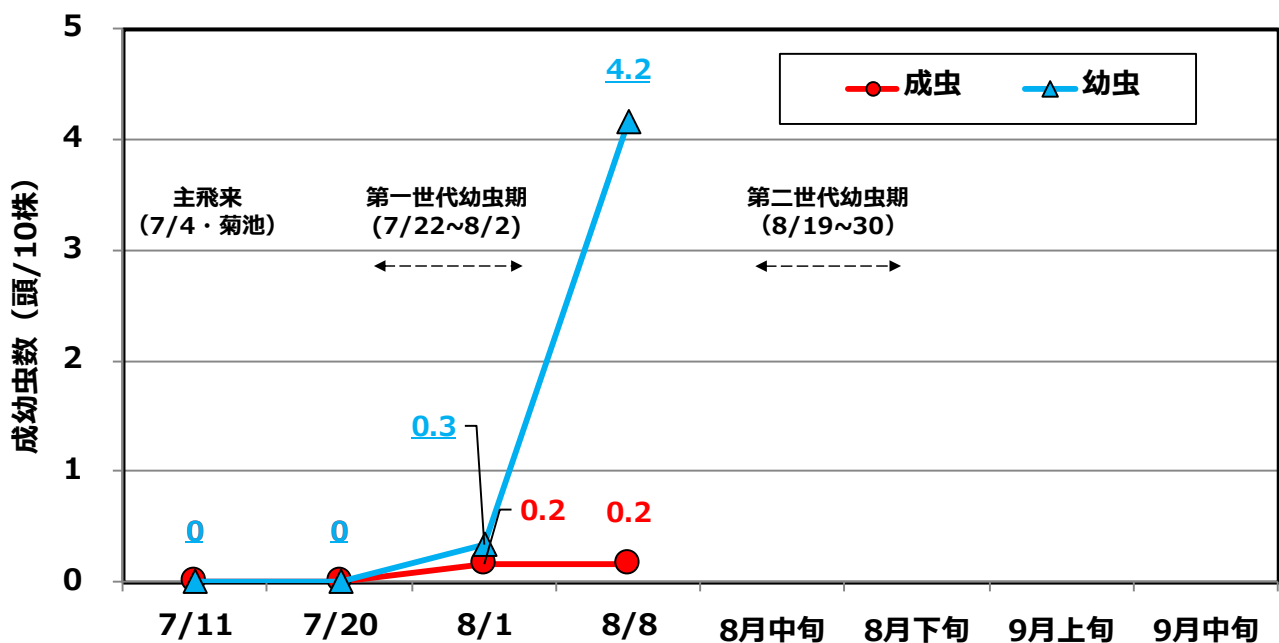


図1 無防除早植え水稻（5/12 移植・合志市）におけるトビイロウンカの発生推移

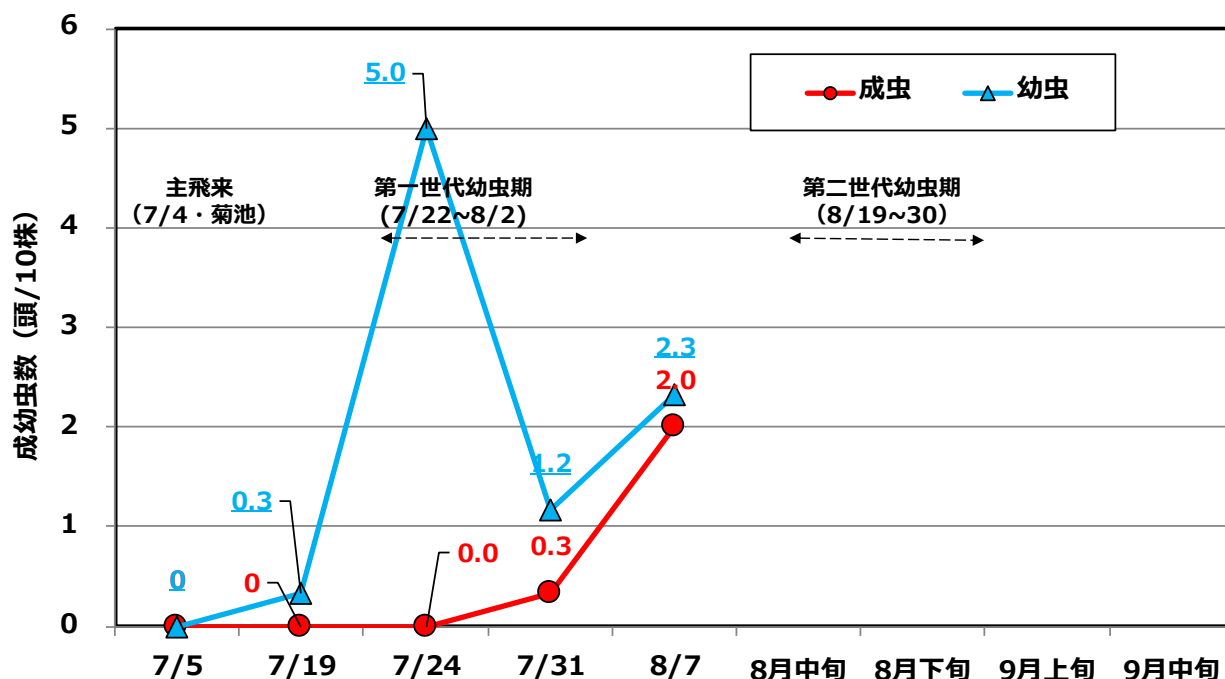


図2 無防除普通期水稻（6/15 移植・合志市）におけるトビイロウンカの発生推移

表5 県内各地のトビイロウンカ防除適期（主飛来対象）

※ JPP ネットによる有効積算温度計算シミュレーション ver2 を使用

★7月4日飛来の場合（熊本県農業研究センター設置の予察灯における主飛来日から推定

地点名	熊本	三角	岱明	鹿北	菊池	阿蘇乙姫	甲佐	八代	水俣	人吉	本渡
第1世代幼虫 (1齢～5齢)	7月21日 ～ 8月1日	7月21日 ～ 8月1日	7月21日 ～ 8月1日	7月22日 ～ 8月3日	7月22日 ～ 8月2日	7月25日 ～ 8月7日	7月22日 ～ 8月2日	7月20日 ～ 7月31日	7月20日 ～ 7月31日	7月22日 ～ 8月2日	7月22日 ～ 8月2日
第2世代幼虫 (1齢～5齢)	8月17日 ～ 8月28日	8月17日 ～ 8月28日	8月17日 ～ 8月28日	8月21日 ～ 9月2日	8月18日 ～ 8月29日	8月29日 ～ 9月13日	8月20日 ～ 9月1日	8月16日 ～ 8月27日	8月18日 ～ 8月29日	8月20日 ～ 9月1日	8月20日 ～ 9月1日

注1) 8月9日までは2023年実測の平均気温、8月10日以降は平年の平均気温をもって有効積算温度にて試算した。

注2) 各地点のアメダスデータ平均気温（本年値及び平年値）をもとに、有効積算温度により发育ステージを予測した。

注3) 防除を行う場合は、薬剤の効果が高い若齢幼虫期（1～2齢）を狙って防除する。

ステージ	有効積算温度(日度)	发育0点(℃)	備考
成虫	125	12	産卵までの期間
卵	135	11.4	孵化までの期間
幼虫	250	6.5	1齢～5齢幼虫の期間

（参考）トビイロウンカの発生時期別要防除水準

発生時期	要防除水準(成幼虫)
7月中旬～8月上旬	2頭/10株
8月中旬～8月下旬	10頭/10株

熊本県病害虫防除所
（熊本県農業研究センター 生産環境研究所内）
担当：守田 TEL 096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

タバココナジラミのウリ類退緑黄化ウイルス保毒状況と防除対策（技術情報第6号）
について（送付）

タバココナジラミのウリ類退緑黄化ウイルス（以下、CCYVとする）保毒状況とウリ科野菜の退緑黄化病に対する防除対策について取りまとめましたので、業務に御活用下さい。

記

野外におけるタバココナジラミの誘殺数は平年に比べてやや少なく、CCYV保毒虫率は平年よりやや低い状況です。しかし、保毒虫が少ない場合でも、生育初期にCCYVに感染すると収量・品質への影響が大きくなるため、施設内にタバココナジラミを「入れない」対策とともに、初期防除を徹底しましょう。

ウリ科野菜栽培主要3地域（熊本、鹿本、菊池）で、夏秋期から栽培を開始するウリ科野菜の退緑黄化病の発生リスクを判断するため、それぞれの地域の野外に黄色粘着板を1か所ずつ設置し、タバココナジラミの誘殺数およびCCYVの保毒虫率を調査した。

1 調査結果

- （1）8月上旬～下旬にかけて黄色粘着板（10×10cm）に誘殺されたタバココナジラミは、0.6頭/日/枚と、平年2.0頭/日/枚（過去5年の平均値、以下同様）と比較するとやや少なかった（表1）。
- （2）8月上旬～下旬にかけて黄色粘着板に誘殺されたタバココナジラミのCCYV保毒虫率は15.7%（平年31.3%）と平年より低く、0%（11頭調査）の地点もあった（表1、図1）。ただし、設置地点によって保毒虫率には差が見られる（図1）。
- （3）退緑黄化病の発生リスクの指標となる保毒虫数は0.1頭/日/枚（平年0.7頭/日/枚）と、平年比やや少であった（表1）。
- （4）福岡管区气象台が9月7日に発表した九州北部地方1か月予報によると、気温は平年より高く推移すると予想されており、タバココナジラミの活動に好適な条件が続くと考えられる。

2 防除対策

退緑黄化病の発生リスクの指標となる保毒虫数は平年比やや少である。しかし、生育初期にCCYVに感染すると、品質の低下や収量の減少等の被害が大きくなるため、ほ場にタバココナジラミを「入れない」対策とともに初期防除の徹底が重要である。

また、今後タバココナジラミの活動に好適な気象条件が続いた場合、野外のタバココナジラミが増殖し、ハウス内へのタバココナジラミの飛び込み頻度が高まることが想定される。

以上の点に留意して、以下のような防除対策を行う。

定植前のほ場

- (1) これから定植するほ場では、タバココナジラミを栽培ほ場に「入れない」対策を徹底する。施設のサイド開口部に目合い0.4mm防虫ネット、谷換気部に目合い1mm以下の防虫ネットを被覆する。すでに被覆しているハウスについては、被覆ビニルや防虫ネットに破損や隙間が無いか点検し、必要に応じて補修する。
- (2) 育苗期後半に使用できる薬剤を定植2～3日前に処理する。
- (3) 育苗ハウスから苗を運ぶ際には、移動中にタバココナジラミが寄生しないよう、運搬車等の荷台を防虫ネットや幌等で覆う。
- (4) メロンにおいては、育苗期後半の粒剤処理に加えて、定植7日後の調合油乳剤散布、交配前の調合油乳剤と殺虫剤の混用散布を行う防除体系が有効である（[農業の新しい技術 No747（令和5年6月）メロン退緑黄化病は、調合油乳剤を利用した防除体系で防ぐ](#)）。

栽培中のほ場

- (1) タバココナジラミを施設内で「増やさない」対策を徹底する。現在栽培中のほ場では、栽培終了まで、タバココナジラミの防除を継続して行う。
- (2) タバココナジラミを施設外に「出さない」対策を徹底する。栽培終了後は直ちに密閉処理を行い、ほ場内のタバココナジラミを死滅させる。露地栽培などの密閉できないほ場では、成虫に効果の高い薬剤で防除したうえで植物残さを早急に片付ける。

共通

- (1) 施設内の発病株や周辺の野良生えは、重要な伝染源となるので除去する。
- (2) ウリ科野菜の周年栽培地帯におけるメロン退緑黄化病発生リスクは、5月から12月まで高い水準で推移する（[農業研究成果情報 No. 597\(平成25年5月\)ウリ類周年栽培地帯でのメロン退緑黄化病発生リスクの季節変動](#)）ので、今後も防除を徹底する。
- (3) 薬剤は効果があるものをローテーションで使用する（[令和3年3月10日付技術情報第17号「タバココナジラミバイオタイプQ成虫の薬剤感受性検定の結果」](#)を参照）。なお、アセチル化グリセリド乳剤（商品名：ベミデタッチ）は、登録変更により「メロン」の適用がなくなったので使用しない。

表1 各調査年におけるタバココナジラミの誘殺数、保毒虫率、保毒虫数

調査年	R5	R4	R3	R2	R1	H30	平年
誘殺数(頭/日/枚)	0.6	1.2	2.2	1.5	1.0	3.9	2.0
保毒虫率(%)	15.7	29.4	24.7	41.3	30.3	30.7	31.3
保毒虫数(頭/日/枚)	0.1	0.5	0.5	0.7	0.3	1.6	0.7

- ※1 表中の数値は3地点（熊本、鹿本、菊池）の平均値。
- ※2 平年値は過去5か年の平均
- ※3 誘殺数は、黄色粘着板を1地点あたり5枚、7～28日間設置して、1枚あたり1日の誘殺数を算出。
- ※4 保毒虫率は、黄色粘着板に誘殺されたコナジラミをRT-PCRにより検査し、保毒虫数／検定数により算出。検定数は1地域あたり原則50頭（ただし誘殺数が少ない場合は50頭を下回ることがある）。
- ※5 保毒虫数は、誘殺数×保毒虫率により算出。

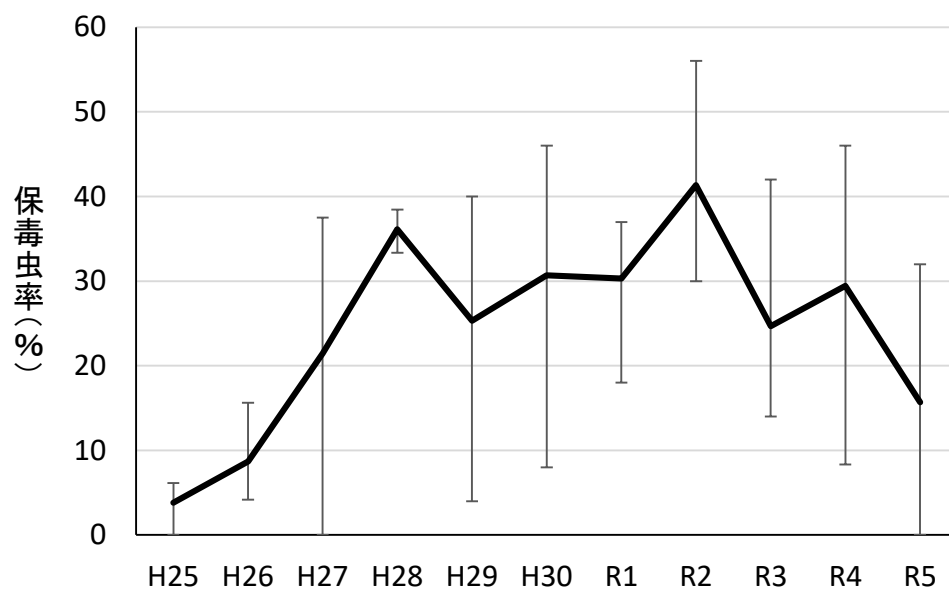


図1 黄色粘着板に誘殺されたタバココナジラミ成虫のC C Y V保毒虫率の推移
3地点（熊本、鹿本、菊池）の平均値。
エラーバーは各年の各地点値の最大値、最小値を示す。

熊本県病虫害防除所
（熊本県農業研究センター 生産環境研究所内）
担当：福岡、岡島 TEL：096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

ミカンハダニの発生状況及び防除対策（技術情報第7号）について（送付）
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので業務の参考としてご活用ください。

記

現在、カンキツ類でミカンハダニの発生が増加傾向にあります。発生園では天敵類に影響が少ない薬剤を選択し、早めの適期防除に努めましょう。

1 発生状況

（1）巡回調査

9月中下旬の巡回調査における発生ほ場率は40.9%（前年13.6%、平年30.4%）、雌成虫の平均寄生葉率は8.2%（前年0.4%、平年3.5%）、平均寄生密度は4.5頭/10葉（前年0.1頭/10葉、平年0.9頭/10葉）と前年より多く、平年よりやや多い発生であった。このうち、13.6%の園地では要防除水準（雌成虫の寄生葉率30～40%または寄生頭数が5頭/10葉以上）に達していた（図1、図2）。

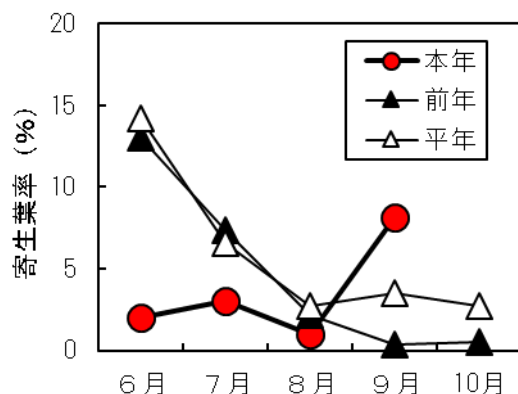


図1 ミカンハダニ寄生葉率の推移

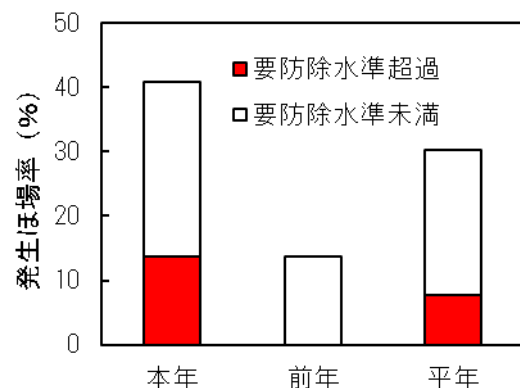


図2 ミカンハダニ発生ほ場率（9月）

（2）病虫害防除員による調査

県内6産地に委嘱している病虫害防除員の報告によると、9月の発生は平年並から平年よりやや多い状況であった（表1）。

表1 病害虫防除員による各地域の発生概況（平年比）

	ミカンハダニ			果樹カメムシ類		
	7月	8月	9月	7月	8月	9月
熊本市	並	並	やや多い	やや少ない	やや少ない	やや多い
玉名市	並	並	やや多い	並	並	やや多い
芦北町(芦北)	並	並	並	少ない	少ない	多い
芦北町(田浦)	並	やや多い	やや多い	少ない	やや少ない	多い
天草市(上島)	並	やや多い	やや多い	やや少ない	並	やや多い
天草市(下島)	並	並	並	やや少ない	やや少ない	やや多い

2 今後の発生予想

福岡管区気象台が10月5日に発表した九州北部地方1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年並か平年より高い見込みであり、今後も平年より害虫類の発生に適した状態が継続する可能性が高いと予想される。すでに果樹カメムシ類等の対策としてピレスロイド系の殺虫剤（IRACコード：3A）を多用しているほ場では、天敵への影響によりミカンハダニが急増しやすい環境になっていることが懸念される（表1）。

3 防除対策

ミカンハダニの防除は低密度のうちに開始することが重要です。特に発生している園では以下のポイントに留意し、効果的な対策を行いましょう。

- (1) 要防除水準に達したら直ちに薬剤散布による防除を行う。
- (2) 使用する薬剤は、表2及びIRACコード（<https://www.jcpa.or.jp/labo/jirac/moa.html>）を参考に剤の特性を考慮して選定する。散布後も発生が認められる場合は、異なる系統の薬剤で追加防除する。
- (3) 葉裏など薬剤のかかりにくい部位にも寄生しているので、丁寧に散布する。
- (4) 薬剤の使用回数、濃度、使用量、使用時期を遵守し、薬害防止のため混用適否表を確認するとともに、周辺作物への農薬飛散（ドリフト）に注意する。

表2 今秋のミカンハダニ防除の考え方（参考）

ミカンハダニの発生状況	薬剤使用の考え方
多発生（要防除水準超過）	直ちに殺ダニ剤のローテーション散布
中発生	他の発生害虫防除に主眼を置く（ピレスロイド系剤の使用は避ける）
少発生～発生なし	冬季にマシン油乳剤散布

熊本県病害虫防除所
（農業研究センター生産環境研究所内）
担当：清永 TEL：096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

チョウ目害虫の発生状況と防除対策（技術情報第8号）について（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

チョウ目害虫のフェロモントラップでの誘殺数は概ね平年並から少ない傾向ですが、オオタバコガは地域によっては多い状況です。気象予報等を考慮すると、今後発生量が増加し、各作物に被害を与える可能性があるため、本虫の発生に十分注意して、捕殺や薬剤防除等による防除対策を行いましょう。

1 現在の発生状況

- （1）フェロモントラップによる9月第1半旬～第6半旬のチョウ目害虫の誘殺数は、ハスモンヨトウで平年並～平年比少、コナガで平年比少、シロイチモジヨトウで平年並であった（表1）。オオタバコガは地域によっては誘殺数が多く、八代市で平年比多、阿蘇市で平年比やや多であり、第5半旬以降は特に増加が見られる（表1、図1～2）。
- （2）防除員の報告による9月時点のチョウ目害虫の発生状況は、概ね平年並だが、品目・地域によって平年比やや多の発生も見られる（表2）

2 今後の発生予想

福岡管区気象台が10月5日に発表した九州北部地方1か月予報によると、気温は平年より高いまたは平年並、降雨量は平年より多い予想であるが、すでにほ場内で発生している幼虫の発育が進み、被害が拡大するおそれがある。

3 被害が懸念される主な作物

- （1）オオタバコガ、ハスモンヨトウ
露地野菜（キャベツ、ブロッコリー等）、施設野菜（トマト、ナス、イチゴ等）、花き類（トルコギキョウ等）、大豆
- （2）コナガ
露地野菜（キャベツ、ブロッコリー等）

4 防除対策等

- （1）ほ場を見回り、葉や果実、花蕾における新しい食害痕や虫糞の早期発見に努め、幼虫を見つけ次第捕殺する。特にハスモンヨトウは、卵塊や分散前のふ化幼虫を発見し除去できると効果的である。
- （2）防除効果の高い若齢幼虫を対象に薬剤防除する。特にオオタバコガは、中老齢幼虫になると果実の中に食入するほか、薬剤の効果も劣るため、注意する。
- （3）イチゴ等のビニール被覆前の施設栽培では、成虫が施設内に侵入・産卵するおそれがあるため、ビニール被覆するまでは特に防除対策を徹底する。

- (4) 施設栽培では目合い4mm以下の防虫ネットを展張し、成虫の侵入を抑制する。
- (5) 摘心、摘花、摘葉した後の植物体には卵や若齢幼虫が寄生している可能性があるため、ほ場外に持ち出す。
- (6) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。また、薬剤の使用時にはラベルに書いてある登録内容を確認して使用する。
- (7) 熊本県病害虫防除所のホームページに掲載しているフェロモントラップの誘殺状況(<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/168705.html>)を確認し、防除の参考にする。

表1 フェロモントラップでの各地域のチョウ目害虫の誘殺状況
(9月第1半旬～第6半旬)

対象害虫	市町村名(地域名)	本年 (頭)	平年 (頭)	平年比 (%)
オオタバコガ	合志市(栄)	114.0	141.7	80
	八代市(鏡)	79.0	19.3	410
	阿蘇市(一の宮)	55.2	38.1	145
	山都町(鶴ケ田)	28.0	28.2	99
ハスモンヨトウ	合志市(栄)	1029.0	2102.8	49
	八代市(鏡)	443.3	1107.6	40
	阿蘇市(一の宮)	743.4	1390.6	53
	山都町(鶴ケ田)	103.5	137.4	75
コナガ	阿蘇市(一の宮)	1.0	6.9	15
	山都町(鶴ケ田)	0	1.8	0
シロイチモジヨトウ	合志市(栄)	149.0	※141.9	105

※シロイチモジヨトウの平年値は、令和2～4年の平均値。

その他の害虫の平年値は過去10年の平均値。

表2 防除員の報告による9月時点のチョウ目害虫の発生状況(平年比)

地域	オオタバコガ	ハスモンヨトウ	コナガ
熊本	ナス：やや多 トマト：並	ナス：やや多 トマト：並	—
宇城	—	イチゴ：やや多	—
上益城	トマト：並 ピーマン：並 キャベツ：並	トマト：並 サトイモ：並	キャベツ：並
玉名	ナス：並 トマト：並	ナス：並 トマト：並 イチゴ：並	—
鹿本	キク：やや少	キク：やや少	—
阿蘇	トマト：並 キャベツ：並	トマト：並	キャベツ：やや多 ダイコン：並
八代	トマト：並	トマト：並 イチゴ：並	

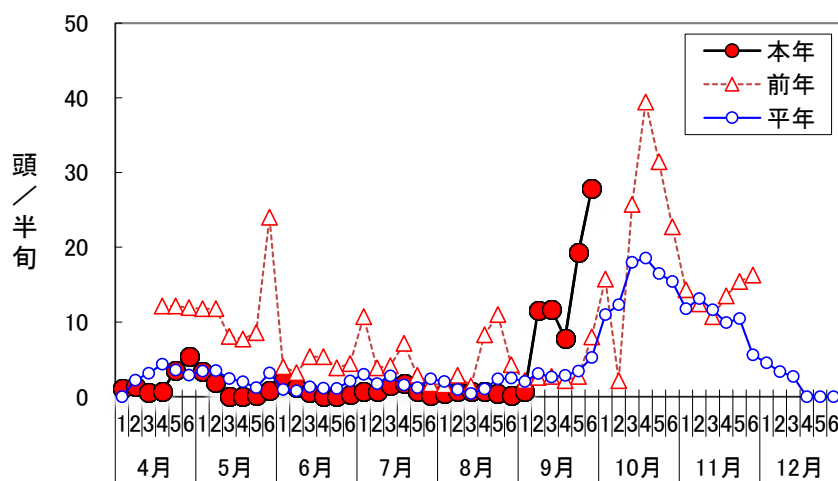


図1 八代市鏡のオオタバコガ誘殺消長

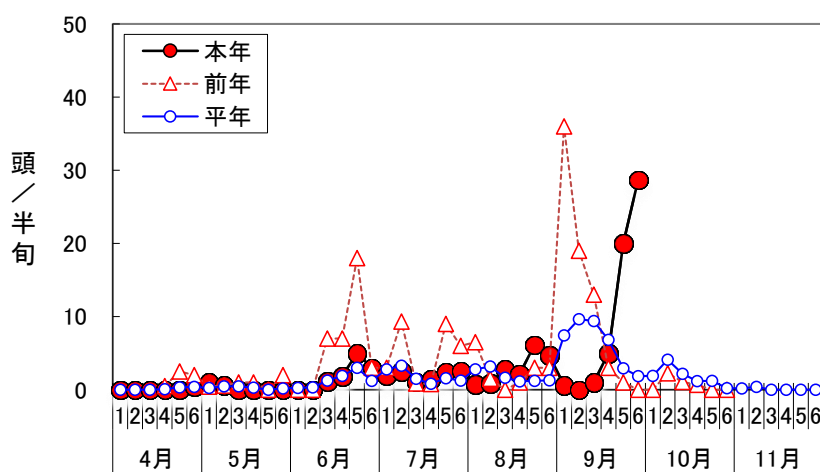


図2 阿蘇市一の宮のオオタバコガ誘殺消長

熊本県病害虫防除所
 (熊本県農業研究センター 生産環境研究所内)
 担当：福岡、岡島
 TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

タバココナジラミのトマト黄化葉巻ウイルス保毒状況と防除対策（技術情報第9号）
について（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考としてご活用ください。

記

9月上旬の野外のコナジラミ類の発生量は平年より少ない状況でした。
9月のタバココナジラミのトマト黄化葉巻ウイルス保毒虫率は平年並でした。ただし、八代地域では検定数が少ないものの、過去5年と比較して最も高い状況でした。
保毒虫の侵入が多くなるとトマト黄化葉巻病の感染リスクが高まるため、栽培初期の防除対策を徹底しましょう。

冬春トマト栽培の主要3地域（熊本、玉名、八代）において、9～10月におけるトマト黄化葉巻病の感染リスクを評価するため、それぞれの地域の野外に黄色粘着板を設置し、タバココナジラミの発生量及びトマト黄化葉巻ウイルス（以下、TYLCV とする）の保毒虫率を調査した。

1 調査結果

- （1）9月上旬におけるタバココナジラミの黄色粘着板の誘殺数は、熊本市で4.0頭／10日／10枚（平年75.5頭／10日／10枚）、玉名市で3.0頭／10日／10枚（平年204.0頭／10日／10枚）、八代市で4.0頭／10日／10枚（平年30.7頭／10日／10枚）と3地域とも平年に比べて少なかった（表1）。
- （2）9月上～下旬に黄色粘着板に誘殺されたタバココナジラミのTYLCV保毒虫率は、熊本市で1.7%（平年3.7%）、玉名市で0%（平年4.3%）と平年に比べて低く、八代市で12.0%（平年6.2%）と平年に比べて高かった（表2）。
- （3）発生リスクの指標である保毒虫数は、熊本市で0.1頭／10日／10枚（平年3.6）、玉名市で0頭／10日／10枚（平年7.7）、八代市で0.5頭／10日／10枚（平年1.6）と3地域とも平年より低かった（表3）。
- （4）福岡管区气象台が10月19日に発表した九州北部地方1か月予報によると、気温は平年より高く推移すると予想されており、タバココナジラミの活動に好適な条件が続くと考えられる。

2 防除対策

栽培初期に野外の保毒虫が多いと黄化葉巻病の感染リスクが高まり、ハウス内の伝染源（感染株）が増加することが懸念される。また、タバココナジラミは黄化葉巻病だけでなく黄化病を媒介するため、以下のような入れない対策と初期の防除対策を徹底する。

- （1）ハウスの開口部（サイド、谷部など）には目合い0.4mm以下の防虫ネットを設置する。
すでに設置しているハウスについては、被覆ビニルや防虫ネットに破損や隙間が無い点検し、必要に応じて補修する。

- (2) ハウス内に黄色粘着板を設置し、タバココナジラミの早期発見に努める。
- (3) 野外から飛び込んだタバココナジラミを施設内で増殖させないため、11月頃までは成虫を対象とした薬剤防除を行う。農薬の使用にあたっては、使用方法、使用時期、総使用回数等を厳守する。
- (4) ハウス内の発病株は感染源となる。見つけ次第直ちに抜き取り、施設外に持ち出し適正に処分する。
- (5) 抵抗性品種であっても感染源と成り得るため、感受性品種と同様に防除を行う。
- (6) ハウス周辺及び内部の雑草は、タバココナジラミの生息・増殖場所となる。栽培期間中は定期的に除草する。
- (7) 野良生えトマトは重要な伝染源となるので、抜き取り土中に埋める等適切に処分する。

表1 野外のタバココナジラミ成虫の誘殺数

地域	誘殺数（頭／10日／10枚）						
	本年	2022年	2021年	2020年	2019年	2018年	平年値
熊本市	4.0	23.3	8.3	20.0	30.0	296.0	75.5
玉名市	3.0	246.7	41.7	326.7	162.0	243.0	204.0
八代市	4.0	10.0	0.0	73.3	43.0	27.0	30.7
平均値	3.7	93.3	16.7	140.0	78.3	188.7	103.4

※1 黄色粘着板(10cm×10cm)による誘殺数調査。設置期間は9月1～10日。過去5か年も同様に設置期間は9月上旬。

※2 黄色粘着板を1地点あたり3枚設置。

※3 平年値は、2018年から2022年の5か年平均とする。

※4 玉名市の設置場所は2022年からJ Aたまな横島倉庫に変更。
(設置場所：2014～2018年 旧しあわせ農協、2019年～2021年 J Aたまな横島イチゴ集荷所)

表2 野外で採集したタバココナジラミ成虫のトマト黄化葉巻ウイルス保毒状況

地域	保毒虫率（％）						
	本年	2022年	2021年	2020年	2019年	2018年	平年値
熊本市	1.7 (60)	1.7 (60)	1.7 (60)	3.3 (60)	6.7 (60)	5.0 (60)	3.7
玉名市	0.0 (60)	6.7 (60)	6.7 (60)	0.0 (60)	1.7 (60)	6.7 (60)	4.3
八代市	12.0 (25)	7.7 (26)	8.3 (60)	5.0 (60)	6.7 (45)	3.3 (60)	6.2
平均値	4.6	5.3	5.6	2.8	5.0	5.0	4.7

※1 採集期間は熊本市9月1～26日、玉名市9月1～19日、八代市9月1～29日。過去5か年の採集期間は2022年が9月上～下旬。その他は9月上～中旬。

(本年は9月前半の誘殺数が非常に少なかったため、調査期間を平年よりも延長した。)

※2 () 内の数値は検定数。

※3 平年値は2018年から2022年の5か年平均とする。

※4 玉名市の設置場所は2022年からJ Aたまな横島倉庫に変更。
(設置場所：2014～2018年 旧しあわせ農協、2019年～2021年 J Aたまな横島イチゴ集荷所)

表3 野外のタバココナジラミ成虫の保毒虫数

地域	保毒虫数（頭／10日／10枚）						
	本年	2022年	2021年	2020年	2019年	2018年	平年値
熊本市	0.1	0.4	0.1	0.7	2.0	14.8	3.6
玉名市	0.0	16.4	2.8	0.0	2.8	16.3	7.7
八代市	0.5	0.8	0.0	3.7	2.9	0.9	1.6
平均値	0.2	5.9	1.0	1.4	2.5	10.7	4.3

※1 保毒虫数＝誘殺数×保毒虫率

誘殺数：表1のとおり

保毒虫率：表2のとおり

※2 平年値は2018年から2022年の5か年平均とする。

熊本県病虫害防除所
 (熊本県農業研究センター 生産環境研究所内)
 担当：岡島、福岡 TEL：096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

イチゴにおけるヒラズハナアザミウマ幼虫の薬剤感受性検定の結果（技術情報第10号）
【訂正版】について（送付）
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用下さい。

記

2023年に県内のイチゴから採集して累代飼育したヒラズハナアザミウマ幼虫は、アーデント水和剤、ディアナSC、マッチ乳剤、グレーシア乳剤に対して高い感受性を示した。一方、ベネビアODに対する感受性はやや低く、ファインセーブフロアブルに対する感受性は低かった。

1 目的

近年、イチゴ栽培では、ヒラズハナアザミウマによる被害が問題となっている。そこで、県内2ほ場から採集したヒラズハナアザミウマに対して薬剤感受性検定を行い、その結果を防除対策の基礎資料とする。

2 材料及び方法

（1）供試个体群

採集地等について表1に示した。採集したヒラズハナアザミウマは、ソラマメ催芽種子等を与えて、25℃、16L－8Dの条件で累代飼育した。検定には、孵化して3日程度経過した1～2齢の幼虫を供試した。

（2）供試薬剤

供試薬剤は表2に示した。各薬剤の供試濃度は、イチゴのアザミウマ類またはミカンキイロアザミウマに対する登録適用内の最高濃度とした。また、供試薬液には、展着剤としてポリアルキレングリコールアルキルエーテル剤（商品名：マイリノー）10,000倍を加用した。なお、無処理区は展着剤のみを加えた水道水を用いた。

（3）検定方法

1.5×2.0cmにカットしたインゲン葉片を、所定濃度の各薬液中に15秒間浸漬して風乾後、ガラス容器に入れ、1反復あたり約20頭の幼虫を放飼した。放飼72時間後に生死を調査し、得られた死虫率からAbbottの補正式（※）を用いて補正死虫率を求めた。試験は1薬剤あたり3反復で行った。

また、検定に使用したインゲン葉片の72時間後における被害程度を、達観で観察した。

※Abbottの補正式

補正死虫率（％）＝ {（無処理生存虫率－処理生存虫率）／無処理生存虫率} ×100

3 結果及び考察

- (1) 各供試薬剤の補正死虫率を図1に、供試葉片の食害程度(72時間後)を図2に示した。
- (2) アーデント水和剤、ディアナSC、マッチ乳剤、グレースシア乳剤の補正死虫率は、両個体群とも80%以上と高かった。なお、アーデント水和剤、ディアナSC、グレースシア乳剤ではインゲン葉片にほぼ食害が見られず、マッチ乳剤では無処理区より少ないものの食害が認められた。このことから、マッチ乳剤は他3薬剤と比較して遅効的であることが示唆された。
- (3) ベネビアODの補正死虫率は、両個体群とも上記の薬剤と比較してやや低かった。しかし、72時間後におけるインゲン葉片の食害は、無処理区と比較して明らかに少なく、アザミウマ幼虫の摂食行動は阻害されていると考えられた。
- (4) ファインセーブフロアブルの補正死虫率は、両個体群とも低かった。また、72時間後におけるインゲン葉片の食害程度は無処理区と同程度であった。このため、実用的な効果は期待できないと考えられた。

表1 供試したヒラズハナアザミウマの採集地等

個体群名	採集年月	採集場所	採集作物
玉名	2023年3月	玉名市	イチゴ
八代	2023年3月	氷川町	イチゴ

表2 供試薬剤一覧

薬剤名	有効成分名・含量	IRACコード サブグループ	供試濃度	備考
アーデント水和剤※	アクリナトリン 3.0%	3A	1,000倍	ミカンキイロアザミウマでの登録
ディアナSC	スピネトラム 11.7%	5	2,500倍	
マッチ乳剤	ルフェヌロン 5.0%	15	1,000倍	
ベネビアOD	シアントラニリプロール 10.3%	28	2,000倍	
グレースシア乳剤	フルキサメタミド 10.0%	30	2,000倍	
ファインセーブフロアブル	フロメトキン 10.0%	34	1,000倍	

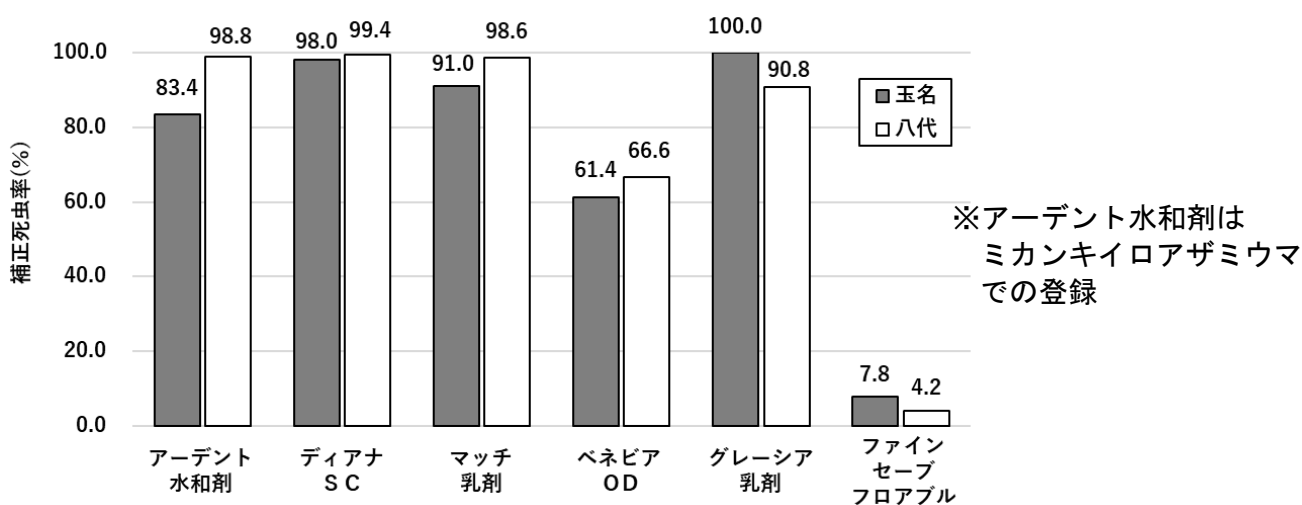


図1 ヒラズハナアザミウマ幼虫に対する各種薬剤の補正死虫率



図2 72時間後におけるインゲン葉片の食害程度

(注：八代個体群の結果から抜粋。なお、玉名個体群も同様であった。)

4 防除対策

薬剤抵抗性の発達を回避するには、薬剤防除だけに頼らず、耕種的・物理的防除法を組み合わせた総合的な防除対策を行うことが重要である。今後、気温の上昇に伴い、本害虫の活動が活発になるため、以下の点に注意して防除を行う。

なお、本検定はヒラズハナアザミウマを対象としたものであり、ミカンキイロアザミウマの薬剤感受性は本結果と異なる可能性があるため留意する。

(1) 早期発見・発生状況の把握

ア 施設内に粘着板トラップ(※)を設置し、トラップへの誘殺の有無により早期発見と発生状況の確認を行う。

イ 開花中の花を白紙上で軽く叩くか、息を吹きかける等により、寄生状況を確認する。

(2) 耕種的・物理的防除

ア 施設内及び周辺の雑草は重要な発生源となるので、開花する前に除草する。また、施設内の観賞用の花き類も撤去する。

イ 施設内に粘着板トラップ(※)を設置し、発生密度を低下させる。

(3) 薬剤防除

ア 多発生すると防除が困難になるため、発生初期から防除を行う。

イ 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。

ウ 訪花昆虫(ミツバチ等)への影響や天敵(カブリダニ類等)を放飼したほ場においては天敵への影響を考慮して、使用する薬剤を選定する。

※粘着板トラップは、ヒラズハナアザミウマに対しては青色、ミカンキイロアザミウマに対しては青色または黄色を使用する。



図3 ア：ヒラズハナアザミウマ成虫、イ：ミカンキイロアザミウマ成虫、
ウ：アザミウマ類によるイチゴの果実被害

熊本県病虫害防除所

(熊本県農業研究センター 生産環境研究所内)

担当：福岡、江口 TEL：096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

チャバネアオカメムシの越冬量及び本年 7 月頃までの発生量（技術情報第 11 号）
について（送付）
このことについて、下記のとおりとりまとめましたので、業務の参考に御活用ください。
記

本年のチャバネアオカメムシの越冬量は平年より多く、本年 7 月頃までの発生量は、平年より多いと予想される。

1 目的

チャバネアオカメムシの越冬量は、その年の 7 月頃までの発生量の指標となる 4～7 月の予察灯誘殺数と正の相関が認められる（図 1）。そこで、県内各地のチャバネアオカメムシの越冬量から本年 7 月頃までの発生量を予想し、防除対策の基礎資料とする。

2 調査方法

- （1）調査時期 令和 6 年（2024 年）1 月
- （2）調査地点 県内 16 か所の定点（表 1）
- （3）調査方法 各地点 3 m²（1 m²×3 か所）分の落葉を採取し、落葉中のチャバネアオカメムシの越冬虫数を計数した。

3 結果

チャバネアオカメムシの越冬虫数について、県内 16 地点の合計は 46 頭（前年 8 頭、平年 21.0 頭）と平年比多で、過去 10 年で 2 番目に多かった。また、捕獲地点数も、16 地点中 14 地点（前年 6 地点、平年 5.6 地点）と平年比多で、過去 10 年で最も多かった（表 1）。

4 今後の発生量予想等

- （1）本年のチャバネアオカメムシの越冬虫数及び捕獲地点数は平年比多であることから、本年 7 月までのチャバネアオカメムシの発生量は平年より多いと予想される。
- （2）果樹カメムシ類は、局地的に飛来し、被害をもたらすことがあるので、定期的に園を見回り、早期発見と薬剤による初期防除を徹底する。
- （3）ここで示したデータには、常緑樹の樹冠内で越冬するツヤアオカメムシの越冬量は含まれていないが、暖冬傾向で推移しているため、昨年秋季の飛来が多かった地域ではチャバネアオカメムシと同様の対策を行う。
- （4）チャバネアオカメムシ及びツヤアオカメムシの予察灯及びフェロモントラップの誘殺数データを病虫害防除所のホームページ（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>）に 4 月以降随時掲載する。これらの情報を参考に防除要否や防除適期を判断する。

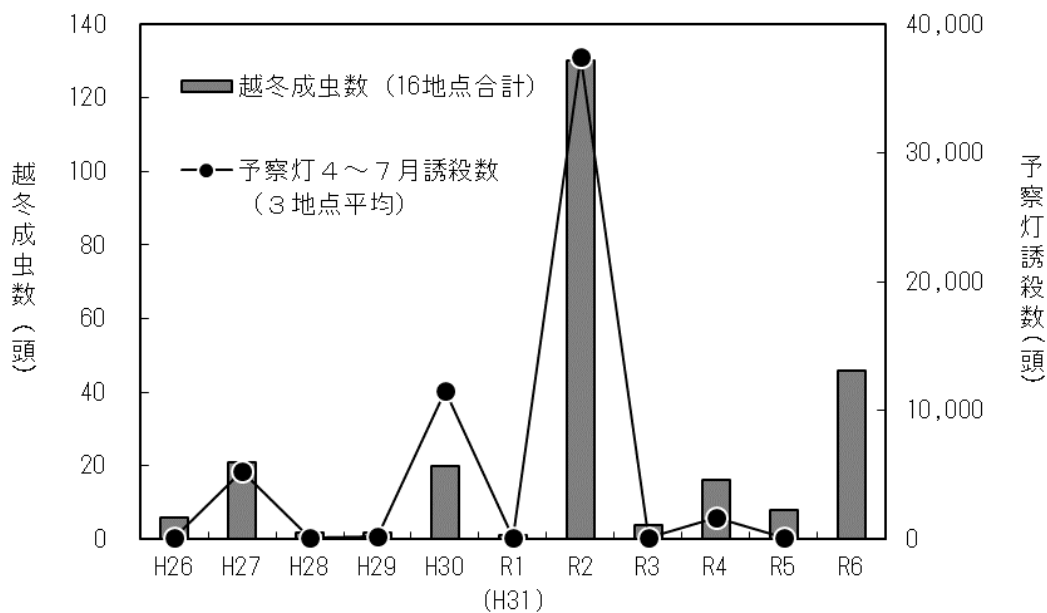


図1 チャバネアオカメムシの越冬虫数と予察灯4～7月誘殺数の推移

- 1 「越冬虫数」は、各3m²調査した16地点の合計頭数を示す（左縦軸）。
- 2 「予察灯4月～7月誘殺数」は、合志市栄、宇城市松橋、天草市本渡に設置した予察灯3台の4月から7月までの誘殺数累計の平均値を示す（右縦軸）。

表1 チャバネアオカメムシの越冬数（頭/3m²）

調査年 調査地点	H26	H27	H28	H29	H30	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5	R6	平年
熊本市河内町①	1	0	0	0	0	0	9	2	0	1	4	
熊本市河内町②	0	0	0	0	0	0	8	0	2	0	7	
熊本市植木町	1	2	0	0	0	0	18	1	1	3	11	
宇城市三角町①	0	1	0	0	0	0	0	0	4	1	0	
宇城市三角町②	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
宇城市不知火町	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	4	
宇城市松橋町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
宇城市豊野町	1	1	0	0	3	0	1	0	0	0	1	
玉名市天水町	0	0	0	0	2	0	9	0	5	0	3	
山鹿市蒲生	1	5	1	1	3	1	22	0	1	1	4	
菊池市玉祥寺	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	1	
甲佐町西寒野	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
氷川町大野	0	2	1	0	0	0	7	0	1	1	1	
芦北町田浦	0	1	0	0	2	0	9	0	0	0	0	
天草市本渡町	0	5	0	0	4	0	17	0	2	0	6	
苓北町内田	0	0	0	0	3	0	27	0	0	1	1	
越冬数合計	6	21	2	2	20	1	130	4	16	8	46	21.0
捕獲地点数	6	9	2	2	8	1	12	3	7	6	14	5.6

- 1 調査時期 令和6年（2024年）1月
- 2 調査地点 上記県内16か所の定点
- 3 調査方法 1地点3m²（1m²を3か所）分の落葉を採取し、落葉中の越冬成虫数を計数した。

熊本県病害虫防除所
（農業研究センター 生産環境研究所内）
担当：清永、岡島 TEL：096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

イグサシンムシガの越冬調査結果（技術情報第12号）について（送付）

八代地域で3月18日に実施したイグサシンムシガ越冬調査の結果及び防除対策を下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考にご活用ください。

記

今年の越冬世代（幼虫＋蛹）の発蛾最盛日は4月7日と予測され、発生密度は平年より少ない。
防除は、粒剤が発蛾最盛日、液剤及び粉剤は発蛾最盛日7日後を目安に実施する。
なお、気温条件によって羽化が前後するため、防除は7日間隔で2～3回行う。

1 調査結果の概要

- （1）3月18日現在、越冬世代の蛹化率は同時期の平年より高く、越冬世代成虫の発蛾最盛日は、平年（4月12日）に比べ5日早い4月7日と予測された（表1）。
- （2）幼虫及び蛹の密度は0.9頭/10㎡（平年3.2頭/10㎡）と平年比少であった（表2、図1）。

2 防除対策

- （1）「長イ」を加害する第2世代幼虫の発生密度を抑えるため、4月に発生する第1世代幼虫に対する防除を徹底する。
- （2）防除適期は粒剤が発蛾最盛日、液剤及び粉剤は発蛾最盛日7日後を目安にする。なお、気温の変動によっては羽化が前後するので、発蛾最盛日から7日間隔で2～3回の防除を行う。
- （3）予測される発蛾最盛日は、ほ場によって差が生じるので、ほ場内の発生状況をよく観察し、防除時期を判断する。

※今後のイグサシンムシガに関する情報（発蛾最盛日予測、予察灯データ）については、4月から病虫害防除所ホームページ（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>）に随時掲載する。

表1 越冬世代の蛹化率および発蛾最盛日

年次	調査日	蛹化率（％）	発蛾最盛予測日（実測日）
本年	3月18日	25.0	4月7日
前年	3月24日	83.3	3月26日（不明）
平年	3月26日	38.2	4月12日（14日）

注）蛹化率：調査区と調査区外の幼虫、蛹数も含めて算出

予測式：調査日の蛹化率と過去10年間の「調査日の蛹化率係数（傾き）」と「調査日から最盛日までの日数係数（切片）」を用いた予測式

発蛾最盛日＝調査日の蛹化率（％）×（-0.3028）＋（27.31）－（31日－調査日）

実測日：乾式予察灯（地点：八代市千丁、鏡）で4月に誘殺のピークが見られた日

表2 イグサシンムシガ越冬調査結果（調査日：令和6年3月18日）

No.	市町村名	地 点 名	調査株数	被害茎数	幼虫数	蛹 数	合計	頭数／10m ² (幼虫＋蛹)	茎数／株
1	氷川町	中島	100	1	1	0	1	2.8	54.2
2		鹿野	100	0	0	0	0	0.0	83.2
3		網道	100	5	1	0	1	2.8	56.2
4		両出	100	1	0	0	0	0.0	75.8
5		鏡村	100	0	0	0	0	0.0	70.8
6		北新地	100	1	0	0	0	0.0	75.9
7		古閑出	100	0	0	0	0	0.0	87.6
8	八代市	太牟田	100	0	0	0	0	0.0	72.4
9		吉王丸	100	2	0	0	0	0.0	63.8
10		松高	100	1	0	0	0	0.0	75.6
11		金剛	100	3	0	0	0	0.0	63.8
12		日奈久	100	6	2	0	2	5.6	60.2
計			1,200	20	4	0	4	0.9	70.0
平年			1,710	50	13	7	21	3.2	

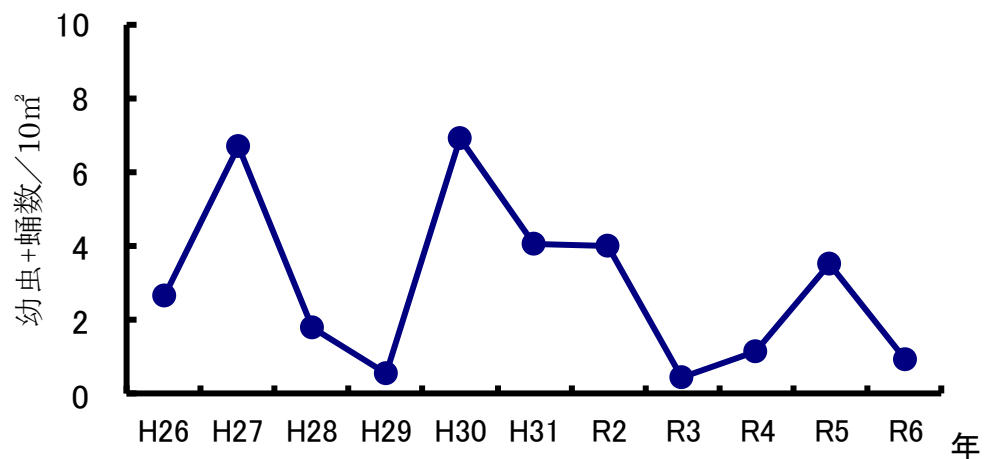


図1 イグサシンムシガの越冬世代幼虫・蛹密度の年次推移（八代地域）

問い合わせ先
 熊本県病害虫防除所
 （農業研究センター生産環境研究所内）
 担当：守田
 TEL：096－248－6490

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

トビイロウンカの薬剤感受性検定結果（技術情報第13号）について（送付）
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

令和5年（2023年）に飛来したトビイロウンカのジノテフラン、エトフェンプロックス、フィプロニル及びトリフルメゾピリムに対する感受性の低下は認められなかった。

1 目的

トビイロウンカは水稻の重要害虫であり、近年では令和2年（2020年）に多くの飛来が確認され、早植え地域を中心に多くの地域で坪枯れが発生し問題となった。

本虫の防除には育苗箱施薬剤や本田防除剤を使用するが、一部の薬剤に対する感受性が低下している。そこで、薬剤感受性の変化の実態を把握し、効率的な防除対策を立てる資料とする。

2 試験方法

（1）供試个体群

2022年、2023年とも8～9月に合志市の水稻ほ場から採集し、その後恒温室内で数世代飼育・増殖した長翅型雌成虫を検定に用いた。

（2）供試薬剤^{注1)}

系統名（IRACコード）	成分名	薬剤名	県内での主な使用法
ネオニコチノイド系（4A）	ジノテフラン	スタークル /アルバリン	育苗箱施薬剤、 本田防除剤
合成ピレスロイド系（3A）	エトフェンプロックス	トレボン	本田防除剤
フェニルピラゾール系（2B）	フィプロニル ^{注2)}	プリンス	育苗箱施薬剤
メソイオン系（4E）	トリフルメゾピリム	ゼクサロン	育苗箱施薬剤

注1）薬剤は全て製造メーカーから提供された原体を使用した。

注2）R4は未実施。

（3）検定方法

微量局所施用法

供試虫を炭酸ガスで麻酔し、1頭あたり $0.083\mu\text{l}$ の薬液をマイクロアプリーケーターで処理し、24時間後及び48時間後の死虫（苦悶虫を含む）を計数した。1薬剤あたり5濃度を設定し、1濃度につき3反復、1反復に15頭程度を供試した。各濃度の死虫率をもとに、プロビット法を用いてLD50値（半数致死量）^{注3)}を算出した。

注3）LD50値（半数致死量）とは

薬剤を処理した供試虫の50%が試験期間内に死亡する薬量を体重当たりの量（ $\mu\text{g/g}$ ）であらわしたものの。薬剤の効果を示す指標として利用される。

同一薬剤では、数値が大きいほど感受性が低い（効果が低い）ことを示す。

3 結果

- (1) ジノテフランの LD50 値は、2022 年に過去最高値を更新しており感受性の低下が疑われたが、2023 年の数値は 2019 年以前と同水準であり、感受性の低下は認められなかった。
- (2) エトフェンプロックス、フィプロニル及びトリフルメゾピリムの LD50 値は、これまでの数値と同水準であり、感受性の低下は認められなかった。

表 トビイロウンカに対する各種薬剤の LD50 値

試験 年度	採集年	採集地	LD50 (μg/g)				備考
			ジノテフラン	エトフェンプロックス	フィプロニル	トリフルメゾピリム	
1992		熊本県 ¹⁾	－	1.10	－	－	
2005		合志市 ²⁾	0.34	0.75	0.13	－	
2006		合志市 ²⁾	0.10	0.38	0.06	－	
2009		氷川町	0.44	1.30	0.97	－	
2010		合志市	0.33	2.32	0.95	－	
2011		合志市	0.14	3.24	0.94	－	
2013		合志市	1.17	4.87	1.02	－	
		氷川町	0.13	8.22	1.33	－	
2015		芦北町	0.56	3.26	2.63	－	
2017		合志市	0.77	2.60	0.67	－	
2019		合志市	0.69	4.19	0.85	0.21	
2021	2021	合志市	1.84	6.17	1.27	0.51	
	1999	長崎県	－	－	－	0.51	トリフルメゾピリム 感受性系統
2022		合志市	1.92	3.61	－	0.56	
2023		合志市	0.52	3.22	0.80	0.26	

1) S. Endo and M. Tsurumachi (2001) Journal of Pesticide Science 26(1):82-86. から引用した。

2) 松村正哉、竹内博昭、佐藤雅 (2006) 九州沖縄農業研究成果情報第 22 号 : 5. から引用した。

※「－」は未検定。

4 防除上の留意点

- (1) 本田防除は、若齢幼虫期（1～2 齢）の防除が最も効果が高いため、育苗箱施用の有無に関わらず、発育ステージを確認して行う。防除適期及び発生状況については、病害虫防除所のホームページ (<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>) を確認し、適期防除に努める。
- (2) 農薬散布に当たっては、必ずラベル等で使用方法を確認し、使用基準を遵守する。
また、周辺の作物やミツバチ・魚介類等の環境に影響がないよう飛散防止対策に努める。

熊本県病害虫防除所

(熊本県農業研究センター 生産環境研究所内)

担当：守田、清永

TEL：096-248-6490

(2) 発生予報

4月予報

病防第66号

令和5年(2023年)3月29日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について(送付)

令和5年度(2023年度)発生予報第1号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和5年度(2023年度)病虫害発生予報第1号(4月予報)

I 気象予報: 令和5年(2023年)3月23日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位: %)

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	10	20	70
	降水量	30	40	30
	日照時間	30	40	30

II 【今後、注意すべき病虫害】

1 発生の概要

作物	病虫害名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
麦類	赤かび病	やや多	多	—	—	気温高(+) 降水並(±)	
茶	カンザワハダニ	並	少	並(±)	やや多~並 (±)	気温高(+) 降水並(±)	茶業研究所 平年比やや多
カンキツ	ミカンハダニ	やや多	多	やや多(+)	並~やや少 (±)	気温高(+) 降水並(±)	
ナシ	黒星病	並	並	—	—	降水並(±)	巡回調査(R4) 平年並(±)

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 トマト	黄化葉巻病	並	やや少	黄化葉巻病 並(±) コナジラミ 並(±)	並(±)	(コナジラミ) 気温高(+)	
冬春ナス	うどんこ病	やや少	並	やや少(ー)	並(±)	降水並(±)	
	すすかび病	やや少	並	やや少(ー)	並(±)	降水並(±)	
冬春 キュウリ	べと病	並	並	やや多(+)	並(±)	降水並(±)	
ウリ科 野菜	キュウリ・メロン 退緑黄化病 スイカ 退緑えそ病	並	並	退緑黄化病 並(±) コナジラミ 並(±)	キュウリ メロン スイカ 並(±)	(コナジラミ) 気温高(+)	
イチゴ	ハダニ類	並	やや少	並(±)	並(±)	気温高(+)	
	アザミウマ類	やや多	並	やや多(+)	やや多～ やや少(+)	気温高(+)	
冬春 果菜類	灰色かび病	並	並	トマト やや少 キュウリ やや多 ナス、イチゴ 並(±)	ナス やや多～並 キュウリ やや多 トマト、イチゴ 並(±)	降水並(±)	
	タバココナジラミ	並	並	トマト、ナス キュウリ 並(±)	ナス やや多～並 トマト、キュウリ メロン、スイカ 並(±)	気温高(+)	

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 果菜類	アザミウマ類 (イチゴ除く)	並	並	ナス キュウリ 並(±)	ナス 並～やや少 キュウリ やや多 スイカ 並 (±)	気温高(+)	
野菜全般	アブラムシ類	並	並	トマト、ナス キュウリ イチゴ 並(±)	ナス、イチゴ やや多～並 キュウリ やや多 トマト、メロン スイカ バレイショ 並(±)	気温高(+)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
カンキツ	そうか病	並	巡回調査では平年並(±)。 防除員報告では平年並～やや少(±)。 開花期に春葉での発生が認められる場合は、灰色かび病との同時防除を行う。 越冬病斑は伝染源となるため、できるだけ処分する。
	かいよう病	並	巡回調査では一部地域で発生が多く、平年比やや多(+) 防除員報告では平年並(±)。 果実への感染を防止するため、春葉の防除を行う。
ナシ	赤星病	並	前年の巡回調査では、一部ほ場で発生が多かったが概ね平年並(±)。 黒星病との同時防除を行う。
冬春トマト	葉かび病	やや少	巡回調査は、平年比やや少(-)。 防除員報告は、平年並～少(±)。 発病葉は伝染源となるので、早めに除去する。発病を確認した場合は、直ちに薬剤による防除を行う。
	すすかび病	並	巡回調査は、平年並(±)。 防除員報告は、平年並～少(±)。 発病葉は伝染源となるので、早めに除去する。発病を確認した場合は、直ちに薬剤による防除を行う。

作 物	病 害 虫 名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
キュウリ	うどんこ病	並	巡回調査は、平年比やや少（－）。 防除員報告は、平年並（±）。 多発後は防除が困難なので、発生初期の防除を徹底する。
メロン	べと病	並	防除員報告は、平年並（±）。 肥料切れで多発するので、適正な肥培管理を行う。
ウリ科 野菜	つる枯病	並	防除員報告は、メロンで平年比やや多～並（±）、 スイカで平年並～やや少（±）。 灌水は直接株元に行わず、株元周辺を出来るだけ乾燥状態に保つ。
バレイショ	疫病	並	防除員報告は、平年並（±）。 平均気温が15～16℃以上で降雨が続くと発生しやすいため、 天候を確認しながら予防散布に努める。
【野菜病害虫の共通対策事項】 ・ 換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。 ・ 多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・ 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。			

5月予報

病防第10号

令和5年（2023年）4月27日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について（送付）

令和5年度（2023年度）発生予報第2号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和5年度（2023年度）病虫害発生予報第2号（5月予報）

I 気象予報：令和5年（2023年）4月20日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報（単位：％）

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	40	40	20
	降水量	20	40	40
	日照時間	40	40	20

II 【今後、注意すべき病虫害】

1 発生の概要

作物	病虫害名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
早期 水稻	葉いもち	並	並	並（±）	並～やや少 （－）	降水多～並 （＋）	
	イネミズ ゾウムシ	並	並	並（±）	並～やや少 （－）	気温並～低 （－）	
麦	赤かび病	並	少	－	並 （±）	降水多～並 （＋）	多発条件出現 日予測 （－）
イグサ	イグサシン ムシガ	並	並	－	やや多～並 （＋）	気温並～低 （－）	越冬調査 並（±） 八代予察灯 やや少（－）

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
茶	カンザワ ハダニ	やや多	並	やや多 (+)	やや多～並 (+)	気温並～低 (-) 降水多～並 (-)	ほ場調査 御船町 平年比やや少 (-)
	クワシロ カイガラム シ	やや多	並	多 (+)	並 (±)	気温並～低 (-) 降水多～並 (-)	
	チャノコカ クモンハマ キ	やや少	少	並 (±)	並 (±)	気温並～低 (-) 降水多～並 (-)	フェロモントラップ [®] 合志市 平年並 (±) 御船町 平年比少 (-)
	チャノホソ ガ	並	やや少	並 (±)	並 (±)	気温並～低 (-) 降水多～並 (-)	フェロモントラップ [®] 合志市 平年比少 (-) 御船町 平年比やや少 (-)
カンキツ	灰色かび病	やや多	やや多	—	—	降水多～並 (+)	
	ミカンハダ ニ	やや多	やや多	並 (±)	やや多～並 (+)	気温並～低 (-) 降水多～並 (-)	ほ場調査 宇城市 多 (+)
ナシ	黒星病	並	並	並 (±)	やや少 (-)	気温並～低 (+) 降水多～並 (+)	
冬春ナス	すすかび病	並	並	やや少 (-)	やや多～並 (±)	降水多～並 (+)	
イチゴ (親株)	ハダニ類	並	やや多	並 (±)	やや多～や や少 (±)	気温並～低 (-)	

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 キュウリ	うどんこ病	少	やや少	少（－）	並 （±）	降水多～並 （＋）	
	べと病	やや多	並	並（±）	やや多 （＋）	降水多～並 （＋）	
ウリ科 野菜	退緑黄化病 退緑えそ病	並	並	退緑黄化病 やや多 コナジラミ 並（＋）	キュウリ、 メロン、スイ カ 並（±）	コナジラミ 気温並～低 （－）	
冬春 果菜類	灰色かび病	やや多	やや多	トマト やや多 ナス、 キュウリ 多 イチゴ 並 （＋）	トマト やや多～や や少 ナス やや多～並 キュウリ並 イチゴ やや多～や や少 （±）	降水多～並 （＋）	
	タバコ コナジラミ	並	並	トマト、 キュウリ、 イチゴ 並 ナス やや多 （±）	トマト 並～やや少 ナス、スイカ メロン、 キュウリ、 イチゴ 並 （±）	気温並～低 （－）	
	アザミウマ 類 （イチゴ除く ）	並	並	ナス 並 キュウリ やや少 （－）	ナス、スイ カ、キュウ リ 並 （±）	気温並～低 （－）	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、（＋）は発生を助長する要因、（－）は発生を抑制する要因、（±）は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
茶	チャハマキ	並	巡回調査では平年並（±）。 防除員報告では平年並（±）。 発蛾最盛期から7～10日後の若齢幼虫期に防除を行う。

作 物	病 害 虫 名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
カンキツ	そうか病	並	巡回調査は平年並（±）。 果樹研究所の県予察ほでは、初発日は平年より早い、発生量は平年並（±）。
	かいよう病	並	防除員報告は平年並（±）。 春葉の感染が多いと、果実への感染も多くなるため、春葉の防除を徹底する。
	アブラムシ類	並	巡回調査は平年並（±）。 発生量や発生時期は年や場所によって差がみられる。新葉の展開に伴い増加することがあるため、発生状況に注意する。
ナシ	赤星病	並	巡回調査は平年並（±）。 黒星病と同時防除を行う。
	アブラムシ類	並	巡回調査は平年並（±）。 発生量や発生時期は年や場所によって差がみられる。新葉の展開に伴い増加することがあるため、発生状況に注意する。
冬春 トマト	うどんこ病	並	巡回調査では、平年並（±）。 防除員報告では平年比やや多～やや少（±）。 多発後は防除が困難なので初期防除を徹底する。
	葉かび病	並	巡回調査では、平年比少（－）。 防除員報告では平年比やや多～並（±）。 草勢が低下すると多発しやすいため、適切な肥培管理を行う。
	すすかび病	並	巡回調査では、平年並（±）。 防除員報告では平年並～やや少（±）。 多発後は防除が困難なので、発生初期の防除を徹底する。
ウリ科 野菜	つる枯病	並	防除員報告ではメロンで平年比やや多～並、スイカで平年並（±）。 かん水は直接株元に行わず、株元周辺を出来るだけ乾燥状態に保つ。
スイカ	菌核病	並	防除員報告では平年比やや多～並（±）。 発生ほ場では、菌核を残さないよう処分する。
野菜全般	アブラムシ類	並	巡回調査ではイチゴでやや多、トマト・ナス・キュウリで平年並（±）。 発生を確認したら、直ちに薬剤防除を行う。

【野菜病害虫の共通対策事項】

- ・ 換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。
- ・ 多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。
- ・ 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。

6月予報

病防第15号

令和5年（2023年）5月31日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について（送付）

令和5年度（2023年度）発生予報第3号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和5年度（2023年度）病虫害発生予報第3号（6月予報）

I 気象予報：令和5年（2023年）5月25日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報（単位：％）

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	20	30	50
	降水量	30	30	40
	日照時間	40	30	30

II 【今後、注意すべき病虫害】

1 発生の概要

作物	病虫害名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
早期・早植え 水稻	葉いもち	並	やや少	やや少 (-)	やや多～並 (+)	降水多 (+)	いもち病感染 好適条件 (±)
	イネミズゾ ウムシ	やや多	やや多	やや多 (+)	並 (±)	気温高 (+)	
イグサ	イグサシン ムシガ	並	並	—	並 (±)	気温高 (+)	予察灯調査 八代市 やや少 (-)
茶	炭疽病	やや多	やや少	やや多 (+)	並～少 (-)	降水多 (+)	
	カンザワハ ダニ	やや多	やや多	多 (+)	やや多～並 (+)	気温高 (+) 降水多 (-)	ほ場調査 御船町 やや少(-)

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
茶	チャノコカ クモンハマ キ	並	並	やや少 (－)	やや多～ やや少 (±)	気温高 (+) 降水多 (－)	フェロモントラップ [°] 合志市 並(±) 御船町 少(－)
	チャノミド リヒメヨコ バイ	やや多	並	多 (+)	並(±)	気温高 (+) 降水多 (－)	たたき落とし 調査 御船町 並(±)
	クワシロカ イガラムシ	やや多	やや多	やや多 (+)	並～やや少 (－)	気温高 (+) 降水多 (－)	
カンキツ	黒点病	並	並	－	並～やや少 (－)	降水多 (+)	
	そうか病	並	並	並(±)	並～少 (－)	降水多 (+)	ほ場調査 宇城市 やや多(+)
	かいよう病	並	少	やや多(+)	やや多～ やや少 (±)	降水多 (+)	ほ場調査 宇城市 やや少(－)
	ミカンハダ ニ	やや多	やや多	やや多 (+)	やや多～並 (+)	気温高 (+) 降水多 (－)	ほ場調査 宇城市 多(+)
	チャノキイ ロアザミウ マ	並	並	－	並～少 (－)	気温高 (+) 降水多 (－)	粘着トラップ 調査 熊本市 並(±)
ナシ	黒星病	やや多	多	並(±)	やや多～並 (+)	降水多 (+)	
果樹全般	果樹カメム シ類	やや少	やや少	－	並～少 (－)	気温高 (+) 降水多 (－)	予察灯・フェロモン トラップ [°] 調査 合志市少 (－) 宇城市少 (－) 天草市少(－)

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
イチゴ 育苗ほ	炭疽病	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+)	
	うどんこ病	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水多(+)	
	ハダニ類	やや多	並	やや多(+)	やや多～並 (±)	気温高(+)	
ウリ科 野菜	退緑黄化病 退緑えそ病	並	並	キュウリ 退緑黄化病 並 コナジラミ やや少 (±)	キュウリ 並 スイカ やや多～並 (±)	コナジラミ 気温高(+) 降水多(-)	
冬春 果菜類	タバコ コナジラミ	やや少	やや少	キュウリ やや少 (-)	ナス やや多～並 キュウリ 並 スイカ やや多～並 (±)	気温高(+) 降水多(-)	
	アザミウマ 類	並	やや少	キュウリ やや少(-)	ナス 並～やや少 キュウリ 並 スイカ 並 (±)	気温高(+) 降水多(-)	
野菜類 全般	オオタバコ ガ	並	やや少	—	ナス 並 キャベツ 並～少 (±)	気温高(+) 降水多(-)	フェロモントラップ [°] 調査 合志市：少 八代市：少 阿蘇市一の宮：並 山都町： やや少 (-)

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作 物	病 害 虫 名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
茶	チャノキイロ アザミウマ	やや少	巡回調査は、平年比やや少（－）。 粘着トラップ調査 合志市：平年比やや少（－）。 新芽が加害されるため、萌芽～1葉期に防除する。
	チャノホソガ	やや少	巡回調査は平年並（±）。 フェロモントラップ調査 合志市：平年比やや少（－） 御船町：平年比少（－） ほ場を見回り発蛾最盛期から7～10日後の若齢幼虫を対象 に防除を行う。
	ツマグロアオ カスミカメ	並	巡回調査は、やや少（－）。 防除員報告では、平年並（±）。 常多発茶園では、萌芽期を重点に防除する。
カキ	炭疽病	やや多	防除員報告は平年並（±）。 降水量は平年比多（＋）。 梅雨期は発生が多く、蔓延しやすい時期であり、予防防除 に努める。
夏秋 キュウリ (高冷地)	べと病	並	防除員報告は平年並（±）。 適正な肥培管理を行う。
	うどんこ病	やや少	防除員報告は平年比少（－）。 初期発生を認めたら直ちに薬剤防除を行う。
野菜類 全般	ハスモン ヨトウ	並	フェロモントラップの5月第1～4半旬の誘殺数は、合志 市、阿蘇市一の宮、山都町で平年比やや少、八代市で平年 比少であった（－）。 早期発見、早期防除に努め、施設栽培では、防虫ネットで 侵入を防ぐ。
	アブラムシ類	並	巡回調査は、キュウリで平年並、イチゴで平年比やや少。 防除員報告は、ナス・キュウリで平年並、スイカ・イチゴ で平年比やや多～並、キャベツで平年並～少（±）。 早期発見、早期防除に努め、施設栽培では、防虫ネットで 侵入を防ぐ。
【野菜病害虫の共通対策事項】 ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。			

7月予報

病防第17号

令和5年（2023年）6月28日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について（送付）

令和5年度（2023年度）発生予報第4号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和5年度（2023年度）病虫害発生予報第4号（7月予報）

I 気象予報：令和5年（2023年）6月22日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報（単位：％）

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	10	30	60
	降水量	30	40	30
	日照時間	30	40	30

II 【今後、注意すべき病虫害】

1 発生の概要

作物	病虫害名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
早期 水稻	穂いもち	やや少	少	少(－)	並(±)	気温高(－)	巡回調査、 防除員報告 (葉いもち)
早植え 水稻	葉いもち	やや少	やや少	少(－)	並(±)	気温高(－)	
	トビイロ ウンカ	並	並	並(±)	－	気温高(+)	予察灯調査 並(±)
普通期 水稻	葉いもち	並	やや少	並(±)	やや多～少 (+)	気温高(－)	防除員報告 (苗いもち)
	トビイロ ウンカ	並	並	－	－	気温高(+)	予察灯調査 並(±)

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
茶	炭疽病	並	やや多	並（＋）	並～少 （－）	降水並 （±）	
	カンザワ ハダニ	並	並	少（－）	やや多～並 （＋）	気温高（＋） 降水並（±）	ほ場調査 御船町 並（±）
	チャノミドリ ヒメヨコバイ	やや多	やや多	多（＋）	並（±）	気温高（＋） 降水並（±）	ほ場調査 御船町 やや多（＋）
	チャノコカク モンハマキ	並	並	並（±）	やや多～や や少（±）	気温高（＋） 降水並（±）	フェロモントラップ 調査 御船町 やや少 （－） 合志市 並 （±）
	クワシロ カイガラムシ	やや多	やや多	多（＋）	並～やや少 （－）	気温高（＋） 降水並（±）	
カンキツ	黒点病	並	並	並（±）	並～やや少 （±）	降水並（±）	宇城市 平年比やや少 （－）
	かいよう病	並	やや少	並（＋）	並～やや少 （±）	降水並（±）	宇城市 平年比やや少 （－）
	ミカンハダニ	並	並	少（－）	やや多～並 （±）	気温高（＋） 降水並（±）	宇城市 平年比多（＋）
	チャノキイロ アザミウマ	並	並	並（±）	並～少 （±）	気温高（＋） 降水並（±）	河内定点調査 粘着板 やや少 （－）
ナシ	黒星病	並	やや多	並（±）	やや多（＋）	気温高（－） 降水並（±）	
果樹 全般	果樹カメムシ 類	やや少	やや少	－	カンキツ 並～少 （－） ナシ やや少～少 （－）	気温高（＋） 降水並（±）	予察灯・ フェロモントラップ 調査 合志市 少 宇城市 少 天草市 少 （－）

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
夏秋 トマト	灰色かび病	並	並	並(±)	並(±)	降水並(±)	
	葉かび病	並	やや少	並(±)	並(±)	気温高(－) 降水並(±)	
	すすかび病	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水並(±)	
	うどんこ病	並	やや少	並(±)	多～並 (+)	降水並(±)	
イチゴ 育苗ほ	炭疽病	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水並(±)	
	うどんこ病	並	並	並(±)	やや多～並 (+)	降水並(±)	
	ハダニ類	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+)	
夏秋 キュウリ (高冷地)	べと病	並	並	—	やや少(－)	降水並(±)	
夏秋 果菜類 (高冷地)	コナジラミ類	並	並	夏秋トマト 並(±)	夏秋トマト やや多～やや 少(±) 夏秋キュウリ 少(－)	気温高(+)	
夏秋 果菜類 (平坦)	コナジラミ類	並	並	—	夏秋ナス やや多～並 (+)	気温高(+)	
	アザミウマ類	並	並	—	夏秋ナス 並～やや少 (－)	気温高(+)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(＋)は発生を助長する要因、(－)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作 物	病 害 虫 名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
早植え・ 普通期 水稻	ツマグロ ヨコバイ	やや多	巡回調査は、平年比やや多（＋）。 合志市に設置した予察灯及びネットトラップによる6月1半旬～6月4半旬までの誘殺数は、平年比やや多（＋）。
	ヒメトビ ウンカ	やや多	巡回調査は、平年比やや多（＋）。 合志市に設置した予察灯及びネットトラップによる6月1半旬～6月4半旬までの誘殺数は、平年並（±）。
	セジロウンカ	並	巡回調査は、平年並（±）。 合志市に設置した予察灯及びネットトラップによる6月1半旬～6月4半旬までの誘殺数は、平年並（±）。
	コブノメイガ	並	巡回調査は、平年並（±）。 合志市に設置したフェロモントラップによる6月1半旬～6月4半旬までの誘殺は確認されず、平年比やや少（－）。 コブノメイガに効果のある箱施薬剤を使用していないほ場では、発生に注意する。
早期・ 早植え 水稻	紋枯病	並	巡回調査は、平年並（±）。 穂ばらみ期から出穂期にかけて薬剤防除を行う。 （要防除水準：穂ばらみ期の発病株率20%）
水稻 全般	縞葉枯病	並	巡回調査は、早期・早植えとも平年並（±）。
茶	ツマグロアオ カスミカメ	並	巡回調査は、平年比やや少（－）。 防除員報告では、平年並（±）。 萌芽期を重点に防除を行う。
	チャノホソガ	並	巡回調査は、平年並（±）。 フェロモントラップ調査 合志市：並（±）、御船町：少（－） 防除員報告では、平年並～やや少（－）。 防除効果が高い幼芽期（新芽が5mm以内）に防除を行う。
	チャノキイロ アザミウマ	やや少	巡回調査は、平年並（±）。 粘着トラップ調査 合志市：少（－） たたき落とし 御船町：少（－） 新芽を加害するため、萌芽～1葉期に防除する。
カンキツ	そうか病	並	巡回調査では平年並（±）。 防除員報告では平年並～少（±）。 り病葉はできるだけ剪除する。園内の通風・採光を良くし、雨や露などが早く乾くようにする。
カキ	炭疽病	並	防除員報告は平年並（±）。降水量は平年並（±）。 梅雨期は発生が多く、蔓延しやすい時期であり、予防防除に努める。

作物	病虫害名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
夏秋ナス (平坦地)	すすかび病	並	防除員報告では平年並(±)。 葉裏にも十分かかるよう薬剤散布を行う。
夏秋 キュウリ (高冷地)	うどんこ病	やや少	防除員報告では、平年比少(－)。 発生を認めたら直ちに薬剤散布を行う。
夏秋 キャベツ	細菌性病害 (黒腐病、軟腐病)	並	防除員報告では平年並(±)。 ほ場の排水を良くし、風水害の対策を講じる。 また、激しい風雨が予想される場合には事前に薬剤散布を行うとともに、降雨後も薬剤散布を行う。
	コナガ	並	防除員報告は平年比やや多～並(+)。 フェロモントラップの6月第1～4半旬の誘殺数は、阿蘇市、山都町で平年比少(－)。 ジアミド系殺虫剤を使用したほ場で発生が認められた場合は、他系統の薬剤で防除する。
野菜類 全般	ハスモン ヨトウ	やや少	フェロモントラップの6月第1～4半旬の誘殺数は、阿蘇市で平年並、合志市及び八代市で平年比少、山都町で平年比やや少(－)。 早期発見、早期防除に努め、施設栽培では、防虫ネットで侵入を防ぐ。
	オオタバコガ	並	フェロモントラップの6月第1～4半旬の誘殺数は、阿蘇市、八代市で平年並、合志市及び山都町で平年比少(±)。 早期発見、早期防除に努め、施設栽培では、防虫ネットで侵入を防ぐ。
【野菜病虫害の共通対策事項】 ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。			

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について（送付）

令和5年度（2023年度）発生予報第5号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和5年度（2023年度）病虫害発生予報第5号（8月予報）

I 気象予報：令和5年（2023年）7月27日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報（単位：％）

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	10	20	70
	降水量	30	40	30
	日照時間	30	40	30

II 【今後、注意すべき病虫害】

1 発生の概要

作物	病虫害名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
早植え 水稻	穂いもち	並	やや少	やや少(一)	並～やや少 (±)	気温高(一) 降水並(±)	巡回調査、 防除員報告 (葉いもち)
	紋枯病	並	並	並(±)	並～少(±)	気温高(+) 降水並(±)	
	トビイロウンカ	並	並	やや少(一)	並(±)	気温高(+)	合志予察灯 やや少(一)
	コブノメイガ	並	並	やや少(一)	並(±)	気温高(+)	合志フェロモントラップ やや少(一)
普通期 水稻	葉いもち	並	並	やや少(一)	やや多～少 (±)	気温高(一) 降水並(±)	
	紋枯病	並	やや少	並(±)	並～少(±)	気温高(+) 降水並(±)	

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
普通期 水稻	トビイロウンカ	並	並	並(±)	並～少(±)	気温高(+)	合志予察灯 やや少(－)
	コブノメイガ	やや多	やや多	やや多(+)	やや多～並 (±)	気温高(+)	合志フェロモントラップ [°] やや少(－)
大豆	ハスモンヨトウ	並	並	－	－	気温高(+)	フェロモントラップ [°] 調査 合志市栄 やや少 八代市鏡 少 阿蘇市 並 山都町 並 (－)
茶	炭疽病	やや少	並	少(－)	並 (±)	降水並 (±)	
	カンザワハダニ	並	並	並(±)	並 (±)	気温高(+) 降水並(±)	ほ場調査 御船町 やや少(－)
	チャノキイロ アザミウマ	やや少	並	やや少 (－)	並 (±)	気温高(+) 降水並(±)	粘着トラップ 合志市 少(－) ほ場調査 御船町 やや少(－)
	チャノミドリ ヒメヨコバイ	並	並	並(±)	並～やや少 (－)	気温高(+) 降水並(±)	ほ場調査 御船町 やや多(+)
	チャノホソガ	やや少	並	やや少 (－)	並～やや少 (－)	気温高(+) 降水並(±)	フェロモントラップ [°] 調査 合志市 やや少(－) 御船町 少(－)
	チャノコカク モンハマキ	やや少	並	やや少 (－)	並～やや少 (－)	気温高(+) 降水並(±)	フェロモントラップ [°] 調査 合志市 やや少(－) 御船町 やや少(－)
カンキツ	黒点病	並	並	並 (±)	やや多～並 (+)	降水並 (±)	宇城市 並(±)

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
カンキツ	かいよう病	並	やや少	やや多 (+)	並 (±)	降水並 (±)	宇城市 やや少(－)
	ミカンハダニ	並	並	やや少 (－)	並 (±)	気温高 (+) 降水並 (±)	宇城市 やや少(－)
	チャノキイロ アザミウマ	並	並	並(±)	並～少 (±)	気温高 (+)	熊本市(河内町) 黄色粘着板調査 並(±)
ナシ	ハダニ類	並	やや多	並(±)	やや多～並 (+)	気温高 (+) 降水並 (±)	
	ナシヒメシン クイ	やや多	やや多	－	やや多～並 (+)	気温高 (+) 降水並 (±)	フェロモントラップ 調査 宇城市 やや多 (+)
果樹 全般	果樹 カメムシ類	やや少	やや少	－	カンキツ 並～少 ナシ やや少 (－)	気温高 (+)	各予察灯・ フェロモントラップ 調査 合志市、宇城市 天草市 少(－) ヒノキ球果口針 鞘数・ビーティ ング調査 やや 少(－)
夏秋 トマト	灰色かび病	並	やや多	並(±)	やや多(+)	降水並(±)	
	葉かび病	並	やや少	並(±)	やや多～並 (+)	気温高(－) 降水並(±)	
	すすかび病	並	並	並(±)	やや多～並 (+)	気温高(+) 降水並(±)	
	うどんこ病	やや多	やや少	やや多(+)	やや多(+)	気温高(－) 降水並(±)	

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
イチゴ 育苗ほ	炭疽病	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水並(±)	
	ハダニ類	やや多	やや多	やや多(+)	やや多～並 (±)	気温高(+)	
	アブラムシ類	やや多	やや少	やや多(+)	並(±)	気温高(+)	
夏秋 果菜類 (高冷地)	コナジラミ類	やや多	やや多	トマト 多(+)	キュウリ 並 トマト やや多～並 (+)	気温高(+) 降水並(±)	
夏秋 果菜類 (平坦地)	コナジラミ類	やや多	やや多	—	ナス やや多～並 (+)	気温高(+) 降水並(±)	
	アザミウマ類	やや多	やや多	—	ナス やや多～並 (+)	気温高(+) 降水並(±)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
早植え 水稻	斑点米カメムシ類	並	7月の巡回調査では、寄生数が0.1頭/25株(平年0.1頭/25株)と平年並の発生であった(±)。 合志市に設置した予察灯調査では、平年比やや少(-)。
夏秋ナス (平坦地)	灰色かび病	並	防除員報告は、平年並～少(-)。 発生が見られたほ場では8月の防除を徹底する。
	すすかび病	並	防除員報告は、平年並(±)。 葉裏にも十分かかるよう薬剤散布を行う。
イチゴ 育苗ほ	うどんこ病	並	巡回調査では発病株は確認されず(平年株率0.2%)、平年並(±)。防除員報告は平年並(±)。 初期発生を認めたら直ちに薬剤防除を行う。

作 物	病 害 虫 名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
夏秋 キュウリ (高冷地)	べと病	やや多	防除員報告は、やや多(+) 適正な肥培管理を行う。
	うどんこ病	並	防除員報告は、平年並(±) 初期発生を認めたら直ちに薬剤防除を行う。
夏秋 キャベツ	黒腐病	並	防除員報告は、平年比やや多～並(+) 発生後の防除は困難なため、激しい風雨が予想される場合には事前に薬剤散布を行う。
野菜類 全般	ハスモンヨトウ	並	フェロモントラップの7月第1～4半旬の誘殺数は、阿蘇市、山都町で平年並、合志市で平年比やや少、八代市で平年比少(±) 防除員報告は、夏秋ナスで平年比やや多～並、夏秋トマト、イチゴ育苗ほ、サトイモで平年並、露地キクで平年比やや少(±) 早期発見、早期防除に努め、施設栽培では、防虫ネットで侵入を防ぐ。
	オオタバコガ	並	フェロモントラップの7月第1～4半旬の誘殺数は、阿蘇市、山都町で平年並、合志市、八代市で平年比やや少(±) 防除員報告は、ピーマンで平年比やや多、夏秋ナスで平年比やや多～やや少、夏秋トマトで平年並、夏秋キャベツで平年並～少、露地キクで平年比やや少 早期発見、早期防除に努め、施設栽培では、防虫ネットで侵入を防ぐ。
【野菜病虫害の共通対策事項】 ・ 換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。 ・ 多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・ 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。			

9月予報

病防第29号

令和5年（2023年）8月30日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について（送付）

令和5年度（2023年度）発生予報第6号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和5年度（2023年度）病虫害発生予報第6号（9月予報）

I 気象予報：令和5年（2023年）8月24日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報（単位：％）

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	10	20	70
	降水量	20	40	40
	日照時間	40	40	20

II 【今後、注意すべき病虫害】

1 発生の概要

作物	病虫害名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
普通期 水稻	穂いもち	並	並	やや少 (-)	やや多～ やや少(±)	気温高(-) 降水多～並 (+)	巡回調査 防除員報告 (葉いもち)
	紋枯病	並	並	並(±)	やや多～ やや少(±)	気温高(+) 降水多～並 (+)	
	トビイロ ウンカ	やや少	並	少 (-)	並～少 (-)	気温高(+)	
大豆	ハスモン ヨトウ	並	並	ヨウムシ類 白変葉 並(±)	並(±)	気温高(+)	フェロモン トラップ調査 合志市 やや少 八代市 少 山都町 少 阿蘇市 少 (-)

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
大豆	カメムシ類	並	やや少	やや少 (－)	並(±)	気温高(+)	
茶	炭疽病	やや少	並	やや少 (－)	やや多～並 (+)	降水多～並 (+)	
	カンザワハダニ	並	並	並(±)	並～やや少 (－)	気温高(+) 降水多～並 (－)	御船町 やや少(－)
	チャノキイロ アザミウマ	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水多～並 (－)	たたき落とし調査 御船町 多(+)
	チャノミドリ ヒメヨコバイ	やや多	やや多	並(±)	やや多(+)	気温高(+) 降水多～並 (－)	たたき落とし調査 御船町 多(+)
	クワシロ カイガラムシ	並	並	やや少 (－)	並(±)	気温高(+) 降水多～並 (－)	
カン キツ	黒点病	並	やや多	並(±)	やや多～並 (+)	降水多～並 (+)	宇城市 平年並(±)
	かいよう病	やや多	やや少	やや多 (+)	やや多～並 (+)	降水多～並 (+)	宇城市 平年比少 (－)
	ミカンハダニ	やや少	並	やや少 (－)	やや多～並 (+)	気温高(+) 降水多～並 (－)	宇城市 平年比少 (－)
	チャノキイロ アザミウマ	並	並	並(±)	並～少(－)	気温高(+) 降水多～並 (－)	黄色粘着板調査 熊本市河内町 平年比やや少(－)

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
ナシ	黒星病	やや少	並	やや少 (－)	並(±)	降水多～並 (＋)	
	ハダニ類	並	やや多	並(±)	並～やや少 (－)	気温高(＋) 降水多～並 (－)	
果樹 全般	果樹 カメムシ類	やや多	多	－	カンキツ 並～少(－) ナシ 多～やや少 (＋) カキ 並(±)	気温高(＋)	予察灯調査 急増(＋) 口針鞘数・ ビーティング調査 並(±)
夏秋 トマト	灰色かび病	やや少	やや多	少(－)	やや多～並 (±)	気温高(－) 降水多～並 (＋)	
	葉かび病	やや多	並	やや多 (＋)	並～やや少 (±)	気温高(－) 降水多～並 (＋)	
	うどんこ病	並	少	やや少 (－)	多～やや多 (＋)	気温高(－) 降水多～並 (±)	
	すすかび病	並	やや少	並(±)	並～やや少 (±)	気温高(＋) 降水多～並 (＋)	
イチゴ	炭疽病	並	並	並(±)	並 (±)	気温高(＋) 降水多～並 (＋)	
	ハダニ類	やや多	やや多	多(＋)	やや多～並 (＋)	気温高(＋)	
	アブラムシ類	並	並	並(±)	並(±)	気温高(＋)	

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
夏秋 キュウリ (高冷地)	べと病	やや多	やや多	—	やや多(+)	気温高(—) 降水多～並 (+)	
夏秋 果菜類 (平坦地)	コナジラミ類	並	並	—	ナス、メロン やや多～並 (±)	気温高(+)	黄色粘着板 トラップ調査 (8月上旬) 熊本市 やや少 山鹿市 やや少 菊池市 やや少 (—)
	アザミウマ類	並	並	—	ナス やや多～並 メロン 並 (±)	気温高(+) 降水多～並 (—)	
	ハスモンヨトウ	並	並	イチゴ 並 トマト 並 (±)	ナス やや多～並 イチゴ やや多～並 トマト 並 (±)	気温高(+)	フェロモン トラップ調査 合志市 やや少 八代市 少 山都町 少 阿蘇市 少 (—)
	オオタバコガ	並	並	トマト 並 (±)	ナス やや多 トマト 並 露地キク 並 キャベツ 並 (±)	気温高(+)	フェロモン トラップ調査 合志市 やや少 八代市 やや少 阿蘇市 やや多 山都町 並 (±)

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(—)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
普通期 水稻	斑点米 カメムシ類	並	巡回調査では平年並 (±)。 防除員報告は、平年並 (±) 常発地帯では2回目の防除を穂揃い期の7～10日後に行う。
大豆	紫斑病	並	防除員報告では平年並 (±)。

作 物	病 害 虫 名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
大豆	べと病	並	防除員報告では平年並（±）。 湿度が高いと発生が助長されるため、降雨後、発病が拡大しないうちに防除を行う。
	葉焼病	並	防除員報告では平年並（±）。 防除が遅れると効果が低下するので、発生が確認されたら直ちに防除を行う。
茶	チャノホソガ	並	巡回調査では平年並（±）。 フェロモントラップ調査 合志市：平年比少（－） 御船町：平年並（±） 新葉が加害されるので、開葉期と2～3葉期に防除する。
	チャノコカク モンハマキ	並	巡回調査では平年並（±）。 フェロモントラップ調査 合志市：平年並（±） 御船町：平年比やや少（－） 発蛾最盛期の7日～10日後に防除する。
カキ	炭疽病	並	防除員報告では平年並（±）。 降水量は平年比多～並（＋）。 発病枝は園外で処分し、病原菌の密度を下げる。 発病後の防除では効果が低いので、予防散布を徹底する。
イチゴ	うどんこ病	並	巡回調査では平年並（±）。 防除については、3 防除のポイント等の「イチゴ定植前のうどんこ病、炭疽病及びハダニ類の防除対策」を参照する。
夏秋 果菜類 (高冷地)	コナジラミ類	並	巡回調査ではトマトで平年並（±）。 現在発生しているほ場では、早期に防除する。
夏秋ナス (平坦地)	すすかび病	並	防除員報告では平年並～やや少（±）。 葉裏にも十分かかるよう薬剤散布を行う。
夏秋 キュウリ (高冷地)	うどんこ病	並	防除員報告では平年並（±）。 初期発生を認めたら直ちに薬剤防除を行う。
【野菜病害虫の共通対策事項】 ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。			

10月予報

病防第33号

令和5年（2023年）9月29日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について（送付）

令和5年度（2023年度）発生予報第7号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和5年度（2023年度）病虫害発生予報第7号（10月予報）

I 気象予報：令和5年（2023年）9月28日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報（単位：％）

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	20	30	60
	降水量	30	40	30
	日照時間	30	40	30

II 【今後、注意すべき病虫害】

1 発生の概要

作物	病虫害名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
大豆	ハスモン ヨトウ	やや多	並	やや多(+)	並(±)	気温高(+) 降水並(±)	フェロモン トラップ調査 合志市 少 八代市 少 山都町 やや少 阿蘇市 やや少 (-)
	カメムシ類	並	やや少	やや少(-)	並(±)	気温高(+) 降水並(±)	
茶	カンザワ ハダニ	並	並	やや少(-)	やや多～並 (+)	気温高(+) 降水並(±)	御船町 並(±)
カンキツ	ミカンハダニ	やや多	多	やや多(+)	やや多～並 (+)	気温高(+) 降水並(±)	果樹研予察ほ 宇城市 やや多(+)

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
果樹全般	果樹 カメムシ類	多	多	—	カンキツ 多～やや多 ナシ 多～やや多 カキ 並 (+)	気温高(+)	ヒノキ球果調査 寄生頭数 多 (+) 予察灯調査 合志市 多 宇城市 多 天草市 多 (+)
夏秋 トマト	葉かび病	並	やや少	やや少(—)	やや多～並 (+)	降水並(±)	
	すすかび病	並	やや少	並(±)	やや多～並 (+)	降水並(±)	
	灰色かび病	やや少	多	やや少(—)	並(±)	降水並(±)	
冬春 トマト	黄化葉巻病	並	やや多	黄化葉巻病 並(±) コナジラミ やや少(—)	やや多～並 (±)	(コナジラミ) 気温高(+)	
イチゴ	炭疽病	並	並	並(±)	やや多～並 (±)	気温高(+) 降水並(±)	
	ハダニ類	並	並	やや多 (+)	やや多～並 (±)	気温高(+)	
ウリ科 野菜	退緑黄化病	並	並	—	(退緑黄化病) キュウリ 並 メロン 並 (コナジラミ) キュウリ 並 メロン 並～やや少 (±)	(コナジラミ) 気温高(+)	CCYV保毒虫率 (熊本、鹿本、 菊池) やや低 (—)
冬春 果菜類	コナジラミ類	並	並	冬春トマト やや少(—)	ナス やや多～並 トマト やや 多～やや少 キュウリ 並 メロン 並～やや少 (±)	気温高(+)	

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春果菜類	アザミウマ類	並	並	—	ナス やや多～並 キュウリ 並 (±)	気温高(+)	
野菜類全般	ハスモンヨトウ	並	並	夏秋トマト 並 冬春トマト イチゴ やや多 (±)	夏秋ナス やや多～並 トマト 並 露地キク やや少 イチゴ やや多～並 (±)	気温高(+) 降水並(±)	フェロモン トラップ調査 合志市 少 八代市 少 山都町 やや少 阿蘇市 やや少 (—)
	オオタバコガ	並	並	トマト 並 (±)	夏秋ナス やや多～並 トマト 並 露地キク やや少 (±)	気温高(+) 降水並(±)	フェロモン トラップ調査 合志市 やや少 八代市 多 阿蘇市 やや少 山都町 やや多 (±)

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(—)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
イチゴ	うどんこ病	並	巡回調査は平年並 (±)。 防除については、3 防除のポイント等の「イチゴにおける定植後の炭疽病及びうどんこ病の防除対策」を参照する。
秋メロン	べと病	並	防除員報告は平年並～やや少 (±)。 初期発生を認めたら直ちに薬剤散布を行い、薬液が葉裏によく付着するよう丁寧に行う。
野菜全般	アブラムシ類	並	巡回調査はイチゴ、冬春トマトで平年並 (±)。 ウイルスを媒介するので、防虫ネット等では場内への侵入を防ぐ。

【野菜病害虫の共通対策事項】

- ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める（病害）。
- ・多発後は防除が困難になるので、早期に発見し初期防除に努める。
- ・菌核病、細菌性病害等の被害残さは、次作への伝染源となるのでは場外に持ち出し適正に処分する。
- ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。

1 1 月 予 報

病防第 4 1 号

令和 5 年（2 0 2 3 年）1 0 月 3 1 日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について（送付）

令和 5 年度（2 0 2 3 年度）発生予報第 8 号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和 5 年度（2 0 2 3 年度）病虫害発生予報第 8 号（1 1 月 予 報）

I 気象予報：令和 5 年（2 0 2 3 年）1 0 月 2 6 日福岡管区気象台発表

◎向こう 1 ヶ月の気象予報（単位：％）

予報対象地域	要 素	低 い (少ない)	平年並	高 い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気 温	1 0	4 0	5 0
	降 水 量	4 0	4 0	2 0
	日照時間	2 0	4 0	4 0

II 【今後、注意すべき病虫害】

1 発生 の 概 要

作物	病虫害名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
茶	カンザワ ハダニ	やや少	やや多	やや少 (－)	並～やや少 (±)	気温高(+) 降水並～少 (+)	茶研予察は 御船町 やや少 (－)
カンキツ	ミカンハダニ	やや多	多	やや多 (+)	やや多 (+)	気温高(+) 降水並～少 (+)	果樹研予察は 宇城市 やや多(+)
冬春 トマト	黄化葉巻病	並	並	黄化葉巻病 やや少(－) コナジラミ 並(±)	やや多～並 (±)	(コナジラミ) 気温高(+)	タバコ コナジラミ TYLCV 保毒虫率 並 (±)
	すすかび病	やや少	並	並(±)	並(±)	気温高(±) 降水並～少 (±)	

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春ナス	すすかび病	並	並	並(±)	並～やや少(±)	気温高(±) 降水並～少(±)	
ウリ科野菜	退緑黄化病	並	並	—	キュウリ並 メロンやや多～並(±)	(コナジラミ) 気温高(+)	メロン発病株率調査 やや少(—)
ウリ科・ナス科野菜	コナジラミ類	並	並	トマトナス並(±)	トマトやや多～並ナス、 キュウリやや多メロン やや多～やや少(±)	気温高(+)	
	アザミウマ類	並	並	ナスやや多(+)	ナスやや多～並 キュウリ並メロン 並～やや少(±)	気温高(+)	
イチゴ	ハダニ類	やや多	やや多	やや多(+)	やや多～並(±)	気温高(+)	
野菜類全般	ハスモンヨトウ	並	並	イチゴナス トマト並(±)	イチゴやや多ナス やや多～並トマト並(±)	気温高(+) 降水並～少(±)	フェロモントラップ調査 合志市 並 阿蘇市 やや少 八代市 少 山都町 少 (—)

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(—)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作 物	病 害 虫 名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
冬春トマト	葉かび病	並	巡回調査では平年並(±)。防除員報告は平年並(±)。 除去した病葉は、直ちにほ場の外へ持ち出す。
冬春トマト 冬春ナス	灰色かび病	並	巡回調査ではトマト・ナスで平年並(±)。防除員報告はト マトで平年並、ナスで平年並～やや少(±)。 除去した病葉や果実は、直ちにほ場の外へ持ち出す。
秋メロン	べと病	並	防除員報告は平年並(±)。 除去した病葉は、直ちにほ場の外へ持ち出す。
イチゴ	うどんこ病	並	巡回調査では平年並(±)。防除員報告は平年並(±)。 開花期までの防除を重点に置く。
野菜全般	アブラムシ類	並	巡回調査ではイチゴ・トマトで平年並(±)。 防除員報告は、トマト、ナス、メロンで平年並、 イチゴで平年比やや多～並(±)。 発生を確認したら、直ちに薬剤防除を行う。
【野菜病害虫の共通対策事項】 ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。 ・多発後は防除が困難になるので、早期に発見し初期防除に努める。 ・菌核病、細菌性病害等の被害残さは、次作への伝染源となるのでほ場外に持ち出し適正に処分する。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。			

1 2 月 予 報

病防第43号

令和5年（2023年）11月27日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について（送付）

令和5年度（2023年度）発生予報第9号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和5年度（2023年度）病虫害発生予報第9号（12月予報）

I 気象予報：令和5年（2023年）11月23日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報（単位：％）

予報対象地域	要 素	低 い (少ない)	平年並	高 い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気 温	40	40	20
	降 水 量	50	30	20
	日照時間	20	40	40

II 【今後、注意すべき病虫害】

1 発生の概要

作物	病虫害名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
カンキツ	ミカンハダニ	やや多	やや多	—	やや多～並 (+)	気温並～低 (-) 降水少 (+)	
冬春 トマト	黄化葉巻病	並	並	黄化葉巻病 並(±) コナジラミ 並(±)	やや多～並 (±)	(コナジラミ) 気温並～低 (±)	
	灰色かび病	やや少	少	並(±)	並(±)	降水少(-)	
	葉かび病	やや少	並	並(±)	並(±)	降水少(-)	

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 トマト	すすかび病	少	並	少(－)	並(±)	降水少(－)	
冬春 ナス	灰色かび病	並	並	並(±)	並(±)	降水少(－)	
	すすかび病	やや少	並	並(±)	並(±)	降水少(－)	
冬春 キュウリ	うどんこ病	並	並	並(±)	やや多(+)	降水少(+)	
	退緑黄化病	やや少	やや少	やや少 (－)	並(±)	(コナジラミ) 気温並～低 (±)	
イチゴ	ハダニ類	やや多	やや多	やや多(+)	やや多～並 (±)	気温並～低 (±)	
	アザミウマ類	並	やや多	やや多(+)	やや多～並 (±)	気温並～低 (±)	
冬春 果菜類	コナジラミ類	並	並	トマト、 ナス 並 キュウリ やや少 (±)	トマト、 ナス やや多～並 キュウリ やや多 (±)	気温並～低 (±)	黄色粘着板 トラップ調査 八代市 やや少(－)
	アザミウマ類 (イチゴ除く)	並	並	ナス やや多 キュウリ 並 (±)	ナス やや多～並 キュウリ やや多 (±)	気温並～低 (±)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(＋)は発生を助長する要因、(－)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病虫害】

作 物	病 害 虫 名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
冬春 トマト	疫病	並	巡回調査では、発病株は確認されず（発病株率平年0.0%）、平年並(±)。 発病果、発病葉は伝染源となるので早期に除去し、処分する。
冬春ナス	うどんこ病	並	巡回調査では、発病株は確認されず（発病株率平年1.4%）、平年並(±)。 発病葉は伝染源となるので早期に除去し、処分する。
イチゴ	うどんこ病	並	巡回調査では発病株は確認されず(発病株率平年0.0%)、平年並(±)。 多発後は防除が困難なので、初期防除を徹底する。
レタス	菌核病	並	巡回調査では、発病株は確認されず（発病株率平年0.0%）、平年並(±)。 予防が基本となるため、被覆前に薬剤散布を行う。
【野菜病虫害の共通対策事項】 ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める（病害）。 ・多発後は防除が困難になるので、早期に発見し初期防除に努める。 ・菌核病、細菌性病害等の被害残さは、次作への伝染源となるのでは場外に持ち出し適正に処分する。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。			

1 月予報

病防第45号

令和5年（2023年）12月27日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について（送付）

令和5年度（2023年度）発生予報第10号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和5年度（2023年度）病虫害発生予報第10号（1月予報）

I 気象予報：令和5年（2023年）12月21日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報（単位：％）

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	10	30	50
	降水量	40	30	30
	日照時間	30	30	40

II 【今後、注意すべき病虫害】

1 発生の概要

作物	病虫害名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 トマト	黄化葉巻病	やや多	並	黄化葉巻病 並(±) コナジラミ やや多(+)	やや多～並 (±)	(コナジラミ) 気温高(+)	
冬春 ナス	すすかび病	やや少	やや少	やや少(－)	並(±)	降水少(－)	
冬春 キュウリ	うどんこ病	並	やや多	並(±)	並(±)	降水少(+)	
	退緑黄化病	並	並	やや少(－)	並(±)	(コナジラミ) 気温高(+)	

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
イチゴ	ハダニ類	やや多	やや多	やや多(+)	やや多～並 (±)	気温高(+)	
	アザミウマ類	並	並	やや少(-)	並(±)	気温高(+)	
	アブラムシ類	やや多	並	やや多 (+)	やや多～並 (+)	気温高(+)	
冬春 果菜類	灰色かび病	並	やや少	トマト やや少 ナス、 イチゴ、 キュウリ 並 (±)	トマト 並～やや少 ナス、イチゴ、 キュウリ 並(±)	降水少(-)	
	コナジラミ類	並	並	トマト やや多 ナス、 キュウリ やや少 (±)	トマト やや多～並 ナス、キュウリ 並 (±)	気温高(+)	
冬春 果菜類	アザミウマ類 (イチゴ除く)	並	並	ナス 並 キュウリ 並 (±)	ナス やや多～並 キュウリ 並 (±)	気温高(+)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作 物	病 害 虫 名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
冬春 トマト	葉かび病	やや少	巡回調査では発病株が確認されず（発病株率平年1.0%） 平年並（±）。除員報告は平年並（±）。 発病葉は伝染源となるので早期に除去し、処分する。
	すすかび病	やや少	巡回調査では発病株率0.3%（発病株率平年2.6%）と平 年並（±）。防除員報告は平年並（±）。 発病葉は伝染源となるので早期に除去し、処分する。
	うどんこ病	並	巡回調査では発病株率2.3%（平年0.9%）と平年並（±）。 防除員報告は平年並（±）。 多発後は防除が困難なので、発生初期の防除を徹底する。
冬春ナス	うどんこ病	並	巡回調査では発病株率0.4%（平年2.7%）と平年並（±）。 防除員報告は平年並（±）。 発病葉は伝染源となるので早期に除去し、処分する。
冬春 キュウリ	べと病	並	巡回調査では発病葉率0.8%（平年8.4%）と平年比やや 少（－）。除員報告は平年比やや多（＋）。 肥料切れで多発するので、適正な肥培管理を行う。
イチゴ	うどんこ病	並	巡回調査では発病株が確認されず（発病株率平年0.0%） 平年並（±）。 多発後は防除が困難なので、初期防除を徹底する。
レタス	菌核病	やや少	巡回調査では発病株は確認されず（発病株率平年0.3%） 平年並（±）。防除員報告は平年並～やや少（±）。 発病株は伝染源となるので、早期に除去し、処分する。
	灰色かび病	やや少	巡回調査では発病株が確認されず（発病株率平年0.1%） 平年並（±）。防除員報告は平年並～やや少（±）。 発病株は伝染源となるので、早期に除去し、処分する。
【野菜病害虫の共通対策事項】 ・ 換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。 ・ 多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・ 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。			

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について（送付）

令和5年度（2023年度）発生予報第11号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和5年度（2023年度）病害虫発生予報第11号（2月予報）

I 気象予報：令和6年（2024年）1月25日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報（単位：％）

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	10	20	70
	降水量	20	40	40
	日照時間	40	30	30

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 トマト	黄化葉巻病	並	並	並(±)	やや多～並 (+)	(コナジラミ) 気温高(+)	
冬春 ナス	すすかび病	並	やや多	並(±)	並(±)	降水多～並 (+)	
冬春 キュウリ	うどんこ病	並	並	並(±)	並(±)	降水多～並 (-)	
	べと病	並	並	やや少(-)	並(±)	降水多～並 (+)	
	退緑黄化病	やや少	並	やや少(-)	並(±)	(コナジラミ) 気温高(+)	

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
イチゴ	ハダニ類	多	多	多(+)	やや多～並 (+)	気温高(+)	
	アザミウマ類	並	並	並(±)	やや多～並 (±)	気温高(+)	
冬春 果菜類	灰色かび病	並	やや少	ナス、キュウリ イチゴ 並 トマト やや少 (±)	トマト、イチゴ 並～少 ナス 並～やや少 キュウリ やや多 (±)	降水多～並 (+)	
	コナジラミ類	並	並	トマト 並 ナス 少 キュウリ やや少 (－)	トマト やや多～並 ナス やや多～やや少 キュウリ 並 (±)	気温高(+)	
	アザミウマ類 (イチゴ除く)	並	並	ナス キュウリ 並 (±)	ナス やや多～並 キュウリ やや多 (±)	気温高(+)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(－)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
冬春 トマト	疫病	並	巡回調査は発病株が確認されず（平年0.0%）、平年並(±)。防除員報告では平年並～少（－）。
	葉かび病	並	巡回調査では発病株が確認されず（平年2.2%）、平年並（±）。防除員報告では平年並（±）。

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
冬春 トマト	すすかび病	並	巡回調査では発病株が確認されず（平年1.4%）、平年並（±）。防除員報告では平年並（±）。
メロン	べと病	並	防除員報告は平年並（±）。 肥料切れで多発するので、適正な肥培管理を行う。
	つる枯病	並	防除員報告は平年並（±）。 株元付近に発生が多いので、出来るだけ乾燥状態に保つ。
スイカ	つる枯病	並	防除員報告は平年並（±）。 株元付近に発生が多いので、出来るだけ乾燥状態に保つ。
	菌核病	並	防除員報告は平年並（±）。 過度の灌水を避け、施設内の過湿防止に努める。 開花期から予防防除に努める。
レタス	菌核病	やや多	巡回調査では、発病株率3.7%（平年0.4%）と平年比多（+）。防除員報告は平年比やや多～並（+）。
	灰色かび病	並	巡回調査では、発病株率1.0%（平年0.5%）で平年並（±）。防除員報告では平年並（±）。
野菜全般	アブラムシ類	並	巡回調査では、トマト・ナスで寄生株は確認されず平年並、キュウリで寄生葉率0.3%（平年0.0%）と平年並、イチゴで寄生株率1.3%（平年2.3%）と平年並（±）。
【野菜病害虫の共通対策事項】 ・発病部位は伝染源となるので、早期に除去し処分する（病害）。 ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める（病害）。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。			

3月予報

病防第56号

令和6年（2024年）2月27日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について（送付）

令和5年度（2023年度）発生予報第12号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和5年度（2023年度）病虫害発生予報第12号（3月予報）

I 気象予報：令和6年（2024年）2月22日福岡管区気象台発表

◎向こう1ヶ月の気象予報（単位：％）

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	30	40	30
	降水量	30	40	30
	日照時間	40	30	30

II 【今後、注意すべき病虫害】

1 発生の概要

作物	病虫害名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
茶	カンザワハダニ	並	やや多	並(±)	並～やや少 (－)	気温並(±) 降水並(±)	
カンキツ	かいよう病	やや多	並	やや多(+)	並～やや少 (±)	降水並(±)	
	ミカンハダニ	やや多	やや多	やや多(+)	並(±)	気温並(±) 降水並(±)	
冬春 トマト	灰色かび病	並	やや多	並(±)	並～やや少 (±)	降水並(±)	

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 トマト	黄化葉巻病	やや多	やや多	黄化葉巻病 耐病性品種 並(±) 感受性品種 多(+) コナジラミ 並(±)	黄化葉巻病 やや多～並 (+) コナジラミ やや多～並 (±)	(コナジラミ) 気温並 (±)	
冬春 ナス	すすかび病	やや多	多	やや多(+)	並(±)	降水並(±)	
	灰色かび病	やや多	やや多	やや多(+)	並～やや少 (±)	降水並(±)	
冬春 キュウリ	うどんこ病	並	並	並(±)	やや多(+)	降水並(±)	
	べと病	やや多	並	やや多(+)	やや多(+)	降水並(±)	
	灰色かび病	並	並	並(±)	並 (±)	降水並(±)	
ウリ科 野菜	キュウリ・ メロン 退緑黄化病 スイカ退緑えそ 病	並	並	(キュウリ) 退緑黄化病 やや少(-) コナジラミ やや少(-)	キュウリ やや多 メロン、 スイカ 並 (±)	(コナジラミ) 気温並(±)	
イチゴ	ハダニ類	多	多	多(+)	やや多～並 (+)	気温並(±)	
	アザミウマ類	やや少	やや少	やや少(-)	並(±)	気温並(±)	
冬春 果菜類	コナジラミ類	並	並	トマト、 ナス 並 キュウリ やや少 (±)	トマト やや多～並 ナス、キュ ウリ メロン、ス イカ並 (±)	気温並(±)	

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 果菜類	アザミウマ類 (イチゴ除く)	並	並	ナス、 キュウリ 並(±)	ナス 並 キュウリ やや少 (±)	気温並(±)	
	アブラムシ類	並	並	トマト、 ナス、 キュウリ、 イチゴ 並 (±)	キュウリ やや多 メロン やや多～並 トマト、 ナス、 イチゴ、 スイカ 並 (±)	気温並(±)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(＋)は発生を助長する要因、(－)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
冬春 トマト	疫病	並	巡回調査では発病株は確認されず平年並(±)。 防除員報告では平年比やや多～少(±)。 発病後は防除が困難なので、予防に重点をおく。 前年に発生が多かったほ場では、定期的に薬剤散布を行う。
	葉かび病	やや少	巡回調査では発病株が確認されず平年比少(－)。 防除員報告では平年並(±)。 発病葉は伝染源となるので早期に除去し、処分する。
	すすかび病	並	巡回調査では発病株が確認されず平年比やや少(－)。 防除員報告では平年並(±)。 発病葉は伝染源となるので早期に除去し、処分する。
ウリ科 野菜	つる枯病	並	防除員報告ではメロンでやや多～並、スイカで平年並(±)。 株元周辺をできるだけ乾燥状態に保つ。 窒素質肥料の多用を避け、適正な肥培管理を行う。

【野菜病害虫の共通対策事項】

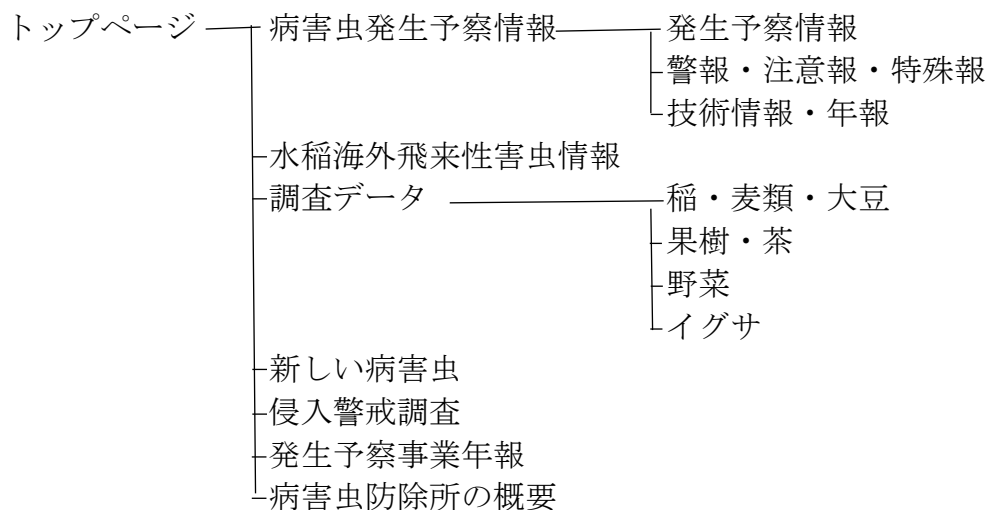
- ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。
- ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。
- ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。

(3) ホームページ掲載内容

ホームページアドレス： <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>

Eメールアドレス： byougaityuboujyo@pref.kumamoto.lg.jp

・掲載内容



調査データ掲載内容

掲載期間	掲載内容
4月～10月	セジロウカ・トビイロウンカ・ヒメトビウンカ・ツマグロヨコバイの誘殺状況（予察灯、ネットラップ）、コブノメカ誘殺状況（フェロモントラップ）、イネいもち病発生予測（BLASTAM）
4月～10月	チャバネアカメムシ・ツヤアカメムシ誘殺状況（予察灯、フェロモントラップ）、チャノコカクモンハマキ・チャハマキ・チャノホソカ誘殺状況（フェロモントラップ）、チャノキイロアザミウマ（黄色粘着板）、ナシヒメシクイ誘殺状況
4月～10月	ハスモンヨトウ・コナカ・オオタバコカの誘殺状況（フェロモントラップ）
4月～7月	イグサシロムシ越冬調査、イグサシロムシの誘殺状況（予察灯）、イグサシロムシ発蛾最盛期予測
4月～5月	麦類赤かび病多発条件出現日予測
4月～10月	大豆カメムシ類予察灯誘殺数
7月～9月	ヒノキ球果口針鞘数調査
5月～9月	チャノキイロアザミウマの発生ピーク予測、クシロカガラムシふ化予測

3 侵入調査事業

(1) ミバエ類侵入調査

ア 調査方法：ミバエ類を対象としたフェロモン剤による誘引トラップを設置し、毎月2回誘引捕獲された昆虫を調査する。

①対象害虫名：ミカンコミバエ種群

市町村名	No.	誘殺数(頭)／調査回数(回)									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	3月	合計
熊本市	1	0/2	0/2	0/3	0/3	0/3	0/2	0/2	0/3	0/3	0/23
	2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/2	0/19
	3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/2	0/20
	4	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
	5	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/2	0/19
宇城市	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
	2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/20
	3	0/2	0/2	0/3	0/3	0/3	0/2	0/2	0/2	0/2	0/21
	4	0/2	0/3	0/2	0/3	0/3	0/2	0/3	0/2	0/2	0/22
御船町	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
菊池市	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
合志市	1	0/1	0/4	0/2	0/2	0/4	0/2	0/3	0/2	0/2	0/22
玉名市	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
	2	0/3	0/4	0/3	0/3	0/3	0/3	0/2	0/3	0/3	0/27
山鹿市	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
阿蘇市	1	0/3	0/4	0/2	0/2	0/4	0/3	0/2	0/2	0/2	0/24
八代市	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
	2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/20
芦北町	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/20
	2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/20
	3	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/21
	4	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/21
	5	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/21
津奈木町	1	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/19
	2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/19
水俣市	1	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/19
あさぎり町	1	0/1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/18
天草市	1	0/1	0/2	0/2	0/4	0/4	0/3	0/3	0/3	0/2	0/24
	2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/3	0/2	0/20
	3	0/2	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/17
	4	0/2	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/17
	5	0/2	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/17
	6	0/2	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/17
	7	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/2	0/10
	8	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/2	0/1	0/1	0/2	0/11
	9	0/2	0/1	0/1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/1	0/2	0/15
上天草市	1	0/1	0/1	0/1	0/2	0/1	0/1	0/1	0/1	0/2	0/11
苓北町	1	0/1	0/1	0/1	0/2	0/1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/14
合計 38 地点		0/74	0/75	0/78	0/85	0/86	0/80	0/80	0/78	0/78	0/714

②対象害虫名：ウリミバエ

市町村名	No.	誘殺数(頭)／調査回数(回)									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	3月	合計
熊本市	1	0/2	0/2	0/3	0/3	0/3	0/2	0/2	0/3	0/3	0/23
	2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/2	0/19
	3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/2	0/20
	4	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
	5	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/2	0/19
宇城市	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
	2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/20
	3	0/2	0/2	0/3	0/3	0/3	0/2	0/2	0/2	0/2	0/21
	4	0/2	0/3	0/2	0/3	0/3	0/2	0/3	0/2	0/2	0/22
御船町	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
菊池市	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
合志市	1	0/1	0/4	0/2	0/2	0/4	0/2	0/3	0/2	0/2	0/22
玉名市	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
	2	0/3	0/4	0/3	0/3	0/3	0/3	0/2	0/3	0/3	0/27
山鹿市	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
阿蘇市	1	0/3	0/4	0/2	0/2	0/4	0/3	0/2	0/2	0/2	0/24
八代市	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
	2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/20
芦北町	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/20
	2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/20
	3	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/21
	4	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/21
	5	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/21
あさぎり町	1	0/1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/18
天草市	1	0/1	0/2	0/2	0/4	0/4	0/3	0/3	0/3	0/2	0/24
	2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/3	0/2	0/20
	3	0/2	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/17
	4	0/2	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/17
	5	0/2	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/17
	6	0/2	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/17
合計 30 地点		0/62	0/64	0/64	0/71	0/74	0/66	0/67	0/66	0/62	0/569

③対象害虫名：クインスランドミバエ

市町村名	No.	誘殺数(頭)／調査回数(回)									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	3月	合計
熊本市	1	0/2	0/2	0/3	0/3	0/3	0/2	0/2	0/3	0/3	0/23
	2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/2	0/19
	3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/2	0/20
	4	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
	5	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/2	0/19
宇城市	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
	2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/20
	3	0/2	0/2	0/3	0/3	0/3	0/2	0/2	0/2	0/2	0/21
	4	0/2	0/3	0/2	0/3	0/3	0/2	0/3	0/2	0/2	0/22
御船町	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
菊池市	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
合志市	1	0/1	0/4	0/2	0/2	0/4	0/2	0/3	0/2	0/2	0/22
玉名市	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
	2	0/3	0/4	0/3	0/3	0/3	0/3	0/2	0/3	0/3	0/27
山鹿市	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
阿蘇市	1	0/3	0/4	0/2	0/2	0/4	0/3	0/2	0/2	0/2	0/24
八代市	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
	2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/20
芦北町	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/20
	2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/20
	3	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/21
	4	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/21
	5	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/21
あさぎり町	1	0/1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/18
天草市	1	0/1	0/2	0/2	0/4	0/4	0/3	0/3	0/3	0/2	0/24
	2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/3	0/2	0/20
	3	0/2	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/17
	4	0/2	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/17
	5	0/2	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/17
	6	0/2	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/17
合計 30 地点		0/62	0/64	0/64	0/71	0/74	0/66	0/67	0/66	0/62	0/569

④対象害虫：チチュウカイミバエ

市町村名	No.	誘殺数(頭)／調査回数(回)									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	3月	合計
熊本市	1	0/2	0/2	0/3	0/3	0/3	0/2	0/2	0/3	0/3	0/23
宇城市	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
	2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/20
合志市	1	0/1	0/4	0/2	0/2	0/4	0/2	0/3	0/2	0/2	0/22
玉名市	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
山鹿市	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
八代市	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/18
	2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/2	0/20
芦北町	1	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/2	0/3	0/2	0/20
天草市	1	0/1	0/2	0/2	0/4	0/4	0/3	0/3	0/3	0/2	0/24
	2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/2	0/3	0/2	0/3	0/2	0/20
	3	0/2	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/17
	4	0/2	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/17
	5	0/2	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/17
	6	0/2	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/3	0/1	0/2	0/17
合計 15 地点		0/28	0/29	0/31	0/38	0/32	0/34	0/36	0/30	0/31	0/289

(2) アリモドキゾウムシ侵入調査

合成性フェロモンによる誘殺結果

市町村名	誘 殺 数							計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	
大津町 1	0	0	0	0	0	0	0	0
大津町 2	0	0	0	0	0	0	0	0
合志市	0	0	0	0	0	0	0	0
菊陽町	0	0	0	0	0	0	0	0
西原村	0	0	0	0	0	0	0	0
天草市	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) トマトキバガ侵入調査

- 1) 調査時期：令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月
- 2) 調査地：熊本市、宇城市、玉名市、合志市、阿蘇市、八代市
- 3) 調査方法：フェロモントラップ調査（7～14 日間隔）
- 4) 調査結果：いずれの調査地においても断続的に誘殺が確認された。

市町村 名	誘殺数												
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
玉名市	1	3	6	3	1	2	6	25	9	2	7	0	65
熊本市	1	2	0	3	0	0	3	3	8	0	0	2	22
宇城市	0	0	5	8	0	1	2	12	5	1	0	3	37
八代市	0	1	1	12	0	0	5	6	5	3	0	3	36
阿蘇市	0	0	0	1	5	15	95	24	49	18	27	4	238
合志市	0	0	0	3	3	2	8	9	10	0	0	1	36

(4) *Meloidogyne enterolobii* 侵入調査

- 1) 対象作物：トマト
- 2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	11 月 14 日	トマト	11 月 20 日
合志市 1	無	八代市 1	無
玉名市 1	無	八代市 2	無
玉名市 2	無	八代市 3	無
玉名市 3	無	八代市 4	無

(5) *Columnnea latent viroid* 侵入調査

- 1) 対象作物：トマト
- 2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	7 月 28 日	トマト	8 月 14 日	トマト	8 月 24 日
合志市 1	無	玉名市 1	無	八代市 1	無
—	—	玉名市 2	無	八代市 2	無
—	—	玉名市 3	無	八代市 3	無
—	—	—	—	八代市 4	無

(6) *Pepper chat fruit viroid* 侵入調査

1) 対象作物：トマト

2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	7 月 28 日	トマト	8 月 14 日	トマト	8 月 24 日
合志市 1	無	玉名市 1	無	八代市 1	無
—	—	玉名市 2	無	八代市 2	無
—	—	玉名市 3	無	八代市 3	無
—	—	—	—	八代市 4	無

(7) トマト退緑萎縮ウイロイド侵入調査

1) 対象作物：トマト

2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	7 月 28 日	トマト	8 月 14 日	トマト	8 月 24 日
合志市 1	無	玉名市 1	無	八代市 1	無
—	—	玉名市 2	無	八代市 2	無
—	—	玉名市 3	無	八代市 3	無
—	—	—	—	八代市 4	無

(8) *Tomato apical stunt viroid* 侵入調査

1) 対象作物：トマト

2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	7 月 28 日	トマト	8 月 14 日	トマト	8 月 24 日
合志市 1	無	玉名市 1	無	八代市 1	無
—	—	玉名市 2	無	八代市 2	無
—	—	玉名市 3	無	八代市 3	無
—	—	—	—	八代市 4	無

(9) *Pepino mosaic virus* 侵入調査

1) 対象作物：トマト

2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	11 月 14 日	トマト	11 月 20 日
合志市 1	無	八代市 1	無
玉名市 1	無	八代市 2	無
玉名市 2	無	八代市 3	無
玉名市 3	無	八代市 4	無

(10) *Tomato brown rugose fruit virus* 侵入調査

1) 対象作物：トマト

2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	11 月 14 日	トマト	11 月 20 日
合志市 1	無	八代市 1	無
玉名市 1	無	八代市 2	無
玉名市 2	無	八代市 3	無
玉名市 3	無	八代市 4	無

(11) *Tomato mottle mosaic virus* 侵入調査

1) 対象作物：トマト

2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	11 月 14 日	トマト	11 月 20 日
合志市 1	無	八代市 1	無
玉名市 1	無	八代市 2	無
玉名市 2	無	八代市 3	無
玉名市 3	無	八代市 4	無

(12) *Tomato leaf curl New Delhi virus* 侵入調査

1) 対象作物：トマト

2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	11 月 14 日	トマト	11 月 20 日
合志市 1	無	八代市 1	無
玉名市 1	無	八代市 2	無
玉名市 2	無	八代市 3	無
玉名市 3	無	八代市 4	無

(13) バナナネモグリセンチュウ侵入調査

1) 対象作物：トマト

2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	11 月 14 日	トマト	11 月 20 日
合志市 1	無	八代市 1	無
玉名市 1	無	八代市 2	無
玉名市 2	無	八代市 3	無
玉名市 3	無	八代市 4	無

(14) コロンビアネコブセンチュウ侵入調査

1) 対象作物：トマト

2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	11 月 14 日	トマト	11 月 20 日
合志市 1	無	八代市 1	無
玉名市 1	無	八代市 2	無
玉名市 2	無	八代市 3	無
玉名市 3	無	八代市 4	無

(15) ジャガイモやせいもウィロイド侵入調査

1) 対象作物：トマト

2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	11 月 14 日	トマト	11 月 20 日
合志市 1	無	八代市 1	無
玉名市 1	無	八代市 2	無
玉名市 2	無	八代市 3	無
玉名市 3	無	八代市 4	無

(16) コロラドハムシ侵入調査

1) 対象作物：ばれいしょ

2) 調査結果 (発生の有無)

調査時期	4 月 26 日
八代市 1	無
八代市 2	無

(17) ジャガイモシストセンチュウ侵入調査

1) 対象作物：ばれいしょ

2) 調査結果 (発生の有無)

調査時期	4 月 26 日
八代市 1	無
八代市 2	無

(18) ジャガイモシロシストセンチュウ侵入調査

1) 対象作物：ばれいしょ

2) 調査結果 (発生の有無)

調査時期	4 月 26 日
八代市 1	無
八代市 2	無

(19) ジャガイモがんしゅ病侵入調査

1) 対象作物：ばれいしょ

2) 調査結果 (発病の有無)

調査時期	4 月 26 日	5 月 16 日
八代市 1	無	無
八代市 2	無	無

(20) *Thecaphora solani* 侵入調査

1) 対象作物：ばれいしょ

2) 調査結果 (発病の有無)

調査時期	4 月 26 日	5 月 16 日
八代市 1	無	無
八代市 2	無	無

(21) 火傷病侵入調査

1) 対象作物：なし

2) 調査結果 (発病の有無)

調査時期	4 月 12 日	5 月 10 日
宇城市 1	無	無
宇城市 2	無	無

(22) カンキツネモグリセンチュウ侵入調査

1) 対象作物：トマト

2) 調査結果 (発病の有無)

トマト	11月14日	トマト	11月20日
合志市1	無	八代市1	無
玉名市1	無	八代市2	無
玉名市2	無	八代市3	無
玉名市3	無	八代市4	無

(23) カンキツグリーンング侵入調査

1) 対象作物：かんきつ

2) 調査結果 (発生の有無)

調査時期	5月17日～22日
熊本市1	無
玉名市1	無
宇城市1	無
宇城市2	無
宇城市3	無
芦北町1	無
芦北町2	無

(24) *Spiroplasma citri* 侵入調査

1) 対象作物：かんきつ

2) 調査結果 (発生の有無)

調査時期	8月18日～22日				
熊本市1	無	宇城市1	無	芦北町1	無
熊本市2	無	宇城市2	無	芦北町2	無
熊本市3	無	宇城市3	無	芦北町3	無
熊本市4	無	宇城市4	無	芦北町4	無
玉名市1	無	宇城市5	無	芦北町5	無
玉名市2	無	宇城市6	無	芦北町6	無
玉名市3	無	宇城市7	無	—	—
玉名市4	無	宇城市8	無	—	—

(25) *Xylella fastidiosa* 侵入調査

1) 対象作物：かんきつ

2) 調査結果 (発生の有無)

調査時期	8月18日～22日				
熊本市1	無	宇城市1	無	芦北町1	無
熊本市2	無	宇城市2	無	芦北町2	無
熊本市3	無	宇城市3	無	芦北町3	無
熊本市4	無	宇城市4	無	芦北町4	無
玉名市1	無	宇城市5	無	芦北町5	無
玉名市2	無	宇城市6	無	芦北町6	無
玉名市3	無	宇城市7	無	—	—
玉名市4	無	宇城市8	無	—	—

(26) イネミイラ穂病菌等その他国内未発生 of イネの病害虫侵入調査

1) 対象作物：水稲

2) 調査結果 (発生の有無)

早期	7 月 10 日	早植え	8 月 14 日～24 日		
上天草市 1	無	阿蘇市 1	無	錦町 1	無
上天草市 2	無	阿蘇市 2	無	錦町 2	無
天草市 1	無	阿蘇市 3	無	あさぎり町 1	無
天草市 2	無	阿蘇市 4	無	あさぎり町 2	無
天草市 3	無	山都町 1	無	—	—
天草市 4	無	山都町 2	無	—	—

(発生の有無)

普通期	8 月 17 日～24 日				
熊本市 1	無	山鹿市 1	無	氷川町 1	無
熊本市 2	無	山鹿市 2	無	氷川町 2	無
熊本市 3	無	菊池市 1	無	芦北町 1	無
熊本市 4	無	菊池市 2	無	芦北町 2	無
熊本市 5	無	大津町 1	無	—	—
熊本市 6	無	大津町 2	無	—	—
玉名市 1	無	益城町 1	無		
玉名市 2	無	益城町 2	無		

(27) ヘシアンバエ侵入調査

1) 対象作物：小麦

2) 調査結果 (発生の有無)

調査時期	4 月 12 日
大津町 1	無
大津町 2	無

(28) *Ramlaria collo-cygni* 侵入調査

1) 対象作物：小麦

2) 調査結果 (発生の有無)

調査時期	4 月 12 日
大津町 1	無
大津町 2	無

(29) スイカ果実汚斑細菌病侵入調査

1) 対象作物：メロン、スイカ

2) 調査結果 (発病の有無)

メロン	10月11日	メロン	10月19日
熊本市1	無	山鹿市1	無
熊本市2	無	山鹿市2	無
熊本市3	無	山鹿市3	無
熊本市4	無	山鹿市4	無
熊本市5	無	山鹿市5	無
—	—	山鹿市6	無

(発病の有無)

スイカ	1月29日	スイカ	2月5日
益城町1	無	山鹿市1	無
益城町2	無	山鹿市2	無
益城町3	無	山鹿市3	無
益城町4	無	山鹿市4	無
益城町5	無	山鹿市5	無
—	—	山鹿市6	無

(30) インゲンマメ萎ちょう細菌病菌侵入調査

1) 対象作物：大豆

2) 調査結果 (発生の有無)

調査時期	8月21日
大津町1	無
大津町2	無

(31) ウメ輪紋ウイルス侵入調査

1) 対象作物：うめ

2) 調査結果 (発生の有無)

調査時期	5月10日
宇城市1	無

第3 その他

1 病害虫診断

2 気象概要

3 試験成績書

1 病害虫診断

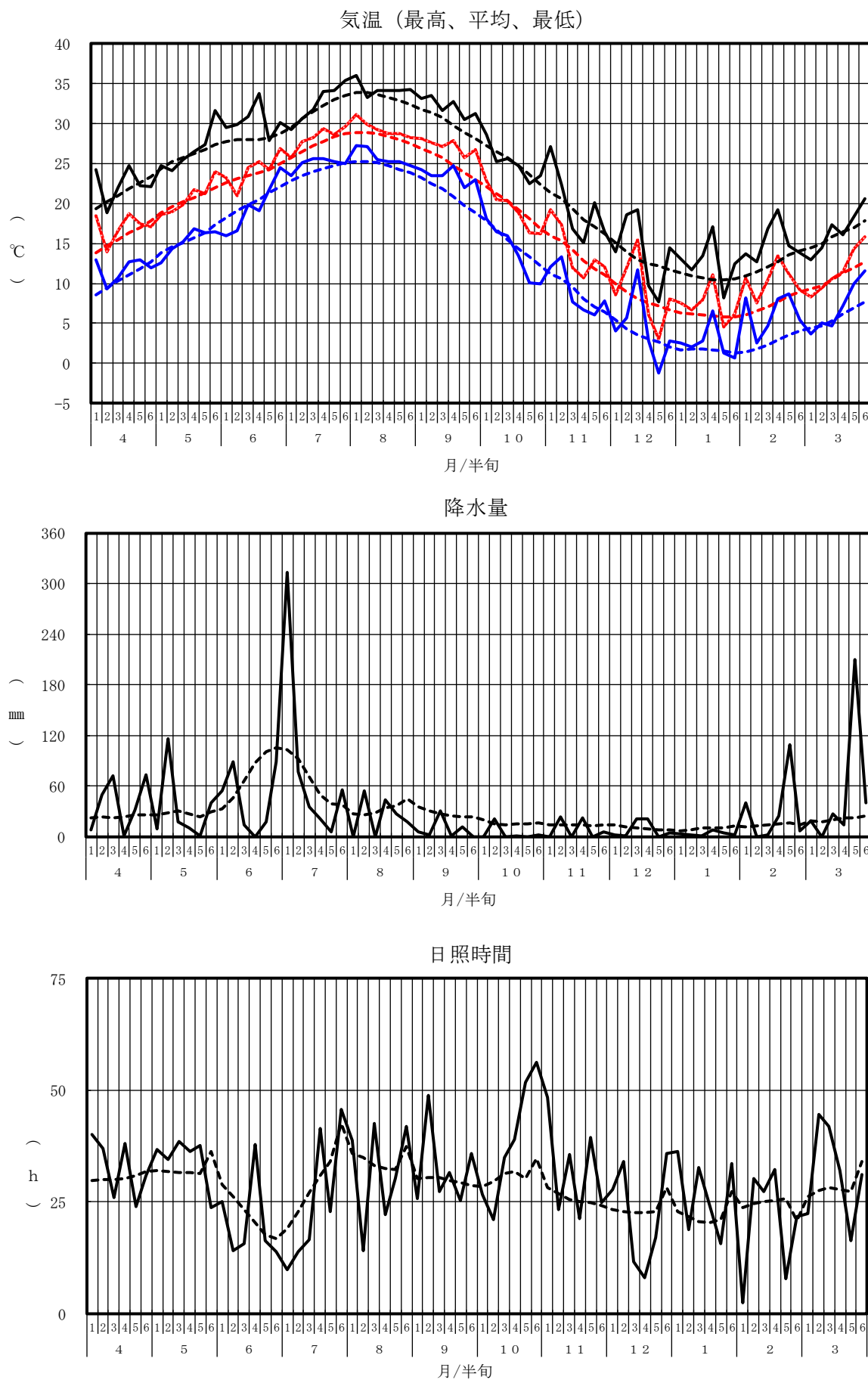
No.	受付 月日	作物名	症状	診断方法等	診断結果
1	4/5	トマト	下位～中位葉の黄化	RT-PCR	黄化病（ToCV 陽性）
2	4/13	ニラ	葉の先端の枯れ、葉に白い紡錘状斑	菌分離	不明
3	4/14	ミニトマト	下位葉の黄化	RT-PCR	黄化病（ToCV 陽性）
4	4/24	コムギ	下葉の枯れ	現地確認	枯れ熟れ症
5	4/18	スターチス	萎凋、根の腐敗、枯死	菌分離、仏ノストリップ [®]	不明
6	5/8	ガーベラ	葉が赤黒く変色、生育不良、枯死	分離	半身萎凋病
7	5/1	イネ	黒い粃	検鏡	墨黒穂病
8	5/22	トルコギキョウ	葉にぶつぶつ、茎の割れ	糸状菌分離、細菌分離	不明
9	5/29	トマト	上位葉の黄化～枯死	イムノストリップ [®]	黄化えそ病
10	5/30	ナシ	葉の火ぶくれ症	法政大学へ同定依頼	ナシハモグリダニ（仮称）
11	5/12	ミカン	キクイムシ穿孔痕	森林総研へ同定依頼	Scolytotus sinensis
12	6/8	ホオズキ	ハウ枯れ	糸状菌分離	不明
13	6/13	トマト	茎（髓）の黒変	細菌分離・PCR	茎えそ細菌病
14	6/16	トルコギキョウ	立ち枯れ	分離、フザリウム選択培地	立枯病
15	6/21	キク	茎のえそ	RT-PCR	えそ病、茎えそ病
16	7/4	キャベツ	淡黄褐色の病斑	検鏡、細菌分離、API	不明
17	7/4	メロン	葉の黄化、モザイク、萎縮	イムノ、RT-PCR、接種	退緑黄化病（CCYV 陽性）
18	7/13	キク	茎の黒変、枯死、葉の枯れ	糸状菌分離	フザリウム立枯病、萎凋病
19	7/21	ミニトマト	葉枯、白化	菌分離、生育観察	病害ではない
20	7/31	キク	黒変	糸状菌・細菌分離、PCR	立枯病
21	8/3	スイカ	葉の色抜け、萎縮	RT-PCR	退緑黄化病（CCYV 陽性）
22	8/7	ミニトマト	新葉の黄化、萎縮など	RT-PCR	黄化葉巻病（TYLCV 陽性）
23	8/17	キュウリ	成長点の芯止まり、新葉の退色	RT-PCR	不明（MYSV 陰性）
24	8/21	カスミソウ	株全体の萎凋	菌・細菌分離、API	不明
25	8/21	ミニトマト	新葉の萎縮	PCR	不明（TYLCV 陰性）
26	8/30	トマト	葉の斑点	細菌分離、API	斑点細菌病
27	9/5	カンショ	地際の褐変	検鏡、LAMP	サツマイモ基腐病
28	9/6	ナス	萎凋、葉の黄化、茎の褐変	菌分離、生体接種	褐紋病
29	9/14	ミニトマト	新葉の萎縮	PCR	黄化葉巻病（TYLCV 陽性）

No.	受付 月日	作物名	症状	診断方法等	診断結果
30	9/25	カンショ	地際の褐変	LAMP	サツマイモ基腐病
31	9/25	カンショ	地際の褐変	LAMP	サツマイモ基腐病
32	9/25	トマト	ガ類の発生	形態観察	不明（トマトキバガではない）
33	9/25	カンショ	地際の褐変、塊茎の腐敗	LAMP	サツマイモ基腐病
34	10/3	カンショ	茎の変色、イモの腐敗	LAMP	サツマイモ基腐病
35	10/12	スイカ	葉脈の白化、果皮のまだら	PCR	Potyvirus（WMVの可能性）
36	10/4	ミニトマト	成長点の萎縮	PCR	不明（TYLCV 陰性）
37	10/10	カンショ	イモの腐敗	LAMP	不明（サツマイモ基腐病ではない）
38	10/13	カンショ	地際の褐変	LAMP	サツマイモ基腐病
39	10/13	カンショ	地際の褐変	LAMP	サツマイモ基腐病
40	10/23	トマト	下葉の黄化	PCR	不明（ToCV 陰性）
41	10/24	トマト	地際の褐変、下葉の黄化	菌分離、フザリウム 選択培地	株腐病（由来は不明）
42	10/24	カンショ	茎の枯れ、芋の腐敗	LAMP	サツマイモ基腐病
43	10/26	カンショ	茎の枯れ、芋の腐敗	LAMP	サツマイモ基腐病
44	10/26	カンショ	茎の枯れ、芋の腐敗	LAMP	サツマイモ基腐病
45	11/8	ミニトマト	葉の黄化	PCR	不明（ToCV 陰性）
46	11/1	カンショ	地際部の変色、枯死、芋腐敗	LAMP	サツマイモ基腐病
47	11/2	カンショ	地際部の変色、枯死、芋腐敗	LAMP	サツマイモ基腐病
48	11/1	カンショ	地際部の変色、腐敗	LAMP	不明（サツマイモ基腐病ではない）
49	10/26	カンショ	茎の変色、腐敗	LAMP	サツマイモ基腐病
50	11/7	カンショ	芋の腐敗	LAMP、菌分離	サツマイモ基腐病
51	11/8	カンショ	茎の変色	LAMP	サツマイモ基腐病
52	11/8	カンショ	茎の変色	LAMP	サツマイモ基腐病
53	11/8	カンショ	地際部の変色、枯死	LAMP	不明（サツマイモ基腐病ではない）
54	11/15	カンショ	地際の変色、芋の腐敗	LAMP	サツマイモ基腐病
55	11/28	ズッキーニ	果実の凹凸	RT-PCR、汁液接種	不明
56	11/24	ニラ	植物体の湾曲、フシダニの寄生	同定依頼	フシダニ科の一種（栃木県 と同種）
57	11/30	ハウレンソウ	葉の黄化、新葉の萎縮・奇形	RT-PCR	モザイク病（CMV）
58	11/30	ハウレンソウ	葉の黄化、新葉の萎縮・奇形	RT-PCR	モザイク病（CMV）
59	12/6	カンショ	地際部の枯死、塊根の腐敗	LAMP	サツマイモ基腐病

No.	受付 月日	作物名	症状	診断方法等	診断結果
60	12/4	カンショ	地際部の枯死、塊根の腐敗	LAMP	サツマイモ基腐病
61	1/15	ミニトマト	茎頂からの萎れ	分離	Pythium 属菌による病害
62	1/16	トルコギキョウ	根の褐変、苗の枯死	分離	青かび根腐れ病
63	1/29	オオムギ	葉枯れ、不整形の病斑	菌分離	Epicoccum
64	1/29	イチゴ	カメムシ類の発生	形態観察	ヒメナガカメムシ
65	2/1	ホオズキ	水浸状に枯れる	分離	Sclerotinia sclerotiorum
66	1/31	ミニトマト	上位葉の糸葉状の奇形	RT-PCR	黄化葉巻病（TYLCV 陽性）
67	2/21	ソラマメ	上位葉の萎縮、葉脈間の黄化	RT-PCR、汁液接種	不明
68	3/18	ゴボウ	生育不良	菌分離	不明
69	3/1	トルコギキョウ	葉の黄化、枯死	菌分離	菌核病
70	3/8	タマネギ	葉に白い斑点	菌分離	小菌核病
71	3/11	アスパラガス	生育不良、腐敗	分離	立枯病
72	3/12	スイカ	害虫の食害	形態観察	不明
73	3/21	アリウム	立ち枯れ	菌分離	不明
74	3/26	スイカ	地際の腐敗	菌分離	不明
75	3/25	トルコギキョウ	ダニ類の発生	形態観察	不明（ネダニではない）
76	3/27	コムギ	地際の黒変、株の枯死	分離	黒節病
77	3/27	ハウレンソウ	葉の黄化、萎縮	イムノストリップ	モザイク病（CMV）

2 気象概要

熊本市の気温、降水量、日照時間の推移（実線：本年、点線：平年値）



3 試験成績

令和5年度病害虫の効率的防除体制の再編委託事業 試験成績書

熊本県農業研究センター生産環境研究所

1. 試験目的

水稻の最重要害虫であるトビイロウンカについては、白熱電球を使用した予察灯への誘殺数の推移及びほ場内での払い落とし調査による発生状況の把握を基に、移植後の薬剤による防除の必要性判断と最適な時期を予察することによって、費用対効果の最大化と環境への負荷軽減が図られている。

しかし、これらの調査法は類似のウンカ類との識別に熟練を要する。また、既存の予察灯は電源を必要とする固定機材であるため、更新・移設の必要に際してモニタリングに適した場所の選定や維持管理上の制限条件が多い。現在使用している白熱電球は、大手メーカーの生産中止により、今後入手困難となることが確実視される。

そこで、飛来性害虫等を対象に、独立電源（太陽光パネル）を備え、LED を光源とし、かつ自動識別機能を有する害虫モニタリングシステム（以下、LED システム）と現行の予察灯等（以下、現行予察灯）と比較し、捕獲精度等の検証を行った。

2. LED システムの設置場所

熊本県合志市栄

（熊本県農業研究センター内水稻ほ場付近）

比較対象として、約350m離れた地点に60W白熱電球を光源とする予察灯（MT-7-N、（株）池田理化製）を設置。

3. 調査期間

2023年5月13日から10月末まで

4. 調査内容

・ウンカ類（トビイロウンカ、セジロウンカ、ヒメトビウンカ）の誘殺数

2023 年 5 月 13 日から 10 月末まで、日毎に両試験区のウンカ類誘殺数を計数した。また、6 月 12 日から 10 月末まで、約 10 日毎に近隣の無防除栽培において払い落とし調査（60 株）を行い、ほ場中のウンカ類の寄生密度を成・幼虫別に計数し、予察灯誘殺数との関係性の強弱を比較した。

・画像の目視識別

撮影画像を目視で識別・計測し、同システムの識別精度を検証した。

・ウンカ類の識別精度

夏季期間中に人工気象室内で飼育した各種長翅型成虫を LED システムの機材吸引口に投入する。投入数に対するシステムの自動判別による計数結果から、虫体の認識率及び正答率を算出した。

・ウンカ類以外の水稻害虫への適用性

ウンカ類以外の現行予察灯で調査実績のある発生予察対象種（ツマグロヨコバイ等）についても、誘殺数の計測や払い落とし調査を実施した。

5. 調査結果

＜調査1 ウンカ類（トビイロウンカ、セジロウンカ、ヒメトビウンカ）の誘殺数およびウンカ類以外の水稻害虫への適用性＞

1) 調査の目的

ウンカ類並びに調査可能な種について、現行予察灯における発生消長との比較を行った。

2) 調査方法

（1）調査地点：図1

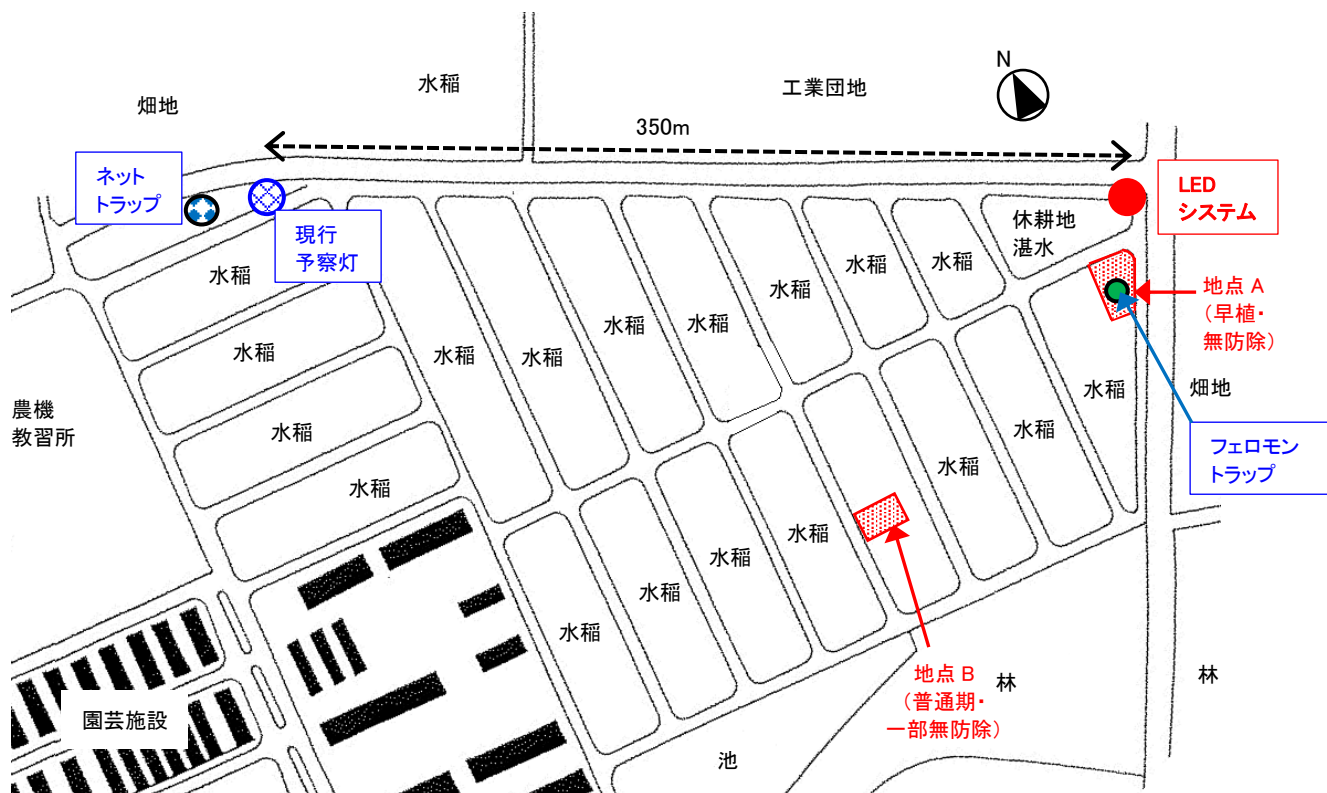


図1 調査機材と調査ほ場の配置

(2) 調査機材

- ・LEDシステム (RYNAN Co., Ltd.) 光源：LED 4色 (白、青、緑、UV)
- ・現行予察灯 (株) 池田理化 MT-7N) 光源：60W 白熱電球
- ・ネットトラップ：約 10mの高さに網口の直径約 1 mのネットを設置
- ・フェロモントラップ：コブノメイガ用コーントラップ、地点 A のほ場内 2 箇所に設置

(3) 調査対象

- ・ウンカ類 (トビイロウンカ、セジロウンカ、ヒメトビウンカ)
- ・その他現行予察灯で調査実績のある発生予察対象種 (ツマグロヨコバイ、コブノメイガ、ミナミアオカメムシ)

(4) 調査機材における誘殺消長調査

- ・LEDシステムは同日の 0 時～6 時までと 18 時～24 時までの総数 (後夜分+前夜分) を当日分とし、現行予察灯は前日の 18 時～翌 6 時まで (1 夜分) を当日分として計数した。ただし、LEDシステムは、試験開始～7 月 31 日まで、周囲が暗くなるまで点灯しない設定であり、また設定時間のエラーにより不定期に 16～4 時に点灯していた。
- ・LEDシステム内部カメラの背景は、7 月 31 日に金網から白バックへ変更した。
- ・LEDシステムの光源は、4 色点灯 (白、青、緑、UV) の自動モードで実施した。
- ・現行予察灯は、5 月 13 日に稼働。また、計器の故障により 8 月 11 日～9 月 19 日のデータが欠測した。
- ・フェロモントラップは、6 月 2 日に設置。また、台風接近による撤去のため、8 月 9～10 日分は欠測した。

(5) 近隣ほ場の害虫密度調査

近隣の無防除水稻について、払落し (60 株) により、ウンカ類 (トビイロウンカ、セジロウンカ、ヒメトビウンカ) とツマグロヨコバイの寄生密度を成・幼虫別に計数した。

- ・調査日 6 月 12, 22, 29 日、7 月 11, 20 日、8 月 1, 8, 21, 31 日、9 月 13, 20 日 (地点 A)
7 月 4, 18, 31 日、8 月 15, 29 日、9 月 12, 27 日 (地点 B)
- ・地点 A 移植日：5 月 12 日、品種：くまさんの輝き、無防除
- ・地点 B 移植日：6 月 15 日、品種：ヒノヒカリ、30 a ほ場の無防除区画

3) 調査結果および考察

本試験では、LED システムにおいて、調査期間中に 35 種が計測され、総誘殺数、誘殺日数ともにトビイロウンカが最も多かった（表 1）。設置周辺の水稲で発生が多い 6 種（トビイロウンカ、セジロウンカ、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイ、ミナミアオカメムシ、コブノメイガ）について、発消長を図 2～4、6、7、9 に、払落し調査の結果を表 2～5 に示した。

表 1 各機材で計数された昆虫の種類別誘殺実績
(LED システム・現行予察灯：2023 年 5 月 13 日～8 月 10 日、9 月 20～10 月 31 日
フェロモントラップ：2023 年 6 月 2 日～8 月 8 日、8 月 11 日～9 月 22 日)

LEDシステムで識別可能な昆虫の種類	LEDシステム		現行予察灯		フェロモントラップ*	
	誘殺数	誘殺日数	誘殺数	誘殺日数	誘殺数	誘殺日数
トビイロウンカ	664	64	169	24	-	-
セジロウンカ	173	51	653	43	-	-
ヒメトビウンカ	-(※1)	-	206	34	-	-
ツマグロヨコバイ	650	70	132	59	-	-
ミナミアオカメムシ	74	30	45	33	-	-
クサギカメムシ	3	3	17	12	-	-
チャバネアオカメムシ	3	3	44	28	-	-
コブノメイガ/イネツトムシ	167	33	-	-	17	-
シロオビノメイガ	331	30	-	-	-	-
イナズマヨコバイ	174	60	-	-	-	-
タバコカスミカメ	156	63	-	-	-	-
ハナバチ	102	7	-	-	-	-
アオバアリガタハネカクシ	99	28	-	-	-	-
Hydrophilus triangularis	87	37	-	-	-	-
アオドウガネ	65	19	-	-	-	-
ゴマフガムシ	43	16	-	-	-	-
カタグロミドリカスミカメ	29	17	-	-	-	-
タイワンクチヘリカメムシ/ミナミアオカメムシ/ホソヘリカメムシ	21	12	-	-	-	-
ユスリカ	18	16	-	-	-	-
コオロギ	12	10	-	-	-	-
コカクモンハマキ	12	8	-	-	-	-
イネヨトウ	11	11	-	-	-	-
ミカンコミバエ※2	10	8	-	-	-	-
チャノコカクモンハマキ	7	6	-	-	-	-
ハスモンヨトウ	6	5	-	-	-	-
エビガラスズメ	5	4	-	-	-	-
テントウムシ/テントウムシ	4	2	-	-	-	-
イネツトムシ	3	3	-	-	-	-
モモノゴマダラノメイガ	2	2	-	-	-	-
ホソヘリカメムシ	2	2	-	-	-	-
ケラ	1	1	-	-	-	-
クビナガゴミムシ	1	1	-	-	-	-
トンボ	1	1	-	-	-	-
ナシヒメシンクイ	1	1	-	-	-	-
リンゴコカクモンハマキ	1	1	-	-	-	-
シロミズメイガ	0	0	-	-	-	-

※1：画像識別はされていた（図 5）が、誘殺実績については項目が無かったため、システム上の原因により、カウントされていない可能性がある。

※2：識別画像について目視で確認したが、全て誤識別であった。

(1) トビイロウンカ

・初誘殺は、LED システムが 5 月 21 日、現行予察灯が 7 月 2 日と差が見られた。ネットトラップでは 9 月 20 日に初誘殺されており、初飛来を観測できなかった。現行予察灯及びネットトラップでは、ニセトビイロウンカやトビイロウンカモドキが 5 月末頃から誘殺されていた（データ略）ため、LED システムによる 5 月の観測はこれらを誤識別した可能性がある。

・LED システムの誘殺数については、過大評価されている可能性が高く（後述）、現行予察灯と比較

した誘引性の優劣については判然としなかった。

・発消長については、現行予察灯の誘殺数及び払落し調査の頭数が少なかったため、発生初期の誘殺数の増加は過大評価された可能性がある。しかし、9月上旬から中旬の増加（地点Aの払落し調査との比較）、9月中旬から下旬の増加（地点Bの払落し調査との比較）、9月下旬から10月上旬の減少（現行予察灯との比較）については概ね一致しており、栽培後半の急増する時期における消長の把握については、臨機防除の是非や時期判断に活用できる可能性がある（表2、図2）。

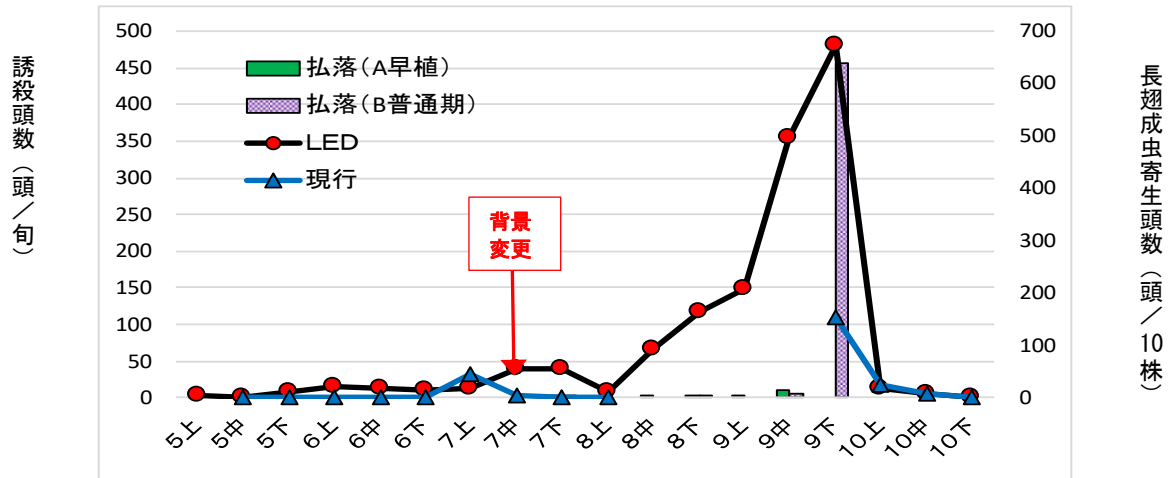


図2 トビイロウンカの誘殺消長と近隣ほ場の寄生密度(長翅型成虫)との関係

表2 近隣の無防除田(地点A・B)におけるトビイロウンカ寄生密度(頭/10株)

調査ほ場・作型	ステージ	調査日																		
		6/12	6/22	6/29	7/4	7/11	7/18	7/20	7/31	8/1	8/8	8/15	8/21	8/29	8/31	9/12	9/13	9/20	9/27	
地点A・早植え	成虫	長翅	0	0	0		0		0		0	0		0		1		1	15	
		短翅	0	0	0		0		0		0	2		1		9				
	幼虫	老齢	0	0	0		0		0		0	3		3		8		47		
		中齢	0	0	0		0		0		0	7		4		27		39		
		若齢	0	0	0		0		0		0	9		14		130		46		
地点B・普通期	成虫	長翅			0		0		0		0		3		6			638		
		短翅			0		0		0		1		28		8			4		
	幼虫	老齢			0		0		1		0		35		6			2947		
		中齢			0		0		1		9		33		33			743		
		若齢			0		0		0		34		31		662			240		
(参考) LEDシステム誘殺数		3	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	8	19	8	29	19	26	12	

(2) セジロウンカ

・初誘殺は、LEDシステムが5月21日、現行予察灯が6月10日、またネットトラップでは5月12日と差が見られた（データ略）。

・7月上旬の誘殺数は、現行予察灯がLEDシステムよりも多かった。この時期はLEDシステムがバージョンアップ前で、光源の点灯開始時間が設定の18:00より遅かったと推測され、日没後の点灯の有無が誘殺数に影響した可能性が考えられる。その他の期間については概ね同等の誘殺数であった。しかし、トビイロウンカ同様、誘殺数については過大評価されている可能性が高く（後述）、誘引効果の優劣については判然としなかった。払落し調査については、成虫はほとんど観測されなかった（図3、表3）。

・発消長については、6月下旬から7月中旬にかけての増減が観測できていた（図3）。また、近隣ほ場での寄生密度が低い9月中旬でもピークが確認できたが、これは過大評価によるものであった（後述）。

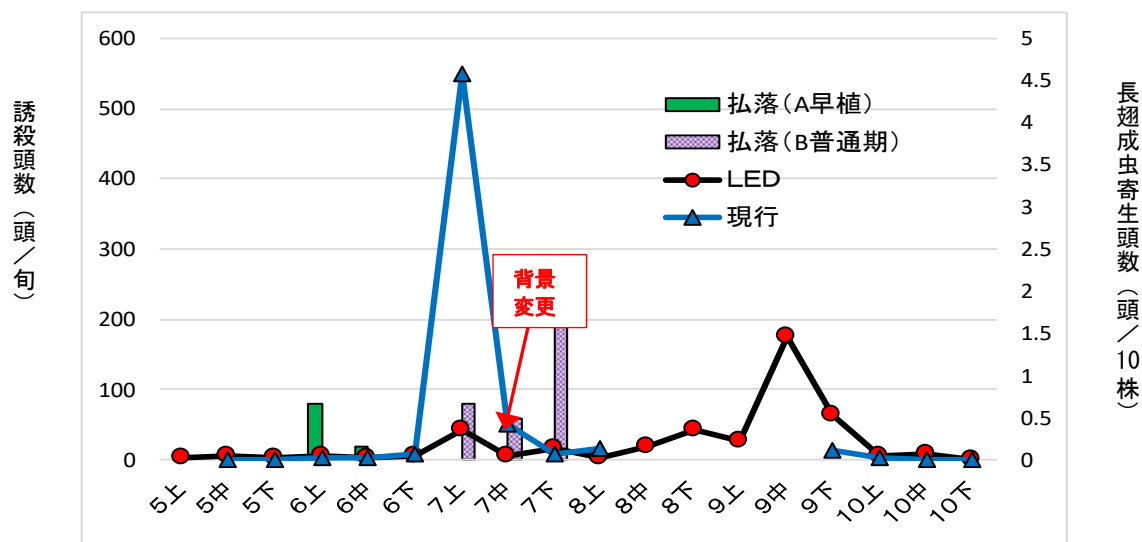


図3 セジロウシカの誘殺消長と近隣ほ場の寄生密度(長翅型成虫)との関係

表3 近隣の無防除田(地点A・B)におけるセジロウシカ寄生密度(頭/10株)

調査ほ場・作型	ステージ	調査日																		
		6/12	6/22	6/29	7/4	7/11	7/18	7/20	7/31	8/1	8/8	8/15	8/21	8/29	8/31	9/12	9/13	9/20	9/27	
地点A・早植え	成虫	長翅	1	0	0		0		0		0	0		0		0		0	0	0
		短翅	0	0	0		0		0		0	0		0		0		0		
	幼虫	老齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		中齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1				0	0	0		
		若齢	0	1	1	1		2	1	1	1		2			2	2			
地点B・普通期	成虫	長翅			1		1		2		0		0		0		0		0	
		短翅			0		0		0		0		0		0		0			
	幼虫	老齢	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
		中齢	0	0	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0						
		若齢	0	0	16	0	3	1	0	0										
(参考) LEDシステム誘殺数		1	1	2	3	1	0	1	0	0	0	0	2	12	4	10	2	1	1	

(3) ヒメトビウシカ

・現行予察灯の誘殺数と払落し調査の結果について図4と表4に示したが、LEDシステムの誘殺数が確認できず、現行予察灯との比較はできなかった。現行予察灯では6月中旬から7月中旬にかけて誘殺数が増加しており、払落し調査でも発生は確認された。画像上では識別されていることを確認しているため(図5)、システムの仕様の問題と考えられ、他の昆虫種と同様に実績が確認できるように仕様を変更する必要がある。

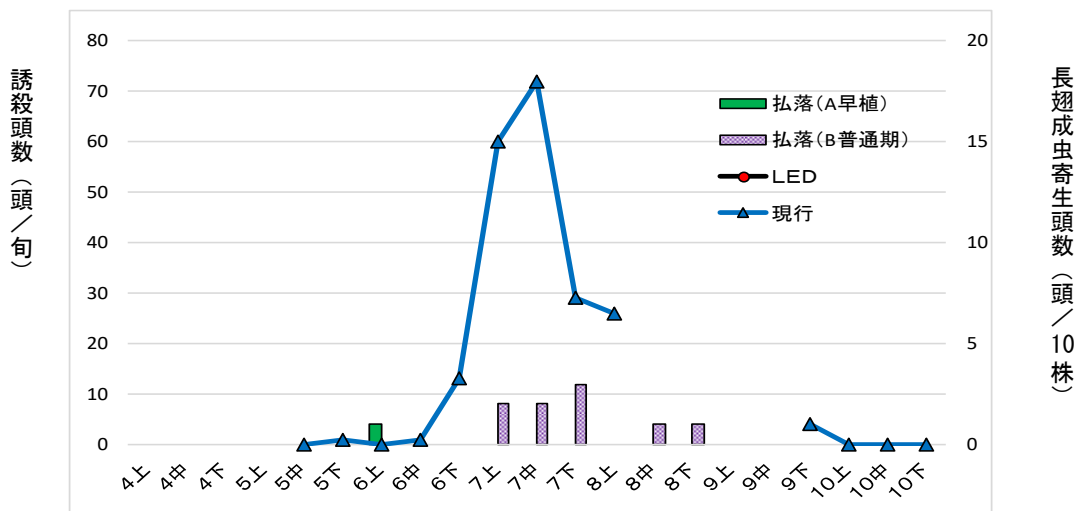


図4 ヒメトビウシカの誘殺消長と近隣ほ場の寄生密度(長翅型成虫)との関係

表4 近隣の無防除田(地点A・B)におけるヒメトビウンカ寄生密度(頭/10株)

調査ほ場・作型	ステージ	調査日																		
		6/12	6/22	6/29	7/4	7/11	7/18	7/20	7/31	8/1	8/8	8/15	8/21	8/29	8/31	9/12	9/13	9/20	9/27	
地点A・早植え	成虫	長翅	1	0	0		0		0		0	0		0		0		0	0	
		短翅	0	0	0		0		0		0	0		0		0		0	0	
	幼虫	老齢	0	0	0		0		1		0	1		1		0		1	2	
		中齢	0	0	0		0		1		1	1		1		0		4	1	
		若齢	0	1	0		1		2		2	7		1		1		10	1	
地点B・普通期	成虫	長翅				2		2		3		1		1		0			0	
		短翅				0		0		4		2		3		1				
	幼虫	老齢				0		0		6		2		2		2			2	
		中齢				0		1		3		9		2		2			2	
		若齢				0		59		4		7		1		1				

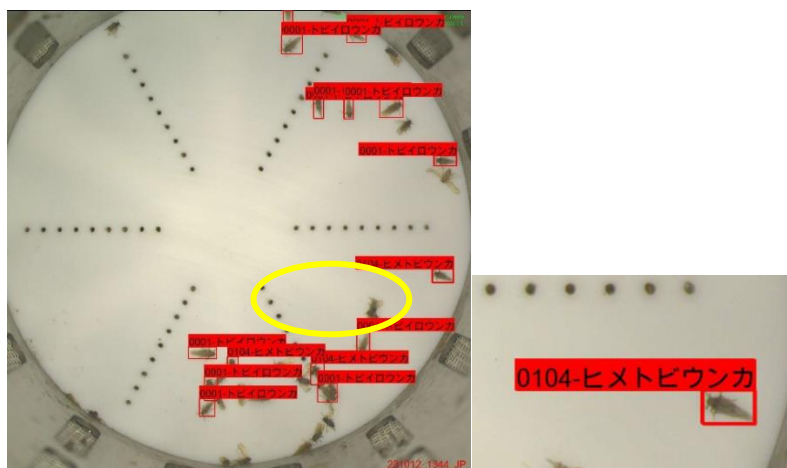


図5 ヒメトビウンカと識別された画像(10月19日撮影)

(4) ツマグロヨコバイ

・誘殺数の優劣は時期によって異なり、ピーク時(現行予察灯:7月中旬・8月上旬、LEDシステム:8月上旬)はLEDシステムの方が明らかに多かった(図6)が、これはトビイロウンカ、セジロウンカと異なり、過大評価によるものではなかった(後述)。

・発消長は、現行予察灯では6月下旬から7月中旬にかけて増加しているのに対し、LEDシステムでは7月下旬から8月上旬にかけて増加しており一致していない。しかし、背景の変更で識別精度が向上した可能性を考慮すると、現行予察灯は7月中旬と8月上旬の誘殺数が同程度でピークが不明瞭であるのに対し、背景変更後のLEDシステムは8月上旬に明確なピークを観測しており、発生量の多い時期では現行予察灯より発生量の把握に優位な可能性がある(図6)。なお、払落し調査では、早植えの地点Aは6月上旬から6月下旬にかけて増加し、現行予察灯ともLEDシステムとも一致していないが、普通期の地点Bでは増減がLEDシステムと概ね一致していた。これは、周囲の水田は地点B以外ほとんど普通期の水田であることを考慮すると、ツマグロヨコバイは作型の違いによる発生への影響が大きい可能性が考えられた(図6、表5)。

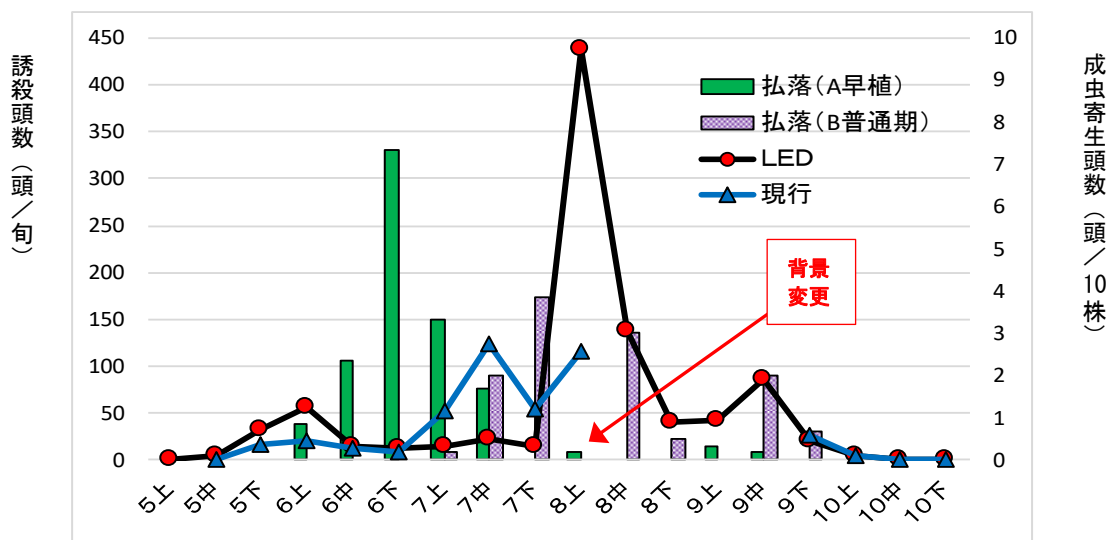


図6 ツマグロヨコバイの誘殺消長と近隣ほ場の寄生密度(成虫)との関係

表5 近隣の無防除田(地点A・B)におけるツマグロヨコバイ寄生密度(頭/10株)

調査ほ場・作型	ステージ	調査日															
		6/12	6/22	6/29	7/4	7/11	7/18	7/20	7/31	8/1	8/8	8/15	8/21	8/29	8/31	9/12	9/13
地点A・早植え	成虫	1	2	7		3		2		0	0		0		0	0	0
	幼虫	8	12	48		14		4		2	2		2		0	1	1
地点B・普通期	成虫				0		2		4			3		1		2	
	幼虫				3		21		20			4		7		10	
(参考) LEDシステム誘殺数		1	0	1	0	0	3	6	1	0	0	0	6	6	0	6	4

(5) ミナミアオカメムシ

・誘殺数については、上記のツマグロヨコバイと同様に、時期によって優劣が異なり、背景変更前の7月下旬を除くピーク時はLEDシステムの方が多かった。また、発消長については、6月中旬から7月下旬にかけての増減が両予察灯とも概ね一致しているが、7月下旬から8月上旬、9月下旬から10月上旬は、LEDシステムの誘殺数が多く、一致しなかった(図7)。これらの原因として、カメムシ類等の大型昆虫は、壁面に張り付く力が強く、LEDシステムでは一個体を複数回カウントした例を確認しており、正確な誘殺数をカウントできなかった可能性が考えられる(図8)。

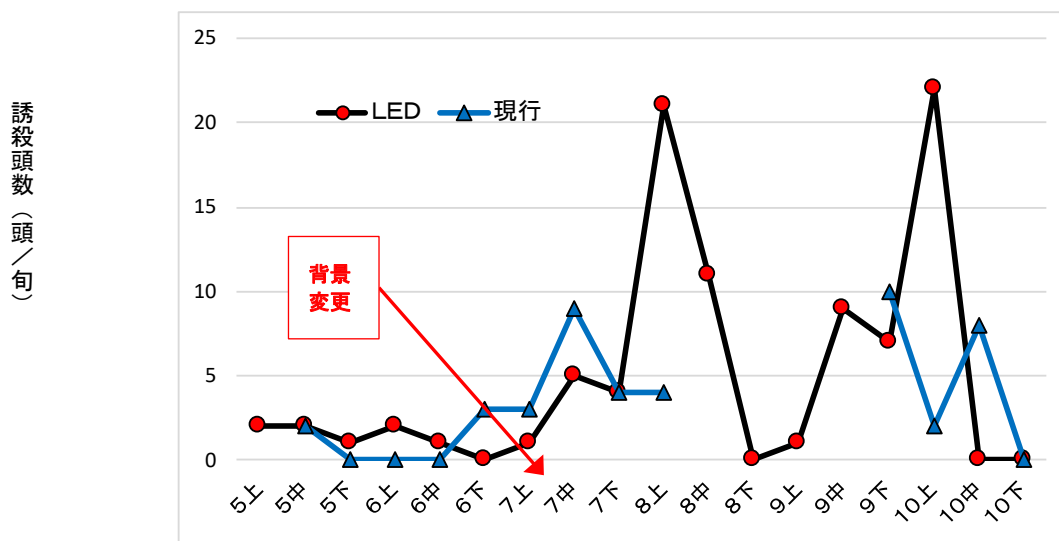


図7 ミナミアオカメムシの誘殺消長

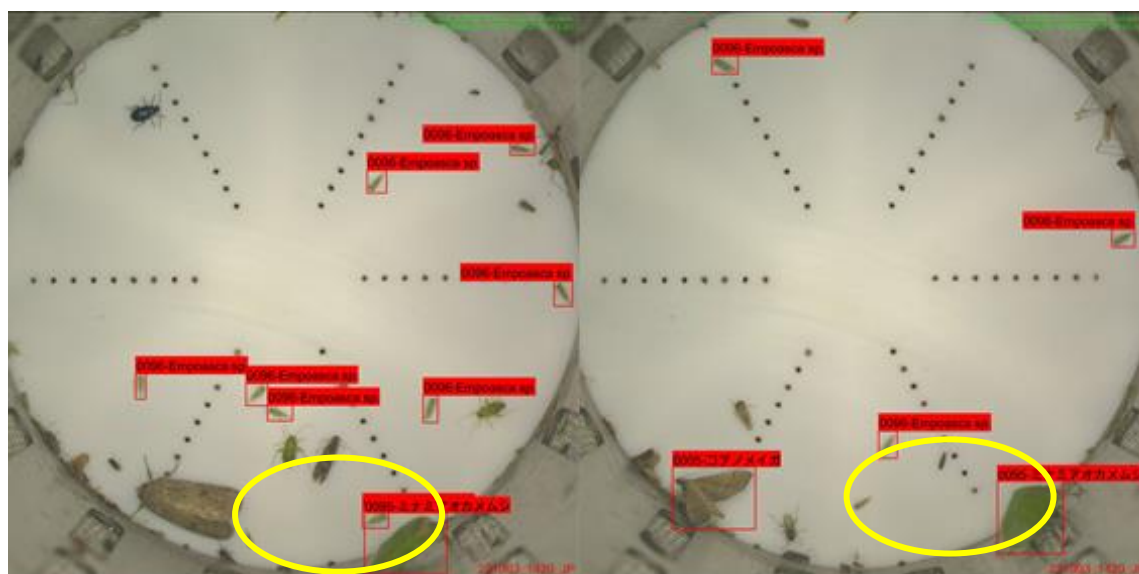


図8 複数回カウントされた同一個体と考えられるミナミアオカメムシ
(左: 10月3日 21:11撮影、右: 10月3日 22:11撮影) ※丸囲み: 同個体

(6) コブノメイガ／イネツトムシ

・地点Aの水田内に設置したフェロモントラップ（6月2日設置）と比較すると、誘殺数は、背景変更前の7月上旬を除いてLEDシステムがフェロモントラップより多かった（図9）。しかし、コブノメイガの誘殺数については過大評価されている可能性が高く（後述）、誘引効果の優劣については判然としない。

・発消長は、8月下旬から9月中旬の増減が一致したが、その他の期間では一致しなかった。また、コブノメイガの飛来日からの予測では、8月上旬と9月上旬が発蛾最盛期であったが、LEDシステムの誘殺数はイネツトムシが含まれていなかったため、過大評価であり、誘殺は見られなかった（後述）。また、フェロモントラップでも8月上旬には誘殺がなかった（2日間データが欠測しているが、その前後日も誘殺がなかった）が、その要因は不明であった。

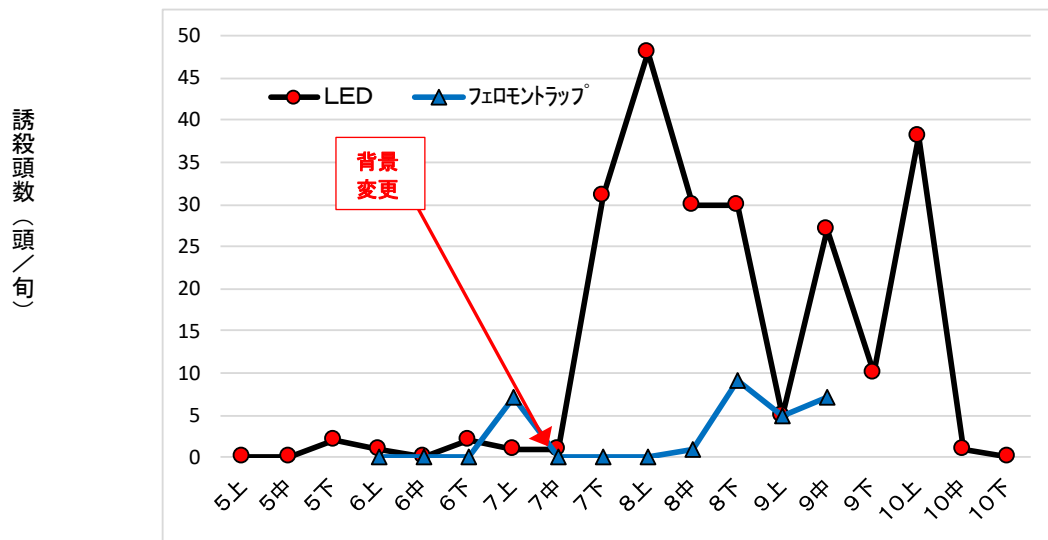


図9 コブノメイガの誘殺消長

※LEDシステムはイネツトムシとの合計

※フェロモントラップは2基分の合計。

<調査2 取得画像の目視識別による識別能力の評価>

1) 調査の目的

撮影画像を目視で識別・計測し、同システムの識別能力を検証する。

2) 調査方法

(1) 調査対象

ウンカ類（トビイロウンカ、セジロウンカ、ヒメトビウンカ）※1、

ツマグロヨコバイ、ミナミアオカメムシ、コブノメイガ、イネツトムシ※2

※1 ウンカ類については、画像のみでの識別は困難だったため、疑義虫として計測した。また、ミナミアオカメムシとアオクサカメムシについても判別が困難であったため、同一虫として計測した。

※2 コブノメイガと合算してカウントされるイネツトムシについては、本調査では確認されなかった。

(2) 調査方法

調査1の2023年8～9月における計61日分の撮影画像（2709枚）について、調査対象の誘殺数を目視で識別・計測し、LEDシステムの自動識別による計数結果と比較した。

(3) 結果および考察

目視識別とLEDシステムによる識別の結果を表6に示した。

昆虫種ごとの認識率（その昆虫種として認識した割合）はいずれも約85～100%と高かったが、正解率（目視とLEDシステムの判定が一致した割合）については、虫種によって差が見られた。

ウンカ類とコブノメイガについては、誤識別が頻発したことで正解率は0～約7%と低かった。誤識別される対象としては、ウンカ類は体色の似たヨコバイ類や他のウンカ類、コブノメイガについて

は他の蛾類が主であった（図 10）。なお、コブノメイガは背景に残った汚れや虫体の一部を誤識別した（図 11）割合が全体の約 21%を占めており、背景の清掃能力を向上させることで、正解率も向上する可能性がある。また、トビイロウンカ、セジロウンカ、コブノメイガについては、目視識別でその虫種と認められた個体は、LED システムでも全て正しく識別されていたため、本調査の条件では似た形態を持つ虫が多数誘殺されることで、正解率が低下していると考えられた。ヒメトビウンカについては、目視でヒメトビウンカと識別した個体が、LED システムでは全てトビイロウンカやセジロウンカとして識別されており（図 10）、システム自体の識別精度を向上させる必要がある。

ツマグロヨコバイとミナミアオカメムシについては、正解率は約 85～88%で比較的高かった。ウンカ類と比べて正解率が高い要因としては、ミナミアオカメムシは体サイズが大きく形態を判別しやすいこと、ツマグロヨコバイは特徴的な体色等の形態を有していることで、誤識別が起こりづらいためと考えられる。しかし、ミナミアオカメムシはツヤアオカメムシ、ツマグロヨコバイは他のヨコバイ類と誤識別される（図 10）ため、似た形態を持つ虫が多く誘殺される条件下では留意する必要がある。なお、ツマグロヨコバイについては、1 枚で約 100 頭を目視識別した画像でも LED システムの識別数は目視識別とほぼ同数であった事例があり（データ略）、誘殺数が多い条件でも高い識別能力が認められた。

表 6 各調査対象における目視確認および LED システム識別による計測結果

虫種	(調査対象の) 認識数	(虫体としての) 非認識数	認識率 (%)	正解数	不正解数	正解率 (%)
トビイロウンカ	1080	0	100.0	78	1002	7.2
セジロウンカ	319	0	100.0	19	300	6.0
ヒメトビウンカ	7	0	100.0	0	7	0.0
ツマグロヨコバイ	744	81	90.2	633	111	85.1
ミナミアオカメムシ	64	11	85.3	47	6	88.7
コブノメイガ	158	0	100.0	2	156	1.3

※認識率 (%) = 認識数 / (認識数 + 非認識数) × 100

※正解率 (%) = 正解数 / (正解数 + 不正解数) × 100

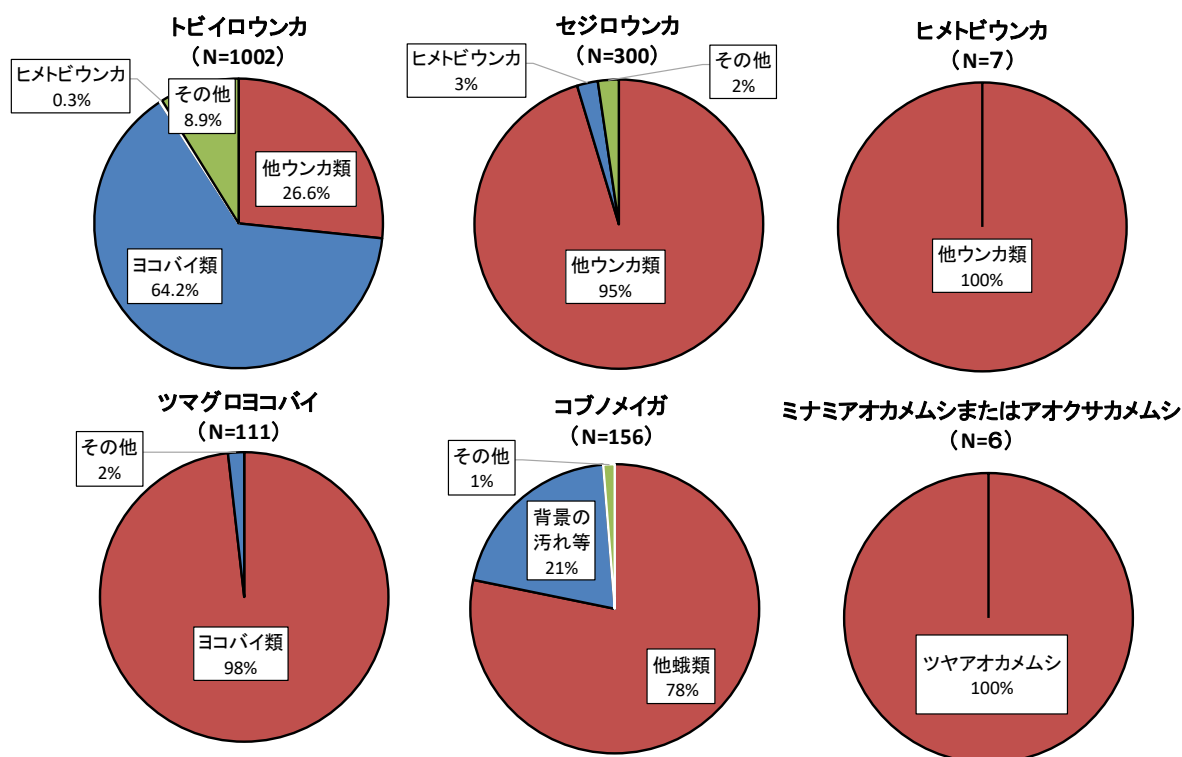


図 10 システムが誤識別した虫種の内訳

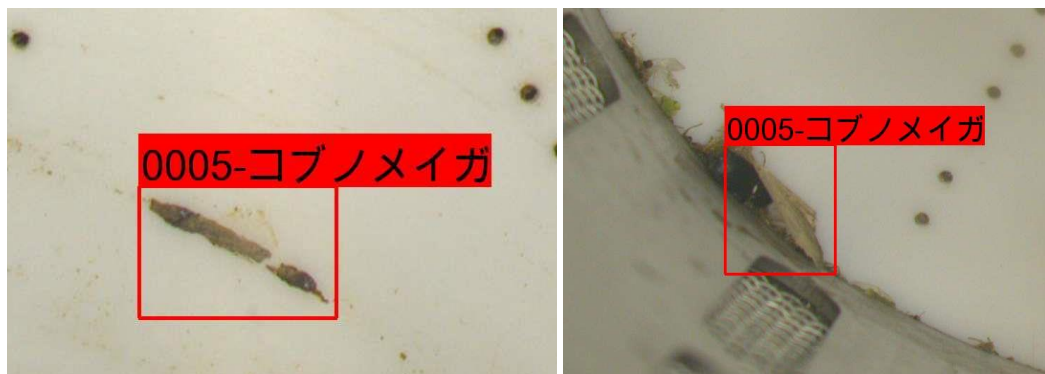


図 11 背景の汚れや虫体の一部をコブノメイガと識別している画像
(左：8月20日18:45撮影、右：9月20日0:12撮影)

＜調査3 種が明確な飼育個体の投入実験による識別能力の評価＞

1) 調査の目的

種が明確な飼育個体のみを LED システムに投入することで、同システムの識別精度を検証する。

2) 調査対象

ウンカ類飼育個体群

- ・トビイロウンカ（以下、トビイロ） 2013 年採集（熊本県合志市）、1997 年採集（長崎県）
- ・セジロウンカ（以下、セジロ） 2007 年採集（熊本県合志市）

3) 調査方法

2023 年 6 月下旬～10 月中旬の計 7 日間、人工気象室内で飼育した各種長翅型成虫を LED システムの機材吸引口に 8 パターン投入した。各パターンはそれぞれ 2～5 回ずつ実施し、投入数に対する LED システムの自動識別による計数結果から、虫体認識率※ 1 及び正答率※ 2、正答検出率※ 3 を算出した。なお、ファンのスピードは 15% で実施した。

- ・パターン①：セジロ 12 頭（背景：白バック）
- ・パターン②：トビイロ 20 頭（背景：白バック）
- ・パターン③：トビイロ 40 頭（背景：白バック）
- ・パターン④：セジロ 20 頭（背景：白バック）
- ・パターン⑤：セジロ 20 頭＋トビイロ 5 頭（背景：白バック）

【参考】

- ・パターン⑥：トビイロ 10 頭（背景：金網）
- ・パターン⑦：トビイロ 20 頭（背景：金網）
- ・パターン⑧：セジロ 12 頭（背景：金網）

※ 1：虫体認識率＝（全ての識別頭数／投入数）×100

※ 2：正答率＝（正しく識別した頭数／全ての識別頭数）×100

※ 3：正答検出率＝（正しく識別した頭数／投入数）×100

4) 結果と考察

各投入パターンと識別結果を表 7 に示した。

○昆虫種の違い

トビイロとセジロの識別精度の差について、それぞれ 20 頭ずつ投入した場合（パターン①・④の比較）、虫体認識率はセジロの方がやや高く、正答率はトビイロの方がやや高かったことで、正答検出率に大きな差は見られなかった。また、パターン①～④の結果を昆虫種ごとに平均して比較すると、虫体認識率はセジロの方が約 13% 高く、正答率はほぼ同等だったことで、正答検出率はセジロの方が約 12% 高かった。このことから、今回供試した 2 種の識別精度については、頭数の影響を考慮する必要はあるが、総合的にセジロの方が識別精度は高いと考えられた。

○頭数の増加

投入頭数を増加させた場合の識別精度への影響について、トビイロの投入数を 20 頭から 40 頭に増加させた場合（①・②の比較）、虫体認識率はほぼ同等で変わらず、正答率は約 14%、正答検出率は

約5%低下した。また、セジロの投入数を12頭から20頭に増加させた場合（③・④の比較）、虫体認識率、正答率ともに低下し、正答検出率は約13%低下した。このことから、今回供試した2種については、投入数の総数を考慮する必要があるが、頭数の増加により識別精度が低下すると考えられた。

○2種の混合投入

セジロとトビイロを混合投入した場合の識別精度への影響について、セジロ20頭・トビイロ5頭を混合投入した場合とセジロを20頭投入した場合を比較すると（④・⑤の比較）、セジロについて、正しく識別された平均頭数はどちらも差は見られなかった。

（参考）背景の変更

背景条件を金網から白バックへ変更することによる影響について、トビイロをそれぞれ20頭投入した場合（①・⑦の比較）、正答率はどちらもほぼ同等だったが、虫体認識率と正答検出率については、白バックではどちらも約26%低下した。セジロをそれぞれ12頭投入した場合（③・⑧の比較）、正答率はどちらもほぼ同等だったが、虫体認識率と正答検出率については、白バックではどちらも約10%向上した。また、投入パターン①～⑤の結果を背景条件ごとに平均して比較すると、全ての項目（虫体認識率、正答率、正答検出率）で金網の方が優位な結果となった。このことから、背景を白バックに変更すると、今回供試した2種については、総合的には識別精度は低下する傾向が見られたが、虫種によっては識別精度が向上する可能性がある。

○総括

- ・誤識別については、調査2の目視識別では確認されなかったトビイロをヒメトビウンカ、セジロ、イナズマヨコバイに、セジロをヒメトビウンカ、トビイロと識別した例が見られた。
- ・パターン①～⑤の結果を平均すると、トビイロとセジロの正解率は約93%と高かったが、虫体認識率は約60%と低く、正答検出率も約56%と低下した。調査2の目視識別では、虫体認識率は高かったが、この要因としては、調査2で確認した画像より投入頭数が多かったことや、ウンカを一度に投入するため局在することが多いことが考えられた（データ略）。さらに、目視識別の結果を踏まえると、実際の運用では似た虫を誤識別してしまうことが最も大きな課題であり、識別精度をさらに高めていくことが重要であると考えられた。
- ・本調査と調査2の結果は合致しない部分がある（例：セジロより識別精度が劣り、また誘殺頭数も多いトビイロの識別精度がセジロとほぼ変わらない等）。この要因としては、ウンカ類が自然個体と飼育個体で識別結果が異なる可能性や、試験方法（例：一度にウンカ類を投入するため、虫が局在する傾向にある等）による影響が推測される。このことから、識別精度の検証については、本調査の方法では正確な検証は難しく、別の調査方法もしくは虫体の非破壊回収機能の活用を検討する必要があると考えられた。

表7 種が明確なウンカ類成虫個体に対するLEDシステムの識別結果

No.	投入パターン	試行回数	判定結果(平均頭数)					虫体認識率(%)	正答率(%)	正答検出率(%)
			トビイロ	セジロ	ヒメトビ	イナズマヨコバイ	無判定			
①	トビイロ20頭	5	10.6	-	-	-	9.4	53.0	100.0	53.0
②	トビイロ40頭	4	22.3	-	1.3	-	16.5	54.2	86.1	47.9
③	セジロ12頭	4	0.3	8.3	-	-	3.5	70.8	97.9	68.8
④	セジロ20頭	4	0.3	11.3	1.0	-	7.5	62.5	89.7	56.3
⑤	セジロ20頭+トビイロ5頭	3	2.0	11.0	3.0	-	9.0	64.0	-	-
平均			-	-	-	-	-	60.9	93.4	56.5
平均(トビイロ)※⑤除く			-	-	-	-	-	53.6	93.1	50.5
平均(セジロ)※⑤除く			-	-	-	-	-	66.7	93.8	62.5

参考

⑥	トビイロ10頭・金網	2	5.0	-	-	-	5.0	50.0	100.0	50.0
⑦	トビイロ20頭・金網	5	15.6	0.2	-	0.2	4.0	80.0	97.8	78.0
⑧	セジロ12頭・金網	5	0.0	7.2	-	-	4.8	60.0	100.0	60.0
平均			-	-	-	-	-	63.3	99.3	62.7

※虫体認識率＝（全ての識別頭数／投入数）×100

※正答率＝（正しく識別した頭数／全ての識別頭数）×100

※正答検出率＝（正しく識別した頭数／投入数）×100

6 総合評価

今回の調査では、水稻の主要害虫であるウンカ類（トビイロウンカ、セジロウンカ、ヒメトビウンカ）について、LED システムの識別精度は実用レベルに達していないと考えられ、自動識別のみで発生予察を行う場合の実用性は低いと評価された。ウンカ類は飛来状況の観測に正確な識別が求められる上、画像の目視識別も困難であることから、今後さらに学習を進めることで識別精度を向上させる必要がある。また、ニセトビイロウンカ等が誘殺される条件下では、少なくとも初飛来を観測するまでは現物確認は必須であると考えられるため、新たに搭載される虫体の非破壊回収機能にも期待したい。しかし、現状の性能でも消長の大まかな把握は可能と考えられるため、多少の誤差が問題にならない発生量の多い時期については、防除の判断等に活用できる可能性がある。

また、今回の調査ではツマグロヨコバイとミナミアオカメムシについては、識別精度が比較的高い結果となり、この2種については画像での目視識別も可能であることから、実用性は高いと評価された。しかし、カメムシ類については、アオクサカメムシ等の識別が難しい虫種の発生状況や同一個体のダブルカウントには留意する必要がある。また、コブノメイガについてはウンカ類と同様に識別精度は低く、現状の実用性は低いと評価された。予察灯による誘殺は、現行のフェロモントラップと比べて雌成虫も誘殺されることから、より精度の高い発生量の把握が可能となると考えられるが、8～9月の期間中、目視で識別した誘殺数はフェロモントラップよりも劣っていたため（データ略）、発生量の多い年に再度検証する必要がある。

7 その他

①PC やアプリからの操作が反映されないことがある。

→不定期で発生したことで、誘引効果や誘殺数の観測に支障がでた。要因については不明であり、検証する必要がある。

②ウンカ類、コブノメイガについては、誤識別が多かったことで識別精度は低かった。また一度に誘殺される虫数が増える多発年では、さらに精度が低下する可能性がある。また、今回識別精度の比較的高かったツマグロヨコバイ、ミナミアオカメムシについても、誤識別はあるため、似た形態をもつ虫の発生に注意する必要がある。

→今後も LED システムの識別精度を高めていくことは必要であるが、識別精度にどこまで正確さが求められるかは、虫種や時期によって変わるため運用方法の工夫も求められる。例えば、ウンカ類の飛来シーズンの観測には正確さが求められるため、現状の精度では正確な目視識別、現物確認が必須となるが、作の後半で発生量が多い時期は多少の誤差は問題とならないため、目視識別のみの対応も可能だと考えられる。

③大型昆虫はエアで除去されずに画面内に残ったり、背景の汚れや翅等の部位が映り込み続けることで、複数回カウントしてしまう場合がある（図7、8）。

→機械の構造を変更する以外の対策としては、ファンスピードの調整が考えられる。ファンの出力を上げればある程度除去できると考えられるが、その場合は他の微小害虫への影響や誘引性能の変化についても検証し、適正なスピードを検討する必要がある。

また、清掃用の空気の出力を上げる等の方法で背景の清掃能力を向上させる必要がある。

④微小害虫（特にトビイロウンカ）については、画像のみを目視で確認して、正確に誘殺数を計測するのは困難。

→画質を向上させることで、ある程度識別しやすくなると考えられるが、外観で識別できないと推測される虫種（例：ミナミアオカメムシとアオクサカメムシ）や、正確な識別が求められる時期（例：ウンカ類の初飛来の観測）については、実物確認は必須と考えられる。

⑤識別の際に表示される確信度（各対象の特徴と何%一致しているかの数値）について、低い確信度でもカウントしてしまう。

→現在の仕様では、確信度ごとに分類することができない。低い確信度のデータを排除する等の整理ができるようになれば、より正確な発生消長を把握できる可能性がある。

⑥夏場は蜘蛛の巣が張るため、定期的に除去する必要がある。また、内部に巣を張られると、捕獲された虫が識別の障害になる。→ 外部の巣は、管理者が除去する。内部の巣については、自動的に除去できる仕様もしくは人が容易に除去できるような仕様に変更する等の対策が必要。また、誘殺数の影響についても検証が必要である。

病虫害発生予察情報サービス

病虫害防除に役立つ情報を提供しています。

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>

熊本県病虫害防除所

（農業研究センター 生産環境研究所内）

〒861-1113 熊本県合志市栄3801

TEL：096（248）6490～91

FAX：096（248）6493

発行者：熊本県

所属：病虫害防除所

発行年度：令和6年度

（2024年度）